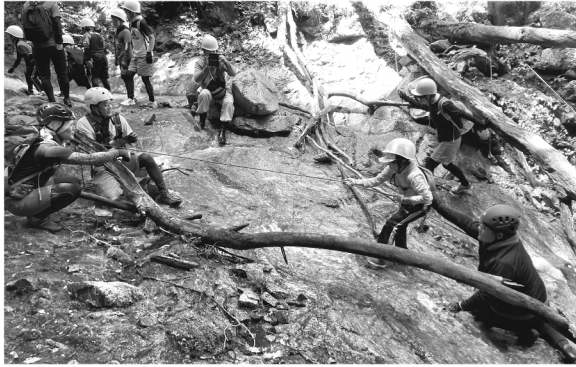


令和4年度

飯田市公民館活動記録

令和4年度

飯田市公民館活動記録



万古溪谷橋の木ツアー 沢渉り体験 (千代公民館)



ずんずんず〜ん隊田植え (鼎公民館)



ふるさとめぐり三穂 (三穂公民館)



長期休みこども見守り事業自磨の時間
〜遠山郷ESD塾〜 (上村公民館)



はにわの野焼き (竜丘公民館)



高校生講座 東北スタディツアー (飯田市公民館)

飯
田
市
公
民
館

飯田市公民館

目 次

令和4年度飯田市公民館基本方針	1
令和4年度飯田市公民館の事業計画	3
飯田市公民館のあゆみ・運営組織	5
飯田市公民館の活動・事業	6
飯田市公民館の運営組織図	7
地区公民館の専門委員会設置状況	8
飯田市の分館	9
公民館の予算及び施設の現状一覧表	10
飯田市各地区公民館利用状況	11
学級・講座実施状況一覧表	12
専門委員会等事業一覧表	16
各公民館事業報告	20
飯田市公民館	20
橋北公民館	31
橋南公民館	39
羽場公民館	49
丸山公民館	59
東野公民館	69
座光寺公民館	77
松尾公民館	86
下久堅公民館	95
上久堅公民館	102
千代公民館	111
龍江公民館	120
竜丘公民館	129
川路公民館	136
三穂公民館	142
山本公民館	150
伊賀良公民館	160
鼎公民館	168
上郷公民館	180
上村公民館	188
南信濃公民館	194
Aブロック事業	200
Bブロック事業	202
Cブロック事業	202
Dブロック事業	203
飯田市の公民館略年表	204
飯田市公民館大会の経過	212

1 「地育力による 未来をひらく 心豊かな人づくり」の実現に向けて公民館が果たすべきこと

(1) 地域自治を担う人材の育成

飯田市の公民館は、社会教育法に基づく教育機関であるとともに、地域の自治組織の構成団体でもあるという2面性を持っています。この特性を生かし、社会教育機関としての視点から地域を見つめ、地域の諸団体と連携・協力を図りつつ、持続可能な地域づくりに向けて次代を担う人材を育てていきます。

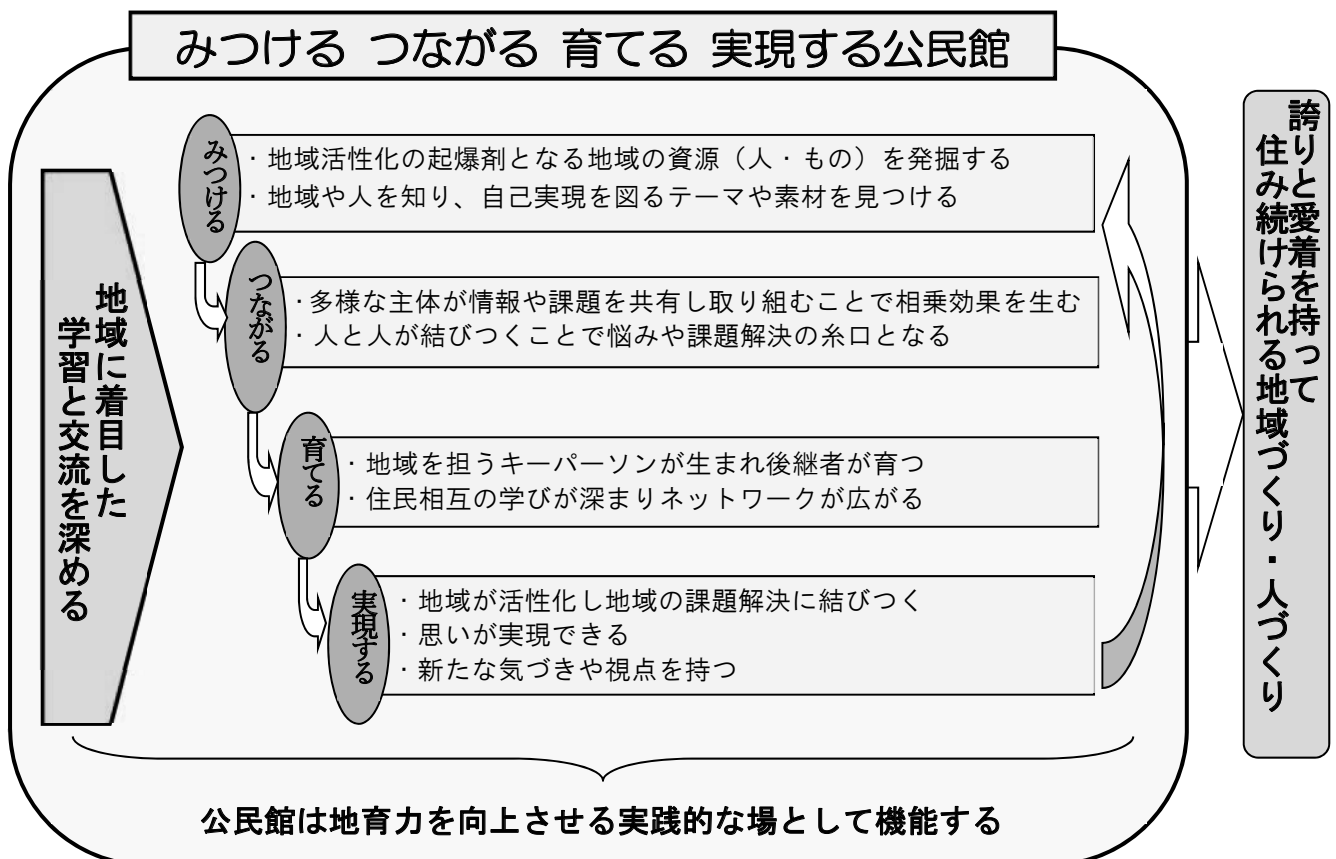
(2) コロナ禍でも“できる”ことを考えた住民主体の活動の推進

近年の社会環境の変化により、地域への帰属意識や住民相互の人間関係の希薄化がみられます。また、コロナ禍の影響により、住民に身近な区域で住民主体で運営される分館活動の制限が余儀なくされています。公民館が培ってきた自分たちでつくり上げていく行動理念や協働の精神を大切にしながら、住民が地域を想い、支え合う、心豊かな暮らしを紡ぐ公民館活動を推進していきます。

(3) 地域を見つめる学習と交流の推進

グローバル化による格差や人口減少、少子化・高齢化に伴う地域の維持、高速交通網の整備に伴う地域の変化への対応といった従来の課題に加え、コロナ禍により社会や個人の行動が大きく変容してきています。誰もが暮らしやすい地域にするには、足元の生活課題や地域課題の解決にほかならず、今まさに課題に向き合った学習活動が求められています。また、新型コロナウイルス感染症との共生時代の交流事業を考え、人と人とのつながりを維持していかなければなりません。

公民館は今後も、「みつける つながる 育てる 実現する場」として、地域に着目した学習と交流を深めていきます。



2 公民館の具体的な役割

公民館は、地域の課題解決に向けた学習と交流を通して自治意識の醸成を図り地域づくりの担い手を育みます。また、地域で活動する各種団体と連携し学習活動を充実させていきます。そのために、具体的には次のような場づくりを進めます。

- (1) 誰もが気軽に利用し活動できる「自由なたまり場」
- (2) 参加者の自主性・創造性を生かし仲間づくりを図る「集団的な活動と交流の場」
- (3) 先人が築いた歴史・文化を大切に今に生かす「歴史を伝え文化を創造する場」
- (4) 生涯にわたる学習や地域の課題に対応できる「学習の場」
- (5) 人が人として認め合い暮らせる「人間尊重の精神を学ぶ場」
- (6) 地域の絆を深め健康で心豊かな人づくりを図る「スポーツ・レクリエーションの場」
- (7) 子供たちが健やかに育つとともに故郷に誇りと愛着を持てる「地域の良さを再発見する場」
- (8) 地域の様々な出来事を記録し情報や地域の課題を提供・発信する「情報収集と発信の場」

3 飯田市の公民館活動の基本理念「4つの運営原則」

1973（昭和 48）年、飯田市は文部省の委嘱を受けて、「管理運営に関する事項および運営の指針に関する事項」をまとめました。1971（昭和 46）年から 2 年間かけて実施したこの公民館運営基準の研究の中で、次に掲げる「公民館運営の 4 原則」が確認されました。

時代は変化しても、この理念を尊重しつつ、公民館が果たすべき役割を担っていきます。

(1) 地域中心の原則

まちづくりを考えると、日常的に身近な地域から出発することが大切である。地域ごとに設置された公民館は常に地域を中心としてとらえた学びの場であるべきである。

(2) 並立配置の原則

地域の規模や特徴は異なっても、公民館は 20 地区に対等に配置され、それぞれの活動が等しく尊重される。この原則は地域中心の原則を保障するものである。

(3) 住民参画の原則

公民館を設置し、そこに職員を配置することは行政の役割であるが、公民館の事業の企画運営は、地域住民によって組織された専門委員会や運営委員会、より身近な住民の単位である分館活動など、それぞれの事業が自発的な住民の意思に基づいて行われることが大切である。このような組織や活動は、飯田市の公民館活動の原動力になっている。

(4) 機関自立の原則

教育行政が一般行政から一定の独立性、中立性を保っていることに鑑み、公民館が地域の社会教育機関として住民の主体的な学習活動を保証することは大切である。その意味で公民館が自立した体制をもっていることは重要である。

4 公民館活動の展開について

- (1) 地域の諸団体と連携・協力を図りながら、地域課題や生活課題の解決に向けた学習活動を展開するほか、住民ニーズに応える学級・講座を開催し、学び合いの土壌を更に耕します。
- (2) 専門委員会活動を地域内がつながる大切な機会と捉え、他者との関係性を築くとともに、地域を素材に学習と交流を促進する事業を主体的に企画立案し運営します。
- (3) 分館は最も身近なコミュニティ形成の場であり、日常のたまり場として、身近な課題の解決に取り組むなど、住民同士のふれあいを大切にしながら主体的に活動を展開します。

令和4年度 飯田市の公民館活動 重点目標

- 1 地域課題・生活課題を捉えた多様な学習と実践に取り組むことで、地域への関心や、自治の意識と自治の力を高めます。
- 2 コロナ禍における新たな学習や交流のスタイルを検討し、専門委員会や分館において必要な事業を住民起点で皆で考え合い、関係団体とも連携・協力し、地域コミュニティの維持や学習意欲に応える活動を実践します。
- 3 次世代の地域づくりの担い手を育むために、幼保・小・中・高校生・若者と地域の大人を結び、相互に学び合う場をつくります。
- 4 地域と家庭と学校の三者がそれぞれの役割を考え連携・協働した活動につながるよう「学校運営協議会等」を充実するとともに、「いいだCS（コミュニティスクール）協働活動」を関係団体と共に実施し子供の成長を支えます。

令和4年度 飯田市の公民館活動 事業計画

令和4年度飯田市の公民館活動基本方針及び重点目標を念頭に、次の主な事業に取り組みます。
新型コロナウイルス感染症との共存を前提に、学びと交流が停滞しないよう、状況に応じた計画、または実施可能な手段を講じて、“できること”に取り組んでいきます。

1 地区公民館と市公民館との合同による事業展開

(1) 第60回飯田市公民館大会【重点目標1】

公民館関係者や広く市民を対象に、1年間の公民館活動を振り返り、今後の活動に生かしていく機会として、令和5年2月19日（日）に開催します。

(2) いいだ人形劇フェスタ2022【重点目標2、3】

人との繋がりや地域資源の保存継承など、様々な可能性を持つ場として捉え、8月4日（木）～7日（日）に開催します。地区実行委員会の活動を充実させ、地区からフェスタを盛り上げます。

(3) 飯田市二十歳の集い【重点目標1、3】

該当者の居住地域・出身地域を単位として、令和4年度の成人を祝う式典を、令和5年1月8日（日）に開催します。

各地区では、該当者を含めた実行委員会を組織し、該当者が多様な活動を通じて地域を知り、地域学習を深めることで、地域に誇りと愛着を持ち、将来における自己のあり方を見つめる機会とします。

(4) 高校生等次世代育成事業【重点目標1、3】

飯田OIDE長姫高校の地域人教育を支援するほか、高校の実状に応じた探究学習を支援します。成年年齢が18歳に引き下がります。公民館は社会教育機関として、中学生・高校生が地域の大人との関わりから、大人としての素養や、社会を観る力、課題を見つけ解決する力を育てていきます。

(5) いいだCS（コミュニティスクール）協働活動【重点目標4】

公民館長（主事）が学校運営協議会の委員となりコーディネーターとして地域と学校をつなぐとともに、地域で育む子どもの姿の実現に向かって関係団体と共に「いいだCS（コミュニティスクール）協働活動」に取り組み子供たちの成長を支えていきます。

2 各地区では、公民館の役割や重点目標を認識しつつ、地域の実状や課題を捉え、専門委員会が主体的に事業を企画するほか、多様な分野の学級講座に取り組めます。

- (1) 親子を対象に仲間づくりを図るとともに、子供を安心して育てていくための継続的な学習
- (2) 青壮年を対象にした地域実践学習
- (3) 高齢者の経験や力を次世代や地域づくりにつなげる学習

- (4) 平和を尊び、多様性への理解を深める学習
- (5) 芸術文化に触れることで、地域独自の文化の保存・継承・創造につなげる学習
- (6) 郷土への関心を高め、愛着と誇りを育む学習
- (7) 心身の健康について関心を高める相互の学習
- (8) 自然保護や経済活動、再生エネルギー等、環境について考える学習

3 市公民館は、市民の学習と交流を深めるために以下の事業を主管して展開します。

(1) 高校生講座

世界とのつながりを意識しながら自身の行動や生き方、地域の将来を考えることのできる人材を育成します。

創発コーディネーターと連携し、高校生を中心とした学習交流活動を支援します。

(2) 第46回飯田市民大学講座

「伊那谷の自然と文化」をテーマに、地元研究者を中心とした多種多様な分野の講座を開講します。

(3) 第46回公民館コーラスグループ発表会

各公民館を拠点に活動するコーラスグループが実行委員会を組織し、7月3日（日）に開催します。

(4) 第41回飯田市女性バレーボール大会

バレーボール連盟の協力を得て、参加チームの主体的な運営参加により、11月13日（日）に開催します。

(5) 人権平和・多文化共生事業

平和祈念館と連携し、人権・平和の意識向上を図るとともに、外国人住民への日本語教室を柱とした多文化共生事業を展開します。

(6) 家庭教育支援事業

出産や育児等の不安を解消してもらうための妊婦さん講座や、親子で学び合う子育て講座を実施します。

(7) 「ムトスぷらざ」で展開される事業

図書館、平和祈念館、学習支援室やムトス活動支援機能が実施する事業と連携した次世代育成事業を実施します。

4 その他

(1) 第70回天龍峡夏期大学講座

地域課題や社会課題を考える契機とするとともに、地域への誇りと愛着を醸成することを目的として、川路公民館が主管し開催します。

(2) 公民館維持管理・施設整備事業

従前の窓口予約に加え、インターネットでの各公民館の利用予約を10月から開始します。

施設管理計画に基づき、計画的に改修や環境整備を進めます。

(3) ブロック公民館事業

20地区の公民館を4つに編成したブロック公民館では、スポーツ行事等を通じた他地域との交流や、公民館役員対象の研修会及び情報交換会を実施します。

(4) 館長会・主事会

地域住民の学習活動を支える職員が、定期的な情報交換や研修会を開催して連携を深めるとともに、その力量の向上に努めます。

(5) 主事会プロジェクト事業

公民館主事会ではプロジェクトチームを編成して、公民館を取り巻く様々な課題の解決のために実践的な学習や研究に取り組みます。

飯田市公民館のあゆみ

この地域は、大正期の自由画教育や青年運動から生まれた伊那自由大学などに代表される歴史的・風土的な教育の土壌や、戦後直後からの青年会や婦人会の自主的な学習活動などを背景に、全国に先駆けて公民館が設置されました。

飯田市は、昭和12年に飯田町と上飯田町が合併し誕生しました。以来6回にわたり町村合併が行われましたが、そのつど旧町村単位に独立公民館（以下「地区公民館」）と職員を配置してきました。旧飯田地区（橋北・橋南・羽場・丸山・東野）は、昭和43年に1館制から5館に分離し、それぞれ地区公民館として位置づけられました。その後も平成5年7月1日に上郷町、平成17年10月1日に上村、南信濃村と合併し、現在は中央館の役割を担う飯田市公民館（以下「市公民館」）と、20の地区公民館が独立、並列方式により配置されています。

市公民館は、全市民を対象とした事業や地区公民館相互の連絡調整を図る機関として、また地区公民館は住民の身近な公民館として、地域課題や生活課題に対する学習や交流などを通じて住民の主体的な活動を支援し、地域の特色を生かした個性豊かで魅力ある地域づくりの一端を担ってきました。

昭和48年に文部省の委嘱を受け、公民館の運営基準について自ら研究し導き出した4つの運営原則「地域中心」「住民参画」「並列配置」「機関自立」の考え方は、飯田市の地域づくりに対する公民館の姿勢を反映したものであり、今も活動の基本方針となっています。

なお飯田市は、平成19年4月に新たな住民自治の仕組みとして「地域自治組織」を導入しました。これにより公民館は、社会教育法に基づき市が設置する社会教育機関であるとともに、地域自治組織を構成するまちづくり委員会の1委員会に位置付けられました。

飯田市公民館の運営組織

市公民館には、館長会の互選で選出された市公民館長（非常勤特別職）、市公民館長を補佐する副館長（課長職）、学習支援係（係長、主事、社会教育コーディネーター）、管理係（係長、管理係）が職員として配置されています。また、市内全ての地区公民館の館長・主事で構成される館長会及び主事会が置かれ、公民館職員の相互研鑽の場になっています。

地区公民館には、非常勤特別職の館長と常勤専任の公民館主事が配置されています。また、人口規模の大きな地区である松尾・竜丘・伊賀良・鼎・上郷公民館、自治振興センターが併設されていない旧市5地区の公民館及び南信濃公民館には、管理係が配置されています。

地区公民館には、飯田市の公民館活動の4つの運営原則の一つである住民参画の原則を保障し、住民主体の公民館活動を展開するため「専門委員会」が設置されています。専門委員会の設置状況は地区によって異なりますが、主に文化委員会、体育委員会、広報委員会、青少年育成委員会などが組織されています。専門委員会の名称、人数、役職、任期は公民館長が定めることとなっており、町内あるいは分館からの推薦や地区内全域から適任者を選び、公民館長が委嘱します。（詳細は、P8「専門委員会の設置状況」を参照）

多くの地区公民館のもとに、集落単位を基本とする「分館」が組織されています。現在飯田市には103の分館（休館を除く）があり、住民に最も身近な公民館として、住民の手によって主体的に運営されています。

また地区公民館は、隣接する地域や中学校区などつながりの強い地域同士で「ブロック」を組織しています。現在は20の地区公民館で4つのブロックを組織し、ブロック内で連携しながら事業を展開しています。

飯田市公民館の活動

飯田市の公民館は、地域住民の学習、交流の場として、住民自らが自由闊達な学習活動やグループ活動を展開しています。

公民館が実施する学級や講座は、乳幼児やその保護者を対象としたものから高齢者の生き甲斐づくりまで全ての世代を対象にしたものであり、学習内容も個人的な教養を高めるものから地域課題や生活課題を捉えた組織的な学習活動まで、幅広い学習を展開しています。実施にあたっては、公民館職員が中心となって開催するものや、運営委員会や実行委員会などを組織し市民参画のもと開催するものなど形態は様々ですが、学習や交流の機会を通じて主体的な人材の育成に寄与しています。

専門委員会の活動は、住民自らがアイデアを出し合い、それぞれの地域の特色を活かした様々な事業を展開しています。専門委員会は公民館運営の母体であり、住民が事業の企画段階から主体的に関わることにより地域を知り、地域を担う人材育成の場として機能しています。

(詳細は、P16「専門委員会等事業一覧表」を参照)

分館は、住民の生活に一番身近な公民館であり、子どもから高齢者まで日常的な学習や交流の場になっています。分館では、なによりも住民同士のふれあいや交流を大切に、分館独自の事業を主体的に展開しています。また、地区公民館と密接につながり、一体となって公民館の活動を支えています。

飯田市公民館の事業

市公民館事業

- ・全市民を対象とした事業
- ・新たな地域課題、生活課題に対応し、地区公民館に波及することをねらったモデル的な事業の実施やそのための指導者の育成
- ・地区公民館活動が円滑に展開されるためのネットワーク事業

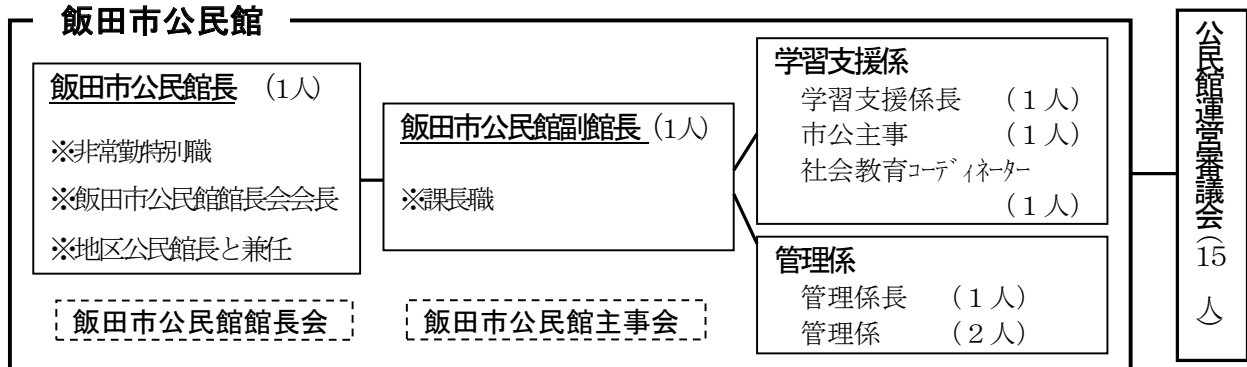
ブロック事業

- ・地区公民館単独では実施困難な事業
- ・地区公民館事業の継続発展した事業
- ・ブロック内での情報交換、相互研鑽

地区公民館事業

- ・住民要望に基づく学級講座
- ・専門委員会が企画する地区独自の事業
- ・コミュニティを醸成する各種の事業
- ・学習相談、学習情報の提供及び施設設備の提供

飯田市公民館の運営組織図



地区公民館

(人口は令和4年9月末現在)

公民館名	ブロック体制	人口 (人)	職員体制 (人)			
			公民館長※1	副館長補※2	公民館主事※3	管理係
橋北公民館	A ブロック	2,827	1	—	1	1
橋南公民館		2,514	1	—	1	1
羽場公民館		4,660	1	—	1	1
丸山公民館		3,274	1	—	1	1
東野公民館		2,730	1	—	1	1
座光寺公民館	B ブロック	4,184	1	1	1	—
山本公民館		4,542	1	1	1	—
伊賀良公民館		14,190	1	1	1	1
鼎公民館		13,090	1	1	1	2 ※4
上郷公民館		13,204	1	1	1	1
松尾公民館	C ブロック	12,795	1	1	1	1
下久堅公民館		2,659	1	1	1	—
竜丘公民館		6,630	1	1	1	1
上村公民館		368	1	1	1	—
南信濃公民館		1,202	1	1	1	1
上久堅公民館	D ブロック	1,206	1	1	1	—
千代公民館		1,515	1	1	1	—
龍江公民館		2,593	1	1	1	—
川路公民館		1,965	1	1	1	—
三穂公民館		1,332	1	1	1	—
計		97,480	20人	15人	20人	12人

専門委員会の設置

※委員は館長が委嘱。名称、委員数、役職及び任期は館長が定める。
～住民参加による主体的な企画・運営～ (20館共通)

- ※1 公民館長は地域協議会が推薦し教育委員会が任命する。(非常勤特別職)
- ※2 副館長補佐は自治振興センター所長が任命され、センター業務と公民館業務の連係調整を図る役割を担っている。(旧市5地区は除く)
- ※3 公民館主事は常勤専任。自治振興センター職員の兼務辞令を受けている。
- ※4 うち1名は社会教育コーディネーター。

分館

現在、103の分館が、市民の手によって自主的に運営されている。

地区公民館の専門委員会設置状況

公民館名	名称	人数	任期(年)	公民館名	名称	人数	任期(年)
橋北公民館	文化育成部	11	2	龍江公民館	文化部	7	2
	体育育成部	12	2		体育部	8	2
	広報部	9	2		青少年健全育成部	6	2
橋南公民館	文化委員会	7	2		新聞部	12	2
	体育委員会	7	2	ホームページ運営委員会	4	2	
	館報委員会	5	2	竜丘公民館	文化委員会	15	2
	育成委員会	7	2		体育委員会	24	2
羽場公民館	文化委員会	11	2		広報委員会	10	2
	体育委員会	12	2		民俗資料保存委員会	9	2
	広報委員会	10	2	育成委員会	7	2	
	育成委員会	12	2	川路公民館	文化部会	10	2
丸山公民館	文化部会	12	2		体育部会	14	2
	体育部会	13	2		広報部会	9	2
	広報部会	5	2	三穂公民館	文化委員会	14	2
	青少年健全育成部会	13	2		体育委員会	15	2
東野公民館	文化部	7	2		女性委員会	14	2
	体育部	14	2		広報委員会	5	2
	広報部	5	2	山本公民館	文化部	16	2
	育成部	9	2		スポーツ部	18	2
座光寺公民館	文化部	18	2		育成部	8	2
	体育部	14	2		広報部	8	2
	広報部	10	2	伊賀良公民館	文化部	23	2
	健全育成部	15	2		体育部	28	2
松尾公民館	文化委員会	20	2		広報部	21	2
	スポーツ委員会	20	2	鼎公民館	文化委員会	13	2
	広報委員会	19	2		体育委員会	13	2
	総務企画委員会	6	2		広報委員会	14	2
下久堅公民館	文化部	13	2		上郷公民館	文化部会	11
	体育部	19	2	スポーツ部会		13	2
	広報部	8	2	広報部会		11	2
	育成部	15	2	青少年健全育成部会		10	2
上久堅公民館	文化委員会	11	2	地域を育む委員会		16	2
	体育委員会	12	2	上村公民館	企画委員会	8	2
	広報委員会	10	2		広報委員会	5	2
千代公民館	文化委員会	10	2	南信濃公民館	文化委員会	7	2
	体育委員会	11	2		体育委員会	10	2
	広報委員会	9	2		広報委員会	6	2
	青少年育成委員会	8	2	計		871	

飯田市の分館

地区名	分館名	分館世帯数	地区名	分館名	分館世帯数	地区名	分館名	分館世帯数
橋北	★江戸浜	119	千代	法山	76	東野	★東鼎	166
橋南	なし			大郡	53		★西鼎	139
羽場	なし			米峰	26		★下茶屋	202
丸山	なし			毛呂窪	64		★中平	640
東野	吾妻町南	47	龍江	八ノ倉	22		★上茶屋	150
	東新町1	58		下村	82		★切石	945
	錦町	休館		第一	249		★上山	1019
	高羽町東	139		第二	302		★一色	531
	宮ノ上	214	第三	292	★名古屋	778		
	諏訪町	44	第四	159	★上黒田	665		
座光寺	鈴加東新	57	竜丘	駄科	1012	★下黒田北	1036	
	なし			長野原	502	★下黒田南	817	
松尾	上溝	339		川路	★時又	376	★下黒田東	691
	久井	187			桐林	575	★丹保	385
	★水城	354	上川路		137	★北条	320	
	★新井	470	2		55	★飯沼南	345	
	寺所	236	3		58	★南条	300	
	★明	608	4		109	★別府上	373	
	★清水	247	5		43	★別府下	596	
	城	542	6		114	上町	65	
	八幡町	395	7	116	中郷	30		
	代田	729	8	189	程野	53		
下久堅	毛賀	727	三穂	なし		下栗	42	
	常盤台	340	山本	東平	469	和田橋北	146	
	知久平	233		大明神	148	和田橋南	300	
	★虎岩	133		北平	318	南信濃	八重河内	59
	柿野沢	84		中西平	150	木沢	78	
	稲葉	13		南湯川	150	南和田	57	
	小林	44		竹佐	187			
	南原	156		箱川	77			
下虎岩	298	久米		111				
上久堅	1	103	二ツ山	休館				
	2	73	伊賀良	下殿岡	379			
	3	103		上殿岡	480			
	4	81		三日市場	391			
	5	80		北方	2099			
	6	44		大瀬木	1462			
千代	北部	44		中村	671			
	野池	88	三尋石	164				
	米川	109	★下山	822				

以下103分館（うち2館休館）

※うち条例分館は27館
（★の印）

※令和4年度分館世帯数
（令和4年9月末時点）

公民館の予算及び施設の現状一覧表

公民館名	令和4年度当初予算 (単位:円)				施設の現状		
	公 費		地区費	総 計	面積 (㎡)	建設年月	構造
	管理費	事業費					
橋北公民館	84,000	217,000	2,058,120	2,359,120	594.6	S55. 3	鉄骨3
橋南公民館	206,000	329,000	2,218,859	2,753,859	911.6 <small>(橋南児童クラブ含む)</small>	R 4. 5	鉄筋10階建 の3階部分
羽場公民館	554,000	295,000	3,259,000	4,108,000	937.2	S54. 3	鉄骨2
丸山公民館	282,000	275,000	1,873,000	2,430,000	896.0	S55. 3	鉄骨2
東野公民館	132,000	298,000	1,840,000	2,270,000	644.9	S60. 3	鉄骨2
座光寺公民館	370,000	500,000	4,971,000	5,841,000	901.6	S61. 4	鉄骨2
松尾公民館	626,000	495,000	7,697,000	8,818,000	2114.7	H 2. 3	鉄骨2
下久堅公民館	81,000	245,000	2,765,000	3,091,000	993.1	H26.12	鉄骨2
上久堅公民館	111,000	208,000	2,100,000	2,419,000	952.2	S56. 3	鉄骨2
千代公民館	47,000	295,000	2,330,000	2,672,000	797.1	H26.7	木造2
龍江公民館	164,000	232,000	6,120,000	6,516,000	912.7	S59. 3	鉄骨2
竜丘公民館	185,000	338,000	7,819,000	8,342,000	1699.1	H13. 5	鉄骨2
川路公民館	144,000	640,000	3,310,000	4,094,000	777.0	S57. 3	鉄骨2
三穂公民館	184,000	168,000	3,401,415	3,753,415	731.7	S59. 1	鉄骨2
山本公民館	261,000	330,000	3,140,000	3,731,000	1263.6	H 6. 3	鉄骨2
伊賀良公民館	375,000	515,000	9,110,000	10,000,000	1697.4	S63. 3	鉄骨2
鼎公民館	2,748,000	490,000	4,020,000	7,258,000	3678.7	S55. 2	鉄筋4
上郷公民館	172,000	462,000	9,099,000	9,733,000	2217.8	H31. 3	鉄骨2
上村公民館	0	295,000	890,000	1,185,000	582.95	H1.12 H29.3改修	鉄筋2 鉄骨2
南信濃公民館	0	285,000	1,928,000	2,213,000	1,548.4	H19.11	鉄筋2
小計	6,726,000	6,912,000	79,949,394	93,587,394	23940.8		
飯田市公民館	2,592,000	9,000,000	—	11,592,000	3,651.65	R 4. 5	鉄筋5階建の 2階3階部分
合計	9,318,000	15,912,000	79,949,394	105,179,394	27592.4		

(説明)

- ・ブロック事業分の予算はブロック幹事の館へ配分している
- ・「公費」は地区へ配分している金額のみで飯田市公民館で一括管理の予算(人件費、修繕費等)は含まれない
- ・「地区費」は地区内における振興交付金からの配分額等であるため地区毎に積算根拠が異なる

飯田市各地区公民館利用状況

(令和3年度)

	有料団体			減免団体			無料団体			合計		
	件数	回数	人員	件数	回数	人員	件数	回数	人員	件数	回数	人員
飯田市公民館	78	196	9,978	42	100	9,666	1,167	1,680	26,954	1,287	1,976	46,598
ホール	17	52	5,967	30	74	7,761	118	145	3,988	165	271	17,716
会議室	61	144	4,011	12	26	1,905	1,049	1,535	22,966	1,122	1,705	28,882
橋北公民館	85	106	1,121	168	178	2,347	951	1,000	7,696	1,204	1,284	11,164
橋南公民館	8	8	83	107	118	1,678	430	506	4,546	545	632	6,307
羽場公民館	87	94	757	370	393	6,314	1,282	1,426	16,945	1,739	1,913	24,016
丸山公民館	49	50	480	425	522	5,999	653	685	4,842	1,127	1,257	11,321
東野公民館	17	19	226	238	251	2,628	1,054	1,076	11,556	1,309	1,346	14,410
座光寺公民館	30	56	1,055	175	201	2,704	411	421	2,841	616	678	6,600
松尾公民館	60	69	1,071	250	409	5,692	1,410	1,725	19,609	1,720	2,203	26,372
下久堅公民館	22	22	504	480	520	9,722	135	250	5,513	637	792	15,739
上久堅公民館	6	6	123	159	179	2,019	112	125	1,431	277	310	3,573
千代公民館	13	13	178	30	30	567	112	112	1,164	155	155	1,909
龍江公民館	26	26	289	256	495	5,897	145	301	329	427	822	6,515
竜丘公民館	59	114	1,889	234	340	5,466	612	1,134	19,410	905	1,588	26,765
川路公民館	12	12	144	357	468	6,219	98	219	2,009	467	699	8,372
三穂公民館	10	10	130	182	202	2,075	108	118	1,195	300	330	3,400
山本公民館	23	23	373	166	196	3,769	276	784	8,789	465	1,003	12,931
伊賀良公民館	117	126	3,428	379	454	7,659	1,013	1,495	21,119	1,509	2,075	32,206
鼎公民館	104	134	2,676	142	192	5,867	1,651	1,689	26,004	1,897	2,015	34,547
ホール	10	14	1,121	23	44	3,169	109	124	6,307	142	182	10,597
会議室	94	120	1,555	119	148	2,698	1,542	1,565	19,697	1,755	1,833	23,950
上郷公民館	232	319	5,582	318	593	9,466	6,315	2,809	33,823	6,865	3,721	48,871
上村公民館	0	0	0	155	160	1,645	32	32	303	187	192	1,948
南信濃公民館	13	13	388	78	78	1,173	131	131	3,982	222	222	5,543
地区館計	1,051	1,416	30,475	4,711	6,079	98,572	18,098	17,718	220,060	23,860	25,213	349,107
南信濃学習 交流センター	4	4	90	18	18	122	164	164	4,111	186	186	4,323
合計	1,055	1,420	30,565	4,729	6,097	98,694	18,262	17,882	224,171	24,046	25,399	353,430

令和4年度 公民館学級・講座実施状況一覧表

公民館名	乳幼児教育支援事業	多文化共生事業	地域芸術文化振興事業	学習交流推進事業
飯田市民館 (P20 ~ 30 参照)	○妊婦さん向け講座 ○子育てサークル交流会	○日本語教室わいわいサロン ○わいわいサロン鼎教室 ○わいわいサロン松尾教室 ○「やさしい日本語」講演会 ○学習成果発表会		○第60回飯田市民館大会 ○第46回市民大学講座 ○交流と学びの会
橋北公民館 (P31 ~ 38 参照)	○2歳児学級 (橋北・橋南・東野地区合同)	○北斗のまちさわやか講座(人権学習)	○いいだ人形劇フェスタ2022 橋北地区公演 ○文化研修旅行 ○ふるさとコンサート(橋北・橋南・東野地区合同) ○3館合同文化講演会(橋北・橋南・東野)	○北斗のまちさわやか講座 ○今さら人に聞けない講座 ○橋北地区文化祭 ○しめ飾り講習会
橋南公民館 (P39 ~ 48 参照)	○0歳児学級 (橋北・橋南・東野地区合同) ○1歳児学級 (橋北・橋南・東野地区合同)	○子供の人権講演会	○ふるさとコンサート (橋北・橋南・東野地区合同) ○飯田人形劇フェスタ2022橋南地区公演 ○橋南地区文化祭 ○3館合同文化講演会(橋北・橋南・東野地区合同) ○伝統文化教室-松一獅子舞教室-	○伝統・文化継承講座「手の芸の会」 ○食文化講座 ○史跡巡り(中止) ○おひまち ○しめ縄づくり講習会 ○もちつき大会 ○水鉄砲合戦~橋南夏の陣~(中止) ○追手町小学校科学実験教室 ○親子体験教室 ○放課後子ども教室
羽場公民館 (P49 ~ 58 参照)	○0・1歳児学級 ○2・3歳児学級 (羽場・丸山地区合同) ○乳幼児ファミリーデイ	○羽場日本語講座		○長期休み子ども寺子屋(春・夏) ○図書館お楽しみ会 ○生け花講座 ○書初め大会
丸山公民館 (P59 ~ 68 参照)	○0・1歳児学級 ○2・3歳児学級 (羽場・丸山地区合同)		○観月の夕べ	○子ども寺子屋(春・夏) ○乳幼児と中学生の交流(中止) (羽場・丸山地区合同) ○自分の未来と地域を考える会(羽場・丸山地区合同) ○丸山ゴルフ大会
東野公民館 (P69 ~ 76 参照)	○3歳児学級「アルパカ」 (橋北・橋南・東野地区合同)		○3館合同文化講演会 (橋北・橋南・東野地区合同)	○図書館お楽しみ会 ○女性学級「めだかの学校」 ○高齢者学級「五福の会」 ○書初め書道教室
座光寺公民館 (P77 ~ 85 参照)	○びよびよ教室(0・1歳児) ○たんぼぼ学級(2・3歳児) ○子育て応援講座	○公民館女性委員交流会		○麻績いきいき大学 ○座光寺学校科学実験教室 ○新春書初め会 ○地域づくりフォーラム
松尾公民館 (P86 ~ 94 参照)	○乳幼児学級(0~3歳児)	○多文化交流会	○男踊り教室 ○探勝会(中止)	○松尾サイエンス ○地域いきいきセミナー ○世代間交流事業「おやすづくり」
下久堅公民館 (P95 ~ 101 参照)	○乳幼児学級ぼっかぼかいちご ○乳幼児学級ぼっかぼかあひる		○ふるさとコンサート ○いいだ人形劇フェスタ2022 下久堅地区公演(中止) ○ひさかた文化祭	○ひさかた村塾 ○ひさかた未来塾
上久堅公民館 (P102 ~ 110 参照)	○乳幼児学級「わくわくキッズ」		○人形劇フェスタ「市内観劇バスツアー」(中止)	

令和4年度 公民館学級・講座実施状況一覧表

郷土学習支援事業	健康学習推進事業	環境学習支援事業	CS推進事業 (家庭教育)	CS推進事業 (協働事業)
○高校生講座 ○地域人教育				
○北斗のまちさわやか講座(郷土学習) ○今さら人に聞けない講座(郷土学習) ○橋北まるごと博物館研究会事業	○北斗のまちさわやか講座(健康学習) ○マレットゴルフ教室 ○囲碁ボール部 ○まちづくり×公民館 クップ交流会(春) ○まちづくり×公民館 クップ交流会(秋) ○橋北市民運動会 ○橋北地区スポーツ交流会	○今さら人に聞けない講座(環境学習)	○新春書初め大会	○春草かるた贈呈
○橋南史跡めぐり(中止) ○橋南ウォークラリー大会 ○おひまち	○橋南ソフトボール大会 ○囲碁ボール講座 ○仲良し学級～銀の鈴～	○ラベンダー関連講座	○親子体験教室 ○水鉄砲合戦～橋南夏の陣～ ○放課後子ども教室 ○夏休み子ども教室(中止)	○追手町小学校150周年記念事業
○曙の里講座 郷土学習	○夜の講座	○そばづくり講座 ○春の探鳥会(羽場・丸山地区合同)	○丸山小PTA・公民館共催講演会(羽場・丸山・東野地区合同)	○丸山小学校150周年記念事業 (羽場・丸山・東野地区合同) ○西中地域貢献学習(羽場・丸山合同) ○西中防災体験学習 ○西中地域めぐり(羽場・丸山合同) ○明るいかざこしの子らを育てる会(羽場・丸山・東野地区合同)
○風越山学習会	○スポーツ食育講座	○春の探鳥会(羽場・丸山地区合同)	○丸山小PTA・公民館共催講演会(羽場・丸山・東野地区合同)	○丸山小学校150周年記念事業 (羽場・丸山・東野地区合同)
			○子ども寺子屋東野(春・夏) ○家庭教育講演会(PTA講演会)(羽場・丸山・東野地区合同)	○丸山小学校151周年記念事業 (羽場・丸山・東野地区合同)
○地域探訪 ○古文書講座 ○麻績の里体験学校		○麻績の里体験学校 水生生物観察会		○座光寺の子どもを語る会
○松尾地区学習会		○そば打ち教室(中止)	○親子パン作り教室	○緑ヶ丘中学校結い未来プロジェクト ○鳩ヶ嶺八幡宮ライトアップをデザインしよう ○緑ヶ丘中学校ボランティア事業(仮)
○ひさかたウォーキング ○ひさかた和紙講座	○からだケア教室 ○ヨガストレッチ教室 ○春季スポーツ大会 ○冬季スポーツ大会 ○常会対抗盆野球大会		○親子体験教室 ○親子書初め教室	○緑ヶ丘中学校結い未来プロジェクト
○ふるさと自然体験2022 ○十三の郷ウォーキング事業(中止) ○小学生への方言人形劇指導 ○南信州狼煙リレー ○上久堅の民俗と村誌を読み語る会	○料理教室「みんなで厨房に入る」(中止)	○私たちの暮らし講座(環境学習)(中止)	○上久堅小学校・PTA・公民館共催講演会	

令和4年度 公民館学級・講座実施状況一覧表

公民館名	乳幼児教育支援事業	多文化共生事業	地域芸術文化振興事業	学習交流推進事業
千代公民館 (P111 ~ 119 参照)	○乳幼児学級「ちよっ子クラブ」	○健康福祉委員会・民児協懇談会(中止)	○新春書き初め教室(中止)	
龍江公民館 (P120 ~ 128 参照)	○乳幼児学級・未就園児交流「さくらんぼ」	○多文化共生サロン	○いいだ人形劇フェスタ2022 龍江地区公演(中止) ○人形劇フェスタ観劇バスツアー(中止) ○龍江地区文化祭・芸能祭 ○今田人形浄瑠璃の保存と継承	○第50回竜東中学校地区交流スポーツ大会(中止) ○龍江地区市民運動会(中止) ○わくわくスポーツ大会 ○第30回龍江絆駅伝 ○ふるさと探訪 ○ストレッチ体操教室(のびのび元気体操) ○シェイプアップ体操(しなやかシェイプアップ体操) ○スマホ講座(中止) ○青壮年層の集い
竜丘公民館 (P129 ~ 135 参照)	○乳幼児学級 ○乳幼児学級ファミリーデイ	○中国帰国者支援事業「好友会」(日本語教室)	○ふるさとコンサート in 竜丘 ○ニューイヤーコンサート ○竜丘地区文化祭	○大人の学校 ○青年学級
川路公民館 (P136 ~ 141 参照)	○乳幼児学級「すくすく学級」	○人権教育講座	○いいだ人形劇フェスタ2022 川路地区公演 ○川路地区文化祭	○第70回天龍峡夏期大学 ○2022かわじフォーラム ○分館対抗ニューススポーツ大会 ○川路ワンふら大会
三穂公民館 (P142 ~ 149 参照)	○乳幼児学級「みほなかよし学級」		○人形劇フェスタ「市内観劇バスツアー」 ○伊豆木人形の継承(伊豆木人形クラブ) ○ふるさとコンサートin三穂	○ほっとけない楽習会 ○文化セミナー ○高2の集い
山本公民館 (P150 ~ 159 参照)	○乳幼児学級(おたまこ学級) ○育MEN学級	○二ツ山団地サロン ○国際ふれあい交流会(中止) ○花の木オープンスクール	○飯田人形劇フェスタ2022(中止) ○市内で人形劇フェスタを満喫しよう!!バスツアー(中止) ○山本地区文化祭 ○オーケストラと友に音楽祭2022コミュニティコンサート	○メンズクッキング ○ボッチャ体験会 ○武田信玄狼煙リレー ○山本地区二十歳の集い ○旭ボランティアスタンプラリー
伊賀良公民館 (P160 ~ 167 参照)	○乳幼児学級(0歳児、1歳児)		○書初め書道教室	○かさまつ大学
鼎公民館 (P168 ~ 179 参照)	○つくし学級(3歳児学級) ○たんぼ学級(2歳児学級) ○いちご学級・みかん学級りんご学級(1歳児学級) ○さくらんぼ学級(0歳児学級)		○鼎の景観写真コンテスト ○ふるさと鼎コマーシャル ○ふるさと鼎ふれあい広場・文化祭 ○いいだ人形劇フェスタ2022 鼎地区公演(中止)	○華甲大学(高齢者学級) ○鼎小中PTA公民館合同講演会 ○世代間交流事業 ○鼎公民館役員研究集会 ○鼎ナゾとき探偵団
上郷公民館 (P180 ~ 187 参照)	○乳幼児学級 ○俺の親子学級		○上郷文化祭 ○高松の丘音楽会 ○小学校音楽鑑賞教室 ○いいだ人形劇フェスタ上郷地区公演(中止) ○ふれあいさわやか音楽祭	○高齢者学級
上村公民館 (P188 ~ 193 参照)	○乳幼児学級「ひよこちゃん」 ○子育てクラブ チロル(中止)		○人形劇フェスタ・観劇バスツアー(中止) ○しゃくなげ祭(文化祭)	○若い衆で地域を語らまいか(上村青年会議、まいか娘) ○かみっこ図書分館合同事業 ○夏休み・春休み子ども見守り事業自磨の時間、遠山郷ESD塾
南信濃公民館 (P194 ~ 199 参照)	○乳幼児学級「すこやか学級」	○夏・春休み子ども見守り事業自磨の時間【再掲】	○夏・春休み子ども見守り事業自磨の時間【再掲】	○地域の明日を考える学習 ○夏・春休み子ども見守り事業自磨の時間【再掲】 ○女性学級 ○図書分館合同事業 ○遠山郷フォーラム

令和4年度 公民館学級・講座実施状況一覧表

郷土学習支援事業	健康学習推進事業	環境学習支援事業	CS推進事業 (家庭教育)	CS推進事業 (協働事業)
○新春ふるさと講演会		○毛呂窪天文台活用事業 星空観察会 ○中学生版:万古溪谷柵の木ツアー	○どんぐりの会読み聞かせ ○おたんじょうび本プレゼント事業	○地域学習「炭焼きに学ぶ」(千代小) ○創作クラブ(千栄小)
○ふるさと探検 ○武田信玄狼煙リレー ○百人一首大会・龍江かるた会 ○郷土を学ぶ講演会(中止)	○筋力アップトレーニング教室	○水辺の楽校魚釣りつかみ取り大会 ○アップルキッズの森	○食育体験教室(季節の野菜づくり) ○食育体験教室(大豆・豆腐づくり体験) ○和紙作り ○親子人形劇の会 ○小学校お助け隊 ○図書館お楽しみ会 ○地域クラブ活動	
○竜丘市民大学講座 ○竜丘自由画保存顕彰委員会 ○竜丘古墳の会 ○民俗資料保存事業 ○古墳まつり(はにわ野焼き)	○夏季スポーツ大会(中止) ○冬季ニュースポーツフェスティバル(中止) ○竜丘市民運動会(中止)	○川で遊ぼう(水辺の楽校)(中止)	○家庭教育講座	○緑ヶ丘中学校結い未来プロジェクト
○歴史文化セミナー ○世代間交流事業(正月飾りづくり)	○さわやか健康教室		○川路通学合宿(中止) ○通学合宿代替事業「みんなで楽しい思い出をつくろう！」(中止)	
○ふるさとめぐり三穂	○ほっとけない楽習会(ヨガ)	○環境学習会		○ふるさとめぐり三穂
○山本学講座 ○ウォーキングで山本地域を学ぼう! ○杵原こども教室(おやす作り) ○地元を知ろうツアー	○体力促進会(中止) ○親子deチャレンジ お家でできる運動遊び	○公民館清掃 ○シイタケの駒打ち体験	○こども寺子屋 ○親子deミニ門松作り	
○伊賀良を学ぼう～歴史・文化・自然～ ○ふるさとゲームウォーキング～三日市場の巻～	○男性の料理教室(中止)	○環境わくわく体験講座		○子ども寺子屋(夏・春)
○ふるさと再発見ワンデーマーチ ○地育力向上講座「ずんずんず～ん隊」	○料理教室 ○鼎地区体育祭(バタンク大会)(中止) ○鼎地区縦断駅伝大会(中止) ○鼎地区女性バレーボール大会(中止) ○冬季スポーツ大会(ポッチャ) ○ニュースポーツ講習会(中止)	○地育力向上講座「ずんずんず～ん隊」 ○鼎打ち水大作戦(中止)	○かなえっこ どっきどきスクール(中止) ○地育力向上講座「ずんずんず～ん隊」	○鼎小中PTA公民館合同講演会(中止) ○保育園・小学校との連携による子育て支援事業 ○鼎の子どもを語る会 ○人権・平和学習「平和の種栽培事業」 ○鼎ナゾとき探偵団
○郷土料理教室 ○久遠の会講演会 ○地域を知る会 ○上郷歩こう会	○春季スポーツ交流会 ○夏季スポーツ交流会(中止) ○第69回上郷地区大運動会 ○冬季スポーツ交流会	○農作業体験教室	○子ども料理教室 ○あいさつ運動 ○工作教室 ○科学体験教室	○上郷小学校野底山事前学習 ○第30回上郷地区地域づくりフォーラム
○小学生霜月祭横笛教室 ○世代間交流事業	○マレットゴルフ大会 ○かみむら大運動会 ○第28回小学生、公民館卓球大会 ○春季スポーツ大会、健康福祉講座	○お茶栽培(台切り更新)の学習会	○小学校PTA共催講演会	○KGC(かみっこグリーンクラブ)自然塾キャンプ
○夏・春休み子ども見守り事業 自磨の時間 ○遠山地区二十歳の集い ○千代峠交流会(中止)	○健康増進事業リラックスヨガ講座2022	○ブッポウソウ保護活動と環境保全学習 ○天体・星空観察会 ○夏・春休み子ども見守り事業 自磨の時間～遠山郷ESD塾～	○夏・春休み子ども見守り事業 自磨の時間【再掲】	○ウェルカムティープロジェクト ○わら細工講習会

令和4年度 専門委員会等事業一覧表

公民館名	専門委員会事業				その他
	文化事業	体育事業	広報事業	育成事業	
橋北公民館 (P31 ~ 38 参照)	<ul style="list-style-type: none"> 橋北地区文化祭 いいた人形劇フェスタ2022(中止) しめ飾り講習会 新春書初め大会 文化研修旅行 	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり×公民館 クラブ交流会(春) まちづくり×公民館 クラブ交流会(秋) 橋北市民運動会 橋北地区スポーツ交流会 	<ul style="list-style-type: none"> 館報「橋北」の発行 	<ul style="list-style-type: none"> しめ飾り講習会 新春書初め大会 	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度橋北・橋南・東野地区成人の集い(橋北、橋南、東野3館合同) 令和4年度橋北・橋南・東野地区二十歳の集い(橋北、橋南、東野3館合同) ふるさとコンサート(橋北・橋南・東野3館合同) 3館合同文化講演会(橋北、橋南、東野3館合同)
橋南公民館 (P39 ~ 48 参照)	<ul style="list-style-type: none"> 飯田人形劇フェスタ2022 橋南地区公演(中止) 橋南文化祭 橋南史跡めぐり(中止) 	<ul style="list-style-type: none"> 橋南ウォークラリー大会 橋南ソフトボール大会(中止) 橋南連合大運動会 橋南ニューススポーツ大会 	<ul style="list-style-type: none"> 館報橋南発行 公民館委員研修 	<ul style="list-style-type: none"> しめ飾り講習会 おひまち もちつき大会 水鉄砲合戦～橋南夏の陣～(中止) 書き初め 	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度橋北・橋南・東野地区二十歳の集い(橋北、橋南、東野3館合同) ふるさとコンサート(橋北・橋南・東野3館合同) 3館合同文化講演会(橋北、橋南、東野3館合同) 放課後子ども教室 夏休み子ども教室(中止) 橋南夏まつり
羽場公民館 (P49 ~ 58 参照)	<ul style="list-style-type: none"> ふれあいウォークラリー大会 いいた人形劇フェスタ羽場地区公演(中止) 羽場地区文化祭 	<ul style="list-style-type: none"> 羽場地区ソフトボール大会 ふれあいスポーツ祭を考える会 羽場地区ふれあいスポーツ祭 ニューススポーツ交流会 	<ul style="list-style-type: none"> 広報あけぼの 	<ul style="list-style-type: none"> 魚のつかみどり体験 新春お楽しみ会 おやす・しめ飾り交流会 きのこ山保全活動 	<ul style="list-style-type: none"> 羽場丸山地区二十歳の集い(羽場・丸山合同)
丸山公民館 (P59 ~ 68 参照)	<ul style="list-style-type: none"> いいた人形劇フェスタ丸山地区公演(中止) 丸山くらす おどなのサロン かごしふれあいコンサート(羽場・丸山合同)(中止) 丸山地区文化祭 	<ul style="list-style-type: none"> クラブ大会 ソフトボール大会 丸山地区運動会 ポッチャ大会 ワンバウンドふらばーるバレー大会 	<ul style="list-style-type: none"> 広報まるやまの編集 	<ul style="list-style-type: none"> 親子交流体験事業「オリエントリング大会」 冬の探鳥会 お正月飾り講習会 正月遊び・もちつき大会 スポーツ教室体験会 ウォーキング大会 	<ul style="list-style-type: none"> 羽場丸山地区二十歳の集い(羽場・丸山合同)
東野公民館 (P69 ~ 76 参照)	<ul style="list-style-type: none"> しめ飾りめぐり 第50回東野区民文化祭 いいた人形劇フェスタ東野地区公演(中止) 文化講演会 お正月行事 	<ul style="list-style-type: none"> ラーズソフトボール大会 ワンバウンドふらばーるバレー大会 クラブ大会 東野区民大運動会 ペタンク大会 囲碁ボール大会 	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり会報東野の発行 		<ul style="list-style-type: none"> 橋北・橋南・東野地区成人式 ふるさとコンサート(橋北・橋南・東野地区合同) 丸山小学校放課後子ども教室(羽場・丸山・東野地区合同)
座光寺公民館 (P77 ~ 85 参照)	<ul style="list-style-type: none"> 座光寺人形劇まつり(中止) いいた人形劇フェスタ座光寺保育園公演(中止) 座光寺地域芸能発表会 座光寺地域文化祭 麻績の里種まき大賞 座光寺地域二十歳の集い 婚活イベント「座恋路」 	<ul style="list-style-type: none"> 春季スポーツ大会(中止) ポッチャ交流会 冬季ニューススポーツ交流会 座光寺地域市民運動会(中止) 地区交流月間 座おうちdeストレッチ 	<ul style="list-style-type: none"> 広報座光寺発行 広報座光寺お知らせ版発行 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども桜ガイド学習会 水生生物観察会 秋の南本城探検 火おこし体験 考古博物館見学体験ツアー 子ども科学教室 体験学校まとめの会 星空観察会 新春書初め会 	<ul style="list-style-type: none"> 地域づくりフォーラム 座光寺の子どもを語る会 座光寺の子どもを語る会推進委員会 公民館女性委員交流会 総合的な学習の支援

令和4年度 専門委員会等事業一覧表

公民館名	専門委員会事業				その他
	文化事業	体育事業	広報事業	育成事業	
松尾公民館 (P86 ~ 94 参照)	<ul style="list-style-type: none"> 親子映画鑑賞会(中止) いいだ人形劇フェスタ2022松尾地区公演(中止) 第19回松尾踊ってみよう会 松尾地区文化祭 古き松尾を巡る「ぼちぼちさんぼ」～松尾一周の歌より～ 令和2年度松尾地区成人式 令和4年度松尾地区二十歳の集い ふるさとコンサート いいだ人形劇フェスタ2022下久堅地区公演 ひさかたウォーキング 下久堅地区二十歳の集い ひさかた文化祭 	<ul style="list-style-type: none"> 松尾地区市民運動会 ニュースポーツ講習会 分館交流ニュースポーツ大会 分館交流ふらば～るバレー大会 	<ul style="list-style-type: none"> 「まとお新聞」の発行 公民館報学習会(中止) 	<ul style="list-style-type: none"> 松尾地区学習会、松尾セミナー 公民館役員研修会(中止) 分館役員研修会 松尾地区還暦の会 	
下久堅公民館 (P95 ~ 101 参照)	<ul style="list-style-type: none"> ふるさとコンサート いいだ人形劇フェスタ2022下久堅地区公演 ひさかたウォーキング 下久堅地区二十歳の集い ひさかた文化祭 	<ul style="list-style-type: none"> ひさかたふれあいフェスティバル 春季スポーツ大会 ひさかたスポーツフェスティバル 常会対抗盆野球大会 下久堅地区市民運動会 冬季スポーツ大会 	<ul style="list-style-type: none"> 広報「ひさかた」の発行 	<ul style="list-style-type: none"> 魚のつかみ取り体験 SJC見学会(中止) 書き初め教室 	
上久堅公民館 (P102 ~ 110 参照)	<ul style="list-style-type: none"> いいだ人形劇フェスタに向けた学習会 人形劇フェスタ2022上久堅地区公演(中止) 上久堅地区文化祭(中止) 上久堅地区文化展 上久堅を知る「縄文人(こころう)」 上久堅地区二十歳の集い 	<ul style="list-style-type: none"> 分館交流女性スポーツ大会 AED講習会 分館対抗ソフトボール大会(中止) 上久堅地区運動会 冬季スポーツ大会 囲碁ボールリーグ戦(中止) 	<ul style="list-style-type: none"> 館報「かみひさかた」発行 館報送サービス事業 上久堅写真展 	<ul style="list-style-type: none"> 【企画委員会事業】 分館自主活動 世代交流しめ縄飾り講習会 【合同事業】竜東中学校地区交流スポーツ大会(中止) 第28回ひさかたの火まつり(中止) ひさかたの納涼花火 	
千代公民館 (P111 ~ 119 参照)	<ul style="list-style-type: none"> いいだ人形劇フェスタ2022千代地区公演(中止) 人形劇フェスタかんげきバスツアー(中止) 千代地区文化祭(中止) 千代地区文化展 千代地区二十歳の集い 千代峠交流会(中止) 	<ul style="list-style-type: none"> 第12回ワンふらバレー大会(中止) ニュースポーツ体験会(中止) 千代地区市民運動会(中止) 第9回囲碁ボール大会(中止) 	<ul style="list-style-type: none"> 館報千代の発行 ふるさとの便り発送事業 	<ul style="list-style-type: none"> 万古溪谷跡の木ツアー 第23回ウォークラリー大会(中止) 創作教室(中止) 	
龍江公民館 (P120 ~ 128 参照)	<ul style="list-style-type: none"> いいだ人形劇フェスタ2022龍江地区公演(中止) 人形劇フェスタ観劇バスツアー(中止) ふるさと探訪(中止) 龍江地区文化祭・芸能祭 	<ul style="list-style-type: none"> 龍江地区市民運動会(中止) おくわくスポーツ大会 第30回龍江絆駅伝 	<ul style="list-style-type: none"> 龍江新聞発行 龍江ホームページ運営 	<ul style="list-style-type: none"> 武田信玄狼煙リレー 令和4年度龍江地区二十歳の集い 【合同事業】竜東中学校地区交流スポーツ大会 	
竜丘公民館 (P129 ~ 135 参照)	<ul style="list-style-type: none"> ふるさとコンサート いいだ人形劇フェスタ2022竜丘地区公演(中止) ニュースイヤーコンサート2022 竜丘地区文化祭 竜丘市民大学講座 竜丘地区二十歳の集い 	<ul style="list-style-type: none"> 夏季スポーツ大会(中止) 冬季ニュースポーツフェスティバル(中止) 竜丘市民運動会(中止) 	<ul style="list-style-type: none"> 館報たつおか発行 	<ul style="list-style-type: none"> 水辺の楽校整備作業 川で遊ぼう(中止) 竜丘あいさつ運動 古墳まつり(はにわの野焼き) 	

令和4年度 専門委員会等事業一覧表

公民館名	専門委員会事業				その他
	文化事業	体育事業	広報事業	育成事業	
川路公民館 (P136～141 参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・いいた人形劇フェスタ2022川路地区公演(中止) ・第70回天龍峡夏期祭 ・川路地区文化祭 ・サイエンスショー ・2022川路フォーラム 	<ul style="list-style-type: none"> ・川路ワンふら大会 ・分館対抗ニューススポーツ大会(中止) 	<ul style="list-style-type: none"> ・館報かわじ発行 		<ul style="list-style-type: none"> ・川路地区二十歳の集い
三穂公民館 (P142～149 参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとコンサートin三穂 ・いいた人形劇フェスタ2022三穂地区公演(中止) ・みほ人形劇フェスティバル(中止) ・ふれあい夏祭り ・三穂文化祭 ・文化セミナー 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニューススポーツフェスティバル ・お盆ソフトボール大会(中止) ・三穂市民運動会(中止) ・ワンバウンドふらば〜るバレー大会 	<ul style="list-style-type: none"> ・館報「みほ」の発行 ・新春放談会 		<ul style="list-style-type: none"> 【企画委員会】 ・高校2の集い ・みほ人形劇フェスティバル(中止) ・三穂地区二十歳の集い 【女性委員会】 ・ほっとけない楽習会(3回) ・女性交流スポーツ大会(中止)
山本公民館 (P150～159 参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・ウオーキングで山本地区を学ぼう!! ・人形劇フェスタ2022山本地区公演(中止) ・国際ふれあい交流会(中止) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポッチャ体験会 ・体力促進会(中止) ・運動会(中止9) ・軽スポーツフェスティバル(中止) 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報やまもと発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・杵原こども教室(おやす作り) ・地元を知らうツアー ・あいさつ運動 ・親子deチャレンジ お家でできる運動遊び 	<ul style="list-style-type: none"> ・武田信玄狼煙ラリー ・山本地区二十歳の集い ・オーケストラと友に音楽祭2022コミュニティコンサート
伊賀良公民館 (P160～167 参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・いいた人形劇フェスタ2022伊賀良地区講演(中止) ・ふるさとゲームウォーキング〜三日市場の巻〜 ・伊賀良地区文化祭(中止) ・伊賀良地区展示発表会 ・令和3年度伊賀良地区成人式 	<ul style="list-style-type: none"> ・分館対抗夏季スポーツ交流会 ・伊賀良地区大運動会(中止) ・分館対抗冬季スポーツ交流会(中止) 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報いしがら発行 ・米寿記念写真撮影、贈呈 		<ul style="list-style-type: none"> ・学校体育施設運営委員会、調整会議 ・展示コーナー運営委員会 ・図書館お楽しみ会
鼎公民館 (P168～179 参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと再発見ワンデーマーチ(中止) ・いいた人形劇フェスタ2022(中止) ・鼎打ち水大作戦(中止) ・ふるさと鼎ふれあい広場・文化祭 ・鼎の景観写真コンテスト ・令和2年度鼎地区成人式 ・令和4年度鼎地区二十歳の集い ・ふるさと鼎コミュニティヤル ・上郷文化祭 	<ul style="list-style-type: none"> ・鼎地区体育祭(ベタンク大会)(中止) ・鼎地区縦断駅伝大会(中止) ・鼎地区女性バレーボール大会(中止) ・鼎公民館長杯冬季スポーツ大会(ポッチャ大会) ・ニューススポーツ講習会(中止) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「公民館報かなえ」の発行 ・ふるさと鼎コミュニティヤル 		<ul style="list-style-type: none"> ・高校生の学習活動支援 ・鼎の子どもを語る会 ・鼎小中PTA公民館合同講演会(中止) ・鼎公民館役員研究集会 ・役員研修会
上郷公民館 (P180～187 参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと鼎コミュニティヤル ・上郷文化祭 	<ul style="list-style-type: none"> ・春季スポーツ交流会 ・夏季スポーツ交流会(中止) ・第69回上郷地区大運動会 ・冬季スポーツ交流会 	<ul style="list-style-type: none"> ・「広報かみさと」発刊事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動 ・工作教室(ベットボトルロケットを作ろう) ・科学体験教室(スライム、クリップメーカーづくり、静電気体験、空気砲など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・久遠の会講演会 ・高松の丘音楽会 ・小学校音楽鑑賞教室 ・上郷歩こう会 ・いいた人形劇フェスタ上郷地区公演(中止) ・ふれあいさわやか音楽祭 ・地域を知る会 ・分館役員研修会 ・上郷地区二十歳の集い ・地域づくりフォーラム

令和4年度 専門委員会等事業一覧表

公民館名	専門委員会事業				その他
	文化事業	体育事業	広報事業	育成事業	
上村公民館 (P188～193 参照)	<ul style="list-style-type: none"> • しいだ人形劇フェスタ2022上村地区講演(中止) • しゃくなげ祭(文化祭) • 遠山地区二十歳の集い 	<ul style="list-style-type: none"> • マレットゴルフ大会 • かみむら大運動会 • 第29回小学生、公民館卓球大会 • 春季スポーツ大会、健康講座 	<ul style="list-style-type: none"> • 「館報かみむら」発行 		
南信濃公民館 (P194～199 参照)	<ul style="list-style-type: none"> • 第25回南信濃芸術祭(廃止) • 芸術文化展示会(新規) • しいだ人形劇フェスタ2022(中止) • 遠山2地区合同人形劇フェスタ市内観劇バスツアー2022(中止) • ふるさとコンサートin遠山郷千代峠交流会(中止) • Aブロック芸能祭 	<ul style="list-style-type: none"> • 健康増進事業リラックスヨガ講座2022 • 南信濃健康まつり(中止) • 南信濃みんなにっこり大運動会 • 南信濃野球大会(廃止) • 第42回南信濃地区ソフトボール大会(中止) 	<ul style="list-style-type: none"> • 館報やまなみ発行 		<ul style="list-style-type: none"> • 遠山郷子どもひろば(運営委員会)
Aブロック公民館 (P200～201 参照)		<ul style="list-style-type: none"> • 旧市5地区野球大会 • 丘の上ポッチャ大会 	<ul style="list-style-type: none"> • Aブロック広報・館報研修会 		<ul style="list-style-type: none"> • Aブロックシニア・レディースソフトボール大会 • Aブロック女性ハレーボール大会(中止) • Bブロック館長・主事学習会(中止)
Bブロック公民館 (P202 参照)		<ul style="list-style-type: none"> • Bブロックスポーツ交流会 			<ul style="list-style-type: none"> • Cブロック情報交換会
Cブロック公民館 (P202 参照)					
Dブロック公民館 (P203 参照)		<ul style="list-style-type: none"> • Dブロックバドミントン大会 • Dブロック交流スポーツ大会 	<ul style="list-style-type: none"> • Dブロック広報事業情報交換会 	<ul style="list-style-type: none"> • Dブロック小学生交流(中止) 	

飯田市公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	妊婦さん向け講座	事業区分	継続	9	45	6	648	【初夏】6月【初秋】10月【冬】2月	羽場中央公会堂
学級・講座	<p>3回連続講座を3回開催。ママの為にのストレッツ、ベビーグッズ製作、助産師さんや他の参加者と出産の相談や出産後の子育てなどについて話し合う機会とした。</p> <p>【開催概要】</p> <p>【初夏】「ママと赤ちゃんのために」 ①16月20日「マタニティストレッツ」講師：宮澤恵子氏（助産師） ②16月27日「おしゃべりしよう」 講師：松原千尋氏（助産師）松村由美子氏（子育てアドバイザー） ③17月4日「スタイ作り」講師：下平佳世子氏</p> <p>【初秋】「ママと赤ちゃんのために」 ①10月17日 ②10月24日 ③10月31日（初夏と同内容）</p> <p>【冬】「ママと赤ちゃんのために」 ①12月20日 ②2月27日 ③3月6日（初夏と同内容）</p>	市費	継続	9	45	6	648	【初夏】6月【初秋】10月【冬】2月	羽場中央公会堂
学級・講座	<p>出産や育児等の不安を解消し、飯田で安心して出産・育児に向かっているような妊婦さんを過ごしてもらおう。</p> <p>目的</p>	事業区分	継続	1	5	5	4,367	7月30日	飯田市公民館
学級・講座	<p>日々の子育ての中で、親子が生き生きと自分らしくいられる為に大切なことを学ぶ機会とする。</p> <p>目的</p>	事業区分	継続	1	5	5	4,367	7月30日	飯田市公民館
学級・講座	<p>近年大雨等の災害や南海トラフ地震が懸念されるなか、小学校2年生～6年生の親子を対象に開催し、防災への関心を引き出すと共に、自分の住んでいる地区を知り、災害時の行動を考える機会とする</p> <p>【開催概要】</p> <p>楽しく学ぶ子育て講座 夏休み親子研究「うちの避難計画!!」 7月30日（土）9時30分～12時00分 講師：飯田市役所 危機管理室 ・ハザードマップで何がわかるの？ ・避難所体験 ・簡単にできる非常食</p> <p>目的</p>	事業区分	継続	1	5	5	4,367	7月30日	飯田市公民館
学級・講座	<p>日本語教室わいわいサロン</p> <p>毎週木曜日 10時から12時</p> <p>生活に密着した内容の会話を中心とした日本語教室 毎回参加者のニーズに応じた内容や季節の行事などを取り入れて開催</p> <p>目的</p>	事業区分	継続	43	296	38	2,136	通年	飯田市公民館
学級・講座	<p>地域在住の外国人に日本語学習の機会と生活情報を提供し、地域住民との交流を図る。</p> <p>目的</p>	事業区分	継続	43	296	38	2,136	通年	飯田市公民館
学級・講座	<p>【成果と課題】 新たな学習者も増え、参考図書や動画を参考に会話や日本の行事などを取り入れて開催した。帰国後もオンラインで参加する学習者もおり、自国の話や季節の話を交えてハイブリット開催となっている。平日の昼間という事で支援者が少なく課題となっている。</p> <p>【次年度の方針と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 子育て中の親子に知って欲しいことを夏休み親子自由研究として開催予定。</p> <p>目的</p>	事業区分	継続	43	296	38	2,136	通年	飯田市公民館
学級・講座	<p>【成果と課題】 親子参加で防災への関心を引き出すと共に、自分の住んでいる地区を知り、災害が起きた時への備え、災害時の行動を考える機会とした。子育て講座で親だけの参加では参加者が少ないので親子参加とし、夏休みの自由研究として発表してもらおう</p> <p>【次年度の方針と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 子育て中の親子に知って欲しいことを夏休み親子自由研究として開催予定。</p> <p>目的</p>	事業区分	継続	43	296	38	2,136	通年	飯田市公民館

飯田市公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	日本語教室わいわいサロンII(鼎教室)	市費	継続	8	146	17	2,136	6月13日～8月1日	鼎公民館
学級・講座	日本語教室わいわいサロンII(鼎教室) 【おしゃべりしよう】好きな飲み物はなんですか？ 【おしゃべりしよう】おいしいお茶のいれかた 【やってみよう】おいしいお茶のいれかた 【おしゃべりしよう】丁寧な話し方 【やってみよう】交通安全教室 【おしゃべりしよう】趣味(しゅみ)はなんですか 【やってみよう】野菜(やさい)を植(う)えてみよう 【やってみよう】和太鼓(わだ太鼓)体験(たいけん) 【おしゃべりしよう】ふるさとのおすすめは？ 毎週月曜 午後7時～9時	市費	継続	8	96	32	2,136	10月24日～12月12日	飯田市公民館
学級・講座	日本語教室わいわいサロンII(駅前教室) テーマ:心豊かに。飯田のくらし ① 10月24日(月)「友達になろう」 ② 10月31日(月)「書道に挑戦」 ③ 11月 7日(月)「本を読もう①」 ④ 11月14日(月)「いろいろな国のあそび」 ⑤ 11月21日(月)「買い物のこと」 ⑥ 11月28日(月)「本を読もう②」 ⑦ 12月 5日(月)「ボッチャ体験」 ⑧ 12月12日(月)「年賀状を書いてみよう」 毎週月曜 午後7時～9時	市費	継続	8	96	32	2,136	10月24日～12月12日	飯田市公民館
学級・講座	日本語教室わいわいサロンII 学習成果発表会 今までは日本語教室わいわいサロンIIで制作したビデオ等の発表、学習者の交流の場として開催してきたが、今年度は初めてスピーカーコンテスト「日本語で発表しよう」～わたしがおもっていること～を開催した。 スピーカーコンテスト、参加者交流会を実施。また飯田市内で活動している日本語教室や国際交流団体の展示も実施。事業終了後は飯田市公民館のロビーに展示をした。	他会計	継続	1	60	60	97,480	2月12日	飯田市公民館
学級・講座	日本語教室の活動を広く市民に公開し、外国人と地域住民との交流を行うことで、地域の多文化共生の意識を醸成させる。 市内における多文化共生団体や日本語教室が、課題や近況、今後の方向性について考える。市公が取組む事業及び各団体の活動へ生かす、市全体として多文化共生の推進を図る。	市費	継続	1	5	5	7	1月18日	飯田市公民館

【成果と課題】
コロナ禍で話す機会が減っている、気持ち落ち込みなどという課題があり、「ゆくりいきましよう」を企画。体験をする前に関連することは話をする回を設けるように企画実施。長野県下伊那農業高校の生徒さんに教えてもらい、野菜の寄せ植えを実施。高校を会場に実施し、学習者の方には地域の高校を知ってもらう機会とし、高校生も外国籍住民と交流する機会となった。
【次年度の方向性と取り組み】
□拡充 □現状維持 □縮小
地域住民を講師として迎え、学習者との交流を目的としている。色々なグループや地域住民の参画と学習者との交流を促進していきたい。

【成果と課題】
スポーツの秋、読書の秋、文化の秋。色々な事に挑戦しよう、「心豊かに。飯田のくらし」を開催。色々な国の遊びでは日本の遊びや学習者の国の遊びもお互いに教えてもらいながら実施し、地域住民と学び合う機会となった。
技能実習生を受け入れている会社の方も参加していただきが会社の担当者も忙しくなり、実習生も忙しくなりなかなか参加できなくなった。
【次年度の方向性と取り組み】
□拡充 □現状維持 □縮小
技能実習生も参加できるように会社などに呼びかけながら、地域住民を講師として迎え、学習者との交流を促進していきたい。

【成果と課題】
参加定員を超える申し込みがあり、わいわいサロンだけでなく他の教室からの参加者も多かったです。これまでは学習者の交流の場であったが、発表者の家族、会社の仲間、教室関係者など多くの人の参加もあり、学習者の交流、家族や関係者の交流の場となった。
【次年度の方向性と取り組み】
□拡充 □現状維持 □縮小
スピーカーコンテストと学習成果発表会とは別に開催した方がいいとの意見もあり、関係者と検討していく。

【成果と課題】
参加団体が少なく、当日体調不良で欠席となった人もいた。学習成果発表会のスピーカーコンテストでは多くの団体、教室と交流して進めることが出来たが情報交換だけでは参加が少なかった。
【次年度の方向性と取り組み】
□拡充 □現状維持 □縮小
スピーカーコンテストの運営方法やテーマ等各日本語教室の学習者の課題や様子を情報交換しながら開催予定。

飯田市公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	外国にルーツを持つ中高生のキャリア支援	事業区分 市費	2	21	19	5,512	12月2日、1月18日	飯田市公民館
	<p>外国にルーツを持つ中高生が将来の進路に不安を抱くことが多い。広い視野で将来への展望を得ることで、将来地域の担い手として活躍することにつながる。また、日本人の同世代や大人との交流の機会を通して、社会への参画が促進されるときにも、地域づくりの創出につながる。</p> <p>実施内容 飯田市公民館の飾り付けを通じて居場所づくり、関係性作りのため、「飯田市公民館をXmas versionに」を開催。作業をする中で悩みをやってみたいことを聞き、自己実現の機械とした。 また、外国由来の若者や外国人住民の方々が、自分自身のキャリア形成のヒントを得る機会として、NIHONGO & MIRAIクラブに呼びかけ～スイーツで起業した先輩から学ぶ～を開催。 調理(料理)で起業している外国人住民の方から、調理というキャリアで自己実現している方と一緒にスイーツを作る活動を通して、外国由来の若者や外国人住民の方々が自分自身のキャリア形成のヒントを得る。</p> <p>【成果と課題】 飯田市には調理(料理)で起業している外国人住民の方々がいる。調理というキャリアで自己実現している方々と一緒にスイーツを作る活動を通して、外国由来の若者や外国人住民の方々が自分自身のキャリア形成のヒントを得る機会となった。</p> <p>評価 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 国際交流推進協会、共生協働推進課と協力し合い、キャリア支援を進めていく。</p>	事業区分 継続	2	21	19	5,512	12月2日、1月18日	飯田市公民館
学級・講座	日本語教室 学習支援者スキルアップ講座	事業区分 市費	1	16	16	97,480	1月22日	飯田市公民館
	<p>日本語教室で日本語支援をする時の「多読」とは、ワークショップ形式で「日本語多読」への理解を深める。 日本語教室などで、外国人に接する機会のある日本語支援者向けに、多読入門「地域日本語教室で使ってみよう」を開催。支援者のサポート力の向上を目指す。</p> <p>実施内容 日本語教室などで、外国人に接する機会のある日本語支援者向けに、多読入門「地域日本語教室で使ってみよう」を開催。支援者のサポート力の向上を目指す。</p> <p>【成果と課題】 「やさしい日本語」のワークショップの予定であったが、「多読」を学ぶことで日本語教室での学習の幅が広がるとの事で「多読入門」ワークショップを開催。 教えないで、調べないで... ただひたすらにレベルの低いものから読むということに衝撃をうけました。個人差があるけれども、他回言語を身につける方法からこのようにはつきりしていると、信じて関わることができると思う。との感想もあった。 支援者が学ぶことでスキルアップになり、色々な支援の方法が学べた。 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 「多読入門」のワークショップを日本語教室の支援者向けに行ったが、支援者向けと地域住民に初心者向けの講座を開催し「多読」や「やさしい日本語」がさらに普及するよう講座を開催したい。</p> <p>評価</p>	事業区分 継続	1	16	16	97,480	1月22日	飯田市公民館
学級・講座	飯田市公民館 クロージングセレモニー	事業区分 市費	新規	120	120	97,480	4月29日	飯田市公民館
	<p>昭和51年に現地で建て替えにより開館した飯田市公民館は、46年に及び数多くの学習活動を支えてきた。そこに関わった市民や団体の方々によるトークセッション及び特別講演会、ステージ発表を実施した。 【トークセッション】「私と飯田市公民館～思い出を語ろう～」 登壇者：長谷部三弘氏、大澤志那子氏、市川マリ氏、田代直己氏、井上氏 聞き役：細山俊男さん(公民館運営審議会 会長) 助言者：牧野篤氏(東京大学大学院教育学研究科 教授) 【特別講演会】 講師：牧野篤氏(東京大学大学院教育学研究科 教授) テーマ：みんながつくる「社会」へ～人生100年時代の公民館と人々の学び～ 【ステージ発表】 7グループによるステージ発表</p> <p>実施内容 飯田市公民館の移転に伴い、飯田市公民館が積み上げてきた歴史や学習活動を振り返り、改めて飯田市公民館の機能や役割について確認する機会とする。</p> <p>【成果と課題】 トークセッションでは、世代を超えて、飯田市公民館との関わりや公民館の在り方について考え、話し合うことができた。 飯田市公民館と関わりの深い方が多く参加され、思い出に浸りながら、これまでの活動を振り返る機会となり、今後の公民館の機能や役割について考えることができた。 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 移転に伴う事業のため、今回のみの開催であるが、改めて、公民館の役割、機能を確認し合う機会が必要である。</p> <p>評価</p>	事業区分 新規	1	120	120	97,480	4月29日	飯田市公民館

飯田市民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	第46回飯田市民大学講座	市費	継続	5	393	10月～11月	97,480	飯田市民館	
	<p>昭和52年に開講して以来46回目を迎えた令和4年度は、伊那谷の自然と文化を学びながら、そのことが人々を育み、私たちの暮らしに直結している事を知る機会として講座を全5回実施した。</p> <p>テーマ：伊那谷の自然と文化VOL.38 ～郷土の先人に学ぶ～</p> <p>第1講 10/5 南信州の風流踊り ～新野、和合のユネスコ無形文化遺産登録申請に寄せて～ 櫻井弘人さん(南信州民俗芸能継承推進協議会アドバイザー)</p> <p>第2講 10/12 みんなが活躍する社会へ～人生100年時代の公民館と人々の学び～</p> <p>第3講 10/27 飯野 篤さん(東京大学大学院 教育学研究科教授) 飯田市美術博物館特別展「城下町飯田と飯田藩」の見どころ</p> <p>第4講 11/5 織田 顕行さん(飯田市美術博物館学芸員) 文明とエネルギー ～日本を救う水力発電～ 竹村 公太郎さん(日本水フォーラム代表理事)</p> <p>第5講 11/26 「学ぶ」「教える」を支える教育の行方 伊坪 達郎さん(下伊那誌編集委員長 松川町資料館学芸員) 山浦 貞一さん(信州大学大学院教育学研究科 特任教授) 後藤 正幸さん(前信濃教育会会長)</p>	<p>【成果と課題】</p> <p>地域に縁ある先人たちが、地道な人々の暮らしや文化・芸能、自然などをテーマとして取り上げて郷土を学ぶ学習講座である。地域で活躍されている研究者、実践者の皆さんを講師にお迎えし、新しい時代を切り拓く方途について共に考えることができた。講座毎に学んだことを振り返り、受講者同士共有することを意識し、受講生全員が何を学べたのか、今度何をしていきたいかなどをアンケート回答から共有することを実施した。成果として、個別に学ぶことだけではなく、受講者の考えていることと見える化できたことで講座から新たな発見ができた。</p> <p>また、飯田市民館が移動したことに伴い、誰でも使用できるリーススペースに講座を投影した。利用している高校生なども耳を傾ける様子もあったが、幅広い世代に受講いただけよう働きかけを行っていきたい。</p> <p>評価</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】</p> <p>□拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 □縮小 今後も独自で多様で奥深い伊那谷の自然この地域に暮らす私たちが、地域の特徴や潜在力、価値などを理解している必要がある。</p>							
学級・講座	第60回飯田市民館大会	市費	継続	34	497	2月19日	97,480	文化会館・市民館	
	<p>地域づくりの拠点である公民館は、一人ひとりの幸せや豊かな地域をつくりだすために“みんな”で考えることを大切にしてきた。社会情勢が大きく変化する時代、多様化する社会だからこそ、日頃の地域での活動を通じて人と人がつながりあうことの重要性をあらためて認識し、これからの地域のあり方、そして地域における生き方について、今一度みんなで考えあう大会として、3年ぶりとなる第60回飯田市民館大会を飯田文化会館にて開催した。(ムトス学習交流会の第6分科会のみ飯田市民館)</p> <p>大会テーマ「今こそみんなで考えよう～愉しく生きがいを感じる地域をめざして～」</p> <p>基調講演 白戸 洋氏(松本大学総合経営学部 観光ホスピタリティ学科 教授) 講演内容 「公民館で地域がよみがえる 地域づくりと公民館」</p> <p>【経過】</p> <p>第1分科会「あなたの小さな想いが、子どもの大きな成長へ」(打合せ計8回) 第2分科会「楽しい公民館活動」(打合せ6回) 第3分科会「ここで暮らすとは？地域文化から考えよう！」(打合せ計6回) 第4分科会「世代を超えたつながりづくり」(打合せ7回) 第5分科会「新しい視点で見つけよう！～自分も地域も楽しい公民館～」(計6回)</p>	<p>【成果と課題】</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の発生以降、公民館をはじめとする各種の活動が十分に行えない状況にあり、様々な社会活動や、活動を通じた地域コミュニティの維持が懸念されている。各地区が悩みながらも取り組みだ活動や課題をみんなで見守り、多々の地区で公民館委員の改選期となる年度であったが、これからも地域をどうするのではなく、地域でどう生きていくのか。自分事として考えていくことが大切であるとの基調講演での投げかけ、各分科会での事例発表・グループワークでの意見交換もあり、「今こそみんなで考えよう～愉しく生きがいを感じる地域をめざして」というテーマに沿って、参加者それぞれが今一度考え直すきっかけとなる大会となった。</p> <p>評価</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】</p> <p>□拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 □縮小 ・今年度開会行事や基調講演の時間を短縮し、分科会の時間を確保することに努めたが、結果あまり短縮とはならなかった。大会日程を今一度再考する必要がある。 ・参加者が公民館関係者だけでなく、今一度地域づくりについて考える機会として多くの方に参加してもらおう必要がある。</p>							

飯田市公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	高校生講座「東北スタディツアー」	市費	継続	11	80	5	3,000	10月～3月	飯田市公民館他
	飯田・下伊那在住の高校生を対象に、ふるさと飯田を知る学習会や東北での学びを通じて、地域資源・魅力について改めて考え、進路選択の岐路にある高校生が、ふるさと飯田を意識し愛着が持てるような機会とする。	平成25年度から海外への派遣研修を実施していたが、コロナ禍により海外への派遣研修は中断となっていた。そのため、東日本大震災で甚大な被害を受け、地域が崩壊してしまった東北を研修先にして取り組んだ。ふるさと飯田を知り、他地域に学び、将来を考えよう一連の学習活動を通して、地域に誇りと愛着を持ち、グローバルな視点で飯田をとらえ、地域の将来ビジョンを描けるような人材の育成を目指し実施。「人との出会い」を中心に据えて企画した。	市費	継続	11	80	5	3,000	10月～3月
文化事業	第46回コーラスグループ発表会	市費	継続	1	180	17グループ	—	7月3日	飯田文化会館
	各地区のコーラスグループを対象に、日頃の練習の成果発表と交流の機会をつくる	市費	継続	1	180	17グループ	—	7月3日	飯田文化会館
体育事業	第41回飯田市女性バレーボール大会	市費	継続	1	—	6チーム	—	【中止】11月13日	開催会場 上郷体育館
	バレーボールに親しむ女性を対象に、健康保持、体力増進とあわせて、相互の親睦と底辺拡大を図ることを目的に実施する	市費	継続	1	—	6チーム	—	【中止】11月13日	開催会場 上郷体育館
学級・講座	飯田・下伊那在住の高校生を対象に、ふるさと飯田を知る学習会や東北での学びを通じて、地域資源・魅力について改めて考え、進路選択の岐路にある高校生が、ふるさと飯田を意識し愛着が持てるような機会とする。	市費	継続	11	80	5	3,000	10月～3月	飯田市公民館他
	飯田・下伊那在住の高校生を対象に、ふるさと飯田を知る学習会や東北での学びを通じて、地域資源・魅力について改めて考え、進路選択の岐路にある高校生が、ふるさと飯田を意識し愛着が持てるような機会とする。	市費	継続	11	80	5	3,000	10月～3月	飯田市公民館他
文化事業	各地区のコーラスグループを対象に、日頃の練習の成果発表と交流の機会をつくる	市費	継続	1	180	17グループ	—	7月3日	飯田文化会館
	各地区のコーラスグループを対象に、日頃の練習の成果発表と交流の機会をつくる	市費	継続	1	180	17グループ	—	7月3日	飯田文化会館
体育事業	第41回飯田市女性バレーボール大会	市費	継続	1	—	6チーム	—	【中止】11月13日	開催会場 上郷体育館
	バレーボールに親しむ女性を対象に、健康保持、体力増進とあわせて、相互の親睦と底辺拡大を図ることを目的に実施する	市費	継続	1	—	6チーム	—	【中止】11月13日	開催会場 上郷体育館

飯田市公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	令和4年度飯田市二十歳の集い	市・地	継続	1	773	773	1,156	1月8日	飯田市公民館 他
その他	二十歳の集いを20歳の成人たちの「学習の機会」として捉え、実行委員会から、実行委員会の活動を通じて地域に愛着と誇りを持ち、将来における自己のあり方を見つめる機会とする。	市・地	継続	1	773	773	1,156	1月8日	飯田市公民館 他
	実施内容								
	居住地区、出身地区を基本単位に全市一斉に開催する。開催単位ごとに実行委員会を組織し、地域を挙げて20歳の成人を祝福するとともに、自らが式典等の企画運営に関わることで、一生の思い出に残るような機会となるよう取り組む。20歳の成人が実行委員会の活動を通じて地域を知り、地域とのかかわりを持つといった「学習の機会」と位置づけ、各公民館で様々な地域学習の機会をつくり、その内容を記念誌「Wish」に「地域の魅力再発見」として掲載する。飯田市二十歳の集い実行委員会で開催方法を検討し、基本的な感染対策を講じ、全員集会による開催となった。								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ふらっと会議	市費	継続	11	300	-	97,480	通年	飯田市公民館
その他	飯田市公民館が移転したムトスぶらざから、交流から学びとなり、挑戦を生み、新たな価値の創発を通して、地域を担う人材の発掘及び育成をする	市費	継続	11	300	-	97,480	通年	飯田市公民館
	実施内容								
	ムトスぶらざに集約されるヒト・モノ・コトを調整し、創発する仕掛けを考える開発コーディネーターのリーダーとして開発コーディネーターを5月から1回実施した。ふらっと会議は、ムトスぶらざで活動したい個人や団体の皆さんが、平場で情報共有や意見を交換し合う場として、フラットと誰でも参加できる会とした。								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ムトスぶらざにおける創発事業	市費	継続	8	2,760	-	97,480	通年	飯田市公民館
その他	飯田市公民館が移転したムトスぶらざから、交流から学びとなり、挑戦を生み、新たな価値の創発を通して、地域を担う人材の発掘及び育成をする	市費	継続	8	2,760	-	97,480	通年	飯田市公民館
	実施内容								
	5月に開館した施設を知ってもらうための事業、施設に入居する企業との連携事業、ふらっと会議から新しく生まれた創発事業を実施した。 ・5/21・22 ムトスぶらざオープンイベント(2,000人) (人形劇公演・アコースティックコンサート) ・6/5 松山山雅FCパブリックビューイングinムトスぶらざ (100人) ・6/26 VC長野トライデンツ バレーボール交流会inムトスぶらざ (120人) ・10/8 南信州ライフ×高校生ライブ (40人) ・12/24 ムトスぶらざのクリスマス (300人) ・10/2、2/23 ふらっとライブ (200人)								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	飯田国際交流と学びの会	他会計	継続	20	190	40	97,480	通年	飯田市公民館 他
その他	JICAから委託された草の根技術協力事業によって進める途上国の住民自治の仕組みづくりを支援する取組を通じて、飯田の地域づくりに共通する課題と解決の方策を学ぶ	他会計	継続	20	190	40	97,480	通年	飯田市公民館 他
	実施内容								
	【飯田国際交流と学びの会への支援】 ・総会の開催 ・学習会の開催 ・JICA PLSD飯田研修受入れ ・三重県東員町 研修受け入れ ・文化祭への参加(電丘・上久堅・駄科) ・国際交流のタベ参加(中止)								
	【成果と課題】 3年ぶりに飯田研修実施。イランの研修員は国内情勢の影響で参加できなかつたが4名の研修員が訪れ、飯田市の特徴、住民自治の仕組み、飯田市公民館、地区公民館、分館、公民館活動を基とした住民の活動、集落自治、内部システムと外部システム、フィリピンレガスピからの学びの経緯を学んだ。研修受け入れ前には学習会「JICA草の根技術支援事業のその後」～フィリピン レガスピ市の今～を開催し、プロジェクトマネージャーの織部氏にレガスピでの事業、その後の様子などをお聞きました。 【次年度の方角性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 【次年度の方角性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 役員改選、今後の会のあり方を検討していく。								

飯田市公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	<p>定例館長会及び幹事会</p> <p>20地区公民館の館長が、飯田市の公民館事業の企画・運営・調整を図る</p> <p>＜定例館長会＞ ①公民館の役割、館長の職責について議論し整理する ②全市共同事業の組立や情報共有を図る ③地区館事業の情報交換を行う</p> <p>＜幹事会＞ ①定例館長会の議題を協議、整理し方向付けを行う</p>	他会計	22	330	22	22	館長会、幹事会共に毎月1回	飯田市公民館他
その他	<p>実施内容</p> <p>・通年で行う館長会の協議テーマとして、「コロナ禍のこれからの公民館・社会教育と館長の役割」大人の学びと子どもの育ちをつなげる～学校との協働の取組を通して～」を掲げ、地区公民館からの話題提供を通じた研修、情報交換会、協議を実施した。</p> <p>・8月に実施を計画した研修視察についてはコロナ禍のため中止。8月の定例館長会及び幹事会も中止。</p> <p>評価</p> <p>【成果と課題】 ・新型コロナウイルスの影響により中止となる事業が多かったが、その中でも「できるところをやる」としては、結果的には延期となったが、実施に向けては感染対策や会場設営・運営方法の検討など、例をみない様々な課題に対してしっかりと議論を行い、館長会として対応することができた。 ・幹事会を館長会とは別日の1週間程度前に開催することにしたことにより、論点が明確化するとともにしっかりと意識した準備がおこなわれてきた。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 引き続き全市共同事業の企画・運営・調整の場とするとともに、地区館事業の情報交換の場としていく。</p>	継続	22	330	22	22	館長会、幹事会共に毎月1回	飯田市公民館他
区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	<p>定例主事会及び幹事会</p> <p>飯田市公民館事業の企画・運営・調整を図る</p> <p>＜幹事会＞ ①定例主事会の議事の組立立てを行う ②定例主事会で決まらなかったことに関して検討を行う ③プロジェクトの情報提供及び意見集約を行う</p> <p>＜定例主事会＞ ①業務に必要な情報の共有を図る ②研修等を通じて主事としての専門性を高める ③各館の情報共有を行う</p>	市費	24	336	21	21	幹事会、定例主事会ともに毎月1回	飯田市公民館 他
その他	<p>実施内容</p> <p>○幹事会 …主事会を活性化し、事前の組み立てを行う場 ○定例主事会 …午前 事務連絡と全市の事業の企画・運営・調整等 午後 研修(以下参照)と情報共有 5月 …「飯田コミュニケーション活動の理解を深め、公民館主事の役割を整理し、実践につなげよう」 担当:亀井、林、宮田 6月 …「子どもを対象とした事業を考える～子どもが「楽しい」だけではないの?～」 担当:Aブロック 7月 …館長会・主事会合同「地域の次世代を担う人材育成について考えよう」 担当:亀井、宮田、三ツ井 8月 …「みんなまで考えよう!明日から出来る「ふく」最初の一步」 担当:ふくしPJ(兼PJ中間報告) 9月 …「地区公演でのαの取組と学校人形劇について」 担当:人形劇PJ(兼PJ中間報告) 10月 …「高校生を知ろう、考えよう」 担当:次世代育成PJ(兼PJ中間報告) 11月 …「事業を組み立てるにあたっての視点を養おう ～各地区重点事業を切り口に～」 担当:Cブロック 12月 …「社会教育とデジタルツール ～ツールを駆使してより良い仕事を～」 担当:Bブロック 1月 …「実践から考える公民館主事の役割」 担当:Dブロック担当 2月 …プロジェクト総括に向けた意見交換 3月 …プロジェクト総括、社会教育主事講習受講者報告会</p> <p>評価</p> <p>【成果と課題】 コロナ禍であったが、各地区事業展開が活性化し始めたことにより、実践を通して各主事の考え方や姿勢を学ぶことができた。 ＜研修＞ 昨年よりも学んだことを自館の事業に落とし込めたのではないかと。昨年に比べ、各館で様々な事業が実施できたことで、事業を通して聞こえてくる住民の声や思い(コロナに対するもの以外)と研修で学んだ考え方や物事の捉え方を繋ぎ、主事としてどう考えようかを学ぶことができた。 ・地域の課題が地域によってさまざまなか、PJで話し合うことでより多角的に課題をとらえることが出来る機会となっている。住民自治と人材育成を共通テーマとして、主事としての知識はもろろんのこと、事業の組み立てに関わる方法など様々な視点で学びを深めることができた。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 ・主事会に主事全員が同じ気持ちで臨めるよう、ブロック主事会における検討或いは協議事項については情報の正確な共有化を図るために、要旨をまとめた記録が必要だと確認した。議事録まで求めないが、幹事会としてブロック主事会に協議を求める場合の手法について検討し、主事同士が十分に学び合える環境づくりの推進を図りたい。 ・①幹事会で協議事項並びに論点を整理する。②ブロック主事会でしっかり話し合う。③主事会が共有しながら議論や対話を重ねる。この一貫性を再認識し、定例主事会の充実を図りたい。</p>	継続	24	336	21	21	幹事会、定例主事会ともに毎月1回	飯田市公民館 他

飯田市公民館の事業報告

No.9

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	次世代育成プロジェクト	事業区分 市費	25	175	7	7	実施内容参照	各公民館 他
その他	高校生と大人が関わる活動の中でお互いが学び合い、地域内の次世代育成の意識が高まるとともに、各地区で若者主体の活動が活発になるための取り組みを検討・実施する							
目的	高校生と大人が関わる活動の中でお互いが学び合い、地域内の次世代育成の意識が高まるとともに、各地区で若者主体の活動が活発になるための取り組みを検討・実施する							
実施内容	<p>【活動目標】</p> <p>(1) 地域主体の高校生と大人が関わる講座を実施し、双方の学びを実現するとともに、地域人教育担当地区以外での高校生との関わりを強化を行う。</p> <p>(2) 地域人教育のあり方を考え直し、主事会としての関わり方を整理する。</p> <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(1) 高校生講座(夏・春) ・飯田下伊那の高校生全体に向けた地域主体の講座を企画し、高校生の新たな価値観の獲得や、地域の大人の主体的な関わりからの学び等を目的に据え、各地区での活動につなげるためのモデル事業に位置付け計画した。 ・夏講座「ひとと夏のふるさと体験 ～青春編～」 ・龍江をフィールドとした2泊3日のキャンブ・農家民泊 ・春講座「春休み高校生講座」 ・羽場・龍江2地区3講座を用意し、希望する内容を選択して参加してもらう (2) 10月主事会研修「高校生を知らう、考えよう」 ・前期の活動を振り返り、地域と高校生が関わる意義を主事会全員で確認し、後期の活動に向けて考えるための研修を実施した。飯田OIDE長姫高校の國松秋穂先生から、高校生の現状・実態、先生の思いなど、主事目線では見えないことをお聞きし、地域人教育での高校生との関わり方や高校生が地域で学ぶ意義についてまとめた。 (3) 飯田OIDE長姫高校 地域人教育 <ul style="list-style-type: none"> ・地区型6(羽場、丸山、座光寺、龍江、県、上郷)、全市型1 ・PJ会議で進捗状況や進め方などを確認しながら実施した。 ※実施内容は各地区の事業報告を参照 (4) 地域人教育のあり方検討 <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の地域人教育や高校生講座の組み立てを踏まえ、来年度以降の地域人教育への関わり方についてPJ内で検討し、小委員会や推進委員会内で共有を行った。 							
評価							<p>(1) 地域が主体となる講座の企画を通して</p> <p>① 地域側の意識の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校ではなく、地域が主体となる高校生講座を企画し、地域の人達と関わりながら募集まで実践することができた。地域の中で関わってくれた大人の力は、講座の企画を通して、若い世代が地域を元気にすること、人を笑顔にする農業ができていくことなどを再認識し地域で高校生と活動をしたいという意欲がより強くなった。 ・地域の大人が高校生と一緒に改めて学んでいくことで、自分が高校生(次世代)を育てるという意識の醸成や地域における自分の役割について考えるきっかけとなった。 <p>② 主事会の力量形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏の講座が「申込者0人」という結果になってしまい、主事の力量不足に向き合うことができた。授業のように強制力のない高校生対象講座(=高校生が地域に参加してみようと思ってもらうこと)の難しさを痛感し、その反省(高校生のニーズ把握、講座の組み立て方、参加募集方法など)を後期活動に生かすことができた。 ③ 春休み高校生講座から見えた成果・課題 <p>【成果】高校生が地域で頑張っている学校・家族以外の大人の生さざまに触れて、地域に目を向けたり新たな価値観を得たりするきっかけになった。</p> <p>【課題】半日の講座では、目標としていた「今後の生き方について考える」ことまでは至らなかった。</p> <p>準備時間・労力に対する数量的な成果(参加者)が少ない。</p> <p>→今後は講座に限らない手法の検討が必要。</p> <p>(2) 地域人教育</p> <p>① 今年度の地域人教育での成果(高校生・地域の学び)</p> <p>ア 高校生の学び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の3年生は1年次からコロナの影響で入学当初から休校になるなど、1年でもコミュニケーションを図る機会が少なかった年代だった。年度当初はグループで話し合ったり自分の意見を出すことが難しい状況もあったが、一年間の活動を通して、人とのコミュニケーションを取る機会も増え、自分の思いを表現することができるようになった。 ・一年間の活動を通して、活動した地域はもちろん、自分の住む地域にも関心や愛着を持つことができた。 <p>イ 地域への効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人が高校生の活動に興味を持ち、高校生に刺激を受け自分たちの活動を振り返り、活動の充実につながったり、高校生の発想からヒントを得て、自分たちの取り組みに活かすことにつながりたりするケースが確認できた。 <p>② 来年度以降の地域人教育への関わり方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主事が高校生との関わりを学ぶ貴重な機会であり、その経験を自館の取り組みに活かしている。多くの地区で高校生との取り組みを増やしていくには、多くの主事が経験していく必要がある。 ・3年生の課題研究については、10年間の蓄積の中で学びのポイントや三者の役割が確立し、授業のパッケージ化ができつつある。授業の目的を主事と先生で共有し、それぞれの役割を明確にして活動していく事が求められる。 	

飯田市公民館の事業報告

No.10

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
人形劇プロジェクト		事業区分 他会計	25	200	8	8	通年	地区公民館
その他	<p>人形劇フェスタ地区公演への支援を通して、文化の保存や継承についての課題を洗い出し、地域に根づく文化の価値・魅力について検証する。</p> <p>【活動目標】 (1) 感染症対策への対応に終了することなく、各地区で関わる人たちが前向きに楽しく取り組むことができるよう人形劇フェスタ地区公演への支援を行う。 (2) 前期の活動を通して、地域の文化に携わる実践者の抱える悩みや課題を洗い出し、解決に向けた実践に取り組むことで、文化の課題や価値・魅力について検証する。</p> <p>【活動内容】 人形劇プロジェクトでは年度当初、上記の活動目標に向かって取り組みをスタートした。新型コロナウイルス感染症の影響により7月末に人形劇フェスタ2022中止が決定したことを受け、人形劇に取り組む児童・生徒にとつて発表の場、お互いの劇を観合つ場、感觸を伝えあつ場として、学校人形劇発表交流会「学校人形劇の祭典2022」の企画運営を行った。これらの実践を踏まえた上で、主事向け資料「地区公演の指南書」の作成を行った。 (1) 人形劇フェスタ2022地区公演に向けた取り組み ・地区公演会場責任者会 5/18(水)上郷公民館、5/19(木)竜丘公民館、プレフェスタ 7/15(金)伊賀良公民館、麻績の館、7/16(土)千代公民館、鼎公民館 ・地区オリジナル企画、電車バスツアー情報交換会(地区企画公演調整委員会) 7/14(木) 松尾公民館 ・コロナ対策ガイドラインの修正、劇人検査フローの作成 ・スタンブラリー(プレフェスタよりスタート・人形劇フェスタ中止に併せ中止) ・主事会ポロシャツ制作 (2) 人形劇フェスタ2022中止に対する取り組み ・学校人形劇発表交流会「学校人形劇の祭典2022」 日時:10/30(日) 会場:飯田市公民館、山本公民館 参加:市内小中学校 9校・児童生徒 112人 講師:人形劇団あつけらん♪、人形劇団むすび座 ・人形劇フェスタを盛り上げる主事会企画「巨大ほおと水引ストラップ作成」(フェスタ中止に伴い、学校人形劇の祭典にて披露・プレゼント) (3) その他の取り組み ・地区企画公演調整委員会7/7(木)、7/14(木)、9/5(月)、3/8(水) ・主事向け資料「地区公演の指南書」の作成 ・自主研修「人形劇の町・飯田」を読む会</p>	<p>【活動目標】 (1) 感染症対策への対応に終了することなく、各地区で関わる人たちが前向きに楽しく取り組むことができるよう人形劇フェスタ地区公演への支援を行う。 (2) 前期の活動を通して、地域の文化に携わる実践者の抱える悩みや課題を洗い出し、解決に向けた実践に取り組むことで、文化の課題や価値・魅力について検証する。</p> <p>【活動内容】 人形劇プロジェクトでは年度当初、上記の活動目標に向かって取り組みをスタートした。新型コロナウイルス感染症の影響により7月末に人形劇フェスタ2022中止が決定したことを受け、人形劇に取り組む児童・生徒にとつて発表の場、お互いの劇を観合つ場、感觸を伝えあつ場として、学校人形劇発表交流会「学校人形劇の祭典2022」の企画運営を行った。これらの実践を踏まえた上で、主事向け資料「地区公演の指南書」の作成を行った。 (1) 人形劇フェスタ2022地区公演に向けた取り組み ・地区公演会場責任者会 5/18(水)上郷公民館、5/19(木)竜丘公民館、プレフェスタ 7/15(金)伊賀良公民館、麻績の館、7/16(土)千代公民館、鼎公民館 ・地区オリジナル企画、電車バスツアー情報交換会(地区企画公演調整委員会) 7/14(木) 松尾公民館 ・コロナ対策ガイドラインの修正、劇人検査フローの作成 ・スタンブラリー(プレフェスタよりスタート・人形劇フェスタ中止に併せ中止) ・主事会ポロシャツ制作 (2) 人形劇フェスタ2022中止に対する取り組み ・学校人形劇発表交流会「学校人形劇の祭典2022」 日時:10/30(日) 会場:飯田市公民館、山本公民館 参加:市内小中学校 9校・児童生徒 112人 講師:人形劇団あつけらん♪、人形劇団むすび座 ・人形劇フェスタを盛り上げる主事会企画「巨大ほおと水引ストラップ作成」(フェスタ中止に伴い、学校人形劇の祭典にて披露・プレゼント) (3) その他の取り組み ・地区企画公演調整委員会7/7(木)、7/14(木)、9/5(月)、3/8(水) ・主事向け資料「地区公演の指南書」の作成 ・自主研修「人形劇の町・飯田」を読む会</p>	<p>【成果と課題】 本年度のPJでの実践を通じて得た学びとして「+α」[学校人形劇]の2点を挙げ、住民自治・人材育成の観点からまとめる。 (1) 本PJでは「+α」を、地区公演を企画運営するスタッフにとつて『来てくれる人(観劇者や劇人)だけでなく、自分たちも楽しむためのちよつと工夫』と定義した。現状、「人づくり」に携わる公民館主事は「+α」を通じて、実行委員の主体性や自主性を養い、地区公演を自分たちのものにしてもらうことを大切にしていることが見えてきた。 そのうえで、地区実行委員の主体性や自主性を大切にしながら「+α」をきつかけに、地域に目を向けてもらいたい、さらには、地域の中での自分(たち)の役割や居場所を実感してもらうという意識で仕掛けることを意識し、地区実行委員と地区公演を作り上げていくことが大切である。 (2) 学校と地域が協力して活動を行う際には、共に子どもの学びや育ちを考えると、この事を、地域と学校を繋ぐ主事自身が本PJで学ぶ中で理解できたことは成果と言える。また、学校人形劇を行う上で、実務を扱う主事と学校の先生との関係が非常に重要であることが整理できた。人形劇を通して得られる子どもの学びについて共有できる存在(パートナー)となることが理想の姿であり、今後そのような姿を目指したい。 さらに、学校人形劇の活動を通して得られる「子どもの学び」だけでなく、「地域の大人の学び」についても整理した。2つの学びを得るには、地域と学校を繋ぐ役割を果たす主事の働きかけや意識によるところが大きく、子どもと地域の大人双方が互いに頑張る姿や顔などを想像できるようにすることが、私たち主事が意識すべき第1歩なのだと感じる事ができた。 (3) 上記から、人形劇の活動を通して、地域の方は、「全市の事業だが、自分たちの公演を計画する」「関わる人の顔が想像する中で自分ごとになり、わくわく感が生まれる」「+αで地域のことについて考える」など、住民自治に関わる多くの要素を持っていることを整理してきた。地域の実情を踏まえて地区公演を考える過程はまさに人材育成の場であるし、住民自治の訓練となる。 地区内の多くの人が関わる人形劇の取り組みは、様々な気付きや新しい考えが生まれる余地がある。主事の考えも様々だが、目指すべき姿や意識すべき視点を共有することは、とても大切だと感じた。 【今後に向けて】 来年度、新しく主事になられた方に指南書を活用した研修会を実施し、大切にしていることや主事が意識したいことなどを共有していきたい。</p>	<p>評価</p>				

飯田市公民館の事業報告

No.11

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ふくしプロジェクト	新規	新規	15	200	9	9	通年	地区公民館
その他	<p>目的</p> <p>(1) 公民館を身近に感じてもらえるようにする。 (2) 公的な支援だけでは対応が難しい制度の陳問のような課題について、公民館ができることを整理する。 (3) 支え手側と受け手側に分かれるのではなく、地域住民が役割を持ち支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成するたため、「ふくし」を通じた住民の学びのサイクルを構築する。</p> <p>実施内容</p> <p>【活動目標】 (1) 人や地域、関係機関とのつながりを深める (2) 地域の方の声に耳を傾け、公民館ができることを考える (3) 住民の支え合いの輪を広げる</p> <p>【活動内容】 ふくしプロジェクトでは年度当初、上記の活動目標に向かって取り組みをスタートした。取り組みにおける取り組みが進まない要因として、課題を把握するのに時間がかかることや、ネットワークやノウハウが足りないため実践に繋げづらいという課題があげられた。 そこで、聞き取り等による現状把握をした上で課題を設定し、実践に繋げ、その実践から成果や課題把握に繋げるという取り組みを、研修会等への参加による課題把握と並行して行った。 ・地域福祉コーデイネーター学習会への参加 ・初心者スマホ講座(飯田コアカレッジとの連携) ・長崎チャイルドキャンプ×多田さん(フレンチシェフ)との料理教室 ・福祉課障害福祉係との連携(障がい者の文化芸術振興) ・各種研修等への参加</p>	<p>【成果】</p> <p>(1) 人や地域、関係機関とのつながりを深める ○地域福祉コーデイネーター学習会への参加 ・成果：基本情報システムの更新を行うことで地域の現状を知ることができた。 (2) 地域の方の声に耳を傾け、公民館ができることを考える ○初心者スマホ講座 ・成果：地域の方が集うきっかけ作りができ、集いの場ができそうな地区もある。また、スマートフォン利用が住民の共通課題となりうることが分かった。 (3) 住民の支え合いの輪を広げる ○多田さん×おさひめチャイルドキャンプとの取り組み ・成果：地域貢献をしたと思うている方と地域を繋ぐことができた。 【公民館の役割・主事の役割】 ・活動を通して、支援者・当事者・関係機関が、公民館・主事に求めているものは以下のようなものであることが見えてきた。公民館の強みは、様々なジャンル(人や機関)を横断的に繋ぐことができることであり、公民館が福祉分野に目を向け、取り組んでいくことで、地域福祉の充実に繋がるということが期待される。 ①公民館の役割…「活動場所」、「活躍の場」 ②主事の役割…「広報・周知」、「理解・相談役」、「協働していける団体とのつながり」 ③今後に向けて ・まだまだ福祉分野での課題把握は不十分であり、今後も、地域の皆さんと話し合いの機会を大切にして、主事たち自身が地域を見る目を養っていく必要がある。また、今年度できた様なつながりが自然に生まれ、そのつながりを人々異動があっても途切れないようにする仕組み作りを検討していく必要がある。 【総括】 当初、一般論だけでは実践に移すことが出来なかった。そこで、様々な方の声を聞き、具体的な課題の把握に努めた。こうした地道な活動がプロジェクトや各館での実践に繋がった。また、出来ることから取り組み、その過程で新たな課題の把握や、人や団体、活動等を知ることができ、学習活動の起こし方が多岐に渡るということを実感した。一方、こうした取り組みを通じて公民館と関わった方々が、様々な出会いを通じて価値観の交差や気付きを得ることが「学び」に繋がったと言え、こうした学びに繋がるような働きかけを意識する必要がある。また、公民館と関わった方々が活動等を通じて「様々な人や団体、活動等と繋がっていきたい」と感じてもらったことで「公民館が身近になった」と言え、こうした積み重ねが、さらなる課題把握や実践に繋がっていくと思われる。今後は、上記を意識しながら、公民館が住民の方にとっても身近な学びの場となるように取り組んでいきたい。</p>	<p>評価</p>						

橋北公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
学級・講座	(橋北・橋南・東野)3館合同乳幼児(2歳児)学級	市・地	継続	18	82(組)	7(組)	18(人)	実施内容参照	橋北公民館ほか	
	<p>橋北・橋南・東野地区の2歳児とその保護者を対象に、親子、子ども同士の触れ合い、親同士の交流の機会を作り、子どもの健全な成長を図る。</p> <p>【開催概要】 ①5/24開講式 ②6/7親子ふれあい遊び、小麦粉遊び、ゆいきつずのお知らせ ③6/21飯田動物園へ行こう！ ④7/5図書館へお出かけ ⑤7/19リズムク1 ⑥8/23子ども言葉を育てよう ⑦9/6親子で一緒にわらべうた ⑧9/20おそさんの歯の話、お母さんのための歯周病予防のお話、絵を描いて遊ぼう ⑨10/20消防署の見学 ⑩11/1おやつの話、親子ふれあい遊び ⑪11/18絵本の読み聞かせ ⑫12/6クリスマス会の準備 ⑬12/212歳合同クリスマス会 ⑭1/17お正月遊びをしよう ⑮2/7節分(豆まき遊び) ⑯2/21リズムク② ⑰3/1記念品づくり ⑱3/14開講式 お楽しみ会</p>	東中学校区3館合同で開催している乳幼児学級で、橋北が2歳児を担当。内容は学習と交流に重点を置き参加保護者と相談し決定する。保育士：水谷幸子先生	市・地	継続	18	82(組)	7(組)	18(人)	実施内容参照	橋北公民館ほか
学級・講座	<p>橋北・橋南・東野地区の2歳児とその保護者を対象に、親子、子ども同士の触れ合い、親同士の交流の機会を作り、子どもの健全な成長を図る。</p> <p>【開催概要】 ①5/24開講式 ②6/7親子ふれあい遊び、小麦粉遊び、ゆいきつずのお知らせ ③6/21飯田動物園へ行こう！ ④7/5図書館へお出かけ ⑤7/19リズムク1 ⑥8/23子ども言葉を育てよう ⑦9/6親子で一緒にわらべうた ⑧9/20おそさんの歯の話、お母さんのための歯周病予防のお話、絵を描いて遊ぼう ⑨10/20消防署の見学 ⑩11/1おやつの話、親子ふれあい遊び ⑪11/18絵本の読み聞かせ ⑫12/6クリスマス会の準備 ⑬12/212歳合同クリスマス会 ⑭1/17お正月遊びをしよう ⑮2/7節分(豆まき遊び) ⑯2/21リズムク② ⑰3/1記念品づくり ⑱3/14開講式 お楽しみ会</p>	東中学校区3館合同で開催している乳幼児学級で、昨年1歳児学級で実施したパパ教室について2歳児でも実施を検討する。保育士：水谷幸子先生	市・地	継続	1	6(組)	7(組)	18(人)	10月4日(火)	橋北公民館
学級・講座	<p>地域住民を対象に、連続意図、仲間作り、交流と学習の場の機会提供を図る。</p>	地域住民を対象に、連続意図、仲間作り、交流と学習の場の機会提供を図る。	市・地	継続	1	25	25	5月27日(金)	飯田市公民館	
学級・講座	<p>地域住民を対象に、連続意図、仲間作り、交流と学習の場の機会提供を図る。</p>	地域住民を対象に、連続意図、仲間作り、交流と学習の場の機会提供を図る。	市・地	継続	5	70	70	実施内容参照	橋北公民館ほか	
学級・講座	<p>地域住民を対象に、連続意図、仲間作り、交流と学習の場の機会提供を図る。</p>	地域住民を対象に、連続意図、仲間作り、交流と学習の場の機会提供を図る。	市・地	継続	5	70	70	実施内容参照	橋北公民館ほか	

橋北公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	北斗のまち・さわやか講座～番外編～	市・地	継続	1	29	29	2,827	11月24日(木)	橋北公民館
	地域住民を対象に連帯意識、仲間作り、交流と学習の場の機会提供を図る。	<p>月に1回、地域内在住の方を中心に講師として招き、身近な内容について学習する。内容については、まちづくり委員会とも連携を図りながら、住民の要望に沿ったものを実施。</p> <p>【開催概要】 テーマ「人生会議について」 講師：飯田市立病院 山田武志先生</p>							
学級・講座	地域住民を対象に、知識を伝えること、残すこと、脈わくことを目的に地域資源の活用を目指す。	市・地	新規	6	49	49	2,827	実施内容参照	開催会場 橋北公民館ほか
学級・講座	今さら人に聞けない講座	市・地	新規	6	49	49	2,827	実施内容参照	開催会場 橋北公民館ほか
	地域住民を対象に連帯意識、仲間作り、交流と学習の場の機会提供を図る。	<p>2か月に1回、地域内在住の方を中心に講師として招き、住民の方が感じる、「今さら人に聞けない」話を取り上げる。内容については、より身近な内容にするため、窓口での会話をヒントに決定する。</p> <p>【開催概要】 ①7/14 リニアのことどれぐらい知ってる？ 講師：飯田市リニア推進部 ②9/15 備えあれば憂いなし！ もしもの時に備えよう 講師：飯田市危機管理課 ③11/10 マイナンバーってなんだろう？ 講師：原満輝さん ④1/12 橋北のホームページを見てみよう！</p>							
学級・講座	北斗のまち・さわやか講座(郷土学習)	市・地	継続	1	6	6	2,827	1月27日(金)	開催会場 橋北公民館
	地域住民を対象に、知識を伝えること、残すこと、脈わくことを目的に地域資源の活用を目指す。	<p>月に1回、地域内在住の方を中心に講師として招き、身近な内容について学習する。内容については、まちづくり委員会とも連携を図りながら、住民の要望に沿ったものを実施。</p> <p>【開催概要】 内容：春草かるたを知ろう！ やってみよう！ かるたについての解説を行った後、実際にかるたで遊んでもらう時間を設けた。</p>							

橋北公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	今さら人に聞けない講座(環境講座)	市・地	継続	1	5	5	2,827	5月12日(木)	橋北公民館
	地域住民を対象に連帯意識、仲間作り、交流と学習の場の機会提供を図る。	市・地	継続	1	5	5	2,827	5月12日(木)	橋北公民館
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2022橋北地区公演	市・地	継続	-	-	-	-	実施内容参照	開催会場 橋北公民館ほか
	地区内外の観劇者を対象に、地区内実行委員会がフェスタを盛り上げ、人形劇の楽しさを味わうことを目指す	市・地	継続	-	-	-	-	【成果と課題】 フェスタを行うこと、行うための感染対策の話し合いに注視してしまい、参加者が楽しむための工夫を考えることができなかった。 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 劇団の方に来てもらうだけでなく、フェスタの機会を活用して参加者が楽しめる企画を検討したい。	開催会場 橋北公民館ほか
文化事業	32年ぶりに橋北公民館を会場に開催。橋北地区基本構想について知り、考えてもらう機会とし、まちづくり委員会や基本構想の各分科会と連携して実施した。	市・地	継続	1	300	300	2,827	6月25日(土)、6月26日(日)	開催会場 橋北公民館
	橋北地区住民を対象に、各種団体の展示・発表を通じて住民相互の交流を目指す	市・地	継続	1	300	300	2,827	6月25日(土)、6月26日(日)	開催会場 橋北公民館

橋北公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	事業区分	予算区分	開催回数	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	文化研修旅行	継続	地区費	1	32	32	32	2,827	3月4日(土)	伊勢市
	<p>地域住民を対象に、他地区の文化について、現地ですぐお話し合いを図る</p> <p>【開催概要】 文化育成部員が企画運営し、参加者が事前学習会で行先の歴史・文化等を学ぶことにより、単なる旅行ではなく、研修旅行として実施する。行先については、文化育成部会で検討する。 【開催概要】 「海の幸満喫 伊勢・相差の旅」</p>	文化育成部員が企画運営し、参加者が事前学習会で行先の歴史・文化等を学ぶことにより、単なる旅行ではなく、研修旅行として実施する。行先については、文化育成部会で検討する。 【開催概要】 「海の幸満喫 伊勢・相差の旅」	【成果と課題】 感染症対策として、二人一組の申込制とした。かねてから希望のあった伊勢神宮を先行とし、文化育成部で旅のしおりを作成。バスの中で事前学習会を行った。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 文化研修旅行を多世代交流の場としてや、普段公民館に来ることがない方をお誘いする機会として次年度も企画したい。							
体育事業	まちづくり×公民館 クラブ交流会(春)	継続	地区費	1	44	44	44	100	4月17日(日)	浜井場小学校
	<p>地域住民を対象に、クラブを通じて住民相互の交流を図る</p>	まちづくり委員会、公民館の役員に合わせ2年に1度開催してきたが、コロナ禍で顔を合わせることが減ってしまったため、改選期ではないが今年度も開催。 競技は囲碁ボールを予定していたが、コロナの影響で体育館が使えなくなつたため、クラブやってみたらどうかと声が上がりが、競技を変更して実施することできた。	【成果と課題】 始めてクラブをやる方がほとんどであったが、試合前に体育育成部員によるデモンストラレーションを行うことでルールを理解し、子どもから大人まで楽しんでもらうことができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 改選期ではないが実施したことについて意見等はなく、好評だったため来年度以降も継続して計画したい。							
体育事業	まちづくり×公民館 クラブ交流会(秋)	継続	地区費	1	42	42	42	100	9月18日(日)	浜井場小学校
	<p>地域住民を対象に、クラブを通じて住民相互の交流を図る</p>	まちづくり委員会、公民館の役員に合わせ2年に1度開催してきたが、コロナ禍で顔を合わせることが減ってしまったため、改選期ではないが今年度も開催。 春の交流会の競技をクラブに変更したため、秋を囲碁ボールにする案もあつたが、せっかく覚えているクラブをもう一度やろうと秋の交流会もクラブで実施した。	【成果と課題】 春にルールを覚えてくださった役員さんが多く出て来てくれたため、参加者同士でルールを確認しあいながらできた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 今年度は役員の交流会として開催したが、来年度は一般向けのクラブ交流会を計画する。今年度役員として参加してくださった方が一般として参加し、広めていく仕組みを作りたい。							
体育事業	橋北市民運動会	継続	地区費	1	500	500	500	2,827	10月9日(日)	浜井場小学校
	<p>地域住民を対象に、住民の総参加、総運営で地域の運営意識の向上、住民相互の交流を図る</p>	台風、コロナの影響で4年振りの開催となった。コロナ対策として半日開催となり種目も減少したが、恒例の人気種目は残りコンバクトでまとまりのある運動会ができた。	【成果と課題】 コロナ禍でもできる運動会を、をテーマに、昨年度検討したプログラムをベースに今年度の開催に向け、体育育成部を中心に協議を重ねた。 運動会をきっかけに町内で久しぶりに顔を合わせた方も多く、つながりを再確認できる機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 年に一度の地区住民が集結できる場として引き続き実施していく。参加してくれたそれぞれの世代が活躍できるようなプログラムを検討する。							

橋北公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	橋北地区スポーツ大会	地区費	継続	1	50	50	2,827	1月29日(日)	2,827	1月29日(日)	浜井場小学校
	目的	昨年度、運動会中止に伴い実施したスポーツ大会であったが、毎年実施してほしいという声を多くいただいたため今年度も実施。当初の予定では11月に開催する予定だったが、コロナの感染状況を鑑みて1月に延期した。 競技：囲碁ボール、ポッチャ	【成果と課題】 誰でも楽しむことができるニュースポーツを通じて世代を超えて交流することができた。公民館で毎月行っている囲碁ボール部の方も参加することができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☑現状維持 □縮小 11月の開催は運動会からあまり時間が経たず、役員負担感や参加者数の減少につながるかと考え、次年度以降も1月頃の開催を予定する。	評価							
広報事業	館報橋北	地区費	継続	5	103	9	2,827	実施内容参照	2,827	開催期日	開催会場
	目的	公民館事業にかかわらず、地区内の様々な事業・会議などについて情報収集し、館報「橋北」を通じて発信を行っている。1号発行につき、広報部会を3回開催。 266号(6/14)、267号(9/13)、268号(12/13)、269号(2/14)、270号(3/28) 同じ町内であっても、小学生や中学生と顔を合わせる機会が少ないと感じていたことがきっかけで橋北地区内の小学生・中学生を取り上げる「聞かせて橋北Jr.」の掲載始めることとなった。	【成果と課題】 コロナ禍で掲載する記事を悩む会議が続いた際に、「活動記録で終わらない館報」にするためにはどうしたら良いか検討し、その悩みをもとにAブロックの館報・広報研修会を計画してきた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☑現状維持 □縮小 「聞かせて橋北Jr.」については、地区内のつながり作りのきっかけになると考え、来年度以降も引き続き掲載する。 来年度も引き続き「活動記録で終わらない館報」を目指して活動していく。地区内の「ヒト・コト・モノ」について知るきっかけになるような館報作りに取り組みたい。	評価							
育成事業	しめ飾り講習会	市・地	継続	1	38	38	2,827	12月4日(日)	2,827	開催期日	開催会場
	目的	地元住民を講師に招き、伝統文化の体験・継承、多世代交流を図る。 講師は地区住民の方にお願ひし、開催。 例年もちつき大会を行っていたが、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みもちつき大会は中止とした。参加者へ地区区内にあるお菓子屋の白玉ぜんざいを配布した。 講師：宮崎栄治さん、竹本良男さん、上原伸彦さん	【成果と課題】 コロナの影響で3年振りの開催となった。親子の参加はもちろん、3世代で参加してくださる方もおり多世代交流の場となった。 講師を地区住民の方にお願ひし、話合いながら教わることでつながり作りにもなった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☑現状維持 □縮小 もちつき大会がなかった分、参加者が少ないように感じた。地域でできる体験として、来年度以降も実施する。 今後も小学校と連携した事業展開ができるように計画していきたい。	評価							
育成事業	新春書初め大会	市・地	継続	1	19	19	2,827	1月4日(水)	2,827	開催期日	開催会場
	目的	地区住民を講師に招き、書初め指導や筆の使い方などを習うとともに、正月行事の意味を話すことで、文化の継承と世代間交流の促進を図る。 親子の参加だけでなく、大人の参加も募集。 参加募集のチラシの裏面に、書道用の下書き寄付のお願いを掲載したところ、地区内の4名の方から寄付いただいた。 講師：田中美智子さん、三浦満弓さん(南信書道会)	【成果と課題】 親子の参加や、おさひめチャイルドキャンプの子どもたちが参加してくれた。地区の方へ講師をお願ひすることで、つながりができた。上手に書けたところを褒めながら、さらに上達するようアドバイスをしていただいたことであまなごの感を得ると共に、地区の大人に褒められる経験ができた。 書道の時間が終わるとあたらしく春草かるたを実施し、みんな楽しんで楽しむことができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☑現状維持 □縮小 次年度以降も地区の方へ講師をお願ひし続けていきたい。書道を習っている学生等にスタッフとして来ていただけたら、という声もあつたので検討したい。	評価							

橋北公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	令和2年度橋北・橋南・東野地区成人の集い	市・地	継続	1	69	69	105	5月4日	橋南公民館
	<p>新成人を対象に、学習の場をつくり、活動を通じて地域への愛着、誇りを持つような機会とする</p> <p>【開催概要】 ・成人式実行委員会を開催し、成人式の企画、準備 ・記念撮影、式典、先生方のサプライズ、交流企画の実施 など</p>	橋北・橋南・東野地区の東中学校区合同で該当者有志、公民館委員等で組織する実行委員会体制で実施。前年の8/7に実施するべく準備を進めてきたが、新型コロナウイルスの影響で中止となり、代替え事業を1月から計画して実施した。	【成果と課題】 前年度の8月7日での開催に向けて準備を進めてきたが、残念ながら中止となつた。しかし、実行委員の方たち何とかがしてやりたい！という強い気持ちから代替え事業を計画した。感染症対策をしながらも思い出しに残る会となるよう、工夫を凝らした内容で実行委員が主体的に計画し、地区実行委員も新成人たちの思いに出来る限り添える形での式典準備を進めてきたことで、当日の実行委員の一体感、満足度は高かったように感じている。この経験が、これからの人生も頑張っていきたいという感想ももたらせてくれた。	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 今後も、実行委員のモチベーションや主体性を大切にしながら、開催に向けた企画・準備を進めていきたい。					
合同事業	ふるさとコンサート(橋北・橋南・東野三館合同)	市・地	継続	1	50	50	8,071	7月17日(日)	橋南公民館
	<p>地域住民を対象に、身近な場所でプロの演奏家による音楽を楽しめる機会の創出を図る。</p>	橋北・橋南・東野地区の3公民館が共催し、各公民館の文化委員会を中心とした専門委員が協力して実施した。 演奏者:Flourescer(フローセル)	【成果と課題】 高レベルの生演奏の音楽を身近な場所でも楽しむ機会として実施。新型コロナウイルス感染症の感染拡大で、3年ぶりの開催となった。橋南夏祭りと同じ日に開催し、当日夏祭り参加者へも各公民館の専門委員が協力し合い、チラシを配布するなどPRを行った。プロの音楽家による演奏を聴く機会の提供は、地区住民にとって貴重な機会であるため、次年度も3公民館で相談しながら進めていきたい。	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 地区住民にプロの音楽家の演奏を身近な場所でも聴く貴重な機会として、3公民館で相談しながら、取り組んでいきたい。併せて中学校の吹奏楽部がプロと交流できる機会にできないか、学校と実行委員会と相談しながら検討する。					
合同事業	令和4年度橋北・橋南・東野地区二十歳の集い	市・地	継続	1	70	70	108	1月8日(日)	飯田市公民館
	<p>新成人を対象に、学習の場をつくり、活動を通じて地域への愛着、誇りを持つような機会とする</p> <p>【実行委員会】 9月～2月までに計8回開催</p>	橋北・橋南・東野地区の東中学校区合同で二十歳有志、公民館委員等で組織する実行委員会体制で実施。 ・二十歳の集い実行委員会を開催し、二十歳企画、準備 ・二十歳の集い実行委員による地域学習の実施(学習テーマ「丘の上っていいなあ～散策マップを作ろう!～」)	【成果と課題】 様々な制限の中でも自分たちの二十歳の集いを思い出しに残るものとするために、二十歳の集い実行委員で二十歳の集いをどんな機会にしたいか話し合い企画した。「感謝の気持ちを伝える」と「みんなで盛り上がる」をコンセプトに決め、話し合いと準備を重ねゼロから作り上げた。企画の検討や、地域学習について的に取り組む姿が見られた。	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 はじめは消極的だったが、段々自主的・主体的に取り組むことが姿が見られた。二十歳の集いが終わった後、二十歳の実行委員からこのつながりが無くなってしまふのは寂しいという声も聞かれ、地区の行事に積極的に参加してくれている。今回できたこのつながりが大切にして、若者が主役になれる事業を考えていきたい。					

橋北公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	(橋北・橋南・東野)3館合同文化講演会	市・地	継続	1	26	26	8,071	2月26日	橋南公民館
	<p>地域住民を対象に、地域を知り愛着を深める内容の講演会を3地区合同で行うことで、丘の上の成り立ちやあり方に広く目を向ける機会とする。</p> <p>【開催概要】 実施内容 「身近な課題を知って、自分自身のこれからの考えよう～今の介護現場の状況から～」 講師：橋爪里美氏、村澤勝弘氏（共に社会福祉協議会所属）</p>	<p>高齢社会が進んできている日本。身の回りでも、その影響は様々などころに表れてきている所に着目し、実際に介護の現場で活動されている方の話から、今後いつ直面するかもしれない状況について知り、考え、それを軽減させるためのポイントについて学ぶことを目的に実施した。</p> <p>評価 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 3館文化講演会の場が単なる講座の機会として捉えるのではなく、3館の交流の機会となるように地区の方と相談して来年度以降も会の組み立てをしたい。</p>							
その他	橋北まるごと博物館研究会事業	0円	継続	2	15	15	2,827	6月25日(土)、6月26日(日)	開催会場 春草通りほか
	<p>地域住民を対象に、知ること、残すこと、賑わうことを目的に地域資源の活用を目指す。</p> <p>【開催概要】 6月25、26日・春草通りを歩いて測候所まで行ってみよう！ 三六災害についての展示</p>	<p>【成果と課題】 文化祭の中で行った春草通りのガイドについては、橋北地区の方向けに行ったが、知られていないことも多く、住民が橋北について・春草について新たに学びきっかけとなった。 三六災害に関する展示は、平成31年に橋北まるごと博物館研究会によってまとめられた本をもとに行なった。文化祭で展示を見た方で、本を見て学び直したいという声が聞かれた。 地区内で起きた災害として、今後も語り伝えていかなければならないと感じた。 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 三六災害についていっていつでも風化させることなく、学び直すきっかけにしてほしいという思いから、文化祭で展示した三六災害に関する展示は毎年6月に公民館で展示する。</p> <p>評価</p>							
その他	春草かるた贈呈	0円	継続	1	2	2	118		開催会場 浜井場小学校
	<p>浜井場小学校の児童を対象に、橋北地区出身の偉人である菱田春草を家庭で学び、郷土に愛着と誇りを持ってもらう。</p>	<p>【成果と課題】 浜井場小学校の児童全員に春草かるたを贈呈した。授業の時間だけでなく、各家庭で活用し親子で菱田春草について学ぶきっかけとなった。 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 今年度だけでなく、次年度以降も活用してもらえようように協働して取り組む。</p> <p>評価</p>							

橋南公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	0歳児学級(橋南・橋北・東野地区合同)	市・地	継続	11	286	26	98	原則第2、第4月曜日	橋南公民館 他
	0歳児とその保護者を対象に、親子、子ども同士との触れ合いの場、親同士の交流の場を作り、子どもたちの健全な成長を図る	東中学校区3館合同中で、橋南が0歳児を担当。内容は学習と交流に重点を置き参加保護者と相談し決定。 【開催概要】 ①09/21開講式 ②10/3産後ママのヨガ講座 ③10/17離乳食について、みんなでお話ししましょう ④11/7わらべ歌をみんなで歌おう ⑤11/21ファミリータイム みんなで遊ぼう ⑥12/5Xmasの準備 ⑦12/20Xmasパーティー ⑧1/16おぶいひひもの使い方 ⑨2/6親子で絵本を楽しもう ⑩2/20記念品づくり ⑪3/6開講式	市・地	継続	11	286	26	98	原則第2、第4月曜日
学級・講座	1歳児学級(橋南・橋北・東野地区合同)	市・地	継続	18	828	46	106	原則第1、第3月曜日	橋南公民館 他
	1歳児とその親を対象として行い、子どもたちの健全な成長をはかるための遊び、活動を行うほか、親の知識習得、親同士の交流の場とする。	東中学校区3館合同中で、橋南地区は1歳児を担当。内容については、お母さん方の学習と交流を重点に保育士、保健師、主事で話し合いを行い決定。 【開催概要】 ①5/23開講式 仲良しゲーム(1) ②5/23開講式 仲良しゲーム(2) ③6/27おぶいひもの使い方 ④7/11助産師さんに聞いてみよう ⑤7/25離乳食についてお話ししよう ⑥8/22布・紙で遊ぼう ⑦9/12靴の選び方 ⑧9/26わらべうた ⑨10/12動物園で出かけよう ⑩10/24ミニ運動会 ⑪11/14おもちやの選り分け、遊び方 ⑫11/28からたをいっばい、動かそう ⑬12/12クリスマス会の準備 ⑭12/20クリスマスパーティー ⑮1/23絵本で子供の心を育てよう ⑯2/13親子で一緒にリトミック ⑰2/27記念品づくり ⑱3/13閉校式、お楽しみ会	市・地	継続	18	828	46	106	原則第1、第3月曜日
学級・講座	伝統・文化継承講座「手の芸の会」	市・地	継続	24	480	20	2,514	原則第1,3木曜	橋南公民館
	地区住民を対象に地域の伝統、文化の継承と、それらを通じた仲間づくりの場を設ける	地域の伝統工芸である水引を使った「ものづくり」と、それを通じた「仲間づくり」の場とする。また、学級で作成した水引ストラップの人形劇フェスタ橋南地区公演での配布や、水引プロローグの追手町小学校の新生や卒業生へ贈呈を行った。加えて、夏休み子供教室への講師、小学校のクラブ活動への講師として参画した。 【開催概要】 ①～②水引で五月飾りを作ろう(1) ③～④水引で五月飾りを作ろう(2) ⑤～⑥水引で「あじさい」を作ろう ⑦～⑧水引で花のプロローグを作ろう ⑨～⑩水引でプロローグを作ろう ⑪～⑫水引で綺麗なコスモスを作ろう ⑬～⑭水引でコスモスを作ろう ⑮～⑯水引で干支を作ろう ⑰～⑱お正月の飾りを作ろう! ⑲～⑳水引で「ミニカゴ」を作ろう ㉑～㉒水引で梅の花のプロローグを作ろう ㉓～㉔水引で春の果物、野菜を作ろう	市・地	継続	24	480	20	2,514	原則第1,3木曜

橋南公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	ラベンダー関連講座	市費	継続	1	7	7	2,514	10月29日	橋南公民館
	市民を対象に、環境に関する意識の向上、知識の習得を図る	<p>橋南地区内で取り組んでいる生ごみの分別回収と、生ごみをもとに作った堆肥を使用したラベンダー植栽事業についての関連講座として例年実施。ごみの廃棄処理方法が変わった現在では、当初の目的とは違ったものになっているが、その理念を大切に継承するために、昨年に引き続き計画をした。</p> <p>【開催概要】 ラベンダーステッキを作ろう 講師 松下啓子氏 地区の植物から環境を考えてもらおうきっかけづくりとして、ラベンダーの花を利用したラベンダーステッキを作る講座を計画した。</p>							
学級・講座	目的	<p>【成果と課題】 参加人数は少なかったが、その分ラベンダーや橋南の歴史を和気あいあいと話しながら実施することができた。環境を考える機会として、身近にある物から学ぶことができていると感じている。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 まちづくり委員会の環境委員会と協力し、環境講座などにもつながっていききたい。</p>							
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数 <td>開催期日</td> <td>開催会場</td>	開催期日	開催会場
学級・講座	親子体験教室	市・地	新規	4	25	6	2,514	実施内容参照	橋南公民館
	地区住民を対象に地域にいるその道のプロからもの作りの技術や楽しさを学び、それらを通じた生活の質の向上を図る	<p>【成果と課題】 住民の方との話から、立ち上がった講座。組み立てから当日の運営まで地区住民と共に行った。住民の方が持つノウハウを活用し、地域での学習に活かす足掛かりができたことはよかった。当日は、少人数ながらも和気あいあいとした活動ができ、講座が終わった後も自宅で実践したという感想もいただいた。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 このような住民の方と一緒に講座を引き続き計画していききたい。</p>							
学級・講座	目的	<p>【成果と課題】 橋南地区はパン屋さんが多く、体験だけでなく地域の産産を子供にしてみらうことも目的に実施した。当日は、パン作りという日常では体験できない事柄を学ぶ中で自然と親子で会話が生まれ、できた成果物に対して喜びの声が上がっていた。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 体験型の教室は人気あり、親子が会話をしながら集中して一緒に活動する良い機会となっているため、地元企業の協力をいただきながら実施していききたい。</p>							
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数 <td>開催期日</td> <td>開催会場</td>	開催期日	開催会場
学級・講座	親子体験教室	市・地	継続	1	20	20	2,514	3月19日	エンゼルパン
	親子を対象に共同作業を行うことで、親子間のコミュニケーションの創出や、親が子供の成長を感じる機会とする。	<p>【成果と課題】 親子で日常ではできない体験を通して、会話の創出や地元を知る機会として実施した。地区内の製パン店に協力していただき、親子で作るパン教室を開催した。成形、発酵、焼き上げまでを行った。</p> <p>【開催概要】 親子パン作り講座 講師 福澤伊予美氏、井口寛教氏</p>							
学級・講座	目的	<p>【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 体験型の教室は人気あり、親子が会話をしながら集中して一緒に活動する良い機会となっているため、地元企業の協力をいただきながら実施していききたい。</p>							
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数 <td>開催期日</td> <td>開催会場</td>	開催期日	開催会場
学級・講座	家庭教育人権講演会	市費	継続	1	18	18	2,514	2月26日	橋南公民館
	小学校PTAと地域住民を対象に、インターネットやSNSを通じて、子どもの人権について考える機会とする。	<p>【成果と課題】 スマートフォンやインターネットに関する状況とそのリスクについて保護者と地域の大人の関わり方について知る機会として実施した。</p> <p>【開催概要】 「子供のネット、スマホ時代の大人の役割」講座 ～ネットのトラブル、依存、被害を防ぐ～ 講師 子どもとメディアアライアンス 代表 松島恒志氏</p>							
学級・講座	目的	<p>【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 このような講演会で「知る」、その後家庭で「話し合ってもらおう」ことが非常に重要だと感じているので、そのようなきっかけになる講演会(学習の場)でありたい。</p>							

橋南公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	仲良し学級 銀の鈴 高齢者を対象に、様々な活動を通しての会話や交流の促進と、元気で朗らかな生活を送れる一助となる機会とする。	市・地 新規	6	72	12	2,514	実施内容参照	橋南公民館
学級・講座	実施内容 【開催概要】 ①7/20囲碁ボール、軽食作り ②10/26ポッチャ ③12/1囲碁ボール ④1/17健康体操(講師 清水靖子氏) ⑤2/15ポッチャ、軽食作り、軽食作り	市・地 新規	1	15	15	2,514	3月28日	橋南公民館
学級・講座	食文化連続講座 地区住民を対象に地域に活かしてもらうこと、その技術を地区住民が学ぶことで、日常の生活をより良くすることを目的に計画した。 【開催概要】 3/28 テーマ:酒の肴 講師 田中秀樹さん	市・地 新規	1	15	15	2,514	3月28日	橋南公民館
学級・講座	目的 地区住民を対象に地域に活かしてもらうこと、その技術を地区住民が学ぶことで、日常の生活をより良くすることを目的に計画した。 【開催概要】 3/28 テーマ:酒の肴 講師 田中秀樹さん	市・地 新規	1	15	15	2,514	3月28日	橋南公民館
学級・講座	目的 地区住民を対象に、日頃の運動不足の解消、健康の増進と、住民同士の親睦を図る	地区費 継続	10	60	6	2,514	原則毎月第4木曜日	橋南公民館
学級・講座	目的 地域でニュースポーツを通じた仲間づくりのための講座を実施。 今年度から、囲碁ボールだけでなく、ポッチャやその他のニュースポーツにも挑戦している。 【開催概要】 ①6/30、②7/26、③8/18、④9/22、⑤10/27、⑥11/17、⑦12/22、⑧1/19、⑨2/16、⑩3/16	市・地 継続	10	60	6	2,514	原則毎月第4木曜日	橋南公民館
学級・講座	目的 地区住民を対象に、日頃の運動不足の解消、健康の増進と、住民同士の親睦を図る	市・地 継続	10	60	6	2,514	原則毎月第4木曜日	橋南公民館
学級・講座	目的 地区住民を対象に、日頃の運動不足の解消、健康の増進と、住民同士の親睦を図る	市・地 継続	10	60	6	2,514	原則毎月第4木曜日	橋南公民館
文化事業	橋南史跡めぐり(中止) 目的 飯田とつながりのある史跡、街並みを見学し、その文化や歴史について学ぶ	市・地 継続	1	1	1	2,514	-	橋南公民館
文化事業	目的 飯田とつながりのある史跡、街並みを見学し、その文化や歴史について学ぶ	市・地 継続	1	1	1	2,514	-	橋南公民館

橋南公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	市・地	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2022橋南地区公演(中止)	継続	継続	市・地	1	1	1	-	2,514	8月4日～8月7日	追手町小学校 他
文化事業	市民を対象に、人形劇に親しむ、参加する、支える機会とする										
実施内容	橋南地区内2会場での地区公演を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 【開催概要】(計画) 8/5 仏教保育園プレイルーム 8/6 追手町小学校講堂										
評価	【成果と課題】 感染症対策をしながらも、フェスタを地区で盛り上げるような公演について公民館委員と検討したが、フェスタ本部が中止を決定したことによりやむを得ず中止となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 □縮小 次年度は例年の公演数が実施できるように盛り上げていきたい。										
区分	橋南文化祭	継続	継続	市・地	1	500	500	-	2,514	11月12日～11月13日	橋南公民館
文化事業	地区住民を対象に、公民館活動の学習成果の発表と地域学習の場を提供することを目的とする										
実施内容	公民館に移転して初めての文化祭となったため、公民館委員の方が中心となり2日間盛大に開催出来るよう計画、運営を行った。 【開催概要】 ・展示発表：社協団体、各種団体、個人など・まちづくり各委員会の企画ブース ・橋南子ども商店街：橋南児童クラブ・小中学生の学校生活での作品発表 ・追手町小学校150周年記念事業に関する展示・小学校人形劇団、小学校合唱団発表・中学校吹奏楽部の発表・各種グループによる芸能発表 ※橋南まちづくり委員会健康福祉委員会の協力により、地区内のお年寄りに参加を呼びかけ、橋南地区敬老会として運動して開催した。										
評価	【成果と課題】 移転した橋南公民館を会場として初めて開催し、芸能発表会も合わせて行った。展示スペースには、講座の開催や憩いのスペース設置など、委員の方の発想と地域のノウハウを持つ方がうまく噛み合ったことで、「より多くの来場者に楽しんでもらえる文化祭」という当初の目的に沿った文化祭を開催することができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 □縮小 文化祭により多くの方が参加できるように、各種団体との協力は積極的に行って。文化祭委員の方の自由な発想を活かしてさらに楽しい文化祭としていきたい。										
区分	橋南連合大運動会	継続	継続	地区費	1	500	500	500	2,514	10月9日	追手町小学校
体育事業	地区住民を対象に、各町総参加で健康の増進と住民相互の交流を図り、もって当地区の活性化を推進することを目的とする										
実施内容	まちづくり委員会主催、公民館体育委員会主管 橋南地区全体で取り組む年一度の一大事業として計画。単独町内、または近隣町内でチームを組み、41ある全町内が参加する。子どもからお年寄りまで参加できる各種競技、チーム対抗での競技を計画した。 【開催概要】 開会式、ラジオ体操、おみくじリレー、ふれあい家族で障害物競走、キズナ(風船運び)、アンパンマン競争、旗ひろい、レインボーリレー、閉会式 9:00～12:30の午前中の開催とした										
評価	【成果と課題】 感染症の中でも、昨年度実施できたことの経験と自信から、今年度は「さらにみんなに楽しんでもらいたい」との想いを持って議論を重ねてきた。運動会のやる意義を委員内で共有でき、当日の運営まで主体的に活動する姿が見られた。終わった後は、実施できてよかったとの意見から充実感が生まれたと感じている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 □縮小 住民の方が1人でも多く運動会に参加してもらえよう、引き続き検討を重ねていきたい。また、今後も継続していけるような運営内容を地区全体で検討していきたい。										
区分	橋南二ニュースポーツ大会	新規	新規	地区費	1	25	25	25	2,514	2月12日	追手町小学校
体育事業	地区住民を対象に、日頃の運動不足の解消、健康の増進と、住民同士の親睦を図る										
実施内容	地区住民の健康増進を目的に開催。ここ数年は実施できていなかったが、新しく道具を購入したこともあり、気軽に実施できるスポーツを普及したいという想いから実施した。 【開催概要】 種目：ポッチャ ルールの確認から丁寧に、参加者の方がゲーム実施までを体験した。										
評価	【成果と課題】 過去には参加者が少ないことが悩みであったが、様々なところで声かけをしたことあって、想定よりも多くの方に体験してもらうことができた。また、事前に体育委員でルールの確認などを行った事で、委員の方の学びの機会にもなった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 □縮小 日頃、公民館に関わりが薄い方も多く集まり交流する良い機会となったため、来年度も継続して実施していきたい。										

橋南公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	橋南ソフトボール大会(雨天中止)	地区費	継続	—	—	—	2,514	11月20日	飯田東中学校
	<p>地区住民を対象に、日頃の運動不足の解消、健康の増進と、住民同士の親睦を図る</p> <p>【開催概要】(予定) 参加チーム:公民館&連合青年会チーム、シニアソフトボールチーム、地元有志チーム、近隣地区チームの4チームが参加予定</p>								
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	橋南ウォークラリー大会	地区費	継続	1	60	60	2,514	7月3日	橋南地区内
	<p>地区住民を対象に、ウォーキングでの体力増進および、橋南地区の街並み・歴史・文化を再発見する機会とする</p> <p>ウォークラリーとは、設定されたコースを交差点の略図のみが書かれた地図を頼りに、コース上の各所に地域の歴史や文化に因んだ問題を設定し、解きながら歩く事業である。体育委員の方が中止となり、事前の下見や問題作成、当日の運営などを主体的に行っている。</p> <p>【開催概要】 コース:公民館～市役所～大横町～中央通り～ムストブラザ～吾妻町～りんご並木～本町～公民館 ゴール地点の橋南公民館では、ゴール後に景品が当たる大抽選会などのお楽しみ企画を実施した。</p>								
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	館報橋南の編集	地区費	継続	16	128	8	2,514	実施内容参照	橋南公民館 他
	<p>地区住民を対象に、地域を知り、考えるきっかけ作りを目指す</p> <p>公民館館報委員の方を中心に企画や編集作業を実施。単なる広報だけでなく、地域の課題に目を向けた紙面作りを心掛けて発行。1号発行につき、館報委員会を原則4回開催。</p> <p>【発行日】 25号(6/24)、26号(8/26)、27号(12/23)、28号(2/24)</p>								
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	おひまち	地区費	継続	1	138	138	2,514	—	追手町小学校
	<p>地区住民を対象に、飯田の大火を忘れず、日々の生活の中でも防火の意識を高める</p> <p>公民館育成委員会主催 例年、飯田大火が発生した4月下旬に地区内の各種団体が協力して、防火啓発活動を実施している。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、防火に関する標語の募集のみ実施。</p> <p>【開催概要】 防火に関する標語の募集 追手町小学校児童を対象に防火標語を募集し、優秀な作品に賞状を進呈した。</p>								

橋南公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	令和2年度橋北・橋南・東野地区成人の集い	市・地	継続	1	69	69	105	5月4日	橋南公民館
	<p>新成人を対象に、学習の場をつくり、活動を通じて地域への愛着、誇りを育てるような機会とする</p> <p>【開催概要】 ・成人式実行委員会を開催し、成人式の企画、準備 ・記念撮影、式典、先生方のサプライズ、交流企画の実施 など</p>	市・地	継続	1	69	69	105	5月4日	橋南公民館
合同事業	令和4年度橋北・橋南・東野地区二十歳の集い	市・地	継続	1	70	70	108	1月8日(日)	飯田市公民館
	<p>新成人を対象に、学習の場をつくり、活動を通じて地域への愛着、誇りを持つような機会とする。</p> <p>【実行委員会】 9月～2月までに計8回開催</p>	市・地	継続	1	70	70	108	1月8日(日)	飯田市公民館
合同事業	(橋北・橋南・東野)3館合同文化講演会	市・地	継続	1	26	26	8,071	2月26日	橋南公民館
	<p>地域住民を対象に、地域を知り愛着を深める内容の講演会を3地区合同で行うことで、丘の上の成り立ちやあり方に広く目を向ける機会とする。</p> <p>【開催概要】 「身近な課題を知って、自分自身のこれからを考えよう～今の介護現場の状況から～」 講師：橋爪里美氏、村澤勝弘氏（共に社会福祉協議会所属）</p>	市・地	継続	1	26	26	8,071	2月26日	橋南公民館

【成果と課題】
前年度の8月7日での開催に向けて準備を進めてきたが、残念ながら中止となった。しかし、実行委員の方たちの何とかしてやりたい！という強い気持ちから代替え事業を計画した。感染症対策をしながらも思い出に残る会となるよう、工夫を凝らした内容で実行委員が主体的に計画し、地区実行委員も新成人たちの想いに出来る限り添える形での式典準備を進めてきたことで、当日の実行委員の一体感、満足度は高かったように感じている。この経験かた、これからの人生も頑張っていきたいという感想ももたらせた。

【次年度の方向性と取り組み】
拡充 現状維持 縮小
 今後も、実行委員のモチベーションや主体性を大切にしながら、開催に向けた企画・準備を進めていきたい。

【成果と課題】
様々な制限の中でも自分たちの二十歳の集いを思い出しに残るものとするために、二十歳の集い実行委員で二十歳の集いをどんな機会にしたいか話し合い企画した。「感謝の気持ちを伝える」と「みんなで盛り上がる」をコンセプトに決め、話し合いと準備を重ねゼロから作り上げた。企画の検討や、地域学習についての取り組み姿が見られた。

【次年度の方向性と取り組み】
拡充 現状維持 縮小
 はじめは消極的だったが、段々自主的・主体的に取り組むことが姿が見られた。二十歳の集いが終わった後、二十歳の実行委員からこのつながりが無くなってしまふのは寂しいという声が聞かれ、地区の行事に積極的に参加してくれてきている。今回できたこのつながりを大切にして、若者が主役になれる事業を考えていきたい。

【成果と課題】
当日は、介護という身の回りにおけるけれどもなかなか詳しく聞く機会がない事について、講師が分かり易く説明してくれたことで参加者の満足度も高かったと感じている。また、今回講演を聞いた方が、近所の方や家族に話をする1つのきっかけになったという話も聞いているため、身近なテーマを設定したことが良かったのではないかと思う。

【次年度の方向性と取り組み】
拡充 現状維持 縮小
 3館文化講演会の場が単なる講座の機会として捉えるのではなく、3館の交流の機会となるように地区の方と相談して来年度以降も会の組み立てをしたい。

橋南公民館の事業報告

No.9

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	放課後子ども教室	市・地	継続	15	709	35	138	原則第1、第3水曜日	追手町小学校
その他	放課後の子どもたちを対象に、安全・安心な活動拠点をつくることにも、異世代との活動の中で社会性、協調性を育む	実施内容	【開催概要】 ①6/15開講式、名札づくり、仲良しゲーム ②6/22ボールに親しみながら、楽しく体を動かそう ③7/13バドミントンを楽しもう ④9/21けん玉大会をしよう ⑤10/5アート作品を作ろう(1) ⑥10/12アート作品を作ろう(2) ⑦11/9動物園とのコラボ企画 ⑧11/30逃走中 ⑨12/14なわとび大会 ⑩12/21ボール遊びをしよう ⑪1/11お正月遊び ⑫1/29バドミントンをしよう ⑬2/8大なわとびをしよう ⑭2/22ドッチボールをしよう(1) ⑮3/1ドッチボールをしよう(2)、閉校式 運営体制：地域住民によるボランティアスタッフにより運営。定期的に運営委員会、スタッフ会を開催。(5/11、7/6、9/7、11/2、1/11、3/8)	評価	【成果と課題】 スタッフが企画案から積極的に関わる姿が見られている。また、参加する子ども達と接する中で様々な課題などが出てくるとスタッフの中でどうしたらいいかの話し合いや共有ができていたので、子どもをスタッフ全員で見守る機運が高まっていると感じている。子どもたちも毎回楽しく参加している姿を見ることができ、教室以外の日常でも会えば挨拶ができるような関係が構築されている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 学校と自宅以外での居場所として、子ども達にとっても充実した時間になっていると感じているため、来年度も継続して実施していきたい。				
区分	夏休み子ども教室(中止)	市・地	継続	—	—	—	138	—	橋南公民館
その他	夏休み中の子どもたちを対象に安全・安心な活動拠点をつくることにも、異世代との活動の中で社会性、協調性を育む	実施内容	夏休み中の子どもの居場所づくりを行い、あわせて、異年齢の子ども達が団結、協力して取り組むことのできるさまざまな企画を行った。 【開催概要】(予定) ・開催予定日：夏休み期間中の10日間前後(お盆、休日などは除く) ・追手町小学校から毎日1名、先生が参加し子ども達の学習の補助を行う。 ①7/27開講式 自由遊び ②7/29竹で水鉄砲を作ろう ③8/2カードゲームを楽しもう ④8/9折り紙で遊ぼう ⑤8/12七夕飾りを作ろう ⑥8/19お盆の話、座禅、閉校式	評価	【成果と課題】 長期休暇中の放課後子ども教室として実施し、子ども達の「居場所」づくりの確保のため計画したが、コロナウイルス感染拡大を受け、やむなく中止となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 例年、公民館で活動している社会教育関係団体の方に講師を、まちづくり委員会からスタッフをお願いしている、地域の子どもの様子を感じてもらったことができたので、次年度以降も継続して行っていきたい。来年度以降も、学校やスタッフの方との打ち合わせを綿密に行いながら、実施していく。				
区分	伝統文化教室「松一獅子舞教室」	地区費	継続	8	9	72	138	実施内容参照	橋南公民館
その他	地区住民を対象に、地区に伝わる伝統文化・芸能の継承を目指すと共に、郷土への愛情を育む機会とする	実施内容	松尾町1丁目に伝わる伝統芸能の「松一獅子舞」を復活させ、後世に伝えていくため、地元自治会と協力しながら、獅子舞を学び、技を継承していく。小学生から一般を対象に参加者を募集し、毎月練習を実施。 【開催概要】 講師：松尾町1丁目自治会 池田拓三氏 川手郷司氏 ①5/26通常練習 ②10/26通常練習 ③11/9通常練習 ④11/13橋南地区芸能発表会参加 ⑤12/9通常練習 ⑥1/11通常練習 ⑦2/15通常練習 ⑧3/23通常練習	評価	【成果と課題】 地区内の伝統芸能を後世につないでいくために舞いの練習を行っているが、新型コロナウイルスの影響で例年通りの練習量は確保できなかった。しかし、参加してくれる子供たちは主体的に活動してくれており、新しい参加者も入ってきていることから、これまでの取り組みが地区内外で少しづつ知られるようになってきていると感じる。伝統文化継承に向けて少しづつであるが繋がっていると思う。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 高齢化などにより伝統を伝える側の体制の不安定さは変わっておらず、今後長く活動を継続していくための方法を引き続き考えていく必要がある。				

羽場公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	0-1歳児学級	市・地	継続	17	187組	22組	60組	5/11～3/8	羽場公民館、羽場中央公会堂
学級・講座	0-1歳児とその親を対象に発達段階に応じた遊びや学び、悩みに対する助言ができるよう図る	市・地	継続	17	187組	22組	60組	5/11～3/8	羽場公民館、羽場中央公会堂
学級・講座	2-3歳児とその親を対象に発達段階に応じた遊びや学び、悩みに対する助言ができるよう図る	市・地	継続	11	100組	18組	100組	実施内容参照	羽場公民館
学級・講座	2-3歳児とその親を対象に発達段階に応じた遊びや学び、悩みに対する助言ができるよう図る	市・地	継続	11	100組	18組	100組	実施内容参照	羽場公民館
学級・講座	2-3歳児とその親を対象に発達段階に応じた遊びや学び、悩みに対する助言ができるよう図る	市・地	継続	1	12組	12組	130組	10月13日	羽場公民館
学級・講座	0-3歳児とその親を対象に発達段階に応じた遊びや学び、悩みに対する助言ができるよう図る	市・地	継続	1	12組	12組	130組	10月13日	羽場公民館
学級・講座	0-3歳児とその親を対象に発達段階に応じた遊びや学び、悩みに対する助言ができるよう図る	市・地	継続	10	32	6	101	7/20～10/26	羽場公民館
学級・講座	0-3歳児とその親を対象に発達段階に応じた遊びや学び、悩みに対する助言ができるよう図る	市・地	継続	10	32	6	101	7/20～10/26	羽場公民館

【実施内容】①5/11始まりの会 ②6/8ふれあい遊び ③6/23栄養士さんに聞いてみよう ④7/6七夕工作 ⑤7/20小児科の先生に聞いてみよう ⑥9/7助産師さんに聞いてみよう ⑦9/20お喋りタイム&散歩 ⑧10/7からだを動かして遊ぼう ⑨10/17文化祭の作品作り ⑩11/24防災について考えよう ⑪12/1クリスマス工作 ⑫12/12栄養士さんに聞いてみよう ⑬1/27おしやべりタイム ⑭2/8歯科衛生士さんの話 ⑮2/24お雑様づくり ⑯3/8思い出カードづくり
【常任講師】松村由美子氏(保育士)

【成果と課題】
様々な講師に依頼し、発達段階に応じた遊びや学び、保護者の悩みに対する助言となる内容で実施できた。また、同地区内の保護者同士のつながり・情報交換の場となっており、地域活動参加の入り口となっている。
【次年度の方向性と取り組み】
□拡充 □現状維持 □縮小
乳幼児やその保護者にとって必要とされる学びとなる内容を検討しながら、引き続き実施していく。

【実施内容】①5/26始まりの会 ②6/9丸山保育園に遊びに行こう③6/30お散歩に行こう ④7/14絵本のお話・わらべ歌(講師:上沼和子) ⑤9/8文化祭の作品作り⑥10/3さつまいも掘り(講師:いりろりばたの会) ⑦11/10からだを動かして遊ぼう ⑧12/8クリスマス会 ⑨1/20わたちちゃん劇場 ⑩2/20親子のふれあい遊び ⑪3/9お別れ会
【常任講師】塩沢敏子先生

【成果と課題】
屋外での活動に多くの参加者があり、自然の中で親子が遊ぶ姿が見られた。子ども同士・親同士の交流も見られた。年度途中で保育園へ入園させたり、引越す方が多く、秋以降の参加者が激減してしまうのが課題。
【次年度の方向性と取り組み】
□拡充 □現状維持 □縮小
保護者と相談しながら、内容、回数を検討していく。時代、発達段階に応じた親子の学びになるように工夫していきたい。

【実施内容】①7/20自己紹介、工作 ②7/27七夕飾りづくり ③9/7ゴミの分別 ④9/14ぎざり絵 ⑤9/21ブラジルのダンス「ズンバ」体験 ⑥9/28書道体験 ⑦10/5獅子舞体験 ⑧10/12文化祭作品づくり ⑨10/19文化祭作品作り ⑩茶道体験、振り返り
【講師】下岡恭子氏、上沼ニカ氏 ほか

【成果と課題】
毎回のテーマに合わせて講師から様々な内容を学習し、受講者だけでなく日本人サポーターの学びにもつながった。受講者とサポーターと一緒に取り組める内容を多くして、講座の中で話がしやすい雰囲気になり、受講者にとって講座がひとつの居場所として感じてもらえた。
【次年度の方向性と取り組み】
□拡充 □現状維持 □縮小
新規受講者が参加しやすいよう、サポーターやまちづくりとも協力・情報共有しながら実施していきたい。

羽場公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	長期休み子ども寺子屋(夏・春)	市・地	2	70	35	238	7/27～7/29、3/22～3/24	羽場公民館ほか
	【内容】 夏：宿題の時間、電車遠足、身体を動かして遊ぼう、サイエンスショー、折り紙工作、人形作り、人形劇体験 春：宿題の時間、折り紙工作、中学生企画、手話体験、サイエンスショー、松川ダム見学、電車遠足 【講師】かわらんべ、スポーツ推進委員、おもしろ科学工房、図書分館係員、人形劇DALA、飯田保健福祉事務所、松川ダム管理事務所、天龍峡ご案内人 ほか							
学級・講座	丸山小学校児童を対象に、夏休みの規則正しい生活の支援と地域を学ぶ活動を通して誇りと愛着の醸成を図る							
学級・講座	【成果と課題】 地域の大人がスタッフとなり、長期休み期間の小学生を見守り一緒に活動している。昨年度から春休みも実施しており、「地域の子どもは地域で育てる」意識がより根付いてきている。受入数に限りがあり、参加できない子どもが多くなる状況が課題。 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 児童や保護者、地域からも人気の事業であるため、より楽しみ学べる内容を核となるスタッフと検討しながら継続し、より地域主体で行えるよう支援していきたい。							
区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	図書館お楽しみ会	市・地	1	6	6	4,660	12月2日	羽場公民館
学級・講座	地区住民を対象に、図書館の利用促進を図るとともに、参加者同士の交流の場とする							
	【内容】図書館クリスマス会 (手遊び、本の読み聞かせ) 【講師】図書分館係員 ※当初、ヤマハファイガロを招いてクリスマスコンサートを行う予定であったが、講師の都合により上記の内容に変更となった。							
区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	曙の里講座 お正月の花を生きよう	市費	1	26	26	4,660	12月25日	羽場公民館
学級・講座	地区住民を対象に、お正月の伝統文化に触れ、社教団体や親子間の交流・ふれあいの機会を設ける							
	【内容】松竹梅を用いたお正月生け花の体験 大人の部と子ども部それぞれで開催。 【講師】社教団体「花のわ華道教室」							
学級・講座	【成果と課題】 社教団体が日頃の活動を住民に披露・紹介する場となっている。参加者が団体の活動に興味を持ち、参加のきっかけになっている。 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 参加費や予算、実施内容について講師と相談しながら、地区住民が社教団体と交流しながら生け花を体験できる機会として継続していきたい。							
区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	曙の里講座 郷土講座	市費	2	26	13	4,660	3/2、3/9	羽場公民館
学級・講座	地区住民を対象に、地元史跡を知り、近隣の歴史の学習を図る							
	例年1回の実施であったが、全2回の連続講座として実施した。 【内容】郷土の歴史を学ぼう ①3/2大平宿で昔の生活を学ぼう ②3/9街角の神さま・仏さまたち 【講師】大蔵祥子氏(大平宿紙屋管理人)、広瀬秀一氏(大平宿現地状況管理者)、羽場の昔を学ぶ会							
学級・講座	【成果と課題】 実は意外と知られていない地域の文化・歴史をテーマにして講座を実施し、参加者の地域への理解・愛着を深めることができた。 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 社教団体の発表の場や、地域の文化を守り次世代に伝える活動をする人たちの発信の場、地域側の理解・意識醸成の場として活用していきたい。							

羽場公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	そば作り講座	市・地	継続	5	93	30	4,660	6/17～12/29	羽場公民館、そば畑
	地区住民を対象に、遊休農地を利用してそば作りの一連を体験し、育てる楽しさや食の大切さを感じてもらう	正永町2丁目の遊休農地にて、年間を通してそばの栽培・収穫とそば打ちを行った。 【内容】①6/17そば畑作り ②7/24種まき ③9/10花見、草取り ④10/16収穫、脱穀 ⑤12/29そば打ち 【講師】社教団体 羽場蕎麦の会	【成果と課題】 地区内の未就学児から高齢者まで幅広い年代が参加し、一緒に作業をすることで連帯感や親睦が生まれた。 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 食を通じた地域内や家族間の交流の場として、今後も継続していきたい。	評価					
学級・講座	書初め大会	市費	継続	1	13	13	4,660	1月3日	羽場公民館
	地区住民を対象に、お正月の伝統文化を体験・学習しながら、地域の講師と交流する機会とする	【内容】講師のお手本、学校から配られたお手本を見ながら書初め、講師からの指導、お互いの作品を見ながら良い点を褒め合う 【講師】吉澤之榮氏、大霜睦男氏、河合美恵子氏	【成果と課題】 地域の講師と子どもが交流しながら、伝統文化を体験する場となった。講師の指導のもと、宿題の書初めができたことが好評である。 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 小中学生だけでなく、気軽に大人が参加できる会になるよう工夫して実施していきたい。	評価					
学級・講座	夜の講座	市・地	継続	1	15	15	4,660	3月20日	羽場公民館
	地域課題にアプローチする講座を通して地区住民の交流を図り、地域への関心を高める	文化委員会の中で課題と感じていることを検討し、学級講座として実施。昨年度中止となった内容に再チャレンジすることとなった。 【講師】南信州ベジフルユニッツYUISAI 【内容】野菜ソムリエから学ぶ、野菜を使った簡単料理をつくらう	【成果と課題】 普段料理をしない人でも簡単にできる、野菜を使った料理を学び、食卓の充実につながった。 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 今後も専門委員が地区や自身の課題を考え解決できる講座として継続したい。	評価					
文化事業	ふれあいウォークラリー大会	市・地	継続	1	42	42	4,660	5月29日	羽場・丸山地区内
	課題を解きながら地区内を歩き、地域の魅力を知り愛着を深め、防災について考える機会とするとともに、健康増進を図る。	テーマ「地区内を歩きながら、防災について学ぼう！考えよう！」 【内容】 地区内の防災に関するスポット(集会所、消防団詰所、水位観測所など)をチェックポイントとし、そこにまつわる課題を解きながら、ゴールまでの所要時間を競うウォークラリー大会を実施した。チェックポイントの課題やコマ図、パンフレットなどは中学生や専門委員などで構成される実行委員にて作成。	【成果と課題】 当日は文化委員長、主事が不在であったが、文化委員、他委員会の委員長を中心に無事開催することができた。準備に時間を要するため2年に1度の開催としているが、準備や運営方法を工夫して毎年開催しても良いかもしれない。 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 多くの主体を巻き込みながら、自分たちの住む地域に興味を持てる事業として、計画・実施していきたい。	評価					

羽場公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
C S 協働事業	家庭教育講演会(PTA講演会)	市・地	継続	1	250	250	700	11月15日	丸山小学校
	<p>【成果と課題】 大人も子供も障がいについて考えるきっかけを作ることができた。特に障害者の方の実体験をもとにお話しいただき、社会的障壁について子どもも理解を深めることができた。</p> <p>家に帰って講演会で先生が話してくれたことを親子で思い出話しができてよかったですとの感想があり、また大人も子供の反応を見て気づくがあったので、子どもと大人が同じ空間で話し話を聞くことは有意義であった。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☑現状維持 □縮小 今後三者にとって有益な情報を学習・共有する機会として継続していきたい。特に講演会のテーマを決める準備会で、PTAの関心ごとを聞けるので、その過程を大切にしていこう。</p>	PTA、小学校、公民館がそれぞれの関わりの中から見られる子どもと取り巻く課題を共有し、三者が集まる会議の中で内容の検討、講師の選定を行い講演会を実施した。 <p>今年度も感染症対策のため、地域の一般参加を制限し5・6年生、保護者と教員のみを対象とした。</p> <p>ゲームやクイズを交えながら、子どもと保護者が同じ空間で障がいについて考えた。</p> <p>講師：信州大学総合人間科学系教授 庄司和史氏 演題：障がいと共生社会 【検討過程】 PTA講演会準備会 8/3、10/18</p>	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
C S 協働事業	飯田西中学校地域貢献学習	他会計	継続	2	140	79	79	6/14、8/22～8/24	集会所・公民館等
	<p>総合的学習の時間の一端で、中学3年生が地域の為に何ができるか考え実際に活動した。事前学習として社協コーディネートと公民館主事からボランティアについて話を聞き、貢献活動を行った。</p> <p>【実際に活動した内容】 ・地域内のゴミ拾い、清掃 ・公共施設(集会所、公民館等)の清掃 ・地区内・市内の名所等のPR活動(パンフレットや立て看板の作成)</p> <p>【成果と課題】 昨年度のように中学生自身が活動内容を考え実践する形ではなく、予め用意された内容から具体的な場所や詳細を決める方法で行った。さらにコロナ感染拡大により、保育園や高齢者宅の訪問が叶わず、活動の幅が狭まってしまった。引き続き、学校側と事業の目的や中学生に考えてほしいことについて共有することが必要。</p> <p>評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☑現状維持 □縮小 地域にとっては中学生を身近に感じ、奉仕の心を持つ良い機会となっている。お互いの良い学びの機会になるように、コーディネートする先生と主事の連携を密にしながらい取り組みにしていきたい。</p>	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
C S 協働事業	丸山小学校150周年記念事業実行委員会【新規】	市・地	新規	1	300	300	10,664	2月12日	丸山小学校、飯田文化会館
	<p>丸山小学校在校生および卒業生を対象に、150年間の歩みを整理し記録として残したり、交流したりすることを通して、地域の子どもたちについて考える機会とする</p> <p>【活動内容】 準備会(総務係)…全体の進行調整、寄付による資金調達、記念品の選定、記念事業の企画 記念誌係…100～150周年の50年間の出来事や写真をまとめた記念誌の作成。 写真展係…過去50年間の写真を収集し記念事業でのパネル展示の準備。 交流会係…在校生と卒業生の交流事業の企画・運営。2月には文化会館にて、在校生、西中生、卒業生バンドによる「丸山行進曲」の再録と演奏交流会を実施。</p> <p>【成果と課題】 各係で学校・PTA・地域の三者が協働し、事業実施や成果物作成に向けて検討や準備を行うことができた。母校に関わる活動の中で、当時を懐かしんだり、現在の学校の状況を知ったりして、地域の実行委員にとって意義深い事業になっている。在校生と卒業生の交流が少なく、小学生にとっては150周年の実感が持てていないことが現状。</p> <p>評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☑現状維持 □縮小 令和5年6月の記念事業実施に向けて、各係や全体会で準備を進めていく。今後、記念誌・写真展の準備のほか、航空写真の撮影、クリアファイルの作成、行進曲の歌パートの録音などの活動を行っていく予定。</p>	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場

羽場公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	事業区分	事業区分	事業区分	事業区分	1回参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
C S 協働事業	明るいかざこしの子らを育てる会	地区費	継続	1	63	63	63	63	6月23日	丸山小学校
	地区役員、教職員、PTA 役員を対象に、目指す子ども像の共有を行い、3者の連携を深める	学校運営協議会で確認した「めざす子ども像」の実現に向けて具体的な活動を推進するための会。平成29年より始まり、今年で7年目。羽場・丸山・東野地区役員や丸山小・西中の教職員、丸山小・西中のPTA役員、地域のキャリア教育関係者等が参加している。「安心・安全部会」「学習・キャリア教育部会」「地域連携部会」の3つの部会で構成されている。 今年度は全体会を1回開催した後、各部会を随時開催して各事業を推進する予定だったが、学校の都合もあり、各部会を開催することができなかった。	【成果と課題】 関係者の顔合わせだけでなく、具体的な活動について話ができるように部会を複数開催し、少人数での話し合いを増やす予定であったが、学校の体制が変わったことにより実現できなかった。参加する教員の負担感もあるため、教頭・主事で課題を出し合いながら、有意義な意見交換・話し合いになるように準備したい。 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 学校からの要望で来年度は全体会1回の開催になる予定。							
C S 協働事業	飯田西中学校防災体験学習	他会計	継続	1	72	72	72	72	8/23~8/24	飯田西中学校
	飯田西中学校生徒を対象に、学校・地域が連携した防災学習の機会を提供し、災害への備えや自分たちができる事を考え実践する。	羽場まちづくり委員会が飯田西中学校1年生の防災学習に参画し、避難所設置や高齢者世帯への安否確認について指導・サポートした。 【実施内容】 まちづくり委員から防災倉庫や備品についての説明を受け実際に組み立て・使用・非常食(アルファ化米)の調理・実食、市危機管理課指導のもと避難ポイントの設置、飯田女子短大によるパッケクッキング指導・体験。	【成果と課題】 中学生だけでなく、まちづくり委員会が防災倉庫の中身や備品の使い方を確認し、有事の際にスムーズに使えるよう訓練する場となっている。今年度は地域の防災訓練に中学生が参加してもらう予定であったが、コロナ感染拡大により実現せず残念であった。 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 実際の災害の際にも中学生が正しい行動ができるよう、学校・地域と連携しながら継続していく。小学生(保護者)と地域の防災連携や訓練ができるとう良い。							
C S 協働事業	未来の自分と地域を考える会	地区費	継続	1	79	79	79	79	2月14日	飯田西中学校
	中学3年生を対象に、二十歳の集いへの理解を深め、自身の生き方を考える機会とする	平成28年度から始め、7年目の取り組み。今年度は二十歳の集い実行委員3人が参加。ビデオメッセージの2人も合わせ、5人の二十歳に話をしてもらった。 ①20歳の自分に向けた手紙の説明(丸山公民館長) ②二十歳からのメッセージ(二十歳の集い実行委員) ③羽場丸山地区二十歳の集いの紹介(山田文化部長・主事) ④選挙の話(羽場公民館長) ※手紙は5年後の二十歳の集いで本人に返却する ※二十歳の集い該当年度になった際、連絡員を通じて実行委員を募集する	【成果と課題】 中学生が成人式への理解を深めるとともに、実行委員の姿を見ながら自分の将来を考えられる機会となった。二十歳にとっても、これまでの人生を振り返り、後輩へアドバイスという形で伝えることにより自分の中で整理され、今後の人生を考えることにつながっている。「困難は自分を成長させる糧だと思っほしい」「積極的に行動することで高校生活が楽しくなる」など体験からくる熱いメッセージを送ってもらった。 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 身近な先輩からの話は中学生にとっても良い刺激になっており、二十歳にとっても良い機会となっているため、次年度も継続開催したい。時期も手紙を書く前の2月に開催したい。							

丸山公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	風越山学習会	市・地	継続	1	18	18	3,274	3月25日	丸山公民館
	目的	<p>風越山を愛する会との共催。今年度で2年目。風越山登山をもっと楽しむための学習会という位置づけ。</p> <p>テーマ：登山道の石造物について (役行者石像、弘法大師磨崖像、俱利伽羅不動など) 講師：山下守弘(風越山を愛する会会長)</p> <p>【成果と課題】 登山道にある石造物の意味や歴史を知ること、風越山に対する理解を深めることができた。ただ、参加者が少ないので広報等に工夫が必要。</p> <p>評価 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 文化的な内容だけでなく、自然や観光といった幅広いテーマから内容を検討し、定期的に開催していきたい。また、風越山について語れる方が減ってきているため、地元に限らず広くファンになってもらえよう人を増やしていきたい。</p>							
学級・講座	スポーツ食育講座	地区費	新規	1	26	26	3,274	7月1日	丸山公民館
	目的	<p>丸山地区スポーツ推進委員(奥村幸仁さん)の強い思いにより初めて実施。丸山地区だけでなく他地区からの参加者も多くあった。</p> <p>講師：友竹浩之さん(飯田女子短期大学家政学科教授) 内容：体組成計を使用した計測、講演、個別相談</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 丸山公民館スポーツ文化教室に登録のある団体や羽場文化スポーツクラブと協力しながら定期的に開催していきたい。</p> <p>評価</p>							
文化事業	丸山くらす	市・地	継続	1	24	24	3,274	7月9日	丸山公民館
	目的	<p>“地域で楽しく生き生きと暮らす”をコンセプトに、自分たちの暮らしを衣・食・住など様々な視点から見つめ直すことを意識して計画している。</p> <p>今年度は丸山地区在住で、中国で蟠桃の育種について指導している農家の方の話を聞いた。</p> <p>テーマ：幻の桃「蟠桃」と中国の農業事情について 講師：塚平貞俊さん(青島農業大学客員教授)</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 コロナの影響も減ってきたため、講座の原点に返り、体験的な内容を検討していきたい。</p> <p>評価</p>							
文化事業	いいだ人形劇フェスタ丸山地区公演	他会計	継続				3,274	実施内容参照	丸山公民館
	目的	<p>3公演を企画したが、コロナ流行により直前で中止となった。</p> <p>8月4日(木) 丸山保育園公演 人形劇団あつけらかん♪ 8月5日(金) 公民館公演① とくしま中央一庫(高校生) 人形劇団かざこしののはな 人形劇団のはな 8月6日(土) 公民館公演② 丸山小人形劇クラブ「つばさ」 人形劇たん大福</p> <p>【成果と課題】 飲食ができなくても何かできないかと実行委員で検討し、劇人とも相談しながら即興人形劇や團扇との交流を企画したが実施できず残念だった。また、中学生ボランティアの応募が多くあったので継続できるように工夫が必要。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 <input checked="" type="checkbox"/>拡充 <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 公民館に宿泊する学生と地域の交流が途絶えて4年。お互いにとって好評な取り組みであるため来年度は実施できるように準備したい。</p> <p>評価</p>							

丸山公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	おとなのサロン	市・地	継続	1	40	40	3,274	7月31日	丸山公民館
	目的 地区住民を対象に、1つ のことをじっくりと考える 機会とする	丸山連合青壮年会と共催。 コロナにより2年お祭りが開催され、気運を盛り上げたいとの思いから開催。今宮のお祭りの歴史や意義・特徴について専門家から話を聞き、元連青会長からお祭り復活の経過と当時の思いを聞いた。 ただ、お祭り自体はコロナのため打上花火のみの開催となってしまった。 テーマ「今宮のお祭りについて」 講師：櫻井弘人さん(元飯田市美術博物館学芸員) 細沢勝義さん(元丸山連合青壮年会会長)	【成果と課題】 今宮のお祭りの歴史や先人の思いを知ること、何を大切にしてお祭りを続けてきたか知る機会になった。改めてつないでいくことの大切さを感じることができた。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 □縮小 丸山連合青壮年会の思いも聞きながら内容を検討していく。						
文化事業	丸山地区文化祭	地区費	継続	1	1,000	1,000	3,274	11月5日、6日	丸山公民館
	目的 地区住民を対象に、 日頃の文化活動の発表 の場や地域の交流を図 る	主催：文化祭実行委員会(実行委員長：渡邊まちづくり会長) 主管：公民館文化部 今年度から会場を公民館に戻し、飲食も可として、ほぼ通常に近い形で開催した。ただし、アルコールはコロナ警戒レベルが上がってしまい禁止とした。また、初めての試みとして、会場準備を簡素化し、夜ではなく中に行なった。 【展示】 社教団体活動報告・作品展示、まちづくり委員会展示など 22団体2個人 【ステージ発表】 小中学校クラブ、新体操、ダンスなど 16団体1個人 【催事】 地域人教育「キャンドル作り体験と輪投げ」、健康福祉「姿勢計測」、かざこし子どもの森公園「ストラップづくり」、公民館体育部「焼き鳥屋台」、育成部「パ・ン・ピザ作り体験」など 11団体	【成果と課題】 昨年度までは小学校体育館が会場であったため「発表会」の要素が強かったが、今年度は「交流」の要素を強めたいとの思いから飲食を可とし、3年ぶりに公民館で盛大に開催することができた。一方、コロナがきっかけで解散・休止している団体もあり、参加者が減っているのが団体だけでなく個人への声掛けもしていきたい。 今年度初めて中学生ボランティアを募集したところ14人もの中学生が参加してくれ た。来年も継続していきたい。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 □縮小 今年度は子どもへの参加が多く、一般の方の参加が少なかった。来年度はアルコールも活用しながら一般の方も参加できるような内容を検討していきたい。 地域の高校生の研究により、文化祭の開催自体を知らない小中学生がいることが分かったので、効果的な広報についても検討したい。						
体育事業	丸山地区市民大運動会	地区費	継続	1	407	407	3,274	10月16日	丸山小学校
	目的 地区住民を対象に、 親睦と交流を地区の結 びつきや活性化を図る	昨年より半日開催。主催はまちづくり委員会。 基本的なコロナ対策をしながらもほぼ通常の内容で開催した。 準備や役員配置などを昨年度大きく変更。役員の負担軽減に努めた。 地域人教育の高校生から、中学生が運営できる競技として「O×クイズ」の提案があり、実際に中学生と協力して運営してくれた。 昨年からの新競技「的当てゲーム」とともに全員参加の競技が好評となった いる。 【結果】 優勝：丸山4 2位：今宮3 3位：白山1・2 【新規種目】丸山のこと知ってる?(O×ゲーム)	【成果と課題】 運動会後の慰労会を実施する町内も増え、町内の懇親を深める機会となった。 会議の回数、時間を減らしたことで、競技運営がうまくいかず混乱を招く結果となつてしまった。やみくもに会議を行うのではなく、効果的な会議の在り方について検討したい。 昨年度も参加してくれた中学生を中心に、中学生実行委員が主体的に活動している姿があった。地域での楽しい思い出になったのではないかと。 評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 □縮小 全ての町内が参加する唯一の事業であり、地区住民が一堂に会する貴重な機会であるため、大切にしたいことを明確にしながらか、まちづくり委員会と一緒に企画していく。						

丸山公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	クッパ大会	地区費	継続	1	40	40	3,274	5月22日	丸山小学校校庭
	実施内容 今年度で3回目。昨年までは11月に実施していたが、今年度初めて5月に開催。昨年に比べてチーム数も増え、子どもの参加も多くあった。なお、子どもでも楽しめるようにコートの大きさを小さくして開催した。 参加チーム:12 Aリーグ優勝:滝の沢A Bリーグ優勝:滝の沢B								
評価									
【成果と課題】 町内単位ではなく親子や友達同士、サークル単位で参加してもらった。3回目の開催ということもあり、地域に少ずつ定着してきた。一方で実力差も出てきているため、初めての人も楽しめる工夫が必要。 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 来年度も今年度と同時期に開催したい。									
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	丸山地区ソフトボール大会	地区費	継続	1	60	60	3,274	6月19日	押洞グラウンド
	実施内容 町内対抗形式で開催。各町体育部員を中心にチームを編成。今年度より試合ごとに相手チームのMVPを選び景品を授与する制度を導入した。 参加チーム:5(今宮町2、今宮町4、丸山町1、丸山町4、滝の沢) 優勝:丸山町4 準優勝:今宮町4 3位:滝の沢								
評価									
【成果と課題】 暑い中ではあったが、小学生や中学生の参加もあり盛り上がった。MVP制も良かった。ただ、暑さで熱中症になってしまった方がいたので、対策を検討する必要がある。 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 参加チームが固定化しているため、自治会を超えた連携の中で参加チーム数を増やしていきたい。									
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ポッチャ大会	地区費	新規	1	40	40	3,274	11月13日	丸山小学校体育館
	実施内容 今年度初めての開催。 体育部で事前に行なうルール確認を行った。 小学生親子や中学生チームの参加もあった。 なお、子どもでも楽しめるようにコートはミニサイズで行っている。 参加チーム:6 優勝:丸山町4 準優勝:ととまる 3位:滝の沢								
評価									
【成果と課題】 初開催のため思うように参加者が増えなかった。一方、中学生や小学生親子など、今までの体育事業では参加していなかった人たちが複数参加してくれたことは良かった。今後も新しい参加者が増えるように工夫していきたい。 また、参加した中学生が学校の先生に相談して、体育の授業でポッチャを扱うことにもつながった。 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 幅広い年代に声をかけながら来年も継続して開催する。									
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ワンバウンドふらばー大会	地区費	継続	1	50	50	3,274	2月26日	丸山小学校体育館
	実施内容 昨年はコロナで中止になっていたのに2年ぶりの開催。 以前は11月に開催していたが昨年度より2月に移動。 体育部で事前に行なう試合をしながらルール確認を行った。 参加チーム:6 優勝:ペンブティーズ 準優勝:滝の沢 3位:今宮町2								
評価									
【成果と課題】 他の体育事業に比べ運動量が多く、若い人でも楽しむことができています。20代の若者や女性の参加もあり、様々な人が楽しむことができてきた。 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 参加チームが固定化しているため参加できていない町内に声掛けが必要。									

丸山公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	丸山地区ウォーキング大会	地区費	継続	1	30	30	3,274	3月26日(雨天中止)	座光寺
	目的 地区住民を対象に、地域の自然・文化に触れながら健康増進を図る	実施内容 昨年度、事業の目的を育成部、正副部長会で再検討。子ども同士の交流ではなく、小学生親子が参加したくなる楽しい内容で、体が動かしやすい内容にすることを確認。「飯田線」を利用してほしい、「飯田の良」としてほしい 【内容】 ①電車で座光寺へ行くこと ②元善光寺、竹田人形館、麻績校舎、舞台桜を見学しよう 講師：片桐善昭さん(座光寺公民館長)	評価 【成果と課題】 子どもが楽しめることを正副部長会、育成部会で検討することができた。検討する中で、今の子どもたちに何を体験してほしいのか考えることができた。	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 事業の目的を押しながら、必要な内容を検討していく。雨天中止になることが多いので、時期の検討も行う(最近5年間で実施は1回のみ)					
育成事業	お正月飾り講習会	市・地	継続	1	40	40	3,274	12月18日	丸山公民館
	目的 地区住民を対象に、伝統行事の継承と地域の交流と親子のふれあいを図る	実施内容 お正月飾り、しめ縄づくりを講師の人から教えてもらい、自分で作成する。中学生スタッフも募集し、3名の方に協力いただいた。 当日の朝、役員と中学生が早く集まり久保田さんから事前に講習を受け、作り方を思い出してから講習会を行った。昨年撮影したビデオも活用した。 講師：久保田浩史さん(丸山町3丁目、農家)	評価 【成果と課題】 地域の伝統文化に触れる貴重な機会になっているが、講師が高齢のため指導が難しくなっている。伝説を引き継いでいく工夫が必要。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 お正月飾りを作るだけでなく、飾り方や謂れも学習していく。継続開催のために指導できる人を増やしていく工夫が必要。						
合同事業	令和4年度羽場・丸山地区二十歳の集い	市・地	継続	1	64	64	101	1月8日	丸山小学校
	目的 二十歳を対象に「地域に愛着と誇りを持ち、将来における自己のあり方を見つめる」機会とする	実施内容 羽場・丸山地区合同で各種団体の代表と二十歳の有志により実行委員会を組織している。今年度は持ち回りにより丸山公民館長が実行委員長となつた。 ①地域学習「今宮のお祭りについて」 11/15 丸山連合青年会の三浦さんと滝の沢青年会の皆さんから連青の役割や各町でのお祭りの仕方について話を聞いた。滝の沢自治会館にてお神輿も見学した。 ②式典、祝賀会の検討 3年ぶりに飲食を伴う形での祝賀会を実施。思い出のスライドショーやビンゴ大会などを二十歳の実行委員会中心に企画して実施した。5年前に20歳の自分宛てに宛てて書いた手紙も返却した。	評価 【成果と課題】 コロナ対策により会場を丸山小学校に変更して2年目。昨年の反省を活かしてスムーズな式典運営ができた一方、祝賀会の準備・片付けについて課題が残った。二十歳の実行委員は7名が参加。コロナにより飲食等で地区役員と仲を深めるのが難しく、一緒に作り上げていく雰囲気を作るのが難しかった。飲食以外での交流機会を検討する必要がある。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 2年前より「連絡員」を通じて実行委員を募集しているがあまり効果がない。違う方法を検討する必要がある。						
合同事業	令和2年度成人の集い	市・地	新規	1	24	24	117	8月13日	飯田西中学校
	目的 令和2年度の新成人を対象に「地域に愛着と誇りを持ち、将来における自己のあり方を見つめる」機会とする	実施内容 中止となった令和2年度成人式の代替事業。開催直前でコロナ感染が急拡大し、欠席者が急増したが、2度の中止を経てようやく2年越しに集う形で開催することができた。 【実施内容】 ・記念写真(全体、クラスごと、地区ごと) ・式典(実行委員あいさつ、公民館長あいさつ、参加者代表あいさつ、恩師あいさつ) ・交流会(スライドショー上映、ビンゴ大会)	評価 【成果と課題】 2度の中止もあり、当初、実行委員のモチベーションを高めるのが大変であったが、2年間活動してきたおかげでチーム力も高まっていったため、協力しながら準備・運営することができた。実行委員もようやく達成感を得ることができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 実行委員会としての活動は一区切りだが、ここでできたつながりを違う機会にも活かしていけるように工夫していきたい。						

丸山公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
C S 協働事業	丸山小学校150周年記念事業	市・地	新規	1	300	300	10,664	通年	丸山小学校、飯田文化会館
	目的 丸山小学校在校生および卒業生を対象に、150年間の歩みを整理し記録として残したり、交流したりすることを通して、地域の子どもたちについて考える機会とする	令和5年度に丸山小学校が創立150周年を迎えることを記念して、小学校、PTA、羽場・丸山・東野3地区で実行委員会を立ち上げ、記念誌、写真展、交流会の3つの係に分かれて活動を行った。 【活動内容】 準備会(総務係)…全体の進行調整、寄付による資金調達、記念備品の選定、記念事業の企画 記念誌係…100～150周年の50年間の出来事や写真をまとめた記念誌の作成。 写真展係…過去50年間の写真を収集し記念事業でのパネル展示の準備。 交流会係…在校生と卒業生の交流事業の企画・運営。2月には文化会館にて、在校生、西中生、卒業生バンドによる「丸山行進曲」の再録と演奏交流会を実施。	市・地	新規	1	300	300	10,664	通年
C S 協働事業	事業名 明るいさごこしの子らを育てる会	地区費	継続	1	63	63	63	6月23日	丸山小学校
	目的 地区役員、教職員、PTA役員を対象に、目指す子ども像の共有を行い、3者の連携を深める	学校運営協議会で確認した「めざす子ども像」の実現に向けて具体的な活動を推進するための会。平成29年より始まり、今年で7年目。羽場・丸山・東野地区役員や丸山小、西中の教職員、丸山小・西中のPTA役員、地域のキヤリア教育関係者等が参加している。「安心・安全部会」「学習・キヤリア教育部会」「地域連携部会」の3つの部会で構成されている。 今年度は全体会を1回開催した後、各部会を随時開催して各事業を推進する予定だったが、学校の都合もあり、各部会を開催することができなかった。	地区費	継続	1	63	63	63	6月23日
C S 協働事業	事業名 家庭教育講演会(PTA講演会)	市・地	継続	1	250	250	700	11月22日	丸山小学校
	目的 小中学生を持つ家庭を対象に、家庭教育の充実を図る	PTA、小学校、公民館がそれぞれの関わりの中から見ると取り巻く課題を共有し、三者が集まる会議の中で内容の検討、講師の選定を行い講演会を実施した。 講師：飯田保健福祉事務所長 松岡裕之氏 演題：COVID-19 飯田地方を襲った第6波・第7波を振り返る	市・地	継続	1	250	700	11月22日	丸山小学校
C S 協働事業	事業名 丸山小学校お祭り学習会	他会計	新規	1	75	75	75	10月20日	丸山小学校
	目的 丸山小学校4年生を対象に、今宮郊戸八幡宮のお祭りに対する理解を深める	今年度初めて開催。神社総代の2人から神社の成り立ちとお祭りの歴史、関島煙火から花火の歴史と種類について話をしてもらった。 講師：山村尚人(郊戸八幡宮総代長)、藤本清明(郊戸八幡宮副総代長) 関島煙火	他会計	新規	1	75	75	75	10月20日
C S 協働事業	事業名 【成果と課題】 各係で学校・PTA・地域の三者が協働し、事業実施や成果物作成に向けて検討や準備を行うことができた。母校に関する活動の中で、当時を懐かしんだり、現在の学校の状況を知ったりして、地域の実行委員にとって意義深い事業になっている。在校生と卒業生の交流が少なく、小学生にとっては150周年の実感が持ていないことが現状。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 令和5年6月の記念事業実施に向けて、各係や全体会で準備を進めていく。今後、記念誌・写真展の準備のほか、航空写真の撮影、クリアファイルの作成、行進曲の歌パートの録音などの活動を行っていく予定。	市・地	新規	1	300	300	10,664	通年	丸山小学校、飯田文化会館
	目的 【成果と課題】 関係者の顔合わせだけでなく、具体的な活動について話ができるように部会を複数回開催し、少人数での話し合いを増やす予定であったが、学校の体制が変わったことにより実現できなかった。参加する教員の負担感もあるため、教頭・主事課題を出し合いながら、有意義な意見交換・話し合いになるように準備したい。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 学校からの要望で来年度は全体会1回の開催になる予定。	市・地	新規	1	300	300	10,664	通年	丸山小学校、飯田文化会館
C S 協働事業	事業名 【成果と課題】 コロナウィルスの感染状況も刻々と変わり、実際に陽性となってしまった児童も多くいて、その子を家庭でどう隔離するかといった話や最新の研究で今のウィルスについて分かったことなどの講演をいただいた。参加者からは参考になったと感想が聞けた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 今後、三者にとって有益な情報を学習・共有する機会として継続していきたい。特に講演会のテーマを決める準備会で、PTAの関心ごとを聞けるので、その過程を大切にしていこう。	市・地	新規	1	75	75	75	10月20日	丸山小学校
	目的 【成果と課題】 3年間お祭りが実施できていない影響でお祭りの思い出が無い子どもが増えている。お祭りに対する知識を深めることで来年のお祭り参加につないでいきたい。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 学校から要請があれば対応していきたい。	市・地	新規	1	75	75	75	10月20日	丸山小学校

丸山公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
C S 協働事業	丸山小学校「かごこタイム」協力	事業区分 他会計	5	1,160	232	232	6/30、7/14、8/25、9/8、10/27	丸山小学校 ほか
	目的 丸山小学校4年生～6年生を対象に、地域講師による体験活動を通じて、地域の良さや文化に触れる	継続	5	1,160	232	232	【成果と課題】 昨年度はコロナで回数が減ってしまいましたが、今年度は予定通り実施できた。今年度新たな取り組みとして、全体で「はじめの会」と「終わりの会」を行い、講師紹介やお礼のあいさつ等を行った。今年度の開設講座は以下の通り。 硬式テニス／卓球／理科実験／習字／歴史散策／手品／木工／生け花 水引／パルーンアート／将棋／獅子舞／軽スポーツ／ちぎり絵	【成果と課題】 昨年度はコロナで回数が減ってしまいましたが、今年度は予定通り実施できた。今年度新たな取り組みとして、全体で「はじめの会」と「終わりの会」を行い、講師紹介やお礼のあいさつ等を行った。今年度の開設講座は以下の通り。 硬式テニス／卓球／理科実験／習字／歴史散策／手品／木工／生け花 水引／パルーンアート／将棋／獅子舞／軽スポーツ／ちぎり絵
C S 協働事業	丸山小学校放課後子ども教室「青空スクール」	事業区分 他会計	23	2,300	110	458	通年	丸山小学校 ほか
	目的 地域ボランティアスタッフの指導と見守りにより、安全な子どもたちの居場所づくりを目指す	継続	23	2,300	110	458	【成果と課題】 丸山小学校区の羽場・丸山・東野地区合同事業。平成19年より開始。放課後の児童の居場所として地域ボランティアスタッフが指導と見守りを行う。学期ごとに運営委員会・スタッフ会を開催し、運営や児童の様子について話し合っている。今年度は過去最多の110名の登録があった。コロナ感染拡大により1学期初めと1学期終わりの2学期はじめの期間、活動を休止した。 【通常の活動】 活動日：毎週水曜日(20回) 活動内容：バドミントン(体育館)・卓球(プレイルーム)・ミニサッカー(グラウンド)・制作(理科室)※コロナ感染対策により合同の時間は無し 【その他の活動】 ・各地区の文化祭での作品の展示 ・学期に1回の土曜日または日曜日に参観日を兼ねたお楽しみ会 ①18/21工作【中止】 ②12/17囲碁ボール ③3/5まとめの会	【成果と課題】 丸山小学校区の羽場・丸山・東野地区合同事業。平成19年より開始。放課後の児童の居場所として地域ボランティアスタッフが指導と見守りを行う。学期ごとに運営委員会・スタッフ会を開催し、運営や児童の様子について話し合っている。今年度は過去最多の110名の登録があった。コロナ感染拡大により1学期初めと1学期終わりの2学期はじめの期間、活動を休止した。 【通常の活動】 活動日：毎週水曜日(20回) 活動内容：バドミントン(体育館)・卓球(プレイルーム)・ミニサッカー(グラウンド)・制作(理科室)※コロナ感染対策により合同の時間は無し 【その他の活動】 ・各地区の文化祭での作品の展示 ・学期に1回の土曜日または日曜日に参観日を兼ねたお楽しみ会 ①18/21工作【中止】 ②12/17囲碁ボール ③3/5まとめの会
C S 協働事業	丸山小学校防災学習会	事業区分 新規	1	75	75	75	9月21日	丸山小学校
	目的 丸山小4年生を対象に防災意識を高め自主防災会の活動へ理解を深める	継続	1	75	75	75	【成果と課題】 今年度初めて開催。防災倉庫の見学と説明、避難所開設体験を行った。段ボールベッド、段ボールパーテーション、テント(なごみ)を児童と自主防災会役員で協力して設置した。 講師：丸山地区自主防災会(横道事務局長など)	【成果と課題】 自主防災会役員もコロナで防災訓練ができていない影響で、初めて体験する方もおり、大人も勉強になった。今回の内容では、学校が意図していた自主防災会の役割や活動について理解するまではできなかった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 お互いにとって好評であったため、来年度も継続して開催したい。
C S 協働事業	探鳥会	事業区分 市費	1	70	70	7,934	5月15日、12月10日	丸山公民館 ほか
	目的 中学生・地区住民を対象に、野鳥観察を通して風越山麓の自然に触れることにより、環境意識の高揚を図る	継続	1	70	70	7,934	【成果と課題】 羽場公民館・丸山公民館・飯田西中学校生徒会(愛鳥園芸委員会)共催事業。元々西中の事業であるが、平成16年から公民館も共催。講師から鳥の観察や自然について説明してもらいながら歩く。 講師：教員OBなど6名程度 【春】5月15日(日) 場所：西中～滝の沢～石灯籠 【冬】12月10日(土) 場所：かごこ子ども森公園～丸山公民館 ※コロナにより中止	【成果と課題】 地区住民、中学生が地元で自然に触れる機会となっており、一般の参加者が少ないので、地域の方も気軽に参加できるよう工夫が必要。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 冬の探鳥会において、観察できる野鳥の種類・数が年々減少している。講師の助言も踏まえながら、時期や時間を検討していきたい。

丸山公民館の事業報告

No.9

区分	事業名	事業区分	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場		
C S 協働事業	未来の自分と地域を考える会	事業区分	継続	1	79	79	79	79	2月14日	飯田西中学校		
	目的 中学3年生を対象に、二十歳の集いへの理解を深め、自身の生き方を考える機会とする 実施内容 ①20歳の自分に向けた手紙の説明(丸山公民館長) ②二十歳からのメッセージ(二十歳の集い実行委員) ③羽場丸山地区二十歳の集いの紹介(山田文化部長・主事) ④選挙の話(羽場公民館長) ※手紙は5年後の二十歳の集いで本人に返却する ※二十歳の集い該当年度になった際、連絡員を通じて実行委員を募集する	予算区分	地区費	継続	79	79	79	【成果と課題】 中学生が成人式への理解を深めるとともに、実行委員の姿を見ながら自分の将来のことを考える機会となった。二十歳にとっても、これまでの人生を振り返り、後輩へアドバイスという形で伝えることにより自分の中で整理され、今後の人生を考えることにつながるという形で行っている。「困難は自分を成長させる糧だ」と思っ「積極的に行動することで高校生活が楽しくなる」など実体験からくる熱いメッセージを送ってもらった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 身近な先輩からの話は中学生にとって良い刺激になっており、二十歳にとっても良い機会となっているため、次年度も継続開催したい。時期も手紙を書く前の2月に開催したい。	開催期日	2月14日	開催会場	飯田西中学校
C S 協働事業	飯田西中学校地域貢献学習	事業区分	継続	2	140	79	79	79	6/14、8/22～8/24	集会所・公民館等		
	目的 飯田西中学校生徒を対象に、地域への貢献活動を通して、自分たちができる事を考えたり、ふんわりと想う気持ちを育んでいく。	総合的学習の時間の時間の一環で、中学3年生が地域の為に何ができるか考え実際に活動した。事前学習として社協コーデイネーターと公民館主事からボランティアについて話を聞き、貢献活動を行った。 【実際に活動した内容】 ・地域内のゴミ拾い、清掃 ・公共施設(集会所、公民館等)の清掃 ・区内・市内の名所等のPR活動(パンフレットや立て看板の作成)	予算区分	他会計	継続	140	79	79	【成果と課題】 昨年度のように中学生自身が活動内容を考え実践する形ではなく、予め用意された内容から具体的な場所や詳細を決める方法で行った。さらにコロナ感染拡大により、保育園や高齢者宅の訪問が叶わず、活動の幅が狭まってしまった。引き続き、学校側と事業の目的や中学生に考えてほしいことについて共有することが必要。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地域にとっても中学生を身近に感じ、奉仕の心を持つ良い機会となっている。お互いの良い学びの機会になるように、コーデイネーターする先生と主事の連携を密にしながら良い取り組みにしていきたい。	開催期日	6/14、8/22～8/24	開催会場
その他	地域人教育	事業区分	継続	25	150	7	7	3,274	4月～1月	丸山公民館 他		
その他	目的 高校生と地域住民を対象に、より良い地域に向けて共に学び育つ機会や地域を知り愛着を持つ機会とする。	受け入れ2年目。地域活動への参加し、地域の方と話す中で若者が少ないことに気づき「中学生・高校生・高校生の地域行事への参加を上げる」ために様々な活動を行った。 4月～7月 地区活動参加(公民館大掃除、ずくバンド) 7月 夏休み子ども寺屋参加(7名) 10月 丸山地区運動会参加(中学生とO×クイズ) 11月 丸山地区文化祭参加(キャンドル作りと輪投げ) 12月 西中生にアンケート(全校) 1月 お正月遊び・もちつき大会で1年間の活動報告	予算区分	他会計	継続	150	7	7	3,274	4月～1月	丸山公民館 他	
その他	目的 高校生と地域住民を対象に、より良い地域に向けて共に学び育つ機会や地域を知り愛着を持つ機会とする。	【成果と課題】 生徒の活動意欲が高く、地区に出たいという先生の方針もあり、様々な地区活動に参加してもらった。地域の良さを肌で感じてもらうことができた。地域にとっても高校生が活動に参加することで新しい刺激を受けることができた。高校生が地域活動に参加するというビジョンをイメージすることができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 高校生の興味・関心を大切にしながらも地域の課題解決につながるような活動を行いたい。同じ人・同じ団体と深く関わられるような活動にしたい。	予算区分	他会計	継続	150	7	7	3,274	4月～1月	丸山公民館 他	

東野公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	実施内容参照	開催期日	開催会場
学級・講座	3館合同乳幼児学級(橋北・橋南・東野)	市・地	継続	19	120	10組	11組	実施内容参照		東野公民館など
	乳幼児と保護者を対象に、子どもと親子の触れ合いの場、子ども同士・親同士の交流の場を作り、地域の中で乳幼児のうちから健全な成長を図る。	東中学校区3館合同で開催している乳幼児学級で、3歳児を東野が担当した。 内容は学習と交流に重点を置き参加保護者と相談し、保育士、保健師、主事とも協議し決定した。常任講師・稲垣奈保美氏(保育士) ①5/25 開講式 ②6/8 仲良くなろう ③6/22 お外で水遊び ④7/13 栄養士の講話 ⑤7/27 人形劇をしよう ⑥8/24 歯科のお話 ⑦9/14 プラネタリウムを見よう ⑧9/28 動物園へ行こう ⑨10/12 電車に乗って川路へ ⑩10/26 親子ヨガ ⑪11/17 消防署へ行こう ⑫11/30 クリスマス会 ⑬12/3 運動遊び ⑭12/21 クリスマス会 ⑮1/25 節分 ⑯2/8 ママ企画 ⑰2/22 絵本読み聞かせ ⑱3/8 開講式 ⑲3/22 お別れ遠足	予算区分	市・地	19	120	10組	11組	【成果と課題】 各回6組ほどの参加があった。都度、家庭の中で戻えた子どもの成長した姿や悩みを聞きあひ、親同士も仲間意識が持てるように意識した。地区を超えた参加者同士で連絡先を交換し、一緒に遊びに行く約束をしている姿もあり、同じ年代の子どもを持つ親同士のつながりを作る場になった。 3歳になると保育園に入園する家庭も多く、学級の対象人数と参加人数に乖離が見られる。入園しているだけでも参加できる日程や内容を考えていく必要がある。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 丘の上には保育園が多く、保育園に行けば同じ小学校に行ける地元の友だちや保護者がいるわけではない。学級での保護者のつながりや知り合いを増やす機会と考え、参加者同士がつながるように取り組んでいく。	
学級・講座	東野図書分館お楽しみ会	市・地	継続	3	45	15	2,730	7月2日、10月30日、12月10日		東野公民館ほか
	地区住民を対象に、図書館の利用促進を図り、本を通じた参加者同士の交流の場とする	図書分館と共催し、保育園児・小学生の親子を対象に、工作等のお楽しみ会を実施。年4回計画したが、1回はコロナ禍で中止になった。 7/2七夕会 10/30鎮守の森のお話会 12/10お楽しみ会	予算区分	市・地	3	45	15	2,730	【成果と課題】 コロナ禍で図書館の利用者数が減少する中で、子どもたちと本のつながりを保とうと実施。参加者は普段から図書館を利用する親子や初めて図書館に来た親子もいた。 組合回覧や図書館内でのチラシで参加者募集を行ったが、より多くの子どもや保護者の目に触れるよう周知を行う必要がある。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 普段、図書館や公民館に足を運ばない親子に図書分館ならではのアプリーチが出来る機会として、引き続き実施する。	
学級・講座	独居高齢者学級「五福の会」	市・地	継続	18	122	7	200	実施内容参照		東野公民館
	70歳以上の独居高齢者を対象に、健康づくりと交流の場づくりを図る	毎月第1・3月曜日に実施講師を招くなど公民館が企画や、参加者が考えて自主活動を行った。また、毎回最初に童謡唱歌を行った。 ①4/18開講式 ②5/2開善寺にお花見 ③5/16囲碁ボール ④6/6ベタンク ⑤6/20座禅会 ⑥7/4保健師さんのお話 ⑦8/8文化祭準備(三角の袋) ⑧8/22音楽の時間 ⑨10/3クイズ ⑩10/17絵手紙を書こう ⑪11/7紅葉狩り ⑫11/21ポッチャ ⑬12/5健康体操 ⑭12/19カローリング ⑮1/16お正月遊び ⑯2/6健康体操 ⑰2/20マジックの時間 ⑱3/6お食事会・閉講式	予算区分	市・地	18	122	7	200	【成果と課題】 対象が独居高齢者で、みんなに会える毎回の講座を楽しみにしてもらっている。また、講座中や前後の参加者同士のおしゃべりから講座の内容を組み替え、体を動かす時間を増やした。 参加者は独居であり、一人だと話す機会が少ない。講座であったことだけでなく、お家や日々の暮らしであったことなどを話す時間を大切にしていきたい。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 学級のはじめの童謡歌唱は、声を出す機会として継続していく。また、独居であることを踏まえて内容を組み立てていく。	

東野公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	女性学級「めだかの学校」	市・地	継続	11	143	13	1,417	実施内容参照	東野公民館
	地区内女性を対象に、主体的な学習・交流を図る	市・地	継続	11	143	13	1,417	【成果と課題】 新たな参加者も入り、参加者が増えてきた。内容は参加者の興味関心から組み立て、参加者の意見や様子を聞きながら考えた。水引細工は自分たちが日常でも使えるようにという思いからブローチを作成し、お出かけの時に着用しているとの声があった。 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 次年度も参加者の興味関心から内容を組み立てていきたい。	東野公民館
学級・講座	書初め書道教室	市・地	継続	1	1	7	2,730	1月5日	東野公民館
	小中学生を対象に、書道の上達を図る機会を設ける	市・地	継続	1	1	7	2,730	【成果と課題】 昨年度より参加人数が少なくなったが、その分講師がそれぞれの様子を見て指導することができた。また、子ども同士がお互いの作品を褒め合い、参加者のやる気が高まる場面があった。 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 参加者同士がお互いの作品を見て、気づいたことを言い合う姿や関わっている大人が褒める場面が子どもたちのやる気につながる。次年度もそのような雰囲気や時間を大切にしながら取り組んでいく。	東野公民館
文化事業	東野文化講演会	地区費	継続	1	15	15	2,730	6月26日	東野公民館
	地域住民を対象に、地域を知り地域を見つめ直す機会を図る	地区費	継続	1	15	15	2,730	【成果と課題】 他地区の文化と自地区の文化とを比較し、課題や今後について考えるきっかけとなった。参加者からも他地区のお祭りの様子を聞け、自分たちのお祭りの現状を整理するきっかけになったと話があった。 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 他地区にある文化を聞くことで、自地区にある文化を考えるきっかけとなっている。来年度は実際に現地で体験しながら学習できるよう計画していく。	東野公民館
文化事業	いいた人形劇フェスタ2022東野地区公演	市・地	継続	-	-	-	-	-	東野公民館
	地区内の会場で上演を行い、「みる・演じる・支える」の視点からフェスタの意味を考え、フェスタの盛り上げを目指す	市・地	継続	-	-	-	-	【成果と課題】 中止となってしまったが、「来てくれる人を笑顔にしたい」という思いや、「東野らしい公演」を実行委員会と共有し、実施に向けて計画を進めていた。 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 分館主体の公演は、本館と分館が協力して行い、分館内のつながりを強め、また本館と分館との協働体制を強固にできるものである。引き続き分館と協力しながら運営していきたい。	東野公民館

東野公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ワンバウンドふらばーのバレー	地区費	新規	2	190	95	2,730	7月11日、12日	飯田東中学校
体育事業	目的 地域住民を対象に、 ニュースポーツを普及と 交流の機会を図る	実施内容 子どもから大人まで楽しめるニュースポーツ大会として町内対抗として、2日間に分けて実施した。 参加チーム数：15チーム 優勝：鈴加東新 準優勝：高羽東B	【成果と課題】 多くの住民の参加があり、特に女性だけで構成されたチームの参加もあった。ニュースポーツを通して交流が行われ、また、コロナ禍でなかなか会えなかった人とも顔を合わせ、話す機会もなかった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 女性の参加もあり、他の体育事業では交流できない層の交流を図ることができた。来年度以降も女性の参加できる貴重な機会として継続して実施する。	評価					
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	クラブ大会	地区費	新規	2	200	100	2,730	11月7日、8日	飯田東中学校
体育事業	目的 地域住民を対象に、 ニュースポーツを普及と 交流の機会を図る	実施内容 コロナ禍の中、屋外で楽しめる競技に挑戦しようと計画し、実施した。今年度で3回目を迎えた。 参加チーム数：29チーム 優勝：鈴加東新A 準優勝：錦町A	【成果と課題】 地区で行われて今回で3回目を迎えた。女性だけのチームの参加もあり、地区内に浸透している。また、新しいスポーツの楽しさも感じているようになって、ニュースポーツの入り具となっている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 新しいスポーツで、経験に左右されない競技性から町内のまとまりを作るきっかけとなっている。次年度も継続して、大切にしていきたい。	評価					
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	第33回東野区民大運動会	他会計	継続	5	1,500	1,500	2,730	10月2日	飯田東中学校
体育事業	目的 地域住民を対象に、運 動を通じて親睦を深め 交流し、地域の連帯意 識を高める	実施内容 地区内20自治会を4チームに編成し、9種目の競技で実施する。各町内から人員を選出してもらい、実行委員会を組織し、各担当者が主体的に運営し、実施した。 飯田市東中学校の生徒が放送係として参画してくれた。 コロナ対策として半日開催や直線コースなど前回実施した内容を踏襲しながらも、参加者が盛り上がる種目を復活させた。	【成果と課題】 コロナ禍でも出来るようにと実施した際の要項などを参考にしながらも、反省や改善点を実行委員会や体育部で話し合い。より盛り上がるように考えながら企画し実施した。 参加する地区住民の事を考え、どの年代も活躍できるような種目の組み立てなどを行った。参加した住民からは「不安であったが、開催すると皆とあえて良かった」など喜ぶ声が聞けた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 年に1度、地区住民が集い、交流し、個々のつながりを強め、また、町内のまとまりも強まる機会となっている。引き続きコロナの現状を踏まえ、地区住民が活躍できるよう実施していく。	評価					
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	パタンク大会	地区費	継続	2	200	100	2,730	9月5日、6日	飯田東中学校
体育事業	目的 地域住民を対象に、 ニュースポーツを普及と 交流の機会を図る	実施内容 子どもから大人まで楽しめるニュースポーツ大会として今年度で4回目を迎えた。 男女比率自由の3人以上で1チームとする町内対抗のトーナメント戦で2日間に分けて行った。 多くの人が参加しやすいように東野ルールを作成し、適用した。 参加チーム数：28チーム 優勝：吾妻西 準優勝：宮ノ上	【成果と課題】 子どもから大人まで参加できるニュースポーツを通じて多くの住民が交流する機会となった。参加チーム数も多く、地区内にも種目も浸透してきている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 次年度も継続して実施し、各町内から1チームでも参加できるよう声掛けを行い、より多くの住民の交流を図る。	評価					

東野公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	囲碁ボール大会	地区費	継続	1	100	100	2,730	2月5日	飯田東中学校
	目的 地域住民を対象に、 ニュースポーツを普及と 交流の機会を図る	実施内容 子どもから大人まで楽しめるニュースポーツ大会として計画し、男女比率自由の3人以上で1チームとする町内対抗のトーナメント戦で行った。 参加チーム数：29チーム数 優勝：諏訪町 準優勝：錦町D	評価 【成果と課題】 体育部の事業で唯一の休日開催であり、平日夜間の体育事業には参加が難しい子どもから高齢者まで多くの参加があった。また、囲碁ボールクラブからも2チームの参加があった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 平日夜間には参加が難しい住民の参加があり、ニュースポーツを通して住民同士の知り合いが増えていく機会として継続して実施する。						
広報事業	まちづくり会報「ひがしの」発行	地区費	継続	5	33	7	2,730	通年	開催会場 -
	目的 地域住民を対象に、地 域の出来事を伝え、地 域の問題を提起し考え てもらう機会を図る	実施内容 年間発行回数：5回 各回発行部数：1300部 広報部員とまちづくり会議選出の1名が編集を行い、まちづくり会議が発行している。住民に問題提起をし、考えてもらうような、地域に密着した誌面作りを行った。 わがまち文化ウォッチングとして地区内の町名の由来のコーナーを始め、また、地区内から俳句や短歌を募集し、紙面で紹介する文芸コーナーも新しく始まった。 各号発行：第69号6/15、第70号9/14、第71号11/16、第72号2/1、第73号	評価 【成果と課題】 コロナ前ほどではないが、事業が通常通りに活動し始め、地区内にもその雰囲気を与えたいと事業の様子の紹介や地区内の動きを積極的に発信していった。 多くの方を紙面に登場させたいという思いから、文芸コーナーを新設し、より多くの地域の方を紙面に登場させた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 継続して、地区で起きていることや情報を住民に投げかけ考えをきりかけとなるような内容を発信していく。						
育成事業	夏休み子ども寺子屋	市・地	継続	1	50	50	2,730	7月28日(29日、30日中止)	開催会場 東野公民館
	目的 東野地区内の小学生を 対象に、夏休み中の規 則正しい生活の支援と 居場所作りをし、地域の 大人と子どもとの交流を 通して顔の見える関係 づくりを図る。	実施内容 夏休みの3日間、基本構想推進部会と公民館が中心となり長期休み中の子ども達の居場所として、コロナ対策をしながらプログラムを実施した。3日間のうち、後半2日はコロナ感染拡大により中止となった。 7/28…工作(獅子頭)、社会見学(NTT) 7/29(中止)…環境や自然の話、運動遊び 7/30(中止)…英語の時間、川遊び	評価 【成果と課題】 コロナ禍で楽しみが少なくなっている子どもたちに思い出になる楽しいことを提供しようとして実施。子ども達の参加数に対してスタッフ数が少なくなってきた。獅子頭などの確保が課題となった。参加した子どもにとってはグループで1つの獅子頭を作る事で連帯感を感じ、また、普段は行けないような会社の中を見せられて貴重な経験となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 参加した子どもが地域の大人といっしょに学び、東野という地域を感じてもらい、大人との信頼関係や地域への愛着を育めるように関わっていく。企画にも子ども達の声を反映し、また、新たな層にもスタッフなどとして関わって頂けると嬉しい。						

東野公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	春休み子ども寺子屋	市・地	継続	1	100	100	2,730	3月17日、18日、19日	東野公民館ほか
	<p>東野地区内の小学生を対象に、春休み中の規則正しい生活の支援と居場所作りをし、地域の大人と子どもとの交流を通して顔の見える関係づくりを図る。</p> <p>【成果と課題】 春休みの長期休みでの見守り事業。夏休みと比較して、多くの地域の大人がスタンプとして参加してくれた。また、今年度二十歳の集いに参加してくれた方たちもスタッフとして加わり、若い世代が地域での活動に興味を持つきっかけとなった。</p> <p>評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 若い世代のスタッフは他の地域のスタッフからも好評で、最終日には仲良く話している姿が見られた。来年度野茂引き続き若い世代に声掛けを行い、スタンプとして参加してもらい、地域活動への入り口とする。</p>	市・地	継続	1	100	100	2,730	3月17日、18日、19日	東野公民館ほか
合同事業	令和4年度橋北・橋南・東野地区二十歳の集い	市・地	継続	1	70	70	108	1月8日	飯田市公民館
	<p>新成人を対象に、学習の場をつくり、活動を通じて地域への愛着、誇りを持つような機会とする。</p> <p>【実行委員会】 9月～2月までに計8回開催</p> <p>【成果と課題】 様々な制限の中でも自分たちの二十歳の集いを思い出しに残るものとするために、二十歳の集い実行委員で二十歳の集いをどんな機会にしたいか話し合い企画した。「感謝の気持ちを伝える」と「みんなで大盛り上がり」をコンセプトに決め、話し合いと準備を重ねゼロから作り上げた。企画の検討や、地域学習についての取り組み姿が見られた。</p> <p>評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 はじめは消極的だったが、段々自主的・主体的に取り組みむことが姿が見られた。二十歳の集いが終わった後、二十歳の実行委員からこのつながりが無くなってしまおうのは寂しいという声が聞かれ、地区の行事に積極的に参加してくれる。今回できたこのつながりを大切にしたい。若者が主役になれる事業を考えたい。</p>	市・地	継続	1	70	70	108	1月8日	飯田市公民館
合同事業	ふるさとコンサート(橋北・橋南・東野三館合同)	市・地	継続	1	50	50	8,071	7月17日	橋南公民館
	<p>地域住民を対象に、身近な場所でのプロの演奏家による音楽を楽しめる機会の創出を図る。</p> <p>【開催概要】 演奏者：Flourescer(フローレル)</p> <p>【成果と課題】 高レベルの生演奏の音楽を身近な場所でも楽しむ機会として実施。新型コロナウイルス感染症の感染拡大で、3年ぶりの開催となった。橋南夏祭りと同じ日に開催し、当日夏祭り参加者へも各公民館の専門委員が協力し合い、チラシを配布するなどPRを行った。プロの音楽家による演奏を聴く機会の提供は、地区住民にとって貴重な機会であるため、次年度も3公民館で相談しながら進めていきたい。</p> <p>評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 地区住民にプロの音楽家の演奏を身近な場所で聴く貴重な機会として、3公民館で相談しながら、取り組んでいきたい。併せて中学校の吹奏楽部がプロと交流できる機会にできないか、学校と実行委員会と相談しながら検討する。</p>	市・地	継続	1	50	50	8,071	7月17日	橋南公民館

東野公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	令和2年度橋北・橋南・東野地区成人の集い	市・地	継続	1	69	69	105	5月4日	橋南公民館
	<p>新成人を対象に、学習の場をつくり、活動を通じて地域への愛着、誇りを持つような機会とす</p> <p>【開催概要】 ・成人式実行委員会を開催し、成人式の企画、準備 ・記念撮影、式典、先生方のサプライズ、交流企画の実施 など</p>	橋北・橋南・東野地区の東中学校区合同で該当者有志、公民館委員等で組織する実行委員会体制で実施。前年の8/7に実施するべく準備を進めてきたが、新型コロナウイルスの影響で中止となり、代替え事業を1月から計画して実施した。	【成果と課題】 前年度の8月7日での開催に向けて準備を進めてきたが、残念ながら中止となった。しかし、実行委員の方たちのかしこかという強い気持ちから代替え事業を計画した。感染症対策をしながらも思い出しに残る会となるよう、工夫を凝らした内容で実行委員が主体的に計画し、地区実行委員も新成人たちの想いに出る限り添える形での式典準備を進めてきたことで、当日の実行委員の一体感、満足度は高かったように感じている。この経験から、これからの人生も頑張っていきたいという感想ももたらうことができた。 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 今後も、実行委員のモチベーションや主体性を大切にしながら、開催に向けた企画・準備を進めていきたい。	69	105	5月4日	橋南公民館		
合同事業	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数 <td>開催期日</td> <td>開催会場</td>	開催期日	開催会場
	(橋北・橋南・東野)3館合同文化講演会	市・地	継続	1	26	26	8,071	2月26日	橋南公民館
合同事業	<p>地域住民を対象に、地域を知り愛着を深める内容の講演会を3地区合同で行うことで、丘の上の成り立ちやあり方に広く目を向ける機会とする。</p> <p>【開催概要】 「身近な課題を知って、自分自身のこれからを考えよう～今の介護現場の状況から～」 講師：橋爪里美氏、村澤勝弘氏（共に社会福祉協議会所属）</p>	高齢社会が進んできている日本。身の回りでも、その影響は様々なところに表れてきている所に着目し、実際に介護の現場で活動されている方の話から、今後いつ直面するかもしれない状況について知り、考え、それを軽減させるためのポイントについて学ぶことを目的に実施した。	【成果と課題】 当日は、介護という身の回りにあるけれどもなかなか詳しく聞く機会がない事について、講師が分かり易く説明してくれたことで参加者の満足度も高かったと感じている。また、今回講演を聞いた方が、近所の方や家族に話をする1つのきっかけになったという話も聞いているため、身近なテーマを設定したことが良かったのではないかとと思う。 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 3館文化講演会の場が単なる講座の機会として捉えるのではなく、3館の交流の機会となるように地区の方と相談して来年度以降も会の組み立てをしたい。	26	8,071	2月26日	橋南公民館		
	<p>小中学生を持つ家庭を対象に、家庭教育の充実を図る</p> <p>講師：飯田保健福祉事務所長 松岡裕之氏 演題：COVID-19 飯田地方を襲った第6波・第7波を振り返る</p>	PTA、小学校、公民館がそれぞれの中から見ると取り巻く課題を共有し、三者が集まる会議の中で内容の検討、講師の選定を行い講演会を実施した。	【成果と課題】 コロナウィルスの感染状況も刻々と変わり、実際に陽性となってしまった児童も多くいて、その子を家庭でどう隔離するかといった話や最新の研究で今のウィルスについて分かったことなどの講演をいただいた。参加者からは参考になったと感想が聞けた。 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 今後も三者にとって有益な情報を学習・共有する機会として継続していきたい。特に講演会のテーマを決める準備会で、PTAの関心ごとを聞けるので、その過程を大切にしてい	250	700	11月22日	丸山小学校		
CS協働事業	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数 <td>開催期日</td> <td>開催会場</td>	開催期日	開催会場
家庭教育講演会(PTA講演会)	市・地	継続	1	250	250	700	11月22日	丸山小学校	
CS協働事業	<p>小中学生を持つ家庭を対象に、家庭教育の充実を図る</p> <p>講師：飯田保健福祉事務所長 松岡裕之氏 演題：COVID-19 飯田地方を襲った第6波・第7波を振り返る</p>	PTA、小学校、公民館がそれぞれの中から見ると取り巻く課題を共有し、三者が集まる会議の中で内容の検討、講師の選定を行い講演会を実施した。	【成果と課題】 コロナウィルスの感染状況も刻々と変わり、実際に陽性となってしまった児童も多くいて、その子を家庭でどう隔離するかといった話や最新の研究で今のウィルスについて分かったことなどの講演をいただいた。参加者からは参考になったと感想が聞けた。 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 今後も三者にとって有益な情報を学習・共有する機会として継続していきたい。特に講演会のテーマを決める準備会で、PTAの関心ごとを聞けるので、その過程を大切にしてい	250	700	11月22日	丸山小学校		

東野公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
C S 協働事業	丸山小学校150周年記念事業	市・地 新規	1	300	300	10,664	通年	丸山小学校、飯田文化会館
	目的 丸山小学校在校生および卒業生を対象に、150周年の歩みを整理し記録として残したり、交流したりすることを通して、地域の子どもたちについて考える機会とする	令和5年度に丸山小学校が創立150周年を迎えることを記念して、小学校、PTA、羽場・丸山・東野3地区で実行委員会を立ち上げ、記念誌、写真展、交流会の3つの係に分かれて活動を行った。 【活動内容】 準備会(総務係)…全体の進行調整、寄付による資金調達、記念備品の選定、記念事業の企画 記念誌係…100～150周年の50年間の出来事や写真をまとめた記念誌の作成。 写真展係…過去50年間の写真を収集し記念事業でのパネル展示の準備。 交流会係…在校生と卒業生の交流事業の企画・運営。2月には文化会館にて、在校生、西中生、卒業生バンドによる「丸山行進曲」の再録と演奏交流会	予算区分 事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日
区 分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
C S 協働事業	明るいかざこしの子らを育てる会	地区費 継続	1	63	63	63	6月23日	丸山小学校
	目的 地区役員、教職員、PTA役員を対象に、目指す子ども像の共有を行い、3者の連携を深める	学校運営協議会で確認した「めざす子ども像」の実現に向けて具体的な活動を推進するための会。平成29年より始まり、今年で7日目。羽場・丸山・東野地区役員や丸山小・西中の教職員、丸山小・西中のPTA役員、地域のキャリア教育関係者等が参加している。「安心・安全部会」「学習・キャリア教育部会」「地域連携部会」の3つの部会で構成されている。 今年度は全体会を1回開催した後、各部会を随時開催して各事業を推進する予定だったが、学校の都合もあり、各部会を開催することができなかった。	予算区分 事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日
区 分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
C S 協働事業	丸山小学校放課後子ども教室「青空スクール」	他会計 継続	23	2,300	110	458	通年	丸山小学校ほか
	目的 地域ボランティアスタッフの指導と見守りにより、安全な子どもたちの居場所づくりを目指す	丸山小学校区の羽場・丸山・東野地区合同事業。平成19年より開始。放課後の児童の居場所として地域ボランティアスタッフが指導と見守りを行う。学期ごとに運営委員会・スタッフ会を開催し、運営や児童の様子について話し合っている。今年度は過去最多の110名の登録があった。コロナ感染拡大により1学期初めと1学期終わり～2学期はじめの期間、活動を休止した。 【通常の活動】 活動日：毎週水曜日(20回) 活動内容：バドミントン(体育館)・卓球(プレイルーム)・ミニサッカー(グラウンド)・制作(理科室)※コロナ感染対策により合同の時間は無し 【その他の活動】 ・各地区の文化祭での作品の展示 ・学期に1回の土曜日または日曜日に参観日を兼ねたお楽しみ会 ①8/21工作【中止】 ②12/17囲碁ボール ③3/5まとめの会	予算区分 事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日
区 分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
C S 協働事業	【成果と課題】 各係で学校・PTA・地域の三者が協働し、事業実施や成果物作成に向けて検討や準備を行うことができた。母校に関する活動の中で、当時は懐かしんだり、現在の学校の状況を知らずたりして、地域の実行委員にとって意義深い事業になっている。在校生と卒業生の交流が少なく、小学生にとっては150周年の実感が持ていないことが現状。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 令和5年6月の記念事業実施に向けて、各係や全体会で準備を進めていく。今後、記念誌・写真展の準備のほか、航空写真の撮影、クリアファイルの作成、行進曲の歌パートの録音などの活動を行っていく予定。	予算区分 事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	区 分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日
C S 協働事業	【成果と課題】 関係者の顔合わせだけでなく、具体的な活動について話ができるように部会を複数回開催し、少人数での話し合いを増やす予定であったが、学校の体制が変わったことにより実現できなかった。参加する教員の負担感もあるため、教頭・主事課題を出し合いながら、有意義な意見交換、話し合いになるように準備したい。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 学校からの要望で来年度は全体会1回の開催になる予定。	予算区分 事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	区 分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日
C S 協働事業	【成果と課題】 活動を通じて、地域の大人と子どもが顔見知りになり、学校外で出会う機会もあいつつし合える関係作りができた。ここでできたつながりから公民館事業へ参加するようになった児童もいた。お楽しみ会では、保護者と懇談の時間をとり、地域の人、保護者が感じていることを意見交換することができた。 スタッフの減少・高齢化、参加希望児童の増加、活動場所の制限など、運営上の課題もあり、運営員会等での検討が必要。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 地域の子どもと大人が顔見知りになる場として、継続していく。上記課題については、教育委員会、学校、地域、PTAなどとも共有しながら解決に取り組んでいきたい。	予算区分 事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	区 分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日

座光寺公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	<p>ひよびよ学級(0-1歳学級)</p> <p>・保健師・保育士が中心となり、幼児の健康や発達段階に合わせた体を使った遊びや親子のふれあいを深める内容を企画し実施した。子育てサポートの共有としてつどいの広場への訪問を行った。また、作品をつくって文化祭にて展示した。</p> <p>【成果と課題】 保育士と保健師とともに幼児の発達段階に合わせた体を使った遊びや親子のふれあいを深める内容を企画し実施した。子育てサポートの共有としてつどいの広場への訪問を行った。また、作品をつくって文化祭にて展示した。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 子どもの成長を一番に考え、参加者同士、または地域とのつながりの機会になるように今後も実施していきたい。</p>	市・地	継続	9	144	16	35	実施内容参照	座光寺公民館 他
学級・講座	<p>実施内容</p> <p>・保健師・保育士が中心となり、幼児の健康や発達段階に合わせた体を使った遊びや親子のふれあいを深める内容を企画し実施した。子育てサポートの共有としてつどいの広場への訪問を行った。また、作品をつくって文化祭にて展示した。</p> <p>【成果と課題】 保育士と保健師とともに幼児の発達段階に合わせた体を使った遊びや親子のふれあいを深める内容を企画し実施した。子育てサポートの共有としてつどいの広場への訪問を行った。また、作品をつくって文化祭にて展示した。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 子どもの成長を一番に考え、参加者同士、または地域とのつながりの機会になるように今後も実施していきたい。</p>	市・地	継続	10	150	15	56	実施内容参照	座光寺公民館 他
学級・講座	<p>実施内容</p> <p>・保健師・保育士が中心となり、幼児の健康や発達段階に合わせた体を使った遊びや親子のふれあいを深める内容を企画し実施した。子育てサポートの共有としてつどいの広場への訪問を行った。また、作品をつくって文化祭にて展示した。</p> <p>【成果と課題】 保育士と保健師とともに幼児の発達段階に合わせた体を使った遊びや親子のふれあいを深める内容を企画し実施した。子育てサポートの共有としてつどいの広場への訪問を行った。また、作品をつくって文化祭にて展示した。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 子どもの成長を一番に考え、参加者同士、または地域とのつながりの機会になるように今後も実施していきたい。</p>	市・地	継続	1	30	30	150	実施内容参照	座光寺公民館 他
学級・講座	<p>子育て応援講座</p> <p>現在母親が抱えている悩みや課題を解決するための講座(年2回) ①第一回 7/26 読み聞かせ(下沢先生)【中止】 ②第二回 11/13 ファミリーデー</p> <p>子育て世代の保護者を対象に学習会を開催し、子育ての悩みを解消するだけでなく、自主的なグループ発足を目指していく。</p>	市・地	継続	2	40	20	4,173	実施内容参照	座光寺公民館 他
学級・講座	<p>実施内容</p> <p>地域の文化や歴史資源から自分たちの地域を感じる事業の実施。 ①06/25 南信濃の関所巡り ②11/27 座光寺の遺跡を巡る</p>	市・地	継続	2	40	20	4,173	実施内容参照	座光寺公民館 他
学級・講座	<p>実施内容</p> <p>地域住民を対象に、座光寺の歴史や文化を学習し地域の素晴らしさや愛着心を育む。</p>	市・地	継続	2	40	20	4,173	実施内容参照	座光寺公民館 他

座光寺公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	古文書講座	市・地	新規	11	220	20	4,173	実施内容参照	座光寺公民館
	実施内容	<p>リア中央新幹線開通工事など地域の中で住居の取り壊し・移転により多くの古文書が排出し、麻績史料館に保管されている。この古文書から文字の読み方を学び、地域の歴史、習慣・文化から自分たちの地域を感じる講座。(実施内容)</p> <p>『古文書が読めたら世界が広がる』～ゼロから始めよう古文書講座～ 講師：市/歴史研究所 羽田真也さん 日程：毎月第3金曜日（全11回） 共催：歴史に学び地域をたずねる会</p>							
学級・講座	麻績いきいき大学（一般教養講座）	市・地	継続	4	60	15	4,173	実施内容参照	座光寺公民館他
	実施内容	<p>陶芸部、合唱部、ハーモニカ部、詩吟部、キーボードの各々で自主的な運営企画を随時行う。全体活動として一般教養講座を開催。(実施内容)</p> <p>第1回 開校式「いきいき生きるために」講師 座光寺自治振興センター保健師 第2回 「おもしろ科学実験教室」講師 おもしろ科学工房 三浦宏子氏 第3回 「満蒙開拓平和記念館へノスタルジック」講師 寺沢館長 第4回 閉校式「ニュースポーツ体験」</p>							
文化事業	いいだ人形劇フェスタ座光寺保育園公演	地区費	継続	1	-	-	4,173	中止	座光寺保育園
	実施内容	<p>保育園、保護者会、公民館が連携して開催。【中止】</p>							
文化事業	子どもたちを対象に人形劇を通じて芸術文化振興を図る。	地区費	継続	1	-	-	4,173	中止	座光寺公民館 他
	実施内容	<p>【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 園児が身近に人形劇に触れあえる機会を確保していく。 □現状維持 □縮小</p>							
文化事業	座光寺人形劇まつり	地区費	継続	1	-	-	4,173	中止	座光寺公民館 他
	実施内容	<p>公民館の2会場でローテーションを組み、多くの劇団をリレー公演で実施。【中止】</p>							
文化事業	座光寺地域住民を対象に人形劇を通じて芸術文化振興を図る。	地区費	継続	1	-	-	4,173	中止	座光寺公民館 他
	実施内容	<p>【成果と課題】 古文書を読み、これからの生活や地域づくりのヒントにしたいと住民の声がある。参加者には、さまざまな目的を持った若男女多世代が参加している。参加者からはだんだんと古文書を読めるようになってきているため、講座を継続したいという声がある。工夫しながら長く続けられる講座にしたい。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 座学だけでなく現地見学をする時間も設けて意欲を高めていきたい。</p>							

座光寺公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	一回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	大人の交流事業	市・地	新規	1	30	30	4,173	9月17日	エスバード
	目的 地区住民を対象に、日頃の文化活動の発表の場や地域の交流を図る場とする。	結婚相談員会・健康福祉委員会と提携し、大人の交流講座を実施。 9/17 婚活イベント「座恋路」料理教室と交流を行った。							
文化事業	座光寺地域芸能発表会	市・地	継続	1	300	-	4,173	10月22日	座光寺公民館
	目的 地区住民を対象に、日頃の文化活動の発表の場や地域の交流を図る場とする。	地域の皆でつくる地域最大の文化の祭典として位置づけ多彩な催しを計画。例年文化祭にて行っていたが、2年連続でコロナウイルス感染拡大により文化祭が中止になってしまったことから、今年度は芸能発表会を先行開催とした。 参加団体：座光寺小学校4年生人形劇、高陵中学校・飯田女子高校・座光寺地域のサークル等							
文化事業	座光寺地域文化祭	市・地	継続	1	1,000	-	4,173	2月4日～2月5日	座光寺公民館
	目的 地区住民を対象に、日頃の文化活動の発表の場や地域の交流を図る場とする。	2/4～2/5 地域の皆でつくる地域最大の文化の祭典として位置づけ多彩な催しを計画。展示や、講演会等さまざまな企画・催しを行った。 (参加団体)保育園・小学校・児童センター・中学校・風越高校・自治会・歴史に学び地域をたずねる会・その他地域の活動団体 (会場)座光寺公民館、麻績の館、麻績会館、竹田人形館							
文化事業	麻績の里地域づくり種まき大賞	地区費	継続	1	200	200	4,173	2月4日	座光寺公民館
	目的 地域に良い種を蒔いてくれた方を表彰することで新たな芽吹きへとつなげる。	地域の中で温かな心の種を蒔いた個人や団体、地域の里に蒔かれた地域づくりの種を大きく育てていくことを主旨に、家庭(家族のふれあいへの提言・行為)・環境(環境美化・環境浄化への提案・行為)・地域(地域向上への提案・行為)の部門ごとに文化祭において表彰する。 受賞者：メーデー時遊会・里いも体験支援隊・棚田和男・杉本みほる							

座光寺公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	座光寺地域二十歳の集い	市・地	継続	1	62	62	77	1月8日	座光寺公民館 他
	今年度二十歳を迎える方を対象に、地域で祝い、地域の一員としての自覚を持ってもらうようにする。	市・地	継続	1	62	62	77	1月8日	座光寺公民館 他
文化事業	座光寺地域の新成人代表(6名)と文化部員が中心になって実行委員会を組織し、当日までの計画を一緒に考えていく。 ・8月～12月 成人式実行委員会(5回) ・10/15 地域学習「変わりゆく座光寺を記録に残そう」(当日の内容) ・座光寺の歌斉唱・実行委員長挨拶・新成人代表挨拶・新成人企画(記念品紹介、地域学習の発表、ビンゴ大会)・祝賀会・来賓からのエール・万歳三唱など(特色) ・式典に保護者も参列、記念品に地域から座光寺産シードルを贈呈、式典での地域学習の発表など	市・地	継続	1	62	62	77	1月8日	座光寺公民館 他
	【成果と課題】 二十歳の実行委員6名は当初は「やらされ感」や「人任せ」が多く感じられたが、文化部員や恩師からの労いの言葉やアドバイスがあり、終盤は自主的に活動する姿が見られた。式後の感想でも、地域の方への感謝や座光寺を思う気持ちが伝わってきた。また、今年度は祝賀会も開催でき、盛大な成人式になった。 成人式が若者が地域に目を向けるスタートとなるように、新成人と地域の大人の出会いを大切にしながら地域で祝う成人式の気持ちをもち実施していく。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 コロナ下で止まっている同窓会の実施について検討。	市・地	継続	1	62	62	77	1月8日	座光寺公民館 他
体育事業	春季・冬季スポーツ大会	市・地	継続	2	80	40	4,173	実施内容参照	開催会場 実施内容参照
	住民の体力増強と大会及び懇親会を通じて地域内のコミュニケーションを図る	市・地	継続	2	80	40	4,173	実施内容参照	開催会場 実施内容参照
体育事業	座おうちde簡単ストレッチ	市・地	継続	3	48	16	4,173	実施内容参照	開催会場 -
	コロナ禍における住民の健康推進及び体力増強を図る	市・地	継続	3	48	16	4,173	実施内容参照	開催会場 -
体育事業	座光寺地域の新成人代表(6名)と文化部員が中心になって実行委員会を組織し、当日までの計画を一緒に考えていく。 ・8月～12月 成人式実行委員会(5回) ・10/15 地域学習「変わりゆく座光寺を記録に残そう」(当日の内容) ・座光寺の歌斉唱・実行委員長挨拶・新成人代表挨拶・新成人企画(記念品紹介、地域学習の発表、ビンゴ大会)・祝賀会・来賓からのエール・万歳三唱など(特色) ・式典に保護者も参列、記念品に地域から座光寺産シードルを贈呈、式典での地域学習の発表など	市・地	継続	1	62	62	77	1月8日	座光寺公民館 他
	【成果と課題】 昨年度の続き、コロナ禍による健康不足解消のための運動啓発としてストレッチ紹介をした。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 集いしない定期的な健康推進として次年度も継続する。引き続き、他の団体や委員会へ活動の周知も含めて行っていきたい。	市・地	継続	1	62	62	77	1月8日	座光寺公民館 他
体育事業	座光寺地域市民運動会	市・地	継続	1	35	35	4,173	10月9日	開催会場 座光寺小学校
	住民の体力増強と大会及び懇親会を通じて地域内のコミュニケーションを図る	市・地	継続	1	35	35	4,173	10月9日	開催会場 座光寺小学校
体育事業	座光寺地域の親睦を深め活力を高める」をスローガンに地区対抗で実施。(新型コロナウイルス感染症拡大防止の為中止) 代替事業として、座光寺地域全体でオープン参加としたポッチャ交流会を行った。	市・地	継続	1	35	35	4,173	10月9日	開催会場 座光寺小学校
	【成果と課題】 代替事業のポッチャ交流会の参加人数は少なかったが、ニュースポーツを通して地域の交流ができた。参加者は楽しんでくれたように思われた。 運動会は中止になったが体育部会で、来年度は運動会を開催する方向で検討を重ねた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 運動会は地域の親睦を深める場として大事に考えているので、実施内容等検討していく。	市・地	継続	1	35	35	4,173	10月9日	開催会場 座光寺小学校

座光寺公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	地区交流月間	継続	地区費	1	30	30	4,173	各地区による	各地区による	各地区内
	実施内容	<p>「高齢者から子どもまで地区内大勢の皆さんで楽しく交流」を目指して、住民相互の交流・親睦を地区主体で実施。 1地区で実施。</p> <p>【成果と課題】 コロナ禍により地区としての交流事業を行っていない地区もあり、実施報告が少なかった。 □拡充 □現状維持 □縮小 □拡充 □現状維持 □縮小 体育部でわかりやすいスポーツの紹介の仕方を検討するとともに地区の交流を引き続き推進していきたい。</p>								
広報事業	広報座光寺	継続	地区費	15	150	10	4,173	実施内容参照		開催会場
	実施内容	<p>公民館広報部と自治会選出員(4名)で構成されており、公民館事業だけでなく、広く地域事業に関わる内容を掲載。 (実施内容) 発行:年4回(6月、9月、12月、3月) 発行部数:1500部(全戸配布)</p> <p>【成果と課題】 広報つくりの学習会を開催し、また、「取材」を多く行い、部員自らが地域を知る機会とした。自分たちで書く広報を続けながら、地域への投げ込みなど自分たちの地域への意識の高揚につながる紙面作りをめざしたい。 □拡充 □現状維持 □縮小 □拡充 □現状維持 □縮小 他地区の広報・館報から学ぶ機会を設け自分たちの広報を見直す機会を設けていきたい。</p>								
広報事業	広報座光寺お知らせ版	継続	地区費	12	120	10	4,173	実施内容参照		開催会場
	実施内容	<p>年4回の広報座光寺では記事に掲載しきれない、毎月の地区の情報や、次月のお知らせを各戸へ発信する。 (実施内容) 発行:毎月最終木曜日 年12回 発行部数:1500部(全戸配布)</p> <p>【成果と課題】 情報が集約され、お知らせをすることが目的であるので、地区では、お知らせ版から情報を得ること位置付けられ、定着している。 □拡充 □現状維持 □縮小 □拡充 □現状維持 □縮小 広報座光寺との掲載内容が重複しないように広報部で企画について検討していきたいが、毎月発行のため、主事が中心に紙面構成をせざるを得ない状況にある。しかし、地区の皆さんに漏れのない情報提供のため、今後も必要な情報を発信していく。</p>								
育成事業	麻績の里体験学校 子ども科学教室	継続	市・地	2	47	20	4,245	6月27日、12月11日	エス・バード	
	実施内容	<p>【成果と課題】 地域内にある施設で実際に体験学ぶ機会を実現できた。今年度は信州大学の大学院生にも参加いただき、エスバードで学ぶ大学生と触れ合うことで子どもが未来を考える機会となった。エスバード内の信州大学でどのようなことが研究されているのかを、地域住民であるスタッフも知ることができ、地域の資源を見直す機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 直前に座光寺小学校で学級閉鎖が複数の学年であったため、参加人数が減ってしまったため、来年度は時期等も検討したい。</p>								

座光寺公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	麻績の里体験学校 水生生物観察会	市・地	継続	1	55	55	4,173	7月17日	水辺の広場
	<p>子どもたちを対象に開催し、親子のふれあいや地域内外の様々な人たちの交流、を通じて、ふるさとへの愛着や生きる力を育む。</p> <p>【成果と課題】 水辺のごみの問題のお話、水生生物の観察を行った。水生生物がいる川の保全・環境についての学習となった。水遊びでは子どもたちの姿が見られ、水辺の広場を知り、機会にもなった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 □縮小 子どもが多く集まるイベントなので、さらに楽しめる催しを企画していく。</p>	市・地	継続	1	55	55	4,173	7月17日	水辺の広場
育成事業	麻績の里体験学校 秋の南本城を探索しよう	市・地	継続	1	20	20	4,173	9月25日	南本城
	<p>子どもたちを対象に生き物が生息する環境を知り、環境に関して興味を持つ気持ちを育む。</p> <p>【成果と課題】 里山を親子で歩き、自然を観察することで、地域の資源を知ることができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 □縮小 麻績の里振興委員会との協力。</p>	市・地	継続	1	20	20	4,173	9月25日	南本城
育成事業	麻績の里体験学校 ふるさと体験	市・地	継続	1	60	60	4,173	実施内容参照	実施内容参照
	<p>小中学生とその保護者、地域住民を対象に、座光寺の歴史や文化や自然を学習し地域の愛着心を育む。</p> <p>【成果と課題】 火おこし体験では地域の歴史を感じるために、麻績の舞台校舎の見学をしてから、麻績のひろばで火おこし体験を実施。親子で学習する機会となった。 また、今年度初めて考古博物館で昔のお金作り体験を行った。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 □縮小 地域の中に歴史的遺物が豊富にあるので、歴史に学び地域をたずねる会とも協力しながら変わりゆく地域を感じながら地域への関心・愛着を感じることを重視した体験活動に来年度も取り組んでいきたい。</p>	市・地	継続	1	60	60	4,173	実施内容参照	実施内容参照
育成事業	座光寺小学校科学実験教室	市・地	継続	2	111	111	111	11/25、12/5	座光寺小学校
	<p>子どもたちを対象に科学教室を行い、科学を身近に感じてもらうだけでなく地域の様々な人たちの交流を通じて、ふるさとへの愛着や生きる力を育む。</p> <p>おもしろ科学工房の皆さんに協力いただきながら、小学生へ科学の面白さを感じてもらう機会を学校授業の一環として座光寺小学校と共催実施。 【実施内容】 2年生：空気の実験、ペーパージャイロ作成 3年生：超低温の不思議な世界 6年生：モデルロケット作成・打ち上げ 主催：座光寺小学校、座光寺公民館 講師：おもしろ科学工房、座光寺公民館健全育成部</p>	市・地	継続	2	111	111	111	11/25、12/5	座光寺小学校

座光寺公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	新春書初め会	地区費	継続	地区費	1	28	28	4,173	1月4日	座光寺公民館
	実施内容									
育成事業	<p>健全育成部が中心となり実施。 (実施内容) 内容：書写(毛筆・硬筆) 参加者：子ども15名、保護者7名、スタッフ6名 講師：塩澤哲夫氏</p> <p>小中学生とその保護者、地域住民を対象に、お正月行事の大切さを感じ、また、世代間交流の機会とする。</p>									
育成事業	<p>【成果と課題】 小学生だけでなく、中学生の参加があり、よい緊張感の中でそれぞれ書、書に向かった。 多くの人に参加してもらえたので冬休みの宿題だけでなく、お正月行事としての書初めについて由来や心持についても感じる機会にしていきたい。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 今回、書に向かう心持ちについて講師の方からアドバイスしてもらったことを大事にした。お正月行事としての書初めについての由来や季節行事を感じる機会にしていきたい。</p>									
区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	麻績の里体験学校 まとめの会	地区費	継続	地区費	-	-	-	47	1月22日(中止)	座光寺公民館
	実施内容									
育成事業	<p>一年間実施する「麻績の里体験学校」の活動を振り返り、次年度の事業へつなげるまとめの会を実施。写真のスライドショーを見ながら1年間の活動を振り返り、模造紙に絵や写真などを用いてまとめた。製作したものは文化祭にて展示。</p> <p>体験学校参加者を対象に一年間の体験の振り返りと感想をまとめ、次年度への展開につなげる。</p>									
育成事業	<p>【成果と課題】 麻績の里体験学校の振り返りを絵をかいいたり、写真を張ったりして模造紙にまとめ、感想発表を行った。写真を見ながら活動を思い出すことができ、子どもたちから反省や感想を出してもらい、次年度の事業展開につなげていきたい。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 一年間の活動を子ども、関わってきたスタッフともに振り返る場を大事にしていきたい。</p>									
区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	麻績の里体験学校 星空観察会	市・地	継続	市・地	1	30	30	4,173	9/3(8/20が雨天中止となり延期)	座光寺小学校
	実施内容									
育成事業	<p>星空観察を通じて、科学に親しむ心や自然環境の素晴らしさを実感してもらう機会を提供する。 (実施計画内容) 夏の星空観察(座光寺小学校) 講師：奥村茂実氏</p> <p>小中学生とその保護者、地域住民を対象に、星空が見える自然環境の素晴らしさを実感し、自然を守る心を育て、また、宇宙に関心を持ち、広い視野を持つ心を育てる。</p>									
育成事業	<p>【成果と課題】 曇りで星空がみられなかつたため、室内で講師の話を聞く会となった。星空や天体についての関心をもつきっかけとなった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 今年度はプラネタリウムで受け入れを断られてしまったが、天候によって観察ができなくなってしまうため、プラネタリウムでの学習を来年度以降は再開していきたい。</p>									
区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	麻績の里体験学校 子ども桜ガイド学習会	地区費	継続	地区費	1	20	20	4,173	3月19日	座光寺公民館
	実施内容									
育成事業	<p>座光寺の宝「舞台桜」や自然・史跡・施設について学習し観光客にガイドを行う。</p> <p>3/19 桜ガイド学習会 講師：小林正明氏 桜ガイドに向けて、桜ことばや麻績の里についてやガイドの方法等を学習。 4月の桜祭りでは舞台桜と石塚桜、麻績ひろば周辺の紹介を子どもたちが行う。</p> <p>座光寺が誇る「舞台桜」「舞台校舎」等の学習を子ども達が行い、桜についてガイドすることで、ふるさとへの愛着や生きる力を育む。</p>									
育成事業	<p>【成果と課題】 地域のことや桜の事を学び、観光客にもむけてガイドをすること、子どもたちの話すことへの自信にもつながっている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 今後もの子どもたちの継続した学びの機会を提供。</p>									

座光寺公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	公民館女性委員会交流会	市・地	新規	1	10	10	23	5月23日	座光寺公民館
その他	<p>女性ならではの柔らかい発想を、地域づくり活動に活かしてもらえようという流れの場を計画実施する。</p> <p>内容：女性のための健康・ワークライフバランス(地域参画)</p> <p>講師：明治安田生命保険相互会社</p>								
	公民館女性委員会に所属する女性を対象に、委員会の枠を超えた構成員のつながりが作り出し女性ができる地域づくりについて考える機会とする。								
その他	<p>【成果と課題】</p> <p>女性公民館委員が集まり、女性ならではの悩みや意見を共有し、意見交換の場としました。</p> <p>参加者があまり集まらなかったが、女性の健康やワークライフバランスについて学習し、意見交換を行うなど、女性同士の交流の機会となった。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】</p> <p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小</p> <p>さらに女性公民館委員の親睦や交流が踏まめられるよう、内容を検討。</p>								
区分	地域づくりフォーラム	事業区分	地域費	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
		継続		1	38	38	4,173	10月15日	座光寺公民館
その他	<p>地域課題に対して地域全体で取り組めるよう「知る」「考える」「実行する」につながる事業展開を検討して開催。</p> <p>10/15「恒川史跡公園の活用について地域で考える」</p> <p>話題提供：公民館運営委員会・文化財保護活用課</p> <p>参加者：38名</p>								
	地区住民を対象に、地域の現状と課題を出し合い、より良くするにはどのようなすべきか意見交換する。								
その他	<p>【成果と課題】</p> <p>例年文化祭に行っているが、単発で行ったことやコロナウイルス感染の関係で参加者が少なかつたが、恒川史跡公園について理解を深め、意見交換を行うことができた。また、出された意見を文化財保護活用課へ提出した。さらに今後、恒川史跡公園の整備が進むため、地域で意見を出していきたい。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>拡充 <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小</p> <p>保護者世代も対面で意見を出したり、考えたりする機会を望んでいるので次年度のどこかで設けていきたい。この話し合いが地域全体の機運を高めていけるように取り組んでいきたい。</p>								
区分	座光寺小学校150周年記念事業	事業区分	市・地	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
		新規		1	150	150	4,173	11月13日	座光寺小学校
その他	<p>1年を通じて、小学校の歩み、歴史を感じられる記念事業を行う。</p> <p>・座光寺の歴史を題材とした人形劇の発表</p> <p>・記念の桜の植樹</p> <p>・記念リーフレットの作成</p> <p>・麻績校舎プロジェクトアクションマッピング など</p>								
	座光寺地区住民を対象に、地域・学校・PTAが協働し、地域の学校であることを再認識できるの記念事業を実施する。								
その他	<p>【成果と課題】</p> <p>座光寺小150周年記念式典実行委員会として、小学校・自治会・公民館・PTA等が連携して行った。150周年の節目として、小学生の人形劇や地域を学んだ学習の発表など、学校と地域にとって大切な式典となった。</p>								
区分	座光寺の子どもを語る会推進委員会	事業区分	地区費	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
		継続		6	138	23	23	6月～3月	座光寺公民館
その他	<p>・学校・家庭・地域3者の代表者が集い健全育成に関する活動の報告と現状・課題について情報共有を行うために年4回開催。</p> <p>・座光寺の子どもたちに関する課題解決を図るため、各種団体の連携や活動内容の見直し等の調整を行う。</p> <p>・座光寺の子どもを語る会に向けて、準備検討を行う。</p>								
	座光寺地域の子ども健全育成について、学校・地域・家庭の三者がめざす子どもについて考え、連携し、子どもたちのために実践することを図る。								
その他	<p>【成果と課題】</p> <p>今年度の子どもを語る会の内容検討だけでなく、日ごろの子ども達の様子を学校・家庭・地域の目線から述べてもらい、子ども達に各人・各団体が出来ることを出し合い、様々な立場の人が地域の子ども達について考える貴重な場となっている。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>拡充 <input type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小</p> <p>今の話し合いを大切にしながら、さらに話題を深めていけるような会議の実現に向けてさらに取り組んでいきたい。</p>								

松尾公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
0歳児学級	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	実施内容	市・地	5	164	64	118	実施内容のとおり	松尾公民館
学級・講座	目的							
	0歳児とその保護者を対象に、親子のふれあい、親同士の交流を図る							
	【成果と課題】							
	登録も、参加者数も多く、毎回の学級は賑やかででき、内容も親子のふれあいの機会を提供するなど充実した内容で行うことができた。							
	【次年度の方向性と取組み】							
	□拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 □縮小							
	新生児特有の健康課題や育児の悩みを共有し、不安を解消する機会にもなっている。新生児の年齢に応じた内容や親の悩みに応えられるような内容など、必要な学びを保健師と共に検討したい。							
1歳児学級	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	実施内容	市・地	17	490	122	238	5月～3月	松尾公民館
学級・講座	目的							
	1歳児とその保護者を対象に、親子のふれあい、親同士の交流を図る							
	【成果と課題】							
	登録も、参加者数も多く、毎回の学級は賑やかででき、内容も親子のふれあいの機会を提供したり、子育てにおいて必要な知識の学習機会を提供したり充実した内容で行うことができた。							
	【次年度の方向性と取組み】							
	□拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 □縮小							
	乳幼児特有の健康課題や育児の悩みを共有し、不安を解消する機会にもなっている。年齢に応じた内容、必要な学びを保健師と共に検討したい。							
2歳児学級	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	実施内容	市・地	14	222	76	224	5月～3月	松尾公民館ほか
学級・講座	目的							
	2歳児とその保護者を対象に、子どもの集団意識の育成、親子のふれ合い、親同士の交流を図る							
	【成果と課題】							
	登録も、参加者数も多く、毎回の学級は賑やかででき、内容も親子のふれあいの機会を提供したり、子育てにおいて必要な知識の学習機会を提供したり充実した内容で行うことができた。							
	【次年度の方向性と取組み】							
	□拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 □縮小							
	乳幼児特有の健康課題や育児の悩みを共有し、不安を解消する機会にもなっている。年齢に応じた内容、必要な学びを保健師と共に検討したい。							
3歳児学級	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	実施内容	市・地	9	92	22	220	5月～3月	松尾公民館ほか
学級・講座	目的							
	3歳児とその保護者を対象に、子どもの集団意識の育成、親子のふれ合い、親同士の交流を図る							
	【成果と課題】							
	入園などの理由により登録数は2歳に比べて減少してしまいが、親子のふれあいの機会を提供したり、子育てにおいて必要な知識の学習機会を提供したり充実した内容で行うことができた。							
	【次年度の方向性と取組み】							
	□拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 □縮小							
	乳幼児特有の健康課題や育児の悩みを共有し、不安を解消する機会にもなっている。保育園入園前の時期に合わせた学びを保健師と共に検討したい。							

松尾公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	多文化交流会 コロナ禍で交流事業が途絶えてしまったことふまえて、まずはきっかけ作りとして、まちづくり委員会(区長会)と連携して、清水区と常盤台区で地域活動に積極的に参加している中国籍住民の方との意見交換会を実施。 実施内容 地区在住の外国籍、日本籍住民を対象に、交流とつながりづくりを図る	市・地	継続	1	19	19	12,795	2月15日	松尾公民館
学級・講座	男踊り教室 講師に池田悠鳳氏を招き、原則月2回男踊りの練習を実施。成果の発表として松尾踊ってみよう会に出演した(今年度は文化祭での芸能発表が中止となったため、踊ってみよう会のみでの出演となった)。 実施内容 住民を対象に、運動不足の解消と共通の趣味をもつ仲間作りを図る	市費	継続	15	200	13	12,975	実施内容のとおり	松尾公民館ほか
学級・講座	深秋の探勝会 地区住民を対象に、芸術や文化、歴史を保存継承する取り組みを知り、文化意識の向上を図る	地区費	継続	-	-	-	12,975	中止	開催会場 -
学級・講座	松尾セミナー(地域いきいきセミナー) 地区内各分館が主催し本館の協力で以下の内容で実施。 今年度は以下の内容で実施。 6/19 代田分館主催「文化講演会」 演題：つながりの力 ～社会的なつながりが寿命をまめる～ 講師：宮國康弘氏(日本福祉大学社会福祉学部講師) 6/26 毛賀分館主催「文化講演会」 内容：紙芝居「大願寺と南山一揆」 講師：清水豊氏、清水富子氏 7/10 上溝分館主催「ハーバリウムを作ろう」	市費	継続	3	150	-	12,795	実施内容のとおり	松尾公民館ほか
学級・講座	分館単位の住民を対象に、学習会や講演会の実施を通じて、分館活動の活性化を図る								

松尾公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	松尾サイエンススクール	市・地	継続	17	1,290	-	12,795	実施内容のとおり	松尾公民館ほか
	<p>松尾サイエンスが主催し、おもしろ科学工房の協力により、科学実験教室を実施。小学校や児童クラブなどのクラブ活動支援も行った。</p> <p>5/24、6/7、6/21、7/12(中止)、9/6(中止)、9/27 松尾小学校クラブ活動支援</p> <p>5/11(中止)、6/10、8/22(中止)、10/4(中止)、10/25、1/17、2/22 聖クララ幼稚園科学あそび</p> <p>6/8、6/16 松尾小学校5、6年生科学実験教室</p> <p>6/26、11/5、12/10(中止) 松尾サイエンススクール</p> <p>7/31(中止)、11/13、11/20(中止) 地区内PTA支部や分館からの出張科学実験教室</p> <p>8/4 児童クラブ科学工作教室(同日2回に分けて実施)</p> <p>12/7 丸山小学校出張科学実験教室</p> <p>2/4 松尾地区文化祭おもしろ化学教室</p>	継続	17	1,290	-	12,795	実施内容のとおり	松尾公民館ほか	
学級・講座	<p>小中学生を対象に、科学への関心向上を図る</p> <p>【成果と課題】</p> <p>青少年健全育成会や松尾小学校(クラブ活動)なども連携して、地区内外の子もたちに、科学やものづくりのおもしろさを伝えられている。継続的な活動があることで、大人にもそれが伝わりスタッフのつながり、活動の広がりを見せている。</p> <p>【次年度の方向性と取組み】</p> <p>□拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 □縮小</p> <p>公民館の活動の一つとしてスタートし、現在ではスタッフが主体となって企画運営している。この経過を大切にし、引き続き公民館はサポートするような体制で活動していきたい。</p>	市・地	継続	17	1,290	-	12,795	実施内容のとおり	松尾公民館ほか
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	世代間交流事業	市費	継続	5	120	-	12,795	実施内容のとおり	代田公民館ほか
	<p>小学生とその保護者を対象に、正月の伝統行事を次世代に伝えるとともに、世代間交流の場とする</p> <p>【成果と課題】</p> <p>コロナで昨年度は中止したが今年度は実施している地区が増え、関わる大人たちの中で子どもたちが伝統行事を体験する機会の大切さが意識されている。</p> <p>【次年度の方向性と取組み】</p> <p>□拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 □縮小</p> <p>各地区で運営している高齢者クラブやPTA支部への働きかけやサポートを継続していく。</p>	市費	継続	5	120	-	12,795	実施内容のとおり	代田公民館ほか
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	そば打ち教室	市・地	新規	-	-	-	12,975	中止	地区内農地ほか
	<p>地区住民を対象に、遊休農地を活用し、そばの栽培から収穫、そば打ちの体験し、荒れた土地の住環境へ、及ぼす課題を知ると共に、共同作業を通じた人とのつながりづくりを図る</p> <p>【成果と課題】</p> <p>荒廃した遊休農地を活用することによる地区内の住環境の改善と、食育の機会の提供をねらいとしている。</p> <p>【次年度の方向性と取組み】</p> <p>□拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 □縮小</p> <p>地権者との調整を早い段階から行い、事業実施につなげたい。</p>	市・地	新規	-	-	-	12,975	中止	地区内農地ほか
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	親子パン作り教室	市・地	継続	1	20	20	220	12月12日	松尾公民館
	<p>小中学生を対象に、食育への関心向上を図る</p> <p>内容：親子によるパン作り ※感染症対策として作ったパンは各自で持ち帰る形で実施。</p> <p>講師：三浦宏子さん</p> <p>【成果と課題】</p> <p>コロナの影響もあり、今年度は既に繋がりがあがる乳幼児学級に参加している親子を対象に行った。親子でパン作りをすることで、パン作りの技術だけでなく親子のふれあいの機会の提供、ふれあいを考える機会とすることができた。</p> <p>【次年度の方向性と取組み】</p> <p>□拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 □縮小</p> <p>参加者からは大変好評で複数回の実施を希望する声もあるため、対象である小学生親子にアプローチできるように検討していきたい。</p>	市・地	継続	1	20	20	220	12月12日	松尾公民館

松尾公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	親子映画観賞会	地区費	継続	-	-	-	12,975	7月(中止)	松尾公民館
	親子を対象に、コミュニケーションの機会増加を図る	公民館にて映画の鑑賞を企画したが、感染症の影響により中止。							
文化事業	実施内容	地区費	継続	-	-	-	12,975	8月4～7日(中止)	松尾公民館ほか
	いい大人形劇フェスタ2022松尾地区公演	松尾地区区内6会場での地区公演を企画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。							
文化事業	目的	地区内の6会場で上演を行い、「みる・演じる・支える」の視点からフェスタのもつ意味を考え、フェスタの盛り上げを目指す							
	実施内容	【成果と課題】 各会場で、感染症対策だけでなく来場者にさらに楽しんでもらえるような工夫が主体的に計画されており、人形劇フェスタ開催に向けて機運の高まりがあった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 □縮小 今年度の機運の高まりを取り戻し、さらに主体的な各地区の運営に繋がられるようにしていきたい。							
文化事業	第19回松尾踊ってみよう会	地区費	継続	1	76	76	12,795	2月26日	松尾公民館
	踊りを趣味としている地区住民を対象に仲間意識と技術の向上を図る	松尾地区踊り連盟が主催し、公民館文化委員会の協力により、地区内の舞踊やダンスなどの踊りに関する団体や個人による発表会を実施。							
文化事業	実施内容								
	目的	【成果と課題】 参加される団体・個人が減少しており、地区外への呼びかけも実施したが、コロナの影響もあり参加団体・個人の増加は見込めなかったが、観客が昨年の約2倍となり、参加団体・個人にとつて来年度以降に向けた意欲を高めるものになった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 □縮小 引き続き、地区内外の関係者に呼びかけを行い、継続して実施できる体制を整えていく。							
文化事業	松尾地区文化祭	市・地	継続	1	1,000	1,000	12,795	2月4日、5日	松尾公民館
	目的	地区住民を対象に住民相互の交流を図る	内容:文化展(分館・各種団体・個人・保育園・小学校等の作品展示)、催し(おもしろ科学教室、飯田OIDE長姫高校「テックレンジャー」ショー、体組成計体験、消防自動車と遊ぼう等) 運営:文化祭実行委員会 ※芸能発表については感染症対策として別日程開催(11月27日)とし、まちづくり委員会主催の「郷土芸能まつり」と松尾小学校150周年記念事業との合同開催で計画したが、これについてはコロナウイルス感染症拡大により中止となった。						

松尾公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	古き松尾を巡る「ぼちぼちさんぽ」～松尾一周の歌より～	市・地 新規	1	63	63	12,795	11月6日	松尾公民館ほか
	<p>【成果と課題】 様々な文化事業が中止となる中、コロナでもできる形を考えて実施した新規事業であったが、松尾コーラスのみなさんや回るポイントに關係する地区住民、分館のみなさんなどの自主的な協力があがり、様々な部分で繋がりが生まれる事業として実施することができた。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 次年度は連う地区でコースを設定し、さらに繋がりを広げていきたい。</p>	<p>松尾地区の文化的なポイント歩きを歩いて回るウォーキングコースを設定して実施。各ポイントの特徴が書かれたカードを作成して配置したり、完歩賞に飲食店の商品引換券を用意したりと、楽しみながら松尾の文化が学べる事業とした。</p> <p>松尾一周の歌をテーマに、今回は城区、上溝区、久井区、水城区でコースを設定した。</p>	<p>予算区分 市・地</p> <p>地区費 継続</p>	<p>内容：感染症対策のため、午前中のみの半日開催とし、できる限り老若男女幅広く参加できる分館対抗による軽スポーツ、レクリエーションスポーツなどの競技で組み立てて実施。</p> <p>主催：松尾地区市民運動会実行委員会 協力：松尾地区文化体育振興会 分館対抗の結果：総合優勝 上溝分館 準優勝 明分館</p>	<p>評価</p>			
区分	松尾地区市民運動会	事業区分 継続	1	1,441	1,441	12,795	10月23日	松尾小学校
体育事業	地区住民を対象に、地域住民同士の交流や地域への愛着を深める機会とする	市・地 継続	1	51	51	68	5月22日	勤労者体育センター
	<p>【成果と課題】 台風とコロナで4年ぶりの開催となったが、全ての区・住民が一堂に会して交流を深められるのが運動会であることを確認して開催に向けて進めることができた。分館の関わりもコロナで途絶えてしまっていた繋がりを取り戻すことができた。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 コロナの状況も戻しながら、開催規模をコロナ前の形に戻していくことで、薄れてしまっている住民の繋がりを深める機会として丁寧に計画していきたい。</p>	<p>予算区分 市・地</p> <p>地区費 継続</p>	<p>内容：ニュースポーツの体験会(種目：ポッチャ)。</p> <p>昨年度、本講習会で初めて取り組んだポッチャだが、昨年度はその後の分館交流ニュースポーツ大会等が中止となってしまっただけで、さらに各分館、地区への広がりを作るために、継続してポッチャを取り上げて、スポーツ委員が中心となり講習会を実施。</p>	<p>評価</p>				
区分	ニュースポーツ講習会	事業区分 継続	1	100	100	12,795	6月19日	松尾公民館
体育事業	公民館委員および分館委員を対象に、ニュースポーツの普及及び分館相互の情報交換を図る	市・地 継続	1	100	100	12,795	6月19日	松尾公民館
	<p>【成果と課題】 分館役員でも初めて経験する方もいたが、その後の分館でのスポーツ事業でポッチャに挑戦するなどの動きがあり、徐々に地区への浸透が見られている。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 ポッチャを継続して取り上げてほしいという声が多いため、継続して取り上げつつ、その他の誰もが気軽にできるスポーツの取り入れを検討していく。</p>	<p>予算区分 市・地</p> <p>地区費 継続</p>	<p>内容：分館交流によるニュースポーツ大会(種目：ポッチャ)。</p> <p>例年は3種目のニュースポーツを同時進行で行っているが、3年ぶりの開催となり、感染症の状況も鑑みて、規模縮小し種目をポッチャのみに絞って開催。</p> <p>結果： Aブロック優勝 久井分館 Bブロック優勝 水城分館 Cブロック優勝 常盤台分館</p>	<p>評価</p>				
区分	分館交流ニュースポーツ大会	事業区分 継続	1	100	100	12,795	6月19日	松尾公民館
体育事業	地区住民を対象に、運動機会の提供とニュースポーツ振興を図る	市・地 継続	1	100	100	12,795	6月19日	松尾公民館
	<p>【成果と課題】 ニュースポーツ講習会と同じ種目で連続性があり、ポッチャに対する理解を各分館で深めることができた。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 障がい者の参加や女性参加などについても意識を向けて、ニュースポーツによる交流、相互理解を深めていきたい。</p>	<p>予算区分 市・地</p> <p>地区費 継続</p>	<p>内容：分館交流によるニュースポーツ大会(種目：ポッチャ)。</p> <p>例年は3種目のニュースポーツを同時進行で行っているが、3年ぶりの開催となり、感染症の状況も鑑みて、規模縮小し種目をポッチャのみに絞って開催。</p> <p>結果： Aブロック優勝 久井分館 Bブロック優勝 水城分館 Cブロック優勝 常盤台分館</p>	<p>評価</p>				

松尾公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	分館交流ふらば～ハレ～大会	地区費	継続	1	203	203	12,795	1月22日	緑ヶ丘中学校
	<p>内容：分館交流によるふらば～ハレ～大会 分館ごとのチームによる分館交流ブロックと自由参加チームによるふらばあい ブロックに分かれてファンパウンドふらば～ハレ～を実施。</p> <p>結果： 分館交流ブロック 優勝 新井分館、明分館 準優勝 久井分館、毛賀分館 ふれあいブロック 優勝 レジエント、松尾公民館柔道クラブA 準優勝 上溝 ふらば～ハレ～同好会、Gi. JYO</p>								
広報事業	公民館報学習会	市費	継続	-	-	-	20	4月19日(中止)	松尾公民館
	<p>公民館広報委員を対象に、館報の企画編集に関する学習会を企画したが、 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止。 講師：佐々木崇雅氏(南信州新聞社)</p>								
広報事業	公民館報「まとお新聞」の発行	地区費	継続	4	304	19	12,795	7月1日、10月1日、1月1日、3月31日	松尾公民館
	<p>内容：館報「まとお新聞」の発行(1回発行に付き4回会議実施) 7/1 第258号 10/1 第259号 1/1 第260号 3/31 第261号 発行部数：4,700部 印刷会社：龍共印刷</p> <p>地区住民を対象に、 館報発行を通じて、地域 課題等を掘り起こし、課 題意識の啓発を図る</p>								
企画事業	公民館役員研修会	市・地	継続	-	-	-	29	中止	松尾公民館
	<p>専門委員としての資質向上のために講演会や学習会を例年行っているが、 感染症の影響により他の事業との日程が調整できず、研修会としての開催 はできなかつた。</p>								

松尾公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
CS協働事業	<p>鳩ヶ嶺八幡宮ライトアップをデザインしよう</p> <p>まちづくり委員会総務部主催の鳩ヶ嶺八幡宮ライトアップイベントに共催する形で、緑ヶ丘中学校美術部の生徒がライトアップ時に行うプロジェクトマップのデザインを担当できるように、以下のとおり事前学習を実施した。</p> <p>8/3鳩ヶ嶺八幡宮にて伊原宮司より八幡宮の歴史と特徴を学習 8/5榎サチャーにてプロジェクトマップの技術を学習 11/5～11/19鳩ヶ嶺八幡宮ライトアップイベント当日</p>	予算区分	新規	2	16	8	40	実施内容のとおり	鳩ヶ嶺八幡宮ほか
	<p>緑ヶ丘中学校生徒を対象に、自分たちの地域をより深く学び、地域資源を活用する活動を通じて、心に残る思い出が作れる機会、地域への誇りや愛着を深める機会とする</p>	地区費	新規	2	16	8	40	実施内容のとおり	鳩ヶ嶺八幡宮ほか
その他	<p>令和2年度松尾地区成人式</p>	予算区分	継続	1	61	61	200	12月29日	松尾公民館
	<p>令和2年度の新成人を対象に、式の前夜祭を行い、地域への愛着心を向上を図る</p>	地区費	継続	1	61	61	200	12月29日	松尾公民館
その他	<p>令和4年度松尾地区二十歳の集い</p>	予算区分	継続	1	101	101	161	1月8日	シルクホテル
	<p>二十歳の成人を対象に、式の前夜祭を行い、地域への愛着心を向上を図る</p>	地区費	継続	1	101	101	161	1月8日	シルクホテル

【成果と課題】
地元企業が関わっている地域行事に中学生が関わること、中学生が地元文化財や地元企業の技術に目を向ける機会を作ることができた。また、中学生が活躍することで、地域行事自体も注目されることに繋がった。

【次年度の方向性と取り組み】
□拡充 □現状維持 □縮小
中学生が地域に出ていく機会をより多く確保するために、既存の事業から拡大していきたい。ライトアップイベントの予定との調整をして組み立てていきたい。

【成果と課題】
当初、感染症対策でシルクホテルでの開催を予定していたが、参加人数が通常開催時よりも少ない見込みであったこともあり、会場を松尾公民館に変更したことで保護者の関わりも増え、招待する来賓も中学校の恩師を追加したことなども影響して、新成人が今までを振り返りながら、互いに刺激し合えるような式典となった。

【次年度の方向性と取り組み】
□拡充 □現状維持 □縮小
新成人にとつて二度の延期を経て、本来の時期より2年遅い開催となったが、人生の節目の機会として「やっ」と開催できた。という思いで、関わってくれた方々への感謝と開催できたことへの充実感が大きかった。公民館としての関わりは一旦、ここまでとなるが、成人式を実施できたことは新成人にとつても大きな意義があるものになった。

【成果と課題】
二十歳の成人が主体的に計画し、当日は文化委員会の協力を得て運営されていた。地域学習でテーマとした松尾小学校を当日の企画にも取り入れ、実行委員だけでなく二十歳の集いの全員で当時は振り返る機会の一つを作り出すことができた。

【次年度の方向性と取り組み】
□拡充 □現状維持 □縮小
人生の節目、新たな門出を祝い合う機会であるとともに、今までを振り返りこれからの人生を考えるきっかけとしても、地域学習と式典をどう繋げていくかを考えて計画していく。

松尾公民館の事業報告

No.9

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
再掲	松尾地区二十歳の集い(地域学習)	市・地	継続	2	7	4	161	実施内容のとおり	松尾小学校ほか
	目的 二十歳の成人を対象に 地元への愛着心の向上 を図る	実施内容	<p>二十歳の集いに向けて集まった二十歳の成人有志の実行委員で、テーマを「松尾小学校」として地域学習を以下の実施。 11/6 松尾小学校を城田校長の案内で見学 11/27 松尾小学校150周年記念事業にスタッフとして参加</p> <p>【成果と課題】 松尾小学校が今年度で開校150周年を迎えたこともあり松尾小学校をテーマに地域学習を実施した。子ども頃に当たり前のように通っていた小学校を、この機会に改めて学習することで、当時と今の違いや変わらないものなどが見え、地域住民にとっての小学校の存在を学ぶことができた。 【次年度の方向性と取組み】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 生まれ育った中で経験したものを二十歳のタイミングで改めて見つめ直すことは、これからは考えるうえで1つの大切な要素になることを意識して取り組んでいきたい。</p>						
その他	松尾地区還暦の会	地区費	継続	1	35	-	145	10月30日	実施内容のとおり
	目的 地区内の60歳を迎える 住民を対象に、 「還暦」という節目の機 会の式典実施を通じて 同年同士の交流を図る	実施内容	<p>内容：鳩ヶ嶺八幡宮での式典、記念写真撮影、祝賀会 運営：該当者有志による実行委員会 場所：鳩ヶ嶺八幡宮(式典、記念写真撮影)、よし乃亭(祝賀会)</p> <p>【成果と課題及び次年度の取組み】 新型コロナウイルスの状況を見ながらの計画となったが、実行委員会での検討を丁寧に進め、同年代の結びつきを強めることの大切さを確認しながら、全日程を実施することとなった。この会がきっかけで、改めて同世代での繋がりが生まれている。 【次年度の方向性と取組み】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 還暦を機に同年代が集まり、再び繋がる良い機会であるので引き続き実行委員会体制で行っていく。</p>						
その他	学校開放運営委員会・調整会議	0円	継続	8	400	-	12,975	実施内容のとおり	松尾公民館
	目的 利用団体を対象に、 学校施設の有効利活用 を目指す	実施内容	<p>利用団体・地域の方々为主体となり、地区内の学校体育施設の利用調整をするために「学校体育施設運営委員会」として、教育委員会から委嘱され、生涯学習・スポーツ課が担当となり実施する。 利用調整や会議の運営に関することへの支援をする。 運営委員会実施日：6/1、9/1、12/1、3/1 調整会議実施日：6/6、9/7、12/6、3/6</p> <p>【成果と課題】 限られた学校体育施設を多くの利用者が気持ちよく有効に利用できるように調整している。年々反省をもとに運営方法、調整資料が充実されてきている。 【次年度の方向性と取組み】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 次年度も、地区内の団体が譲り合い、気持ちよく利用できるようルール調整を行っていききたい。</p>						

下久堅公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	実施内容参照	開催期日	開催会場
学級・講座	ひさかた村塾 地区民を対象に、 地区文化の発掘・保存 及び地区民の文化水準 の向上を図る	市・地	継続	5	60	12	2,659	実施内容参照	【成果と課題】 昨年に引き続き3年目となる写真展を開催した。今年度はスマホで撮影したデータでも応募できるようにQRコードからメールで応募できるように工夫したこと で、応募者が増えた。一方でこれまで講演会を中心としたひさかた村塾の活動自体の在り方を検討していく必要がある。 【次年度の方角性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 地域の課題に目を向け、講演会に限らず様々な活動を模索する。	2,659	実施内容参照	下久堅公民館他	
学級・講座	ひさかた和紙講座 この地の特色である「ひさかた和紙」を再認識し、ひさかた和紙の会の活動を支援しながら、子どもたちによる手漉き和紙での卒業証書制作を実施し、子どもたちの郷土愛を育むよう和紙の会を支援していく。また、紙漉き技術の継承や、和紙の域内消費の拡大などにつなげる講座等を実施し、新たな担い手の育成を図る。 【実施概要】 5/15、6/19、7/10、7/24、8/21、9/25、10/23 楮畑草刈り作業 11/19、20 楮収穫 11/21 楮蒸し・皮むき 12月～3月 毎週水・日曜日 たくり作業 ○小学校連携事業 5/24 トロアアオイの種まき指導(下久堅小学校1年生) 7/8 トロアアオイの間引き(下久堅小学校1年生) 10/18 トロアアオイの収穫(下久堅小学校1年生) 11/24 楮の収穫、皮むき体験指導(下久堅小学校1・3・5年生) 12/15、17、12/18 紙漉き体験指導(下久堅小学校1・3・5・6年生)	市・地	継続	28	420	60	2,659	実施内容参照	【成果と課題】 まちづくり委員会や各団体と連携し、ひさかた和紙の材料づくりから体験まで関わっていただけの方は増えてきている。また、昨年同様、多くの方の協力もあり、材料の育成に関しては計画通りに進めることが出来ている。しかし、ひさかた和紙を後世に伝える担い手の育成にはまだまだ手を掛けられない。関わっていた方、資料にして見る化を行ったりしながら、単なる作業ではなく、説明を加えたり、資材にしてみるようにし、誰でもひさかた和紙を伝えていけるように支援をしていく。 また、今年度地域おこし協力隊からの情報発信により、東中学校での講和体験や、飯田女子短期大学の学生による染色の研究など下久堅地区内だけでなく地区外との連携が多くあったことは、ひさかた和紙に携わる多くの住民の励みになった。 【次年度の方角性と取り組み】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 次年度も引き続き小学校での卒業証書制作を中心に子どもたちの郷土愛を育み、地域おこし協力隊と連携し、地域内外への情報発信・連携を通して、次世代のひさかた和紙の担い手を育成できるように和紙の会を支援していく。	2,659	実施内容参照	下久堅地区内	
学級・講座	からだケア教室 高齢者でも無理なく実施できるストレッチ体操を基本とする健康づくり教室。 講師：村沢由美子先生	市・地	継続	24	480	20	2,659	毎月2回 第1・第3金曜日の午前中	【成果と課題】 参加者が当番を組んで主体的に運営をしている。高齢者でも簡単に出来る運動教室として好評で、交流の機会となっている。 【次年度の方角性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 自宅でもできる運動を取り入れたり、継続的に運動ができる環境整備を行う。	2,659	毎月2回 第1・第3金曜日の午前中	下久堅公民館	

下久堅公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	ヨガ・ストレッチ教室	継続	継続	他会計	24	480	20	2,659	2,659	毎月2回第2・4木曜日の夜間	下久堅公民館
	目的 地区住民を対象に、ヨガ・ストレッチを通じ自身の心や体を見つめ、健康づくりを図る	自分の体力や柔軟性に合わせて誰でも無理なく参加できるような形で開講。ヨガ・ストレッチを通じて自分の心や体を見つめ、呼吸法により全身に気をめぐらすことにより、体の中から元気になっていく効果がある。 講師：中塚裕佳里先生	【成果と課題】 コロナ禍でもネットを使った動画配信でヨガ教室を開催できたため、参加者は自宅でも継続してヨガを取り入れた。 【次年度の方向性】 □拡充 □現状維持 □縮小 休館となった後も活動が継続できるように支援を継続して行う。 仕事終わりに寄れる場所として参加しやすい工夫などを検討したい。	評価							
文化事業	ふるさとコンサート	継続	継続	市・地	1	45	45	2,659	2,659	7月16日	下久堅公民館
	目的 地区住民を対象に、プロの音楽を身近に感じること	公民館委員会文化部が中心となり、地区住民がプロの音楽を身近に感じる機会として実施。演奏者は、aru企画を通じて依頼する。下久堅小学校金管バンドとの合同演奏も計画していたが、感染拡大防止の観点から小学校の参加が自粛となった。しかし、コロナ禍でも開催できたことは、文化部としても励みになった。	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 コロナ禍であることをふまえて、どのような事業ならコロナ禍でも開催できるかを検討する。小学校・中学校との連携も視野に入れながら、事業計画を行う。	評価							
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2022	継続	継続	市・地	-	-	-	2,659	2,659	8月4日～7日(中止)	下久堅公民館
	目的 地区住民を対象に、人形劇人と交流しながら、共にフェスタをつくり、地域の文化の高まりを図る	昨年度は本館・保育園公演のみとなったため、コロナ禍で活動が停滞している分館を支援するためにも、コロナ前で行っていた6会場①下久堅公民館 ②下虎岩コミュニティ消防センター ③虎岩交流センター ④久久平研修センター ⑤南原交流センター ⑥柿野沢区民センター で開催することを早期から計画していたが、感染状況を鑑み中止の基準としていた状況となったことを踏まえ、フェスタ全体が中止となり、地区公演も中止となった。 【検討経過】 5/13 文化部会 7/5 第1回地区実行委員会 7/26 第2回地区実行委員会	【成果と課題】 昨年度が、感染症対策に終始した会場運営となったこと、観客と劇人との交流が一切なかったこと、例年は分館で開催していたが、感染症対策の観点から本館での公演となったことなど、例年と比べ人形劇をより身近に感じることが少なかった。そのため、コロナ禍で各分館の活動が停滞していることを考慮し、各分館で運営するコロナ前での開催方法で計画していた。昨年度本館公演で行ったαの取り組みであるお楽しみ抽選会のような取り組みを各分館でも行えるように支援を行った。中止となったが、各分館で工夫した運営ができるように準備を行った。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 各分館で開催する方向で準備を進められるよう本館として支援する。	評価							
文化事業	ひさかたウォーキング	継続	継続	市・地	1	81	81	2,659	2,659	11月5日	下久堅地区内
	目的 地区住民を対象に、地区内の史跡、自然、文化を知る機会として開催	かつての文化委員会で作成した「ひさかたウォーキングマップ」を活用し、世代間交流、健康増進、また地区内の史跡、自然、文化を知る機会として計画し11月に開催した。 【検討過程】 8/1 文化部会 開催について検討し、延期開催を決定 9/24 文化部会 延期時期、延期後の開催方法について検討 10/17 文化部会 当日の運営方法について協議 10/30 コース最終下見 11/7ひさかたウォーキング開催	【成果と課題】 例年豚汁や五平餅が振る舞われており、食が魅力の一つだったが、コロナ禍で食の提供が難しいため、食以外魅力あるコースとなるように工夫した。特に今年度は史跡の発掘調査が行われている河原遺跡などをめぐり、調査作業職員による解説などを取り入れ魅力ある講座とすることができた。 【次年度の方向性】 □拡充 □現状維持 □縮小 地域住民が地域の史跡や自然、文化に触れる機会として、柔軟に検討する。	評価							

下久堅公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	下久堅地区二十歳の集い	市・地	継続	1	24	24	2,659	1月8日	下久堅公民館
文化事業	<p>二十歳の集いの開催に向けて、実行委員会を組織し、企画の準備運営を行う。今年度は地域学習として小学校以来のひさかた和紙の紙漉き体験をするだけでなく、紙漉きを行うまでの作業にも参加する内容で実施した。また当日はひさかた未来塾の企画による未来ツアーを企画し、二十歳の節目に地域に目を向ける機会とした。地域の将来について考え実践している地域の大人の思いに触れることから、二十歳の皆さん自身のこれからの生き方を考える機会として実施。</p> <p>【検討経過】</p> <p>10/20 文化部会 9/20 実行委員会 式典までの流れを確認 10/16 地域学習 11/16 文化部幹事会 11/24 文化部会 12/3 実行委員会 地域学習振り返り、12/28 式典・交流企画準備 1/15 座談会（広報取材）</p>								<p>【成果と課題】</p> <p>昨年度の開催できた実績から文化部、実行委員双方で開催に向けて準備を進めることが出来た。また、成人年齢の引き下げにより二十歳の節目に地域に目を向ける機会とすることを地区の会議の場でも確認し、当日を迎えることができた。さらに、コロナ禍の開催に向けて地域学習にもしっかり取り組み、また懇親会がないため、交流企画の組み立ても主体的に行うことが出来た。交流企画では昨年、二十歳の皆さんだけの交流となってしまうことが、反省点であったため、今回は交流企画で来賓の地域の大人と一緒に参加できるクイズを取り入れるなどの工夫を行い、二十歳の皆さんが地域を意識するきっかけとすることができた。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】</p> <p>□拡充 □現状維持 □縮小 今後コロナ禍で飲食を伴う交流企画が必要となることが予想されるため、より新成人が主体的に組み立てられるように検討していく。</p>
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ひさかた文化祭	市・地	継続	1	718	718	2,659	3月5日	下久堅小学校他
文化事業	<p>コロナ禍での開催で、会場をこれまでの公民館から小学校を主会場に変更し計画した。さらに、単なる成果発表の場とするだけでなく、地区住民が集える場など、6つの場（地域交流の場、福祉交流の場、文化伝承の場、防災学習の場、環境学習の場、芸能発表の場）をコンセプトに据え、計画。これまでに地区内の団体のみ参加していたが、地区外の団体や、公的機関にも参加呼びかけ、これまでにない規模での文化祭を開催することができた。</p> <p>【検討経過】</p> <p>11/24 文化部会 12/1 文化部幹事会 12/5 文化祭実行委員会 12/23 文化部幹事会 12/21 飯田市担当課との調整会議 12/24 自転車関連の打ち合わせ 文化祭にて共催での体験会の検討 1/5 文化部幹事会 1/19 文化祭実行委員会 2/8 文化部幹事会 2/14 文化部会 2/21 文化祭実行委員会 2/25 文化部事前準備（パナール撤入） 3/4 前日準備 3/5 当日</p>								<p>【成果と課題】</p> <p>2年に一度開催が3回延期をし、5年ぶりの開催となった。また小学校を会場として使用するのには10年ぶり、さらにはふれあい交流館や校庭を使用するのは初めてとなった。当日はより多くの住民に会場に来場してもらうように、地区内外の団体の文化祭への参加・協力を求め体験ブースを多数計画、また、下久堅がTOJ開催地のため自転車文化の普及の観点から飯田市担当課や豊丘村観光協会とおお旅時間との共催行事としてEバイク試乗会や体験会などの計画した。また、文化部が主体的に取り組むことができるよう、会議の場でコロナ禍で大きなイベントとして文化祭を開催するために必要なのは何かしつかり協議を行い準備に努めた。また、文化部だけでなく運動会のように公民館委員会の横断的な協力に得られたように他の部会でも情報をつかり共有した。まちづくり委員会の各委員会にも役割を割り振り、地域を挙げた文化祭となるように準備計画した。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】</p> <p>□拡充 □現状維持 □縮小 5年ぶりとなる文化祭の実施に向け、これまで参加予定であった団体とも調整を行い準備を進める</p>
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	常会対抗盆野球大会	地区費	継続	-	-	-	2,659	8月15日（中止）	下久堅運動場他
体育事業	<p>お盆の時期に帰省をしていく方も増えて普段は集まらないような方たちが集まり、交流する機会として実施している。今年度は感染対策を講じた上で開催予定であったが雨のため中止となった。</p> <p>【検討経過】</p> <p>7/29 体育部幹事会 開催についての方向性を検討 8/8 体育部会・主将会 運営方法について検討 8/12 体育部幹事会 当日の悪天候が予想されるため中止を決定</p>								<p>【成果と課題】</p> <p>雨天により中止となったが、コロナ禍でも中止だけでなく工夫して開催する方向で検討が進められた。お盆に地元を離れた若者と地区住民が世代間交流できる機会である一方、コロナ禍で移動の制限や野球以外の繋がりも構築する必要があるので課題がある。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】</p> <p>□拡充 □現状維持 □縮小 公民館で主催する以上より多くの住民が参加できるように競技を検討していく必要がある。</p>

下久堅公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	下久堅地区市民運動会	地区費	継続	1	438	438	2,659	10月9日	下久堅小学校校庭
体育事業	<p>地区住民を対象に、親睦交流・健康増進を図る</p> <p>【検討経過】 6/22 7/7 8/23 体育部幹事会 運動会種について検討 7/6 体育部会 運動会の開催の確認・種目等の検討 8/22 公民館委員会 8/29 中学生実行委員会 9/6 役員総会 10/3 正副係長会 10/5 体育部会</p>								
評価	<p>地区住民が楽しく、気軽に参加することにより、今まで以上に多くの人と人との交流ができる機会として、また健康増進の機会として実施する。</p> <p>今年度は早期よりコロナ禍での開催方法について検討し、半日開催で屋食をとりず計画、また分館対抗だけでなく一般参加の競技を取り入れ、接触の少ない密とならない競技で開催することができた。</p>								
【成果と課題】									
【次年度の方向性と取り組み】									
□拡充									
□現状維持									
□縮小									
地区住民が安心して参加でき、参加したいと思えるような運動会のあり方について改めて検討する。									
区分	春季スポーツ大会	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
		地区費	継続	3	35	18	2,659	5/29(延期)→7/16	下久堅公民館
体育事業	<p>これまで地区恒例の事業であった分館対抗ソフトボール大会は行わず、昨年度コロナ禍でも開催できる代替事業として実施したひさかたスポーツフェスティバルを参考にニュースポーツ大会を実施。今年度はYouTubeでも人気のマルチックを行った。また、運動会前に各分館で参加し、各分館の活動を促進するため開催時期を運動会前の年度当初とした。</p> <p>【検討経過】 4/5 体育部会 競技内容について検討 5/24 体育部幹事会 延期を決定 6/10 体育部幹事会 延期先の日程を決定 7/7 体育部会 運営の詳細について協議</p>								
目的	地区住民を対象に、親睦交流・健康増進を図る								
評価	<p>感染対策として外で競技を行うだけでなく、公民館行事としては初めて夕方時間帯で開催した。結果100人を超える参加者が参加することができ、運動会や文化祭に次ぐ規模で開催することができた。当日は雨天のため、急遽室内でのボッチャ体験を行ったが、雨天でも中止とすることなく開催することができたことはコロナ禍でも活動を推進する意味で大きな励みとなった。</p> <p>一方で急遽室内となったこと、予想以上に多くの参加者が参加したことと場所によっては密な状況も多くあり、参加者の中で不安の声も聞かれたことから、内容の変更があった場合もより感染対策をとれるように準備を行っていく必要がある。</p>								
【次年度の方向性と取り組み】									
□拡充									
□現状維持									
□縮小									
コロナ禍でチームを組んで参加する競技には感染リスクが生じ、参加する側も不安になってしまう。参加者が安心して参加できるような運営を検討する。									
区分	冬季スポーツ大会	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
		地区費	継続	1	47	47	2,659	5月30日	下久堅小学校校庭
体育事業	<p>子どもから高齢者まで、気軽に楽しめるスポーツを通して健康増進及び多世代交流を図る。昨年度は時期をコロナが感染者が増える時期を避けたため、年度当初の開催を検討したが、これまで冬の時期にファンパウンドふらばーを行っていたため、冬季に計画した。しかし、コロナ禍でも対策して競技しやすい、ボッチャへ競技内容を変更して実施した。</p> <p>【検討経過】 12/8 体育部会 競技内容の確認 1/24 体育部会 最終打ち合わせ</p>								
目的	ニュースポーツの普及を通じて、子どもから高齢者までの交流を図る								
評価	<p>【成果と課題】 コロナ禍の公民館行事として昨年からの新たに生まれた事業。今年度はコロナの感染が拡大する時期を避けて年度当初に実施をし、多くの住民に参加を促していた。子どもから高齢者までの多世代交流の機会となった。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 コロナ禍で分館対抗戦を行うとどうしても「人集め」の課題が浮き彫りとなる。参加したい人が安心して参加できる運営について今後も検討し、実施していく</p>								

下久堅公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	広報「ひさかた」の発行	地区費	継続	12	108	9	2,659	通年	下久堅公民館
	<p>年間4回発行(1回発行部数:900部)</p> <p>地区事業の記録や、その時々地域の動きなどを特集として掲載した。特に昨年度は組織の体制の在り方や、記事の内容について協議を多く行い、発行を下久堅公民館としていたところを新たに下久堅地区まちづくり委員会変更。地域全体の広報誌として位置付けを行った。</p> <p>183号 6月30日発行 184号 9月30日発行 185号 12月28日発行 186号 3月31日発行</p> <p>実施内容 地区住民を対象に、地域課題や生活課題の提起をし、地域への関心の向上を図る</p>							<p>【成果と課題】</p> <p>地域の時事広報として事業の記録や歴史を後世に残すとともに、地域住民の情報交換と文化意識の高揚の役割を果たすべく発刊に努めた。特に今年度は記事の割り付けよりも記事の企画をどうするか、どんな記事を書きたいかを部員で考える時間をしっかりとることを意識して取り組んだ。また組織の在り方を検討し、来年度から分館選出の広報部員を各分館から選出すること、これまで体育と文化部のみ割り当てていた女性部員を広報に2名割り当てたことを公民館委員会で協議承認をもらい、来年度体制の充実に繋げることが出来た。</p> <p>まちづくり委員会のページを新たに設け、まちづくり委員会総務部による自主的な企画により、記事を選定するなど地域全体の情報発信となるような取り組みを新たにに行った。これにより、これまで公民館行事が中心だった紙面構成から地域全体を軸においたものへ変化しつつある。今後は人物取材など広報部としてより工夫した紙面づくりに努めていきたい。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】</p> <p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小</p> <p>地域の現状を広報部としてとらえ、地域への提起をどのように行うか検討し、記録だけではない広報の発刊に努める。</p>	
育成事業	魚のつかみ取り体験	市・地	継続	1	102	102	2,659	7月18日	下久堅小学校体育館
育成事業	<p>親子が体験活動を通じて、ふれあうことを目的に開催する。毎年地区内の川でさかなのつかみどり体験を催していたが、昨年度は代替事業として豊丘村出身でオリンピックの酒井さんを講師に親子運動教室を実施。そうした経過を考慮しながら今年度どのような内容で実施するかを早期より育成部で協議を行った。毎年やっているから今年もやるではなく、なぜやるかをしっかり検討した。</p> <p>【検討経過】</p> <p>6/7 育成部幹事会 事業の方向を検討、講師と打ち合わせ 6/14 育成部会 事業の内容を検討 7/24 親子ふれあい事業開催</p> <p>実施内容 地区の親子を対象に自然体験を通して、親子の触れ合いを図る</p>						<p>【成果と課題】</p> <p>さかなのつかみどりでは、自然体験や親子の触れ合いをポイントとしていたが、コロナ禍で実施する上で改めて実施する目的を確認した。具体的には、現代では危険性があるため体験できる場が少なくなっている地元川に入って遊ぶことを経験することで、下久堅の自然に触れる「原体験」を体験してもらおうことを目的として実施することを確認した。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】</p> <p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小</p> <p>育成部の事業が何を旨として行われるものなのか、委員会で方針をしっかりと検討し、活動目標を達成するためにどんな事業が出来るかを検討する。</p>		
	<p>毎年実施している正月恒例の行事。</p> <p>新年を迎え、書初めを通して自身の目標を見つめなおす機会となっている。</p> <p>【検討経過】</p> <p>12/7 育成部会 事業の内容を検討 12/23 育成部幹事会 当日の運営について検討 1/4 書初め教室開催</p> <p>実施内容 地区住民を対象に、伝統行事を通して親子の触れ合いを図る</p>						<p>【成果と課題】</p> <p>小中学生が中心に参加し、親子で参加することはほとんどない状況。宿題の書き初めをしに参加することが多く、当初の目的とはずれてしまっているが、昨年度より地元の高校生を講師として招き指導するなど、小中学生が年齢の近い地元の高校生から指導を受けることで、これまでより親近感のある距離感で積極的に取り組める様子があつた。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】</p> <p><input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小</p> <p>事業目的を改めて考え、恒例行事として今後も続けていくのか検討する。</p>		
育成事業	書初め教室	市・地	継続	2	34	34	2,659	1月4日	下久堅公民館

下久堅公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	実施内容参照	開催期日	開催会場
C S 協働事業	親子体験学習	市・地	継続	市・地	6	251	45	320	【成果と課題】 今年度は4年生以外の学年は全て公民館事業と連携することとなったが、PTA今年度は活動だと開催が難しい中、公民館事業と連携することで、各学年ごとコ ロナ禍で初めて親子で体験する機会や地域を知る機会となった。一方、全て公民 館にお任せでなく、各学年のPTA担当者として地域で講師ができる方を積極的に情報 提供していただくなどの工夫をしていく必要がある。今年度の反省として、各学年の ような講座を持ちたいかの希望のとりまじめを公民館主体で行ったため、PTA各 学年同士の連携が薄くなってしまった。そのため年度当初でPTA担当者と年間で どのような講座を持つか事前の情報共有をしっかりと行う。 今年度は親子レク方式で各学年ごと講座を決めてもらったため、学年での多数 決で人気の体を動かす講座(ウォーキングやニュースポーツ体験)が多くなった印 象がある。そのため来年度以降は地域内外で体験学習の講師ができる方などの 情報を年度当初に情報共有する必要がある。 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 親子の時間を大事にしていることの意味を確認し、活動内容を検討する。	実施内容参照	下久堅小学校		
	子どもと親子を対象に、地域の人材や素材の大切さと地域を見つめ直す機会づくりを図る	市・地	継続	市・地	6	251	45	320	【成果と課題】 今年度は4年生以外の学年は全て公民館事業と連携することとなったが、PTA今年度は活動だと開催が難しい中、公民館事業と連携することで、各学年ごとコ ロナ禍で初めて親子で体験する機会や地域を知る機会となった。一方、全て公民 館にお任せでなく、各学年のPTA担当者として地域で講師ができる方を積極的に情報 提供していただくなどの工夫をしていく必要がある。今年度の反省として、各学年の ような講座を持ちたいかの希望のとりまじめを公民館主体で行ったため、PTA各 学年同士の連携が薄くなってしまった。そのため年度当初でPTA担当者と年間で どのような講座を持つか事前の情報共有をしっかりと行う。 今年度は親子レク方式で各学年ごと講座を決めてもらったため、学年での多数 決で人気の体を動かす講座(ウォーキングやニュースポーツ体験)が多くなった印 象がある。そのため来年度以降は地域内外で体験学習の講師ができる方などの 情報を年度当初に情報共有する必要がある。 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 親子の時間を大事にしていることの意味を確認し、活動内容を検討する。	実施内容参照	下久堅小学校		
その他	下久堅放課後子ども教室	市・地	継続	市・地	週4回	766	17	160	【成果と課題】 地域住民のボランティアで運営をしているが、近年ボランティアの減少に伴い、 一人ひとりの負担が大きくなっている 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 子育て環境の充実と地域の子どもは地域で育てるといふ当初の目的を再確認 し、協力していただけるスタッフを増やし、継続に努める。	実施内容参照	下久堅小学校		
	小学生を対象に、地域の子育て環境改善と体制の充実を図る	市・地	継続	市・地	週4回	766	17	160	【成果と課題】 地域住民のボランティアで運営をしているが、近年ボランティアの減少に伴い、 一人ひとりの負担が大きくなっている 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 子育て環境の充実と地域の子どもは地域で育てるといふ当初の目的を再確認 し、協力していただけるスタッフを増やし、継続に努める。	実施内容参照	下久堅小学校		

上久堅公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級「わくわくキッズ」	市・地	継続	7	28	5	13	実施内容参照	上久堅保育園ほか
学級・講座	<p>保育園、保健師と連携して実施。様々な活動を通じて子どもたちの健全育成を図ることはもとより、母親同士のつながりも大切にしながら事業を行った。</p> <p>【成果と課題】 出生数減少や地区外の保育園への入園等の理由で参加者が減少していることから、保育園に協力いただき未就園交流として行った。保育園と連携することで、入園前から保育園の環境に慣れるためのよい機会となり、保育園、乳幼児学級の母親ともよい感想をいただいている。参加されるお母さん方や保健師と内容を相談しながら、文化祭での展示品製作などコロナ禍においても多様な活動を行うことができた。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 □縮小 親同士の親睦を深める機会に加え、親たちの憩いの時間になるため今後も支援を行っていききたい。</p>	市・地	継続	1	65	65	1,206	7月9日	上久堅地区区内五川
学級・講座	<p>上久堅地区基本構想の重点事項にある「地域で子どもを見守るために地域全体で積極的に携わる」をもとに、地域で子どもを育てる大切さについて、共有する人を増やしていく機会とするため実施。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、食事作り・宿泊無の半日開催とした。子ども達にふるさとの自然や良さを感ずってもらう機会とした。</p> <p>【実施内容】 学ぶ…水生生物採取 遊ぶ…川遊び 作る…竹灯籠</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 □縮小 感染症対策を講じながら、安心して参加してもらえよう内容を検討する。</p>	市・地	継続	1	65	65	1,206	7月9日	上久堅地区区内五川
学級・講座	<p>小学校3年生を対象に、人形劇フェスタで上演した演目を上久堅の方言版にして、地区のお年寄りの方にも親しみのある言葉で演じる機会とする。</p> <p>【実施内容】 演目：はげくらべ 方言指導講師：上久堅を学ぶ会方言部会</p> <p>【成果と課題】 今年度は地区文化祭が延期となる中で、上久堅を学ぶ会の方が積極的に関わり郷土学習の一端になった。世代を超えて人形劇を楽しむ機会として取り組みが地域の定番になりつつある。方言部会の皆さんが人形劇の台本を上久堅の方言版に直し、小学生が練習をするといった形をこれからも子ども地域に関わる思い出やコミュニケーションの機会として継続していききたい。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 □縮小 子ども地域に関わる思い出やコミュニケーションの機会として、現状の取り組みを学校とも連携して継続していききたい。練習の初期から学ぶ会の方が関わっているような体制を検討していききたい。</p>	市・地	継続	1	8	8	8	1月11日	上久堅小学校

上久堅公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	<p>いいいた人形劇フェスタ2022上久堅地区公演</p> <p>地区住民を対象に、身近な場所で公演を行うこと、人形劇に親しむ機会を提供するとともに人形劇フェスタの地域での盛り上げを図る。</p> <p>【検討経過】 4/18 文化委員会 事業の運営検討 5/18 会場責任者会 5/26 文化委員会 事業の内容検討 7/5 文化委員会 事業の内容検討 7/25 企画委員会 事業の内容確認</p>	市・地	継続	5	62	-	1,206	8月4日～8月7日【中止】	上久堅公民館ほか
	<p>【成果と課題】 直前で中止となってしまったが、地区公演の意味について検討していく中で、身近な場所で人形劇を楽しむことや劇団との交流の中で地域の良さに気付けることなど魅力を再確認することができた。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 一緒にフェスタを取り組みたい方への声かけもして、新しい方たちで公演を持てるように継続して検討していきたい。また、冷房や新型コロナウイルス感染症対策の関係で、今年度は4公演中3公演が上久堅公民館での実施を予定していたが、より地区住民に身近な場所で開催していきたい。</p>								
文化事業	<p>上久堅地区文化祭</p> <p>地区住民を対象に、日頃の活動の成果発表の機会を提供し、地域住民同士の親睦・交流を図る。</p> <p>【実施内容】 共催・各種グループ団体 芸能発表(11月20日): 蕨東中学校吹奏楽部・人形劇部、上久堅小学校人形劇ほか(来年度へ延期) 催し(11月20日): 上村特産品販売、わいわい広場(6店)、占い、ほか(来年度へ延期) 作品展示(11月13日～20日): 一般作品、上久堅保育園、上久堅小学校、竜東中学校作品 ほか</p>	地区費	継続	1	100	100	1,206	実施内容参照	上久堅小学校ほか
文化事業	<p>令和4年度上久堅地区二十歳の集い</p> <p>二十歳の成人を対象に、自分の生まれ育った地域について考える機会とする。また、地区全体で二十歳の成人をお祝いし交流を図る。</p> <p>【実施内容】 式典・式辞、市長祝辞、二十歳の成人の抱負、恩師のお言葉 ほか 記念撮影: 二十歳の成人、市長、恩師、保護者 祝賀会: 中止</p>	市・地	継続	1	6	6	9	1月8日	上久堅公民館
文化事業	<p>二十歳の成人を対象に、自分の生まれ育った地域について考える機会とする。また、地区全体で二十歳の成人をお祝いし交流を図る。</p> <p>【実施内容】 式典・式辞、市長祝辞、二十歳の成人の抱負、恩師のお言葉 ほか 記念撮影: 二十歳の成人、市長、恩師、保護者 祝賀会: 中止</p>	市・地	継続	1	6	6	9	1月8日	上久堅公民館

上久堅公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ学習会	市・地 継続	1	14	14	1,206	6月24日	上久堅公民館
	文化委員を中心に公民館委員全員を対象として、毎年地区で行う人形劇フェスタにどう臨むのか、フェスタのおもしろさ、意義など伝えることを目的に開催。 （実施内容） 内容：劇人からみたら人形劇フェスタと地区公演の魅力、スタッフとしての心構えなど 講師：後藤 渉 氏							
文化事業	地区住民を対象に、身近な場所で公演を行うことで、人形劇に親しむ機会を提供するとともに人形劇フェスタの地域での盛り上げを図る。	市・地 継続	1	20	20	1,206	10月30日	北田遺跡
	上久堅を知る							
文化事業	昨年度1棟取り壊しが行われ、今年度残る1棟の葺き替え改修工事が行われた北田遺跡にて、現地学習を実施した。また、現地では石器などに触れ体験する時間を設け、当時の文化を学ぶ内容となった。住民同士の交流も含めての内容となった。 （実施内容） 内容：北田遺跡にて、縄文人になろう ○黒曜石ナイフ体験 ○縄文・弥生石器の持ち比べ など 講師：長野県立歴史館職員	市・地 継続	1	20	20	1,206	10月30日	北田遺跡
	地域住民を対象に、地域の財産、継承したいものについて関心を高めることを図る							
体育事業	上久堅地区運動会	地区費 継続	1	350	350	1,206	10月9日	上久堅農村広場
	地区住民を対象に、住民の運動不足解消と住民同士の交流と親睦を図る。							

【成果と課題】
講師が劇人であり人形劇フェスタ実行委員でもある後藤渉氏であったため、双方の視点の話を聞くことができた。スタッフとして地区公演で大切にしたい事なども話を聞くことができ、参加した委員からは多くの質問が上がった。フェスタ理解のため大切な機会であると感じた。しかし、実際に地区公演を運営する公民館委員の参加が少なかつたため、いかに自分事として考えていただくかが課題である。

【次年度の方向性と取り組み】
□拡充 □現状維持 □縮小
次年度も劇人側からの話を聞き学習する機会として実施していきたい。

【成果と課題】
葺き替え工事が完了し、9月10日に竣工式が行われた北田遺跡にて現地学習を行った。保護者が参加していない子ども達のサポートを大人の参加者がすること、世代を超えた交流の場にもなった。参加された方からも好評であり、年代を問わず楽しみながら地域の歴史・財産について学ぶ機会となった。

【次年度の方向性と取り組み】
□拡充 □現状維持 □縮小
引き続き様々な側面での学習をサポートしていき、学習方法も現地学習といった方法や外部の講師をお招きすることも今回も今回の内容を踏まえて継続して検討したい。

【成果と課題】
今年度も感染症対策を踏まえた実施について、体育委員会や企画委員会で検討した。コロナ禍にあってもこれまでの様に楽しめる競技になるように、今の時代に合った内容として検討を重ね実施することができた。当初の想定よりも多くの地域住民の方の参加があり、とても賑やかな運動会となった。また、3年連続で中止となっていたことから体育委員や企画委員も運営側として参加したことのある人が少なく、運営方法・準備等についても確認する機会となった。

【次年度の方向性と取り組み】
□拡充 □現状維持 □縮小
各分館の状況も踏まえつつ、感染症対策を引き続き考えながら実施に向けて検討していく。

上久堅公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	分館交流女性スポーツ大会	地区費	継続	1	110	110	1,206	6月5日	上久堅小学校
	目的 地区内女性一般を対象に、女性のスポーツ活動促進と女性同士の親睦を図る。	女性のスポーツ活動促進と女性同士の交流・親睦を深めることを目指しソフトバレーボール大会を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、1コートのみでの開催とし、午前と午後の2部制とした。 【検討経過】 4/14 体育委員会 事業の内容検討 5/6 体育委員会 事業の内容検討 5/23 企画委員会 事業の内容確認	【成果と課題】 コロナ禍のため、各分館参加者集めに苦慮したとの意見が多かった。しかし、2部制としたことで、子育て世代の方からも以前より参加がしやすくなったとの意見を頂いた。また、久しぶりの交流の機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 交流の機会が減少していることにも着目して、現状で出来ることを検討する。	評価					
体育事業	分館対抗ソフトボール大会	地区費	継続	-	-	-	-	8/28【中止】	開催会場
	目的 地区住民を対象に、スポーツ活動促進と親睦を図る。	各分館で1～2チーム出し、2ブロックでソフトボール大会を行っている。 ※今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 【検討経過】 6/7 体育委員会 事業の内容検討 7/21 体育委員会 事業の内容検討 7/25 企画委員会 事業の内容確認 8/15 事業の中止決定	【成果と課題】 この大会には中学生から70代までが幅広く多くの住民が参加しており、スポーツを通じた多世代交流の機会となっているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。屋外の事業でもあり、十分な対策を講じていただけに残念であった。 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 今年度準備してきた内容を活かしながら、開催に向けて進めていく。	評価					
体育事業	冬季スポーツ大会	地区費	継続	1	80	80	1,206	2月5日	上久堅小学校ほか
	目的 地区住民を対象に、住民の運動不足解消と住民同士の交流と親睦を図る。	「来季に向けたスポーツ講習会」と称し、誰もが気軽に参加できるよう囲碁ボード、ポッチャ、ラダーゲッターを行った。 【成果と課題】 例年はワンバウンドからバレーを分館対抗で行っていたが、ニュースポーツに協力を要したことで未就園児から高齢者まで多くの参加があり、年代関係なく競技を楽しむことができた。また、世代間交流の機会とすることができた。会場を公民館と小学校体育館の2カ所に分ける等コロナ対策所徹底して行った。密を避けるため、各分館参加上限目安を設けたため、分館からは参加者を広く募集できないとの意見があった。 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 コロナ対策は徹底しつつも、希望者が皆参加できるように開催方法を検討していく。	評価						
広報事業	館報「かみひさかた」発行	地区費	継続	13	156	12	1,206	実施内容参照	上久堅公民館
	目的 広報委員会を中心に、地域の情報発信、課題提起、将来への記録を図る	公民館活動はもろろんのこと、日頃の地域の情報を分かりやすく読みやすく発信できるように心がけた。 【発行スケジュール】 209号 企画4/12 編集4/26 校正5/17 発行5/31 210号 企画5/31 編集8/23 校正9/6 発行9/20 211号 企画9/20 編集11/22 校正12/1 発行12/13 212号 企画12/13 編集1/26 校正2/10 発行2/24	【成果と課題】 広報委員会が分担取材など全員で関わり、読みやすい紙面、読んで楽しい紙面づくりを心がけた。昨年度からフルカラーとし、今年度の210号から印刷業者を変更したことで目を引きやすくなり、読者からも好評であった。掲載を予定していた事業が中止になるなどしたが、臨機応変に対応し、年4回発行することができた。 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 多くの地区住民に読んでもらえる紙面を目指し、内容の充実を図っていく。	評価					

上久堅公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	館報発送サービス事業	地区費	継続	4	92	23	23	実施内容参照	上久堅公民館
広報事業	<p>東京神峰会の方を中心に呼びかけ、生まれ育った上久堅が今のようになっているか知っていたら機会として行っている。上久堅をPRすることを目的とし、様々な地区内チラシを同封している。</p> <p>(実施内容) 発送:年4回(館報「かみひさかた」に準じる) 登録者:23名(令和3年現在)</p>								
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数 <td>開催期日</td> <td>開催会場</td>	開催期日	開催会場
	上久堅写真展	地区費	継続	1	100	100	1,206	11月13日～20日	上久堅公民館
広報事業	<p>文化祭の作品展示に合わせて実施。4年ぶりの開催となった運動会の写真を中心に、1年間広報委員が撮影してきた公民館事業の写真的な展示を行った。また、50年以上前に8mmフィルムカメラで撮影された上久堅地区の映像や今年度の公民館事業の映像を放映した。</p> <p>(実施内容) ・令和3年度～4年度公民館事業写真展示 ・映像上映(ふるさと自然体験・ひさかたの納涼花火・運動会・8mmフィルムカメラ映像など)</p>								
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数 <td>開催期日</td> <td>開催会場</td>	開催期日	開催会場
	館報編集学習会	地区費	継続	1	12	12	12	5月31日	上久堅公民館
広報事業	<p>広報委員を対象に、基本的な文章の書き方を軸に、写真撮影、取材方法、割付方法などの基本的な技術の向上を図る。</p> <p>広報委員の館報作成技術向上のために、新聞を作る上での基本的な部分を中心に学習し、館報づくりに活かす学習会を行った。</p> <p>(実施内容) ・校正記号とその見方 ・フォントによる見え方の違いについて</p>								

上久堅公民館の事業報告

No.9

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	第28回 ひさかたの火まつり	他会計	継続	-	-	-	1,206	8月15日(中止)	北田遺跡公園ほか
その他	<p>地区住民を対象に、手作りのお祭りを作り上げながら交流を深めるとともに、地域の宝である北田遺跡の活用を図る</p> <p>【検討経過】 5/2 三役会 事業の中止検討 6/20 区長会 事業の中止決定 12/14 区長会 次年度の検討</p>								
評価									
	【成果と課題】 例年火種作り大会を行っているなど内容も定着しつつある。また、文化委員も事前に火おこしの研修をしており、積極的に関わっている事業である。来年度は火まつりを開催予定ではあるが、コロナ禍でどのように対策をし実施するかが引き続き課題である。								
	【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 火まつりの目的や意味を改めて考え、内容を検討していきたい。								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	小学校クラブ活動、総合学習の支援	市・地	継続	6	126	33	48	実施内容参照	上久堅小学校
その他	<p>年度当初に小学校と打合せを行い、小学校の活動を支援えられる人材の情報提供、依頼、その他できる限りの支援を行った。地域の子どもは地域で育てる環境作りの一助となることを期待している。</p> <p>【実施内容】 ・クラブ講師支援(7月、10月、11月)…ニュースポーツ、写真、木工、生け花 ・総合学習の支援…5年生米作りへの支援(5月～1月)</p>								
評価									
	【成果と課題】 クラブ活動の支援募集は公募で行うが、公民館からは社会教育関係団体を中心に声を掛け4組の地域の方が引き続き集まってくれた。1年で3回継続した活動に取組み、地域の方の協力で多種多様なものが開講でき地域の力を感している。学習支援にはシニアクラブ、小野子人参クラブ他の皆さまに協力いただいた。人形方言劇は支援だけでない郷土学習の機会にもなっている。								
	【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 今後多くの地域の方に関わってもらえるよう、地域と学校をつなぐ取り組みを行っていきたい。								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	竜東中学校地区交流スポーツ大会	地区費	継続	1	13	-	91	5月14日(中止)	竜東中学校
合同事業	<p>小・中学生を対象に、中学校区の交流球技大会を実施。次年度入学予定の小中学生との交流を図る。</p> <p>【検討経過】 4/22 3地区・中学校打合せ(竜東中学校) 5/6 中止決定</p>								
評価									
	【成果と課題】 開催に向け準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けやむなく中止とした。例年、地域の縦のつながりを大切にチーム作りを行い、小学生が中学校の様子を知る機会となっている。								
	【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 中1ギャップの解消にも寄与するのみならず、子どもを軸とした地域間の交流機会ともなることから、次年度以降も継続して実施していきたい。小6の保護者の参加についても引き続き検討事項としたい。								

千代公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	事業区分	事業区分	事業区分	事業区分	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
区分	ちよっ子クラブ(0~3歳児学級)	市・地	継続	20	54	13	21	実施内容参照	千代公民館 ほか
学級・講座	<p>実施内容</p> <p>0~3歳児とその親を対象に、体を動かして遊ぶ楽しさを知ってもらう事、両親同士の仲間づくりを図る</p>	<p>事業名</p> <p>健康福祉委員会・民児協議会</p>	<p>事業区分</p> <p>地区費</p>	<p>開催回数</p> <p>0</p>	<p>のべ参加数</p> <p>-</p>	<p>1回参加・登録数</p> <p>-</p>	<p>対象数</p> <p>20</p>	<p>開催期日</p> <p>9月9日(中止)</p>	<p>開催会場</p> <p>千代公民館</p>
学級・講座	<p>実施内容</p> <p>一般を対象に、千代地区の福祉についてともに考え、解決していく意識の醸成を図る</p>	<p>事業名</p> <p>健康福祉委員会、民生児童委員協議会と協力し、千代地区の福祉について考える講座を計画した。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。</p>	<p>事業区分</p> <p>継続</p>	<p>開催回数</p> <p>0</p>	<p>のべ参加数</p> <p>-</p>	<p>1回参加・登録数</p> <p>-</p>	<p>対象数</p> <p>20</p>	<p>開催期日</p> <p>9月9日(中止)</p>	<p>開催会場</p> <p>千代公民館</p>
学級・講座	<p>実施内容</p> <p>地区住民を対象に、毛呂窪区に位置する民設天文台「毛呂窪天文台」を活用し、千代の星空を見ることで自然に親しみ、魅力や愛着を深める</p>	<p>事業名</p> <p>毛呂窪天文台活用事業 星空観察会</p>	<p>事業区分</p> <p>新規</p>	<p>開催回数</p> <p>2</p>	<p>のべ参加数</p> <p>18</p>	<p>1回参加・登録数</p> <p>8</p>	<p>対象数</p> <p>61</p>	<p>開催期日</p> <p>11月26日(日)、3月21日(火)</p>	<p>開催会場</p> <p>毛呂窪天文台</p>

【成果と課題】
本年度については新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、20回すべて開催することができた。12月にはファミリーデーとして日曜日開催の会を設け、父親や兄弟姉妹の参加も可能とし、普段は母親のみになりがちな乳幼児学級に足を運んでもらう機会となった。

一方で、乳幼児対象者が減少しており、未満児から保育園に通う家庭も多いことから、参加者は減少傾向にある。今年度は、同じく減少傾向にある上久堅地区の乳幼児学級と合同で行うことで、やがて中学校で顔を合わせることになる親同士の交流を図った。今後とも、対象児減少に対して対策を講じ、親同士の交流機会を作っていく必要がある。

【次年度の方向性と取り組み】
□拡充
□現状維持
□縮小
次年度においても、保健課・千代保育園と協力し、親どうしの仲間づくりにつながる企画運営を検討していく。また、地域に出かける事業等を組み入れ、地域の子どもは地域で育てる意識を醸成していく。

【成果と課題】
地域の福祉を担う健康福祉委員と民生児童委員が協力し、地域の福祉について考える機会とす予定であったが、グループワークを伴う講座のため中止とせざるを得なかった。

【次年度の方向性と取り組み】
□拡充
□現状維持
□縮小
民生児童委員・健康福祉委員共に改選期にあたり、多くの委員が交替する。地域の福祉課題について意見交換し、意識の醸成を図ることが必要不可欠であり、来年度についても実施をしていく。

【成果と課題】
毛呂窪天文台という大きな地域資源をもとに、講座開催にこぎつけることができた。開催にあたっては講師のほか、スタッフとも話し合いを重ね、参加者(子ども達)にどのような気持ちを抱いてほしいかな等を共有した。

【次年度の方向性と取り組み】
□拡充
□現状維持
□縮小
地域の魅力や自然を再発見するのみならず、地域外から見た千代の魅力、普段感じている地区の課題についても話し、交流する場になる可能性を持っている。季節ごとに観られる星座も変わってくることから、年3-4回の実施や、大人向けの実施も検討したい。

千代公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	新春書き初め教室	市・地	継続	0	-	-	1,515	1月3日(中止)	千代公民館
	目的 地区住民を対象に、世代間交流を通じて、地育力の向上を図る	講師：林凌永(千代地区在住・2017年度新成人) ○小学生・中学生の冬休み期間にあわせ書道教室を計画。小学校・中学校を通じて呼びかけるほか、地区内にも回覧で呼びかけを行った。 ○新型コロナウイルス感染症の感染警戒レベルが下がらず、協議の結果中止となった。 ※申し込み人数22人(小学生19人、中学生3人)	【成果と課題】 冬休み中、子どもを通じた地域の交流の場にもなっており、多くの申し込みを受け付けた。講師とは分散しての実施等も検討したが、新型コロナウイルス感染症に対しては、まだ不安感を抱く声もあり、開催基準を設けざるを得なかった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☑現状維持 □縮小 講師も千代地区区内での活躍を望んでおり、次年度も実施していきたい。						
学級・講座	新春ふるさと講演会	市・地	継続	1	57	57	1,515	1月22日(日)	千代公民館
	目的 一般を対象に、千代に関係する講演会を開催し、千代を知る機会とする	○講師：飯田市立千代診療所 医師 山中龍也氏 演題：「がんの予防と免疫」 ○地区の課題にフォーカスを当てた講演を行う事業。昨年度までは文化委員会が行っていたが、本年度より担当を輪番制とし、本年度は体育委員会が行った。 ○今回は健康福祉委員会とも協力し、地区の方の健康や予防医療に向けた事業として実施した。また、例年11月下旬開催だったが、講師都合により1月に変更した。	【成果と課題】 例年、公民館の一斉清掃にあわせ11月に行っていたが、時期をずらした方が多くの方に聞いてもらうことができ、時間的にも余裕ができることが分かった。 今回は開催テーマから健康福祉委員会と共催で行ったが、運営については人手が余ってしまい、別々で実施したほうが地区の方の学習機会確保につながるという意見が体育委員会から寄せられた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☑現状維持 □縮小 次年度は青少年育成委員会で開催を予定している。今年度の反省を生かしつつ、若い年齢層の受講も増えるような企画を検討していく。						
文化事業	しいだ人形劇フェスタ2022千代地区公演	市・地	継続	0	-	-	1,515	8月4日~7日(中止)	開催内容参照
	目的 一般を対象に、地域の方と小学生が交流しながら、ともにフェスタを盛り上げ、地育力の向上を図る。	○しいだ人形劇フェスタに併せ、地域の方と劇人が「みる・演じる・ささえる」それぞれの立場で人形劇フェスタを盛り上げる機会として実施する。 ○文化委員会主催で本館公演を行うほか、分館が主体となつて行う公演についても、必要に応じて支援・連絡調整する。 ○下記の通り計画したが、7/28(木)人形劇フェスタの中止を受け、地区公演も中止とした。 【当初計画】 8/5(金)19:00 法山地域振興センター会場(法山分館主催) 8/6(土)11:00 千栄小学校会場(文化委員会主催) 8/7(日)10:00 千代小学校会場(文化委員会主催)	【成果と課題】 昨年度は規模縮小を余儀なくされたが、今年度は3公演に戻せるよう文化委員会及び法山分館で企画運営を行った。文化委員または分館役員が直接人形劇人と打ち合わせ、開催準備を進めていたが中止となってしまった。打ち合わせの中で劇人との交流企画等も生まれてきたことから、次年度の企画運営に繋がられるよう、文化委員会で引き続きいく。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☑現状維持 □縮小 文化委員会の大きな行事の一つとなっており、竜東中学校人形劇部の発表機会、法山分館での事業としても大きな役割を果たしている。準備段階まで進んだ今回を生かし、次年度の企画運営を行う。						

千代公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	第23回千代地区ウォークラリー大会	市・地	継続	0	-	-	1,515	9月10日(中止)	千代地区内
育成事業	小学生を中心とした一般を対象に、地域の地理や歴史、自然に関心を持つ	市・地	継続	0	-	-	1,515	9月10日(中止)	千代地区内
	<p>○青少年育成委員会主催。地区内のウォーキングコースのうち1つを題材に、ウォークラリーを行っているおり、本年度は、前年度中止となっていた菖坪・田力・野池コースをもとに検討した。</p> <p>○本年度は御柱祭があり、コース内に長野県二ノ宮である野池神社が位置することから、クイズの題材として取り入れ、参加親子が楽しく学べるよう計画した。しかしながら、小学生と高齢者を中心に新型コロナウイルス感染症が広がっていること、該当分館と協力して実施することが困難であること、医療体制の逼迫が見られ影響を及ぼしかねないこと等を考慮し、中止と判断した。</p> <p>【検討経過】 8/19 青少年育成委員会にて検討・中止決定</p>	市・地	継続	0	-	-	1,515	11月13日(中止)	千代小学校
育成事業	小学生親子を中心とした一般を対象に、世代間交流を通して、地管力の向上と郷土への愛着形成を図る	市・地	継続	0	-	-	1,515	11月13日(中止)	千代小学校
	<p>○青少年育成委員会が主催し、文化祭に併せて、工作教室を行う。工作を通じ地域の達人から小学生やその親が学び、世代間での交流を図る。</p> <p>○開催に向け企画・準備し、講師も打診していたが、11/4感染警戒レベル5に引き上げられたことから文化祭が中止となり、創作教室についても中止となった。</p> <p>【検討経過】 10/5 青少年育成委員会にて今年度の計画、依頼講師を決定 11/4 新型コロナウイルス感染症の警戒レベル5に引き上げられ、当初の中止基準に照らし文化祭中止が決定。それに伴い創作教室も中止が決定した。</p>	市・地	継続	0	-	-	1,515	11月13日(中止)	千代小学校
育成事業	小学生親子を中心とした一般を対象に、世代間交流を通して、地管力の向上と郷土への愛着形成を図る	市・地	継続	0	-	-	1,515	11月13日(中止)	千代小学校
区分	どんぐりの会	0円	継続	27	27	13	1,515	実施内容に記載	千代小・千栄小
CS協働	<p>○学習組織「どんぐりの会」と千代小学校・千栄小学校が協力し、読み聞かせを行う。</p> <p>○可能であれば保護者も読み聞かせに入ってもらい、学校・地域、保護者・地域が連携して行う</p> <p><実施経過> ・新年度総会：4/18 ・千代小…5/13、7/1、11/11、11/25、12/9、12/16 ・千栄小…5/12、6/23、6/30、7/14、10/27、11/24、12/1</p> <p>* 千代小、千栄小ともに低学年・高学年に分かれて読み聞かせを実施</p>	0円	継続	27	27	13	1,515	実施内容に記載	千代小・千栄小
	<p>一般を対象に、本の読み聞かせを通して、小学校と地域とを結び、地管力の向上を図る</p>	0円	継続	27	27	13	1,515	実施内容に記載	千代小・千栄小
CS協働	<p>一般を対象に、本の読み聞かせを通して、小学校と地域とを結び、地管力の向上を図る</p>	0円	継続	27	27	13	1,515	実施内容に記載	千代小・千栄小

千代公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
C S 協働	おたんじょうび本プレゼント事業	地区費	継続	10	61	61	61	61	実施内容に記載	開催会場
	実施内容	<p>公民館・千代図書館主催／ふるさと千代会協力 ○千代図書館と公民館が主催し、誕生日に1冊ずつ本をプレゼントする。 ○プレゼントにあたっては、実際に図書館で本を選んでもらい、図書館に行く習慣が少ない子どもも、本に触れてもらう機会とする。 ○全校集会の減少により、各小学校年5回ずつ、2-3ヶ月ごとに区切ってプレゼントを行った。また、新型コロナウイルス感染症の警戒レベルが高く、校内での活動ができない場合には、小学校を通じて実施した。</p>								
C S 協働	地域学習「炭焼きに学ぶ」	市・地	継続	1	6	6	6	61	11月25日(金)	開催会場 旧ごんべえ炭焼き小屋
	実施内容	<p>○講師：関口兼善氏、野田充夫氏 ○小学校5年生の授業に併せ、地域の伝統産業である炭焼きを学ぶ機会として計画、実施した。また、炭の利活用に併せ五平餅や千代ネギといった地域の特産についても学んだ。 ○炭焼き自体は時間がかかるため、事前に焼いた炭の取り出し・新たな炭焼き用の薪入れを体験した。</p>								
C S 協働	創作クラブ(千栄小)	市・地	新規	1	6	6	6	31	12月2日(金)	開催会場 千栄小学校
	実施内容	<p>○講師：萩元文雄氏(澤柳勝夫氏より急遽交代) ○内容：ゲイラカイトづくり ○千栄小学校のクラブ活動の一環として、地域の名人から教えてもらうという内容で行った。当初は澤柳氏で予定していたが、急用により萩元氏が講師を務めた。</p>								

千代公民館の事業報告

No.9

区分	事業名	事業区分	事業区分	事業区分	事業区分	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	竜東中学校地区交流スポーツ大会	地区費	継続	1	のべ参加数	13	91	5月14日(中止)	竜東中学校
	<p>小・中学生を対象に、中学校区の交流球技大会を実施。次年度入学予定の小学生との交流を図る。</p> <p>【検討経過】 4/22 3地区・中学校打合せ(竜東中学校) 5/6 中止決定</p>						<p>【成果と課題】 開催に向け準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けやむなく中止とした。例年、地域の縦のつながりを大切にチーム作りを行い、小学生が中学校の様子を知る機会となっている。</p> <p>評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 □縮小 中1ギャップの解消にも寄与するのみならず、子どもを軸とした地域間の交流機会ともなることから、次年度以降も継続して実施していきたい。小6の保護者の参加についても引き続き検討事項とした。</p>		
合同事業	中学生版：万古溪谷橋の木ツアー	市・地	新規	1	のべ参加数	12	71	8月28日	万古溪谷
	<p>中学生を対象に、地域を楽しむ大人に触れること、自分たちも地域の自然を楽しむことで、地域への愛着を醸成する</p> <p>主催：竜東中学校、万古溪谷会 ○中学生向けに、万古溪谷でも小学生でも小学生には難しいコースでの沢登り体験を行う。 ○中学生が、案内人として小学生向けツアーに加わることを視野に、万古溪谷会から沢登りのやり方や注意すべき点を伝授する。</p>						<p>【成果と課題】 昨年度も計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止になり、本年度初めて開催した。初回ということもあり、小学生向けのツアーと同じルートで行ったが、より上級者向けのコースの方がいいと思われる。</p> <p>評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 □縮小 本年度の開催状況を踏まえ、より難易度が高く面白みの深いルートへ変更していく。地域との接点が増え、中学生との事業展開を狙っていく。</p>		

龍江公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級・未就園児交流「さくらんぼの会」 講師：小本曾嘉子さん(保育士)、小椋保健師(保健指導)、龍江保育園近藤園長、龍江主任児童委員伊藤さん 令和2年度より保育園の未就園児交流と共催で開催。親子同士また親同士の交流を大切にしながら、季節の行事等様々な活動及び交流を展開した。 《内容詳細》 5/11開講式、6/1手作りおもちゃづくり、6/15保育園で自由遊び、7/20小麦粉粘土で遊ぶ、7/15龍江保育園夏祭り【中止】、8/3七夕まつり【中止】、8/24保育園で水遊び【中止】、9/7保育園で水遊び【中止】、9/28手型・足型をとろう、10/5ミニ運動会、10/19園庭遊び、11/2リラックスヨガ、11/16わらべうた遊び、12/7クリスマス会、12/21保育園クリスマス会へご招待、1/18お正月ぐるぐるの風揚げ、2/1節分新聞で豆まきごっこ、2/9親子で人形劇を楽しもう、3/1閉講式・元気な顔のお話・パン作り	市・地	継続	15	70	11	25	実施内容参照	龍江公民館、龍江保育園 他
学級・講座	【成果と課題】 保育士、保健師、保育園と目的の確認や情報共有を行った上で開催することで、親同士の情報交換や子ども同士の交流の場となった。スタッフとして主任児童委員にも参加してもらうことで子どもたちの様子を知らせてもらい、お互いに連携を取りやすくなった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 対象者の減少により、内容や運営方法について見直す必要がある。隣接地区との合同開催なども視野に入れながら、参加者のニーズに沿った柔軟な企画運営ができるよう検討していく。	市・地	継続	1	61	61	66	2月9日(木)	龍江保育園
学級・講座	【成果と課題】 人形劇フェスタが中止となったこともあり楽しみにしていた子どもも多く、人形劇をより身近に感じる機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 プロ劇団による質の高い人形劇に触れる機会や親子同士のつながりを深める機会として引き続き大切にしていきたい。	市費	継続	3	27	10	2,593	実施内容参照	龍江公民館
学級・講座	【成果と課題】 図書分館と共催し、工作や芸術活動に触れながら図書への関心を高めるため実施した。 《内容詳細》 6/25作のお楽しみ会(フラーワーアレンジメント)、12/3クリスマス会、3/11春のお楽しみ会(ソノール・クラリネットアンサンブルミニコンサート、卒業生インタビュー)	地区費	継続	8	384	41	57	実施内容参照	龍江保育園桃山畑
学級・講座	【成果と課題】 講座を通じて子どもたちとスタッフの方々が顔見知りになり、世代が違っても農業を通じて人づくりやつながりづくりの機会となった。30代と70代などスタッフの間でも多世代交流の場となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 農業や食に対する子どもたちの興味関心をつくるため継続して実施しながら、参加者全員が楽しく関わられるよう無理なく継続できる仕組みを作っていく。	市・地	継続	8	384	41	57	実施内容参照	龍江保育園桃山畑
学級・講座	【成果と課題】 講座を通じて子どもたちとスタッフの方々が顔見知りになり、世代が違っても農業を通じて人づくりやつながりづくりの機会となった。30代と70代などスタッフの間でも多世代交流の場となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 農業や食に対する子どもたちの興味関心をつくるため継続して実施しながら、参加者全員が楽しく関わられるよう無理なく継続できる仕組みを作っていく。	市・地	継続	8	384	41	57	実施内容参照	龍江保育園桃山畑

龍江公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	伝統文化体験(和紙作り)	市・地	継続	7	189	20	20	実施内容参照	龍江小学校
	龍江小学校6年生を対象に、龍江でも以前行われていた紙漉を復興し、伝統文化として継承していく。	市・地	継続	7	189	20	20	【成果と課題】 事前学習を実施することで昔の暮らしや地域に住む人々が大切にしていたものな歴史を学ぶとともに、改めて郷土愛を持つきっかけとなった。保護者に参加いただくことで、授業風景を見てもいいながら保護者の方も地域について学ぶ場にもなった。 【次年度の方向性と取組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 学校と連携しながら、今後も継続していく。幅広い層に知ってもらうため、参観日や地域参観日などに合わせての開催も検討していく。	龍江小学校
学級・講座	食育体験教室(大豆栽培体験)	市・地	継続	5	75	13	13	実施内容参照	龍江小学校
	龍江小学校3年生を対象に、食育の一環として季節の野菜を育て食農体験を行い、食の生産から調理、消費までを体験する機会の提供を図る	市・地	継続	5	75	13	13	【成果と課題】 足踏みでの脱穀や石臼を使ったきなこづくりなど昔の暮らしを再現した内容で実施することで今と昔の暮らしや生産から消費の流れを学習する機会となった。 【次年度の方向性と取組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 その年の3学年のニーズに沿った内容を展開しながら、有志スタッフとして若手農家の方にも声を掛けていく。	龍江小学校
学級・講座	多文化共生サロン	地区費	継続	11	95	9	2,593	実施内容参照	龍江公民館 ほか
	外国籍住民を対象に、日本語教室や生活文化学習を通じて地域住民との相互理解の場を支援する。	地区費	継続	11	95	9	2,593	【成果と課題】 公民館での机上学習だけでなく、地域に出てイベントの参加等も取り入れることで、地域の魅力を伝える機会となった。7月より、参加者していた実習生が帰国したことで、活動が休止となっている。 【次年度の方向性と取組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 現在、参加者がおらず活動を休止しているが引き続き事業所を通じての声掛け等を行い、多文化共生を進める会と連携しながら準備を進めておきたい。	龍江公民館 ほか
学級・講座	青年層の集い	市・地	継続	7	51	13	2,593	実施内容参照	龍江公民館 ほか
	20～40代の地域住民を対象に、自分たちの興味関心から地域の課題や魅力について話し合い、龍江の未来について考える機会とする	市・地	継続	7	51	13	2,593	【成果と課題】 龍江アウトドアフェスの企画運営が、今まで以上に参加者同士のつながりが深まるきっかけとなった。現存する龍江の魅力伝える活動となっている。 【次年度の方向性と取組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 今後も学級講座等の講師などから公民館活動にも関わってもらいながら、若い世代の皆さんが地域へ更に入っていくよう参加者の声を大切にしていきたい。	龍江公民館 ほか

龍江公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	郷土を学ぶ講演会 講師：大原千和喜氏 昔と今を比較しながら、地区内の歴史について学ぶ講座として年2回の開催を予定していたが、コロナウィルス第7波や講師の都合により中止となった。 《検討経過》 8/19文化部三役会、8/24文化部会、12/15文化部会	事業区分 市費	-	-	-	2,593	8月、1月(中止)	龍江公民館
学級・講座	実施内容 地域住民を対象に、龍江の歴史について学習・研究し郷土の歴史を後世に伝えていく。	事業区分 市費	1	16	16	2,593	3月16日(木)	龍江公民館
学級・講座	目的 一般を対象にストレッチ体操を通して健康増進と交流を図る。	事業区分 市費	2	32	15	2,593	3月9日(木)、3月23日(木)	龍江公民館
学級・講座	目的 一般を対象にエアロビクス体操を通して健康増進と交流を図る。	事業区分 市・地	-	-	-	2,593	実施内容参照(中止)	龍江公民館
学級・講座	目的 若い世代を対象に、自分の体の傾向を確認し、自ら健康について考えるきっかけの場とする。	事業区分 市・地	-	-	-	2,593	実施内容参照(中止)	龍江公民館

【成果と課題】
大原先生の体調のこともあり今年度は開催を見送る形となったが、開催を検討する中で講座の目的や位置付け等を文化部全員で確認し意識共有をすることができた。

【次年度の方向性と取り組み】
□拡充 現状維持 □縮小
本講座が龍江の歴史を楽しく学べる貴重な機会であるといった声もあるため、次年度は開催できるように準備していく。

【成果と課題】
自宅でも継続できる簡単なストレッチを取り入れることで、日常的な体の健康づくりに挑戦するきっかけとなっている。

【次年度の方向性と取り組み】
□拡充 現状維持 □縮小
のびのび元気体操と連携し、今後多くの地区住民に参加いただけるよう検討していく。

【成果と課題】
同世代の皆さんが集まり皆で一緒に体を動かすことで、もともとの同世代のつながりを更に強めるきっかけとなっている。

【次年度の方向性と取り組み】
□拡充 現状維持 □縮小
しなやかシェイプアップと連携し、今後多くの地区住民に参加いただけるよう検討していく。

【成果と課題】
若者の検討と体づくりのきっかけとなる貴重な機会であると感じている。参加者の皆さんと、次年度開催に向けた意識共有はできた。

【次年度の方向性と取り組み】
□拡充 現状維持 □縮小
参加者の中で、代表を担ってほしいと言ってくださる方もいるため、次年度は実施できるように調整したい。

龍江公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ 龍江地区公演	他会計	継続	-	-	-	2,593	8月4日(木)、8月7日(日)(中止)	今田人形の館、龍江公民館
文化事業	<p>一般を対象に、人形劇を通じて文化活動の活性化を図るとともに住民同士の交流を図る。</p> <p>実施内容 ○8/4(木) 18:00～ 龍江公民館公演 上演劇団：人形劇ちんどん 演目：イスとイスのおはなし/トラックとらすけ ○8/7(日) 13:00～ 今田人形の館公演 上演劇団①：Ave covo 演目：ブラジリアンパペットシヨウ mamulengo「ベネディクトのブラジル音楽旅」 上演劇団②：今田人形座 演目：戎舞/伊達娘恋袴鹿子「火の見燵の段」 ≪検討経過≫ 3/24公民館委員会、6/24公民館委員会、7/7会場責任者打ち合わせ、7/19龍江地区実行委員会</p>								<p>【成果と課題】 中止となったが、打ち合わせを重ねる中で劇人へのインタビューを企画し、劇人に依頼をするなど実行委員の会の中で、創意工夫凝らした企画運営の準備ができた。</p> <p>評価 【次年度の方向性と取組み】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 地区公演の良さを実行委員それぞれが大切に、想いを共有しながら、運営スタッフや劇団、観劇者が安心安全に、また、来年も来たいと思える地区公演となるよう地区実行委員会等で引き続き検討していきたい。</p>
文化事業	<p>図書分館係員を中心としたボランティアスタッフと協力し、地区内の小学生が飯田の人形劇の祭典であるフェスタの雰囲気に触れる機会として実施し、有料公演観劇と社会教育施設の見学を予定だったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止とした。</p> <p>≪検討経過≫ 4/5図書分館係会、6/8図書分館長打ち合わせ</p>						110	(中止)	飯田文化会館 ほか
文化事業	<p>児童を対象に中心市街地でおこなわれている人形劇フェスタを身近に感じる機会とする。</p> <p>≪検討経過≫ 4/5図書分館係会、6/8図書分館長打ち合わせ</p>								<p>【次年度の方向性と取組み】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 小学生から再発望する声が多い事業の一つでもあるため、感染症対策を行った上で企画運営が出来るよう、地区実行委員会や図書分館と検討を進めたい。</p>
文化事業	<p>幅広い世代が参加しやすい環境での実施を大切に、他世代の交流と地域の魅力再発見のきっかけの場とするため計画したが、部会で検討した結果中止となった。</p> <p>≪検討経過≫ 6/24公民館委員会、8/19文化部三役会、8/24文化部会</p>			1	-	-	-	(中止)	-
文化事業	<p>地区住民を対象に、龍江と関係する地域を訪れ、龍江の良さを再発見し考えうる機会とする。</p>								<p>【次年度の方向性と取組み】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 飯田下伊那をフィールドとした事業実施を視野に入れて前向きに検討したい。</p>

龍江公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	龍江地区文化祭・芸能祭	市・地	1	210	210	2,593	2月4日(土)・2月5日(日)	龍江小学校、龍江公民館
	<p>各種団体グループの展示や活動成果の発表の機会として実施した。作品展示と芸能発表に加え、文化部を中心に射的やシャボン玉など多くの人が楽しめる企画を実施する。</p> <p>《実施内容》</p> <p>○文化祭(作品展示) 2/4-2/5 龍江小学校体育館</p> <p>龍江保育園、龍江小学校、福祉委員会、いきいき教室、峽柳会、龍江道楽愛好会、古澤真由美、竜東FC、春日二八会、今田人形保存会、かわじ地域包括支援センター、天竜川総合学習館かわらばん 計109点</p> <p>○芸能祭 2/5 龍江公民館</p> <p>龍江小学校和太鼓クラブ、龍江小学校3学年、龍江小学校金管バンド、コーロンハイネ、信州飯田岳風会龍江支部青少年部、今田人形座、龍江小学校今田人形クラブ、龍江保育園、BEAT座タップスタジオ、赤十字奉仕団龍江分団</p> <p>○イベント 2/5 龍江公民館</p> <p>福祉委員会、飯田中央図書館龍江分館古本市、出店ブース(デコちやん、龍江小学校、ふれあい七和館、龍峽亭、warattecoffee、山平由里)</p>	継続	1	210	210	2,593	2月4日(土)・2月5日(日)	龍江小学校、龍江公民館
	<p>【成果と課題】</p> <p>果樹繁忙期を鑑み開催時期を2月へ変更し開催したことで、コロナ禍前よりも多くの地域住民の参加があった。また、龍江小学校150周年を記念し、作品展示会場を小学校体育館としたことで普段は文化祭への参加がない層の参加も見受けられ、多くの方が母校へ足を運ぶ機会となった。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】</p> <p>□拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 □縮小</p> <p>芸能祭出展者や芸能祭出演団体にとって、日々の活動の成果を発表する貴重な機会であるため、文化部での企画や出店ブース等の充実を図りつつ多くの地域住民が楽しく参加できる事業となるようにしたい。</p>	評価	210	210	2,593			
区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	今田人形浄瑠璃の保存と継承	他会計	13	185	400	2,593	実施内容参照	今田人形の館 ほか
	<p>今田人形保存会及び今田人形座と協力し、今田人形浄瑠璃の保存と継承を図る。</p> <p>《内容詳細》</p> <p>5/12今田人形保存会役員会、6/18今田人形保存会総会、7/14座員確保検討委員会①、8/7いいた人形劇フェスタ龍江地区公演【中止】、8/25座員確保検討委員会②、9/1保存会報「今田の木偶」第31号発行、9/15座員確保検討委員会③、10/13座員確保検討委員会④、10/15大宮八幡宮秋季祭宵祭ウソク公演、11/24座員確保検討委員会⑤、12/7座員確保検討委員会⑥、1/19座員確保検討委員会⑦、2/5芸能祭ワークショップ「人形浄瑠璃はじめの一步」、3/21浜松公演</p>	継続	13	185	400	2,593	実施内容参照	今田人形の館 ほか
	<p>【成果と課題】</p> <p>今田人形保存会及び今田人形座と連携しながら、改めて地域の宝である今田人形の大切さを地区内に伝えるきっかけとなっている。芸能祭ワークショップや浜松公演では、上演を観るだけでは知ることのできない床本や三味線の弾き方などを披露することで普段とは異なる視点で観ることができ勉強になったとの声もあり好評だった。一方で直接的な座員確保には至っておらず、今後も継続して活動していく必要がある。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】</p> <p>□拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 □縮小</p> <p>龍江地区の宝である今田人形を、まずは地域住民が改めて魅力を感じることで、さらに公民館としても全力で支えていきたい。ワークショップや上演等を通じて、今田人形のファンを増やすためにも人形座と保存会との連携を大切にしたい。</p>	評価	400	185	2,593			
区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	龍江地区市民運動会	地区費	-	-	-	2,593	10月9日(日)(中止)	龍江小学校
	<p>地区住民を対象に、住民の体力増進と住民のコミュニケーションの場として地域の繋がりを確認する場とする。</p>	継続	-	-	-	2,593	10月9日(日)(中止)	龍江小学校
	<p>【成果と課題】</p> <p>今年も中止となったが、運動会の在り方について引き続き検討がされている。来年度以降に向けて、今後どのような形の運動会が良いか実行委員会で検討をしていく。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】</p> <p>□拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 □縮小</p> <p>運動会の隔年開催を希望する声もある。運動会をどういう機会とするかを改めて考えたい。運動会が際にあたっては分館の協力が必須であるため、分館とも連携を密にとりながら慎重に検討したい。</p>	評価	-	-	2,593			

龍江公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	わくわくスポーツ大会～めざせ！絆と体力増進～	地区費	新規	1	106	81	2,593	10月10日(月・祝)	龍江小学校
	<p>地区住民を対象に、自分の体力を再確認するのと同時に健康づくりのきっかけ、また、家族や知人など龍江地区住民同士の交流の場とする</p> <p>《内容詳細》 ○体力テスト、体組成計計測 ※雨天のため中止 ○なかよし対抗競技(しっぽ取り、スリッパ飛ばし、紙飛行機飛ばし) ○お楽しみ抽選会(協力：商工会龍江支部)</p>	事業区分	新規	1	106	81	2,593	10月10日(月・祝)	龍江小学校
体育事業	第30回龍江絆駅伝	地区費	継続	1	164	116	2,593	12月4日(日)	今田平農村広場
	<p>地区内外住民を対象に、体力増進とコミュニケーションの場とする</p> <p>《内容詳細》 参加チーム全16チーム(地区内9、地区外7)全6区間、天龍峡桜街道周回コース</p>	事業区分	継続	1	164	116	2,593	12月4日(日)	今田平農村広場
広報事業	龍江ホームページ運営	地区費	継続	74	144	4	2,593	通年	龍江公民館ほか
	<p>一般を対象に、閲覧者が龍江地区の魅力を伝える機会を提供する</p>	事業区分	継続	74	144	4	2,593	通年	龍江公民館ほか
広報事業	龍江新聞	地区費	継続	25	300	12	2,593	通年	龍江公民館ほか
	<p>龍江地区住民を対象に、公民館事業に限らず地域の様々な情報や地域の抱える問題を取り上げ、住民が地域について考えるきっかけとして発行する</p>	事業区分	継続	25	300	12	2,593	通年	龍江公民館ほか

【成果と課題】
 気軽に参加できる自由参加型の事業として計画したことで、親子だけでなく3世代での参加もあり、競技を通じて世代間交流や縦のつながりを改めて実感する機会となった。
 【次年度の方向性と取り組み】
拡充 現状維持 縮小
 運動会の代替事業ではなく1つの事業として今後も継続していきたい。内容については、体育部員や分館役員の興味関心のあるものなどからヒントを得ながら組み立てたい。

【成果と課題】
 今年も参加経験チームからも多方面へ声をかけてくださったおかげで、地区内外問わず多くの参加があり、地区を越えた交流の機会となった。
 【次年度の方向性と取り組み】
拡充 現状維持 縮小
 今後も幅広く募集をかけ、地区を越えた交流、つながりづくりの場となるよう引き続き実施していきたい。

【成果と課題】
 社会教育関係団体の紹介ページや地区区内で活躍している方の特集ページなど、龍江の魅力が詰まったコンテンツを提供できた。また、委員の年齢層も30-40代と若いため、若い世代が地域へ関わるきっかけにもなっている。
 【次年度の方向性と取り組み】
拡充 現状維持 縮小
 地域づくり委員会や各団体等とも連携を図りながら、今後も龍江の魅力を絶えず発信し続ける場として大切にしていこう。

【成果と課題】
 紙面づくりに苦慮した月もあったが、部員がそれぞれネタを持ち寄り全員で協力して紙面づくりができた。部員自ら取材をすることで、地域を知る機会になっておる。
 【次年度の方向性と取り組み】
拡充 現状維持 縮小
 部員が主体的に紙面づくりに参加できるよう進めていく。読み手が地域について考えるきっかけとなる新聞を目指す。

龍江公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	ふるさと探検	市・地	継続	1	97	97	2,593	6月4日(土)	龍江三区
	<p>地区内の旧跡や自然・文化を歩いて巡り、龍江の歴史・文化を学ぶ機会とするため、青少年育成部、文化部、小学校PTA、福祉委員会共催事業として企画した。例年より開催時期を1ヶ月早めたことにより晴天に恵まれ、3年ぶりの開催となった。</p> <p>◆本年度コース 三区「名勝天龍峡とりんごの里コース」 → 今村公園 → 三区公民館 → 大願寺・南山の碑 → 地藏堂・薬師堂 → 水ぼれ岩 → 龍角峯 → 神明社</p>	<p>【成果と課題】 3年ぶりの開催かつ開催時期を早めたことで、例年よりも非常に多くの参加があった。大人の参加も多量で、幅広い世代が龍江三区について改めて学習するきっかけとなった。</p> <p>【次年度の方向性と取組み】 □拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 □縮小 6月1週目を開催日として来年度以降も継続したい。コロナ禍前に実施していた体験メニューも復活させながら、地域に愛着を持ちながら学習できる場としたい。</p>	<p>評価</p>						
育成事業	百人一首大会・龍江かるた大会	地区費	継続	1	31	16	110	1月21日(土)	龍江公民館
育成事業	<p>図書分館と共催。百人一首大会は日本文化に触れる機会とし、龍江かるたは地区の文化・歴史・史跡を題材にした「龍江かるた」から地区の歴史を学ぶ機会として開催した。</p> <p>《内容詳細》 小倉百人一首、龍江かるた、春草かるた、ビンゴ大会</p>	<p>【成果と課題】 向大会とも学年対抗とせず学年を混ぜて行うことで異年齢交流の機会となった。龍江地区で作成した春草かるたも取り上げ、飯田市の偉人について学ぶ機会にもなった。</p> <p>【次年度の方向性と取組み】 □拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 □縮小 子どもたちからも人気の事業であるため、図書分館との連携を大切にしながら今後も継続したい。</p>	<p>評価</p>						
	<p>水辺の楽校魚つり・魚つかみ取り大会</p> <p>小学校PTAと下伊那那漁業共同組合龍江支部、総合学習館かわらんべと合同で3年ぶりに実施。 新型コロナウイルス感染症拡大を受け、日程や実施内容を一部変更し開催した。</p> <p>《実施内容》 魚釣り大会(中止)、魚つかみ取り大会</p>	<p>【成果と課題】 魚つかみ取りを通して、親子団樂の場や子どもたちが生き物の命について考える場にもなった。</p> <p>【次年度の方向性と取組み】 □拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 □縮小 来年度は従来のとおり魚釣り大会も開催できるよう準備をしていきたい。</p>	<p>評価</p>						
育成事業	アップルキッズの森	地区費	継続	5	452	110	110	実施内容参照	<p>開催会場 学校りんご園</p>
育成事業	<p>小学校児童を対象に、りんごの生産を通して、食育や地区の産業を知る機会とする</p>	<p>【成果と課題】 子どもたちが摘果から収穫、加工までの一連の流れを円滑に行えるよう、後援会をはじめ各関係団体と連携しながら活動することができた。PTAとも連携し一緒に整備作業をすることで、縦のつながりをつくるきっかけにもなった。</p> <p>【次年度の方向性と取組み】 □拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 □縮小 今後も子どもたちがりんごについて楽しく学べるよう小学校や後援会、PTA、保育園、りんご狩り組合等との連携を大切にしていこう。</p>	<p>評価</p>						
	<p>小学校児童を対象に、りんごの生産を通して、食育や地区の産業を知る機会とする</p>	<p>【成果と課題】 子どもたちが摘果から収穫、加工までの一連の流れを円滑に行えるよう、後援会をはじめ各関係団体と連携しながら活動することができた。PTAとも連携し一緒に整備作業をすることで、縦のつながりをつくるきっかけにもなった。</p> <p>【次年度の方向性と取組み】 □拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 □縮小 今後も子どもたちがりんごについて楽しく学べるよう小学校や後援会、PTA、保育園、りんご狩り組合等との連携を大切にしていこう。</p>	<p>評価</p>						

龍江公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
C S 協働事業	小学校地域クラブ	地区費	継続	6	408	59	59	実施内容参照	龍江小学校
	目的	<p>龍江にある伝統文化や資源を題材に、各クラブ担当の講師と学校が連携して実施した。公民館は伝統と文化クラブを担当。</p> <p>《講師》 ①伝統と文化：鳴海和彦さん②お茶・お花：大原喜代子さん③陶芸：三輪俊子さん④郷土料理：JA女性部つぼみの会の皆さん⑤今田人形：澤柳太門さん、吉澤健さん、窪田正典さん 《内容詳細》 5/31事前打ち合わせ、6/16第1回、6/30第2回、7/21第3回、9/22第4回、10/13第5回、12/2第6回(感謝の会)</p>							
C S 協働事業	小学校お助け隊	地区費	継続	7	244	110	110	実施内容参照	龍江小学校
	目的	<p>地域のボランティアスタッフが学校授業の支援を行った。</p> <p>《内容実施》 【1・2年生】12/8読み聞かせ 【4年生】12/19おやす作り 【5年生】5/25代掻き、6/2田植え、10/5稲刈り、10/19脱穀</p>							
C S 協働事業	龍江小学校創立150周年記念事業	地区費	新規	1	351	20	2,593	実施内容参照	龍江小学校
	目的	<p>令和3年度より実行委員会を発足、「子どもが主役」を三者の共通テーマに掲げ、創立150周年記念や龍江小学校を通して地域の魅力を再確認する機会として実施した。</p> <p>《内容詳細》 5/26150周年記念人形劇公演(人形劇団むすび座)、11/22創立150周年記念式典、1/26150周年記念誌発行、3/7150周年記念八重桜植樹(想出校) 実行委員会を月1回開催</p>							
その他	武田信玄狼煙リレー	地区費	継続	1	11	11	2,593	8月27日(土)	龍江一区 兎城跡
	目的	<p>講師：沢柳 徳次さん、吉澤 健さん 飯田下伊那から諏訪までつながる武田信玄の狼煙リレーに参加し先人の文化を感じる。狼煙や武田信玄、兎城跡の歴史について理解を深めるため、吉澤健さんによる事前学習会を実施した。</p>							

龍江公民館の事業報告

No.9

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	龍江地区二十歳の集い	他会計	継続	1	56	19	21	1月8日(日)	龍江公民館
	龍江地区在住の新成人を対象に、自分の生まれ育った地域を改めて振り返り、地元の魅力を感じてお祝いする	実行委員会を組織し、新成人が自ら企画運営に携わり地域の大人と関わる機会を持つ、また、地域学習や成人式典内の催し(今田人形上演、実行委員会企画)を通じて、新成人が地域の魅力を再発見し、改めてふるさと龍江に愛着と誇りを持つ機会として開催した。 《内容詳細》 実行委員会(4名):9/9、9/20、10/11、12/19、1/6 地域学習:10/29「井水めぐり」 《当日》 ①記念行事(記念写真撮影)、②記念式典(開式の辞、今田人形座「二人三番叟」上演、式辞、祝辞、来賓紹介、祝電披露、恩師よりお祝いのご挨拶、成人代表あいさつ、閉式の辞)、③祝賀交流会(「思い出ムービー」上映、自己紹介及び抱負発表)		量的成果 (項目名と数値)名 龍江は好きですか……はい 18名 いいえ0名 将来龍江に戻ってきたいですか……はい14名 いいえ3名 無回答2名	開催期日	開催会場			
その他	飯田OIDE長姫高校地域人教育	市・地	継続	30	210	7	2,593	実施内容参照	龍江公民館
	高校生と地域住民を対象に、より良い地域に向けて共に学び育つ機会、地域を知り愛着を持つ機会とする	龍江地区研究テーマ「アッブルで交流人口アップ」 4月から翌1月の毎週金曜日を基本に活動。龍江地域づくり委員会、地域おこし協力隊員、たつみ農園、MOPLabo、野菜ソムリエ熊谷良子さんなど地域の方の協力のもと実施した。 《内容詳細》 4～7月聞き取り調査・公民館事業への参加、8～9月龍江アウトドアフェス準備(ノベルティデザイン、イベントマップ作成)、10/1龍江アウトドアフェス運営補助、9～11月龍江のりんごを使った商品の研究開発(アッブルティー、アッブルババ)、12/4龍江絆駅伝でのアッブルババ配布、12/21成果発表会、12月～1月年間振り返り		【成果と課題】 入学からコロナウイルスの影響を受けた学年であったが、活動や話し合いを重ねていくつれ、自分の考えを伝えたり、みんなで1つのことを成し遂げようとしていたり姿を見ることができた。地域では2年目の受け入れということもあり、今年の高校生がどんな活動をしているか興味を持ってくれる地域の方が増えたと感じる。高校生から刺激をもらい、自分たちの活動に活かしているとも聞き、この活動が地域にとって良い起爆剤となっている。	開催期日	開催会場			
合同事業	龍江地区二十歳の集い	地区費	継続	1	13	-	91	5月14日(中止)	龍江公民館
	小・中学生を対象に、中学校区の交流球技大会を実施。次年度入学生との交流を図る。	主催:上久堅・千代・龍江公民館、共催:竜東中学校のほか、竜東中学校区4小学校に協力いただき開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 《検討経過》 4/22 3地区・中学校打合せ(竜東中学校) 5/6 中止決定		【成果と課題】 開催に向け準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けやむなく中止とした。例年、地域の縦のつながりを大切にチーム作りを行い、小学生が中学校の様子を知る機会となっている。	開催期日	開催会場			

竜丘公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
0歳児学級		他会計	継続	6	28	8	14	10/26～3/22	竜丘公民館他
学級・講座	<p>乳児の成長発達や育児法、離乳食などについて学習する。</p> <p>育児相談、情報相談の場とする。育児法、子どもの接し方等について学ぶ。</p> <p>親の個人相談等保健師に依頼。また福祉健康委員に支援に入ってもらったこと、相談し合える関係を構築する。</p> <p>【実施内容】</p> <p>①10/26 開講式 ②11/15 ベビーマッサージ ③12/14 絵本の読み聞かせ ④1/30 ふれあいあそび ⑤2/10 親子スキタンタッチ教室 ⑥3/22 閉講式</p>					評価	<p>【成果と課題】</p> <p>育児の悩みを相談したり、子育てについて学ぶ機会であると同時に、母親同士が知り合い、地域内に縦と横のつながりを作る機会になっている。悩みの共有などのおしゃべりができる時間を多めに設定した。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】</p> <p>□拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 □縮小</p> <p>地域の中でつながりを作っていく最初の入り口となるよう実施していく。</p>		
1歳児学級		他会計	継続	12	106	18	43	5/27～3/10	竜丘公民館他
学級・講座	<p>乳児の成長発達や育児法などについて学習する。</p> <p>育児相談、情報相談の場とする。講師に保健師、保育士等をお願いし育児法、子どもの接し方等について学ぶ。親の個人相談等保健師に依頼する。福祉健康委員に支援に入ってもらったこと、相談し合える関係を構築する。</p> <p>【実施内容】</p> <p>①5/27開講式 ②6/10手形足形アート ③7/29七夕かざり ④9/30わらわらうた ⑤10/28散歩 ⑥11/11運動会 ⑦11/15人形劇 ⑧12/2クリスマス会 ⑨1/25新聞紙あそび ⑩2/6おもちゃ作り ⑪2/9絵本の読み聞かせ ⑫3/10閉講式</p>					評価	<p>【成果と課題】</p> <p>育児の悩みを相談したり、子育てについて学ぶ機会であると同時に、母親同士が知り合い、地域内に縦と横のつながりを作る機会になっている。一緒に工作する時間や歌を多く取り入れ、参加しているお母さんのリフレッシュや、育児上の相談につながった。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】</p> <p>□拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 □縮小</p> <p>地域の中でつながりを作っていく最初の入り口となるよう実施していく。</p>		
2歳3歳児学級		他会計	継続	12	95	18	89	5/18～3/13	竜丘公民館他
学級・講座	<p>講師に保健師、保育士等をお願いし、乳児の成長発達や育児法などについて学習すると共に、親の個人相談等を保健師に依頼する。</p> <p>福祉健康委員に支援に入ってもらったこと、相談し合える関係を構築する。</p> <p>【実施内容】</p> <p>①5/18開講式 ②6/3手形足形アート ③7/1七夕かざり ④9/14しゃぼん玉 ⑤10/12消防署見学 ⑥11/15人形劇 ⑦11/30運動会 ⑧12/9クリスマス会 ⑨1/19新聞紙あそび ⑩2/3小麦粉粘土 ⑪2/9絵本の読み聞かせ ⑫3/13閉講式</p>					評価	<p>【成果と課題】</p> <p>育児の悩みを出し合い、母親同士のつながりを作る機会になっている。子どもと一緒に体験ができる講座を多く取り入れ、子の成長を実感してもらった機会とすることが出来た。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】</p> <p>□拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 □縮小</p> <p>地域の中でつながりを作っていく最初の入り口となるよう実施していく。</p>		
乳幼児学級ファミリーデー		他会計	新規	2	55	26	146	6/12、11/20	竜丘公民館他
学級・講座	<p>講師に保健師、保育士等をお願いし、母親はワークショップでリフレッシュを行うと共に、乳児と家族はふれあい方や育児法などについて学習しつつ、図書館と協働しておはなし会を開催する。母親は親の個人相談等を保健師に依頼する。</p> <p>【実施内容】</p> <p>○実施内容</p> <p>①6/12 多肉植物のテラリウムづくりとおはなし会・ふれあい遊び 参加 15組の家族</p> <p>②11/20 親子で工作手形足形アートとおはなし会・ふれあい遊び 参加 11組の家族</p>					評価	<p>【成果と課題】</p> <p>日曜日開催のファミリーデーを実施。普段は乳幼児学級に参加できない父親の参加の機会となった。昨年に引き続き企画し開催したが、参加家族数が増加。(R3計16組→R4計26組)月齢が近い子を持つ家族同士の歓談が見られ、交流とリフレッシュが図れた。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】</p> <p>□拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 □縮小</p> <p>地域の中でつながりを作っていく最初の入り口となるよう実施していく。</p>		

竜丘公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	中国帰国者支援事業「友好会」(日本語教室)	市・地	継続	52	205	21	296	通年(週1回)	竜丘公民館
	<p>講師を中心に、週1回のペースで日本語教室を開き、地域で暮らす仲間として互いの生活習慣や考え方を学びあう。</p> <p>講師：安藤 信貴、片町 國臣、西川 和憲、磯村裕子、善本 勝</p> <p>【成果と課題】 公民館休館の際にはオンラインを活用して教室を行った。言葉の勉強だけでなく、地域探訪で交流を深めるなど、楽しみながら学習する場となっている。</p> <p>評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 言葉の勉強だけに偏らず、風習や日常生活などを話題にしなが、地域で暮らす仲間として交流する機会を増やしていきたい。</p>								
学級・講座	青年学級	市・地	継続	—	—	—	18	開催期日	開催会場
	<p>成人式(二十歳の集い)の企画に携わった20歳以上の若者が、仲間と共に、楽しく、地域と社会を知り、視野を広げ、考え方を深める。時又灯ろう流しへの参画を活動のメインに据え、花火大会を盛り上げるとともに、同世代の仲間との連帯を深める機会とする。</p> <p>実施内容 若者を中心とした地域住民を対象に、お互いの交流を通し、この地区の独自性を見つめ直し、地元を誇りをもってもらう。</p> <p>評価 【成果と課題】 コロナの影響により引き続き活動が休止している。来年度より「三地区青年部(仮称)」とし、川路、龍江地区とも合同で組織の立ち上げ予定。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小</p>								
学級・講座	大人の学校	市・地	継続	9	228	89	2,468	開催期日	開催会場
	<p>運営委員会中心にして、月1回の定例講座を開催する。テーマについては、生活を取り巻く様々な課題を取り上げる。クラブ活動など必要な生涯学習の支援を行う。</p> <p>運営委員会・班長会(講座)・クラブ長会などを随時開催している。</p> <p>【実施内容】 246 5月31日 高齢者の食生活と健康(伊藤 舞子保健師) 247 6月27日 童謡・唱歌を歌いましょう(小島 亜紀子先生) 248 7月25日 三味線演奏観賞(翔風の会の皆さん) 249 9月29日 ポツチャを楽しもう(スポーツ推進委員 鈴木さん) 250 10月25日 環境についても知ろう(環境課 大野係長) 251 12月8日 海外の生活体験から(藤岡 実花さん) 252 1月15日 ニューイヤークンサート参加 253 3月23日 囲碁ボール大会</p> <p>実施内容 60歳以上の住民を対象に、高齢者層のまともにと生きがい、地域参画を図る</p> <p>評価 【成果と課題】 高齢化社会の地域において、益々重要な役割を果たしている。第246回～第253回を実施。月1回の講座には、本講座に加え健康を考える講座(15分程度)も有り、フレイル予防啓発に努めている。今年度は5年間分の記念誌も作成した。新規加入者の減少、組織の高齢化が課題。オープンカレッジ方式の講座も取り入れながら、組織の年齢にあった活動を継続して行っていけるよう、月一回の運営委員会で検討を行っている。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小</p>								

竜丘公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	家庭教育講演会	事業区分 市費	1	15	15	132	11月17日	竜丘公民館
	実施内容 竜丘保育園との共催で、保育園児、乳幼児の親子を対象に行う。親子での人形劇の観劇を通し、親子のふれあいを図るとともに、その後の保護者を対象に家庭教育についての講演会を行う。 劇団：人形劇団あつけらかん♪ 演目：ひよこっこ劇場	継続	1	15	15	132	11月17日	竜丘公民館
文化事業	ふるさとコンサート	事業区分 市・地	1	50	50	6,630	7月18日	竜丘公民館
	実施内容 竜丘住民を対象に、音楽を身近なものとして親しみ、音楽文化の向上を図る。	継続	1	50	50	6,630	7月18日	竜丘公民館
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2022竜丘地区公演	事業区分 他会計	—	—	—	6,630	8/4~7【中止】	竜丘公民館他
	実施内容 本館公演と各分館での公演を実施。本館公演では観劇者も劇人もスタッフも楽しめる公演を目指して実施する。各分館では交流会を実施し、劇人との交流を通して「人形劇のまち飯田」を知り、その意味を考える機会となる。コロナ対策として本館のみで公演。10劇団8公演を実施予定だった。	継続	—	—	—	6,630	8/4~7【中止】	竜丘公民館他
文化事業	竜丘地区文化祭	事業区分 市・地	1	400	400	6,630	11/4~5	竜丘公民館他
	実施内容 竜丘住民を対象に、日頃の活動の成果を発表し、文化活動のさらなる活性化を図る。	継続	1	400	400	6,630	11/4~5	竜丘公民館他

【成果と課題】
1歳児学級、2・3歳児学級の参加者と、竜丘保育園の未就園児クラブが一緒に人形劇を観賞、公演を楽しんだ。竜丘保育園園長先生により家での過ごし方や、コロナ禍の楽しみとして家で一緒に作ってもらえるよう、家で簡単にできる保育園の人氣おやつレシピを紹介し、家庭からも好評だった。

【次年度の方向性と取組み】
拡充 現状維持 縮小

【成果と課題】
2年ぶりに実施。竜丘コーラスの歌声により開演、トリオ：プロールセールに演奏いただいた。「久しぶりの生演奏、プロの演奏聞けてうれしい」との感想も多く、継続して事業を行っていききたい。「コロナ禍での感染対策も良くてきていた」との評価もあり。

【次年度の方向性と取組み】
拡充 現状維持 縮小

【成果と課題】
感染症対策を講じた内容で開催を計画していたが、感染警戒レベル5への引き上げに伴い7/28中止決定。

【次年度の方向性と取組み】
拡充 現状維持 縮小

【成果と課題】
2日間の来場者アンケート総数359件、のべ400人以上の方が参加し作品展などを観賞。「竜丘のいろいろな歴史が分かって良かった」「コロナ禍での開催でしたが展示もよく見れました」など開催を喜ぶ声、今後の開催への期待を込めた声が多くあった。

【次年度の方向性と取組み】
拡充 現状維持 縮小

竜丘公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ニューイヤークンサート	地区費 継続	1	190	190	6,630	1月15日	竜丘公民館
	目的 竜丘住民を対象に、大人から子どもまでが、音楽をベースにした交流の場とし、芸術振興をはかる。							
文化事業	実施内容 (1) 大人から子どもまで楽しめる身近な催しとして計画する。 (2) 音楽をベースにした新年の交流の場とする。 (3) 竜丘在住のメンバーを中心とした音楽グループに呼びかける。 11団体のべ167人が参加発表。							
	目的 【次年度の方向性と取組み】 □拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 □縮小							
区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	竜丘市民大学講座	市・地 継続	3	70	30	6,630	6/19、11/5、3/5	竜丘公民館
	目的 竜丘を学び今後の地域づくりに生かしていくことを目的に開催。竜丘の自然や文化、歴史の振り返りことと将来展望を学習する。 ○R3年度第2講 6/19(日) 竜丘小学校開校150周年に関連し、竜丘小学校の大切にしてきたものをまとめる。 ○R4年度第1講 11/5(土) 竜丘地区文化祭に合わせ実施。自由画に関するシンポジウムを開催。 ○R4年度第2講 3/5(日) 前2講座をうけ、竜丘の学びある風土と、地域と学校を結ぶ「縁側」について講演。地元団体の方々から取り組みを紹介。							
区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	竜丘地区二十歳の集い	市・地 継続	1	46	46	69	1月9日	竜丘公民館
	目的 成人を対象に成人自身が、社会的自覚と地域に対する理解と愛着をもてるような交流の場にする。 (1) 地域を担う若者たちのためへの理解を深めるとともに、地域団体による太鼓演奏、料理、花火など、地域を地域をあげて二十歳の成人を祝福し激励する。 (2) 二十歳の成人自身が社会的自覚を持ち、また地域に対する理解と愛着を持つ交流の場、懇談の場とする。 (3) 実行委員会を組織し、二十歳の成人自ら企画運営に携わり、二十歳の集いを通して、地域を知り、地域へ参画する第一歩となることを期待して行う。 【経過】実行委員会 4回 地域活動 6回 【内容】記念写真撮影/(第1部記念式典)/お祝い太鼓披露/主催者あいさつ/お祝いの言葉/来賓紹介/祝電披露/成人代表あいさつ(第2部記念行事)思い出のスライドショー/中学校恩師より/中学校恩師よりビデオレター(第3部記念祝賀会)祝賀会/記念花火の打ち上げ							
区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	夏季スポーツ大会	地区費 継続	—	—	—	6,630	5/22【中止】	竜丘小学校校庭
	目的 竜丘住民を対象に、スポーツを通して健康維持と住民の交流を図る 今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 【検討経過】 体育スタッフ会、体育委員会 各1回							

竜丘公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	竜丘市民運動会	事業区分 地区費	1	30	30	6,630	10/9【中止】、11/5文化祭協力	竜丘小学校校庭
	実施内容	<p>・運動会・地域住民が親睦・交流を深める ・健康増進 ・誰もが参加でき、楽しめるよう種目内容を工夫する。 ・中学生スタッフに協力してもらえよう、積極的に働きかけを行う。 ・今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 【検討経過】 体育スタッフ会 5回、体育委員会 5回、役員会 1回 各分館に意見集約の結果中止判断 【文化祭協力】11/5 竜丘地区文化祭にて 新種目体験会 参加:約30名</p>						
体育事業	冬季ニュースポーツフェスティバル	事業区分 地区費	—	—	—	6,630	12/4【中止】	竜丘小体育館
	実施内容	<p>多くの方に気軽に参加してもらえよう複数の種目を取り入れ、子どもから大人までスポーツを通して交流を深める。コロナ禍において、安心して気楽に体を動かして住民同士の親睦が深められるよう新たな種目を取り入れ実施。 競技:囲碁ボール、ポッチャ 今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 【検討経過】 体育スタッフ会 2回、体育委員会 1回</p>						
広報事業	館報たつおか発行	事業区分 地区費	4	—	—	2,200	通年	竜丘公民館
	実施内容	<p>紙面を通じて、地域の現況を伝達するとともに、記録としての役割を果たす。 また、地域課題・生活課題について問題提起を行う。 ・読みやすく親しまれる館報づくり ・館報「たつおか」364号～368号の発行(366・367は合併号) ・竜丘地域自治会のHPを活用する</p>						
育成事業	古墳まつり(はにわ野焼き)	事業区分 地区費	1	63	63	6,630	6/5【中止】 10/23野焼き	塚原二子塚古墳他
	実施内容	<p>竜丘の誇る文化遺産を会場に、竜丘全体のまつりとして位置づけている。学びと交流を通して、古墳を広く知ってもらい今後の有効活用、保存活動に繋げていく。小学生が作った埴輪の野焼き、勾玉作り、火おこし体験、教育委員会による展示、古代食コーナー、埴輪作り体験、富本銭作り、古墳巡り、花の植え付け等。 5/1 粘土・勾玉加工準備 6/5 古墳まつり(中止) 7/13 6年生はにわ制作(2クラス63名) 10/23 はにわの野焼き</p>						

竜丘公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	川で遊ぼう(水辺の楽校)	事業区分 地区費	—	—	—	6,630	川で遊ぼう 10/30(中止)	竜丘水辺の楽校
	目的 自然体験をしながら、子どもたちの環境への意識を高め、地域への愛着を育てる	企画委員会、PTAとの共催事業。 草刈り作業はPTAや各種団体と連携し、児童も参加し行う。(校内作業とも連携) 草刈り作業等4回、交流イベントでは自然体験学習、企業連携による微生物観察、魚のつかみ取りを行う。 水辺の楽校について、小学校や保育園での活用をはじめ、住民が日常から親しめるよう検討を進める。 【草刈り作業】5/7(PTA作業)、7/3、8/20(天竜川美化)、9/11 のべ約255人参加 【川で遊ぼう】9/18(日)延期→10/30(日)中止 ・おもしろ科学工房工作体験 ・かわらんべ講師水中生物観察 ・ミナト光学顕微鏡体験 ・地元講師による昆虫観察 を企画していた。	事業区分 継続	—	—	—	川で遊ぼう 10/30(中止)	竜丘水辺の楽校
育成事業	竜丘あいさつ運動	事業区分 地区費	10	100	50	6,630	統一行動日 10/26	開催会場 竜丘地区
	目的 竜丘住民を対象に、地域と学校が連携し、あいさつ運動を通して住民の交流を図る	標語募集・選定、のぼり旗作成、各分館であいさつ運動現地指導 (1) あいさつの大切さを見なおす機会とする (2) 大人と子どもがあいさつを通して安心安全な地域づくりを行う (3) できるだけ多くの団体と連携して実施する 小学校のあいさつ週間に合わせて実施。 テーマを決めて標語の募集を行った。9/26標語の募集、9/26選定。 10/26を統一行動日として、各分館の協力のもと地域全体であいさつ運動を展開した。 【各地区あいさつ運動】5地区で各2回、のべ約100名(首成委員、分館役員、PTA等)	事業区分 継続	10	100	50	統一行動日 10/26	開催会場 竜丘地区
民俗資料保存	民俗資料保存事業	事業区分 地区費	6	66	11	6,630	通年 虫干し7/24	開催会場 竜丘公民館他
	目的 竜丘地区を対象に、民俗資料の保存活動の推進を図る	竜丘独自の委員会である民俗資料保存委員会が中心となり、地域の民俗資料の収集、整理、保存にあたる。地域の有形・無形の民俗資料を後世に伝えるための収集・保存活動を行うとともに、それらを広く公開していく。 ・民俗資料館の維持管理及び資料館の今後についての検討 ・収蔵品の虫干し ・公民館の展示スペース管理 ・竜丘自由画保存顕彰委員会への参画 ・今後活動のための視察研修	事業区分 継続	6	66	11	通年 虫干し7/24	開催会場 竜丘公民館他

竜丘公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
C S 協働事業	竜丘児童自由画保存顕彰委員会	事業区分 地区費	1	27	27	6,630	5/6 木下紫水学習会	竜丘公民館他
	<p>小学校と連携し、竜丘に現存している自由画の保存と、その活用方法の研究、地域住民への理解を深めてもらうための活動を行う。併せて自由画の背景にある自由教育の研究について検討する。</p> <p>・小学校150周年事業 木下紫水の副読本活用 ・竜丘小にパネル展示コーナー設置 【木下紫水勉強会】5/6 副読本制作の背景や物語の読みどころを自由画保存顕彰委員会より紹介。 美術博物館榎村学芸員を講師に、「自由画教育と木下紫水」と題して講演いただいた。紫水が自由画に込めた思いなどを学んだ。のべ27名が参加。 【パネル展示】 副読本より抜粋した6ページ分の自由画教育の紹介パネルを作成。展示した。</p>	継続	2	105	62	6,630	古墳整備 5/21、10/15	竜丘地区他
その他	竜丘古墳の会	事業区分 地区費	2	105	62	6,630	古墳整備 5/21、10/15	竜丘地区他
	<p>【学習部会】 5/13(金)丘のみちしるべ探索 ……コロナのため延期 5/20(金)丘のみちしるべ探索 ……コロナのため中止 【古墳公園推進部会】 花法師の会、カタバミの会活動、小学校6年生埴輪づくり指導、除草作業2回/年 【調査広報部会】 各種団体の視察受け入れ(竜丘小丘のみちしるべ探索、ほか) 【古墳整備】 5/21 62名、10/15 43名 参加</p> <p>丘のみちしるべ探索は、4/13に下見を実施したが、本日・予備日両日県の警戒レベル5が継続していたため学校より中止の連絡あり。 全体整備2回と草刈り隊の尽力により、いつもきれいな古墳を維持できた。花法師の会の皆さんにより、サルビヤやアジニアの植栽が出来た。 古墳案内のPRチラシを作成し、阿智村の観光事業者と連携してチラシの設置をした。また、見学受け入れにあたっては、古墳の会役員だけでなく、案内者の養成が必要。 古墳まつり(埴輪づくり、野焼き)に協力、2回の定期整備を行った。有志による草刈りは毎週実施(カウントに含めず)。</p>	継続	2	105	62	6,630	古墳整備 5/21、10/15	竜丘地区他
区分	放課後子ども教室	事業区分 市・地	26	1,830	80	348	毎週水曜日	竜丘小学校他
	<p>地域の人材、資源を活かしたさまざまなスポーツ活動、文化活動、体験活動を取り入れながら、児童が楽しく遊び、学び、触れ合うことを通して、自主性や社会性、創造性を育て、</p> <p>小学生を対象に、放課後の居場所作りと、体験活動の充実を図る</p>	継続	26	1,830	80	348	毎週水曜日	竜丘小学校他
その他	<p>【成果と課題】 副読本制作についても取り組み、公民館専門委員研修を兼ねた学習会を5/6に実施。パネルを作成し小学校の自由画考古室に展示した。 副読本については、6年生に配布を続け、学校で今後の学習に役立てていただく。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 □縮小</p>	継続	26	1,830	80	348	毎週水曜日	竜丘小学校他
	<p>【成果と課題】 子供たちの社会性や想像力を育てる点で、重要な事業。今後も子どもの育ちと地域の大人との関わりを大切にしていきたい。今年度は児童登録数が多かったため、スタッフの募集を行った。運営委員会を複数回実施、運営の仕方について案を出し合い、改善に努めた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 □縮小</p>	継続	26	1,830	80	348	毎週水曜日	竜丘小学校他

川路公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級「すくすく学級」 講師：塩澤敏子先生(保育士) 5/17(火)「オリエンテーション」 6/20(月)「手形・足型をどうしよう！みんなで子育てのこと話そう」 7/12(火)「七夕飾りをつくろう」 8/9(火)「保育園へ行こう！水遊び」(中止) 9/5(月)「マイカードを作ろう」 10/18(火)「電車に乗って出かけよう」 11/7(月)「秋の山へさんぽに行こう」 12/20(火)「クリスマス会」 1/17(火)「新春お楽しみ会(もももやももや公演)」 2/6(月)「手形足型をどうしよう！」 3/13(月)「文集作り・おわりの会」	市・地	継続	12	350	20	100	実施内容参照	川路公民館ほか
学級・講座	【成果と課題】 川路地区は近年、地区外から移住してくる子育て世代が増えている中で、未就園児の子どもと親が集い交流する場となっている。親同士が子育てに関する情報を交換したり、地域に関する情報を得る機会となっているが、コロナ禍で参加を控える親子もおり、参加者数の減少が課題。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 コロナ禍で参加を控える親子も少なくない。地域とつながりを作っていく場にもなっているため、参加しやすく、親同士の繋がりをさらに深められるような組み立てを継続して考えていきたい。	市・地	継続	12	350	20	100	実施内容参照	川路公民館ほか
学級・講座	【成果と課題】 ウクライナ戦争等心を痛める大きなニュースがある中、人権・平和を考える機会を与えたい、知ってほしいという大人の声は一定数公民館に寄せられており、協力を得ながら計画したが、実施できなかった。伝え方に工夫が必要なことに加え、コロナ禍で事業実施が難しい状況が続き、事業展開が課題。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 十分な感染症対策を実施した上で運営できるよう準備を進めていく。身近な学習機会に立ち寄り、一方的な座学ではなく、考える機会となるよう工夫する。	0円	継続	2	0	-	105	実施内容参照	川路公民館ほか
学級・講座	【成果と課題】 川路地区は近年、地区外から移住してくる子育て世代が増えている中で、未就園児の子どもと親が集い交流する場となっている。親同士が子育てに関する情報を交換したり、地域に関する情報を得る機会となっているが、コロナ禍で参加を控える親子もおり、参加者数の減少が課題。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 コロナ禍で参加を控える親子も少なくない。地域とつながりを作っていく場にもなっているため、参加しやすく、親同士の繋がりをさらに深められるような組み立てを継続して考えていきたい。	市・地	継続	1	146	-	1,965	活動内容参照	川路公民館
学級・講座	【成果と課題】 昭和28年から始まり、今年で70年目を迎える歴史ある講座。公民館文化部を中心に、地域の課題に即したテーマ及び講師を選定している。 新型コロナウイルス感染症対策として事前予約制、定員制、オンライン活用等を昨年引き続き行い、開催することができた。結果、コロナ禍の中でも地域の伝統をつないでいく意味で大きな成果となった。参加者アンケートによる評価も概ね好評であった。 また、参加者アンケートより、夏期大学を知らず、初めての参加者も増えている様子がわかる。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 引き続き安心して参加していただけただけの運営方法の検討。「教養を高めるとともに、現代的な課題を考える契機とする」ための学習の場を川路地区住民主体で作り続けている歴史や目的の再認識ができるようなPR方法を検討。また、テーマに沿った連続講座として内容を検討。	市・地	継続	1	146	-	1,965	活動内容参照	川路公民館
学級・講座	【成果と課題】 昭和28年から始まり、今年で70年目を迎える歴史ある講座。公民館文化部を中心に、地域の課題に即したテーマ及び講師を選定している。 新型コロナウイルス感染症対策として事前予約制、定員制、オンライン活用等を昨年引き続き行い、開催することができた。結果、コロナ禍の中でも地域の伝統をつないでいく意味で大きな成果となった。参加者アンケートによる評価も概ね好評であった。 また、参加者アンケートより、夏期大学を知らず、初めての参加者も増えている様子がわかる。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 引き続き安心して参加していただけただけの運営方法の検討。「教養を高めるとともに、現代的な課題を考える契機とする」ための学習の場を川路地区住民主体で作り続けている歴史や目的の再認識ができるようなPR方法を検討。また、テーマに沿った連続講座として内容を検討。	市・地	継続	1	146	-	1,965	活動内容参照	川路公民館
学級・講座	【成果と課題】 昭和28年から始まり、今年で70年目を迎える歴史ある講座。公民館文化部を中心に、地域の課題に即したテーマ及び講師を選定している。 新型コロナウイルス感染症対策として事前予約制、定員制、オンライン活用等を昨年引き続き行い、開催することができた。結果、コロナ禍の中でも地域の伝統をつないでいく意味で大きな成果となった。参加者アンケートによる評価も概ね好評であった。 また、参加者アンケートより、夏期大学を知らず、初めての参加者も増えている様子がわかる。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 引き続き安心して参加していただけただけの運営方法の検討。「教養を高めるとともに、現代的な課題を考える契機とする」ための学習の場を川路地区住民主体で作り続けている歴史や目的の再認識ができるようなPR方法を検討。また、テーマに沿った連続講座として内容を検討。	市・地	継続	1	146	-	1,965	活動内容参照	川路公民館

川路公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	川路さわやか会	市・地	継続	9	130	15	1,965	実施内容参照	川路公民館ほか
	地区内の中高年を対象に、ウォーキングをはじめとする各種活動を通じて健康づくりについて学習する	市・地	継続	9	130	15	1,965	【成果と課題】 ウォーキングを主活動としているが、会員の健康増進に寄与しながら楽しく参加できるように、内容は会員の意見を尊重して元善光寺の御開帳、ニュースポーツ体験等の多様な活動を取り入れた。今後も運動と交流のバランスを考えながら内容を検討していく必要がある。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 近年、会員の高齢化により会員数が減少傾向にある。若い方の加入促進や、講座の方向性の検討が必要。他の学級講座や専門委員会とも連携した事業組み立てを検討していく。	川路公民館ほか
学級・講座	通学合宿代替事業(みんなで楽しい思い出を作ろう！)	市・地	継続	1	70	70	30	開催期日 実施内容参照	開催会場 川路公民館ほか
	川路地区内の住民・保護者・子どもを対象に、地域で子どもを育てる環境づくりに向けて協働で取り組む	市・地	継続	1	70	70	30	【成果と課題】 通学合宿が実施できないことは残念であるが、子どもたちが普段ではできない体験を望む声より、実行委員会が意欲的に意見交換し、計画立ててできた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 通学合宿を復活できるようにできることを取り組んでいきたい。また、次回以降は事業に関わる地域の大人をもっと増やしたい。	開催会場 川路公民館ほか
学級・講座	サイエンスショー	地区費	新規	1	19	-	105	開催期日 11月3日(木)	開催会場 川路小学校
	川路の小学生、中学生及び保護者を対象に、身近な自然科学の実験を通して交流を図る	地区費	新規	1	19	-	105	【成果と課題】 コロナ禍で子供が集う機会が相次ぎ中止となる中、無事実施できた。子どもたちだけでなく保護者の驚きの声や、実験も参加型で楽しむ場ができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 感染症対策の上、子どもたちが川路で学び、楽しむ環境として事業検討。	開催会場 川路小学校

川路公民館の事業報告

No.4

区分	事業名		事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	予算区分	他会計								
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2022川路地区公演	公民館、小学校PTA、保育園保護者会、教育委員会、天龍峡温泉観光協会、川路地区実行委員会を組織。川路地区内3会場の地区公演及び本部公演観劇電車ツアーを予定していたが、コロナ禍のため中止。	継続	0	0	-	1,965	実施内容参照	川路公民館ほか	
		8/4(木): 有料公演観劇電車ツアー(川路図書館と連携) 観劇劇団: ホケキヨ影絵芝居 毛虫の旅/hana 参加予定(申込): 20名 引率スタッフ: 5名 ※定員に達したため20名以降も申込をいただいたが、受付せず。本来の定員は15名であったが、スタッフ内の臨機応変な対応により20名まで拡大。電車の乗り方を中心とした児童説明会は7/22日に実施。	継続	0	0	-	1,965	実施内容参照	川路公民館ほか	
文化事業	実施内容	8/5(金): ましゅ&kei(公民館文化部会) 8/6(土): 川路小学校3年生、劇団みちのく(小学校PTA、保育園保護者会) 8/7(日): 人形劇サークルダックス、ミックスマックス(まちづくり委員会教育委員会)	継続	311	-	-	1,965	実施内容参照	川路公民館ほか	
		【成果と課題】 実行委員の皆さんが中心となってコロナ禍でも人形劇を楽しめるような意見や新しいアイデアの議論ができたが、フェスタ自体が中止となってしまった。 以下実行委員会での意見及びアイデア ① ソーシャルメディアの意見を取り組むことで観覧席数が減ってしまわないように、広いスペースが取れる会場での開催を計画した。 ・R1年度との比較 保護者(小学校・保育園)公演 8/6 朝 小学校多目的ホールから体育館へ変更 (R2年度より継続。昨年度唯一実施できた公演。) 教育委員会公演 8/7 朝 かわらんべから小学校体育館へ変更 なお、文化部公演 8/5夜 公民館大会議室については、夜間は虫が多く冷房設備がないため小学校には変更しないこととした。 ② 保護者公演及び教育育成公演で連日同じ会場を利用するため、両日利用できないような設備を検討し、設置は保護者公演、撤去は教育育成公演と役割を分担し実施に向け(地区実行委員会にて委員さんから提案いただき)協議することができた。 ③ その他、実施に向け委員さんたちが自分でアイデアを出し合いしっかりと議論することが出来た(コロシアムから送迎バス、天龍峡温泉観光協会より非接触型検温器の借用等)	継続	311	-	-	1,965	実施内容参照	川路公民館ほか	
文化事業	川路地区文化祭	作品展示、芸能発表、テイクアウト販売の3部門を実施。感染症対策のためR3同様、各部門の会場を分け形とした。なお、前年度は文化祭開催年であったためまちづくり委員会と共催で事業展開したが、今年度は開催年度のため、公民館の主催で開催。 ・作品展示: 10月31日(月)～11月6日(日)9時から21時まで(最終日は12時まで) 会場: 川路公民館1階大会議室 出展: 25団体が鑑賞 ・芸能発表: 11月6日(日)9時30分から13時まで 会場: 川路小学校体育館 発表団体: 6団体(予定では8団体であったが、諸事情により2団体の出演中止) 延べ174名が来場。 ・テイクアウト販売: 芸能発表に合わせ小学校正面玄関で開催 川路地区内の飲食・事業社4店舗によるテイクアウト販売(飲食店のPR)	継続	311	-	-	1,965	実施内容参照	川路公民館ほか	
		川路地区民を対象に、文化活動の発表の場を設け、さらなる活動の推進を図る	継続	311	-	-	1,965	実施内容参照	川路公民館ほか	

川路公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	分館対抗ニュースポーツ大会	地区費	継続	0	-	-	1,965	11月27日(日)【中止】	竜峡中学校
	実施内容	<p>・11/27(日)、竜峡中学校体育館にて①囲碁ボール、②ポッチャ、③大縄跳び</p> <p>・各成績に応じた表彰のほか、試合成績に関わらず様々な世代からの参加があった区を表彰する世代間交流賞を創設</p> <p>・感染警戒レベルではなく、地区の感染状況を鑑み直前まで実施できるよう考慮し実施した。しかしながら、地区内の感染が広まり、以下の理由により体育部会にて中止を判断。</p> <p>・屋内で器具を使い回すことが前提の大会であること</p> <p>・練習が始まる分館もあること</p> <p>・感染を心配する声(複数の分館より)</p> <p>・分館対抗の事業となり選手選出の再考が困難</p>							
体育事業	川路地区住民を対象に、ニュースポーツを通じて交流の機会とし、分館ごとの関わりを深める	地区費	継続	1	58	-	1,965	6月19日(日)	竜峡中学校
	実施内容	<p>老若男女年齢問わず楽しめるニュースポーツとしてワンバウンドふらばーるバレー大会の実施。6/19(日)、竜峡中学校体育館。</p> <p>参加団体:5団体からの申込に加え、体育部会で1チームつくり計6チームで総当たり戦。</p> <p>【優勝】3区デンジャラス、【準優勝】超・ふつう、【第三位】酒と笑いと男と女</p>							
広報事業	分館「かわじ」発行	地区費	継続	4	900部	900部	1,965	年4回発行	川路公民館
	実施内容	<p>・年間発行回数4回(6月、9月、12月、3月)、1回あたり発行部数900部</p>							
広報事業	川路地区住民を対象に、ニュースポーツを通じて交流・親睦を深める機会とする。	<p>【成果と課題】</p> <p>30代以下の参加も多く、世代を超えて交流する様子が見られた。また、新しく引越してきた方の参加もあり、若者や新居者が地域行事に参加するきっかけとなった。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】</p> <p>□拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 □縮小</p> <p>来年度も感染症対策の上、コロナ禍でも安心して参加していただける運営方法を検討しながら実施していく。</p>							
	実施内容	<p>【成果と課題】</p> <p>公民館主催事業だけでなく、まちづくり委員会を含む地域の動きや地域課題を含めて幅広く掲載できるよう工夫している。</p> <p>また、部員自ら取材として地域での活動等に参加し、文章作成を工夫した。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】</p> <p>□拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 □縮小</p> <p>令和3年度よりまちづくり委員会発行「広報かわじ」と統合したことで、部会もまちづくり委員会広報委員会の委員と合同で行っています。より分かりやすい情報発信のための方策を、まちづくり委員会と一緒に考えたい。</p>							

三穂公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	三穂地区高2の集い	地区在住の高校2年生を対象として実施。 ①12/13…高校生6名参加 三穂の魅力、こんな事業なら参加したい、自分たちが地区のためにできることなどをグループに分かれ意見交換した。 ②3/15…高校生5名参加 前回の高2の集いの中で話題にあがったeスポーツの話題に特化して意見交換を行った。	継続	2	25	25	6	実施内容参照	三穂公民館
学級・講座	三穂地区在住の高校2年生を対象に、高校生目線での地域の状況や想いを大人と一緒に話し、高校生や公民館ができる事を探る	実施内容						【成果と課題】 多くの高校生が「三穂の魅力」を語ってくれ、今の高校生が地域に愛着を持って育っていることを知る事ができた。また、なぜ地域行事には参加しないかも知る事ができ、今回でた意見を基に次年度以降高校生も参加しやすい公民館活動となるように工夫していく。 高校生にとっては公民館やそこで活動する大人をより身近に感じてもらえた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 次年度は地域内の高校生全体を集めての開催も視野に入れ、若い世代にとつて公民館ができる事は何かを模索していく。また、高校生が主体となった事業も検討していく。	
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数 <td>開催期日</td> <td>開催会場</td>	開催期日	開催会場
	いいだ人形劇フェスタ2022三穂地区公演	市・地	継続	-	-	-	1,332	8/7(中止)	三穂小学校
文化事業	地区住民を対象にいいだ人形劇フェスタをみる・演じる・ささえることを通じて人形劇文化や地域文化への理解を高める機会とする	実施内容	下記の通り計画したが、いいだ人形劇フェスタの中止を受け、三穂地区公演も中止とした。 【当初計画】 8/7 三穂小学校体育館 ・伊豆木人形クラブ 時間10:00～「傾城阿波鳴門 順礼歌の段」 ・みほっち劇団(三穂小学校) 時間11:00～「最強の大きなかぶ・おおかみ」とやさしい7ひきの子やぎ」 ・わたちゃんのほのほの劇場 時間11:20～「三びきのやぎのガラガラドンほか」 ～オリジナル企画として～ ・立石獅子舞による上演 ・わたちゃんのダンボールしまいワークショップ						【成果と課題】 フェスタは中止となってしまったが、文化委員会が三穂地区らしい公演について検討を行い、オリジナル企画を計画することができた。 1回の公演に色々な団体を詰め込みすぎた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 次年度も三穂らしい地区公演を委員の皆さんと企画運営していきたい。
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数 <td>開催期日</td> <td>開催会場</td>	開催期日	開催会場
	みほ人形劇フェスティバル	新規	新規	-	-	-	1,332	11/12(中止)	三穂小学校
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2022が開催日前で中止となり、目標としていた発表の機会が喪失することが続いた。子どもたちが練習の成果を発揮し、今までの取り組みに対して達成感を持てる機会とする	実施内容	下記の通り計画したが、新型コロナウイルス感染拡大により中止とした。 【当初計画】 11/12 三穂小学校体育館 ・みほっち劇団(三穂小学校) 時間9:10～「最強の大きなかぶ・おおかみ」とやさしい7ひきの子やぎ」 ・わたちゃんほのほの劇場 時間9:50～「三びきのやぎのガラガラドンほか」 ・わたちゃんのダンボールしまいワークショップ 【検討過程】 ・10/4企画委員会 ・9/27、10/22小学校との打ち合わせ ・11/22小学校参観日での人形劇発表会 ※後日参観日で行われた人形劇発表会の様子をビデオで撮影し、2月に行われた三穂地区文化祭で上映した。						【成果と課題】 フェスタの中止を受け、子どもたちの練習の成果を地区の皆さんに見てもらえるように検討してきたが、直前に学級閉鎖となり中止とした。 先生との打ち合わせの中で、子ども達がウクライナについての平和学習をしていることをお聞きし、フェスティバル内で募金活動を予定したり、当日の会場装飾を青と黄色にするように文化委員会が準備を進めるなど、人形劇を通じて学校と地域をより近づけるように取り組むことができた。中止になってしまったが、募金活動については別日に公民館で実施し、多くの寄付が集まった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 今年度はいいだ人形劇フェスタの中止を受け、急遽計画した。次年度も新型コロナウイルス感染症の様子が柔軟に対応していきたい。

三穂公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ふるさとコンサートin三穂	市・地	継続	1	82	82	1,332	7/17	三穂小学校
	<p>目的 地区住民を対象に、芸術文化に対する興味関心の高揚を図る</p> <p>実施内容 コロナ禍により、文化や芸術といったものに触れる機会が減少した。小学校には吹奏楽部がなく、音楽と触れる機会も少ない。プロの音楽家の演奏に触れる機会として実施。 Florescer(フローレルセル)による三重奏のコンサート 地元合唱団“愛”さんもコロナ出演。 【検討過程】 ・4/7、5/10、6/8 文化委員会</p> <p>評価 【次年度の方向性と取組み】 □拡充 ☑現状維持 □縮小 多くの来場者から、身近に音楽を感じられた喜びの感想をいただくことができ、目的としていた部分は達成できた。 予想以上に多くの来場者にお越しいただいたが、感染症対策として、今年度は体育館で実施したり、定期的な換気を行うことで十分な感染症対策が行うことができた。⇒音の響きが課題。</p>	継続	1	82	82	1,332	7/17	三穂小学校	
文化事業	ふれあい夏祭り	地区費	継続	1	100	100	1,332	8/7	三穂小学校
	<p>目的 地区住民を対象に、地域の各団体と連携し、連携意識を高めるとともに、住民同士の交流を図る</p> <p>実施内容 公民館をはじめ、まちづくり委員会、小中学校、社会教育関係団体など多様な団体と共に1つのものを協力し、作り上げ、連携意識を高めながら実施。感染警戒レベルが5となり、同日開催のフェスタは中止となったが、夏祭りは一部内容を中止とし実施した。 テイクアウトによる飲食販売(フードロスの観点から実施)、大抽選会、仕掛け花火の実施。 【検討過程】 ・5/10、6/8、7/30 文化委員会 ・7/4 ふれあい夏祭り実行委員会 ・7/30 周辺整備作業</p> <p>評価 【次年度の方向性と取組み】 □拡充 ☑現状維持 □縮小 次年度は公民館の区制改革により文化委員会により文化委員会の人数が半分となる。その中でも充実した夏祭りとなるように、今から今後の事業の在り方について検討を重ねていきたい。</p>	継続	1	100	100	1,332	8/7	三穂小学校	
文化事業	三穂地区文化祭	地区費	継続	1	350	350	1,332	2/5	三穂公民館など
	<p>目的 地区住民を対象に、地域の各団体と連携し、連携意識を高めるとともに、住民同士の交流を図る</p> <p>実施内容 公民館をはじめ、まちづくり委員会、小中学校、社会教育関係団体など多様な団体と共に1つのものを協力し、作り上げ、連携意識を高めながら実施。また、多くの文化に触れ、文化活動を大切にする心が受け継がれるように実施。 団体展示、芸能発表、ニュースポーツ体験、テイクアウトによる飲食販売などの発表・出店。 【検討過程】 ・10/14、12/20、1/23 文化委員会 ・12/23 三穂地区文化祭実行委員会</p> <p>評価 【次年度の方向性と取組み】 □拡充 ☑現状維持 □縮小 次年度は三穂小学校150周年の年であり、展示などを関連づけながら実施していきたい。 午後に来た来場者も楽しんでもらえるよう販売数の調整など工夫し、来場者全員が満足してもらえる文化祭を目指す。</p>	継続	1	350	350	1,332	2/5	三穂公民館など	

三穂公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
区分	三穂市民運動会	事業区分	継続	-	-	-	1,332	10/8(中止)	三穂小学校
体育事業	<p>地区住民を対象に地域の連帯意識を養うと共に健康への関心を高め、住民相互の親睦を図る</p> <p>【目的】</p> <p>地区住民を対象に地域の連帯意識を養うと共に健康への関心を高め、住民相互の親睦を図る</p> <p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7/19 体育委員会にて運動会の方向性・競技内容の検討 ・8/17 館長・正副体育委員長と競技内容の検討(実際に競技を体験) ・8/22 体育委員会にて協議 ・9/5 館長・正副体育委員長会 ・9/7 体育委員会にて中止を決定⇒次年度にむけて今年度検討した競技を体育委員全員で体験し、課題の共有を行う 	事業区分	継続	-	-	-	1,332	10/8(中止)	三穂小学校
区分	冬季ニュースポーツ大会	事業区分	継続	1	46	46	1,332	1/29	三穂小学校
体育事業	<p>地区住民を対象にニュースポーツを通じて冬季の運動不足解消、身体を動かすことの楽しさを実感してもらい、住民同士の親睦、交流を図る</p> <p>【目的】</p> <p>地区住民を対象にニュースポーツを通じて冬季の運動不足解消、身体を動かすことの楽しさを実感してもらい、住民同士の親睦、交流を図る</p> <p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12/1、1/20 体育委員会 	事業区分	継続	1	46	46	1,332	1/29	三穂小学校
区分	環境学習会	事業区分	新規	1	13	13	15	5/17	三穂公民館
女性委員会	<p>女性委員会を対象に、身近な家庭ごみについての学習会を開催することで環境に対する意識と知識の向上を図る。</p> <p>【目的】</p> <p>女性委員会を対象に、身近な家庭ごみについての学習会を開催することで環境に対する意識と知識の向上を図る。</p> <p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4/5 女性委員会 	事業区分	新規	1	13	13	15	5/17	三穂公民館

三穂公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	新春放談会	地区費	継続	地区費	1	10	10	10	1/8	三穂公民館
	目的	実施内容	評価	【成果と課題】 今年度の会長などに来ていただくことで、各団体の次年度の計画や代表者の想いを共有することができた。公民館に求めることや伊豆木人形の展望についても参考意見を聴くことができ、頂いた意見を参考に次年度の事業計画に反映させていきたい。 【次年度の方向性と取組み】 □拡充 □現状維持 今年度はコロナ禍ということもあり、放談会後に折を持ち帰っていただいたが、次年度は感染状況の様子で、会食を踏まえながらざくばらんに話ができる会を検討していく。						
C S 協働	ふるさとめぐり三穂	市・地	継続	市・地	1	90	90	1,332	10/22	開催会場 三穂地区
	目的	実施内容	評価	全児童と保護者が参加し、地区内の歴史や文化を歩きながら学び、地域への愛着心を育む。PTAも運営に参加し、親子と一緒に会話をしながら歩いて地区を巡り、親子の絆を深める機会とする。 地区内住民による歴史や文化を説明してもらい、参加者に地区内への興味を持つってもらう場として実施。 【実施内容】 ・今年度は感染症対策として午前中のみ実施。 ・伊豆木コース、立石コース、下瀬コースの3コースに分かれ、三穂の名所を巡った。 【検討過程】 ・4/28 小学校・PTA・公民館代表者会議 ・5/10、7/30、9/12 文化委員会 ・9/10 小学校・PTA・公民館合同草刈り ・10/14 小学校・PTA・公民館全体打ち合わせ						
その他	伊豆木人形の継承(伊豆木人形クラブ)	市・地	継続	市・地	8	62	9	1,332	実施内容参照	開催会場 三穂公民館
	目的	実施内容	評価	地域の伝統人形劇を保存継承し、伝統を守るとともに、多くの住民が伝統文化の理解を深まるように、小中学校とも連携して、伝統人形劇の歴史も学べるように実施。 【練習日】 4/13、5/25、6/8、6/22、7/6、7/13、7/20、7/27						

三穂公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
三穂地区	二十歳の集い	継続	市・地	市・地	1	11	11	11	11	1/8	三穂公民館
その他	<p>今年度20歳を迎える皆さんを対象に、愛郷心や地域への関心の高揚を図るとともに地域で20歳の節目を祝い、交流の場とする</p>	<p>20歳の皆さんを中心に、公民館委員、まちづくり委員長、職員から組織する実行委員会が計画し実施。地元に残っている対象者にとっては生まれ育った地域を学びなおす機会とし、地元を離れている対象者にとっては帰ってきたいと思えるような地域の大人と接点を持つ機会として実施。</p> <p>【実施内容】 開会/式辞/祝辞/来賓紹介/祝電披露/館長挨拶/お祝い/新成人自己紹介/1分間スピーチ/新成人企画(代表挨拶、DVD上映、代表による保護者への感謝の手紙朗読、新成人全員から感謝の手紙と花束のプレゼン)/企画委員会企画(恩師からのお祝いメッセージDVD/保護者からのお祝いの手紙代読とプレゼン)/閉会/記念撮影</p> <p>【検討過程】 ・8/13、9/4、10/15実行委員会 ・9/17古本市準備(地域学習) ・10/15古本市協力(地域学習) ・11/13幼少期の思い出の場所巡り ・1/4二十歳の集いリハーサル</p>									
	目的	<p>【成果と課題】 市外に転出してしまった新成人の皆さんにも二十歳の集いを「自分事」として思ってもらえるように地域学習開催の連絡や式典当日の日程連絡などを密に行った。その結果、地域学習などには市外からわざわざ三穂に帰ってきてくれた新成人が複数人いた。 新成人からの一言や「館報みほ」への寄稿文に「三穂が大好き」「帰って来たい」など愛郷心に関するコメントが目立った。公民館として彼らにこれからも三穂が好きだと思ってもらえるように積極的に関わりを持っていきたい(直近ではワンフワラ大会や文化祭に参加してくれた)。 ZOOM会議も行ったが、顔を出さない子がいたり、こちらがアクションやコメントを見落としていたり、態度や考えが分かりづらく、やりづらさを感じた。しかし、今後ZOOMでの会議は必須となってくると思うため、主事が慣れていく必要があると感じる。</p>									
	評価	<p>【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 実行委員会としてまちづくり委員会委員長と皆さんも構成員とさせていただきます。次年度はもうすこし関わっていただけるとのお願いが薄いように思える。次年度はもうすこし検討したい。</p>									

山本公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	実施内容参照	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級(おたまたこ学級)	市費	継続	16						山本公民館
	目的 0～3歳児とその親を対象に①子育てに必要な知識の習得、②親子のふれあいや運動、③母親同士の交流・仲間づくりを図る									
	実施内容 ○講師:牧野貴子さん(保育士) ○内容及び開催日:①開講式5/16 ②手形足型を取ろう・本を読もう!6/8 ③ふれあいや遊び6/29 ④消防署へ行こう7/13 ⑤大事な歯について考えよう8/10 ⑥飯田動物園へ行こう9/14 ⑦リトミックを楽しもう!9/28 ⑧運動会ごっこ10/12 ⑨杵原広場の探検10/26 ⑩カラダについて考えよう11/9 ⑪クリスマス製作12/14 ⑫クリスマス会12/23 ⑬節分ごっこ1/25 ⑭手形足型を取ろう2/8 ⑮プラネタリウム見学2/22 ⑯ありがりの会3/8									
学級・講座	育MEN学級	市費	継続	3	42	22	133			山本公民館
	目的 0～3歳児とその父親を対象に①子育てに必要な知識の習得、②父親のふれあいや運動、③父親同士の交流・仲間づくりを図る、④父親の育児参加や育児への苦手意識の克服を図る									
	実施内容 ○講師:牧野貴子さん(保育士) ○内容及び開催日: ①ふれあいや遊びを楽しもう!9/11 (男性保育士2名に講師を依頼) ②お家にある物で遊ぼう!12/11 ③ふれあいや遊びを楽しもう!2/12									
学級・講座	二ツ山団地サロン	市・地	継続	1	5	5	4,542			二ツ山市営住宅集会所
	目的 ①地区在住の外国出身者と日本人の相互理解を深めること②二ツ山団地住人同士のつながりを作ることを目的として開催する。									
	実施内容 ○これまでの経過 以前は、NPO法人共に歩む会の協力の元、開催していたが、参加者の固定化や高齢化により、参加者が減少傾向であった。令和3年度から、組合長さんに協力してもらい、声かけやチラシ配布に協力頂くようになったところ、徐々に参加者が増えつつある。 ○協力:NPO法人共に歩む会(多田清司さん、半崎ひろみさん) ○内容等 ①体操・ボウリング6/25 ②納涼祭7/23(中止) ～新型コロナウイルス感染拡大防止のため、7月以降休止～									

山本公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
高齢者学級	事業名	予算区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	市費	継続	1	100	40	4,542	実施内容参照	宅老所よつば
学級・講座	<p>○内容</p> <p>①アコーデオンの演奏、紙芝居 開催日：7月22日、講師：「野に咲く花」熊谷 弘さん</p> <p>②③運動指導 開催日：1月20日、1月27日、講師：宮下 泰広さん(運動指導士)</p> <p>④⑤健康運動指導 開催日：3月3日、3月10日、講師：筒井巧真さん(健康運動指導士)</p>	実施内容	評価	【成果と課題】 外部講師を呼ぶことで、参加者にとって刺激になっている様子。普段のレクリエーションに加え、こうした内容が加わることで、通所意欲の向上にも繋がっていると思われる。また、事務局の方と話す中で利用者の方の減少を課題に感じ、こうした外部講師を呼ぶ回に、公民館と連携して地域に体験会のチラシを地区内に配布するようにしている。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地域でお年寄りを見守ることを目的に長年活動されてきている団体であり、多くの高齢者の居場所になっている。今後も公民館としてできる範囲での支援を行っていききたい。				
区分	事業名	予算区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	地区費	継続	4	34	15	4,542	実施内容参照	山本公民館
学級・講座	<p>○内容</p> <p>①フライパンdeパン作り 開催日：6月25日、講師：森本公民館長</p> <p>②そば打ち 開催日：9月10日、講師：高鳥山そばの会</p> <p>③ジビエ料理 開催日：12月17日、講師：森本公民館長</p> <p>④フレンチ料理、ワイン講座 開催日：3月11日、講師：多田幸則さん(フレンチシェフ)、浜島晃さん(ソムリエ)</p>	実施内容	評価	【成果と課題】 令和3年度から、年度当初に開催日程を決め、定期的な開催にすることで、参加者の定着を図っている。年度当初はコロナの影響で参加人数が少なかったが、回数を重ねるごとに参加者が増えている。楽しく料理に取り組み姿が見られ、参加者同士の会話も多く、中高年男性の交流の場にもなっている。一方、打ち合わせに参加してくれていた方の多くが、仕事や介護を理由に参加できなくなってしまう。いる。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 参加者の方の声に耳を傾けながら、料理や交流が楽しいと感じてもらえるような内容を引き続き企画していきたい。また、これまでの参加者等に声をかけ、打ち合わせ段階から参加していただけたらそうなるメンバーを増やしていきたい。				
区分	事業名	予算区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	市・地	継続	—	—	—	4,542	8月19日(中止)	実施内容参照
学級・講座	<p>○内容：施設見学、味噌作り</p> <p>○行先：丘の上結いスクエア</p> <p>○移動手段：乗合タクシー</p> <p>○講師：マルマン(株)</p>	実施内容	評価	【成果と課題】 乗合タクシーの利用率が低いため、利用促進を目的に企画をしたが中止。地区の役員会でも話題に上がったが、現状、乗合タクシーを利用したことの無い方も多く、地域全体としての危機感は薄い。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 今回は、乗合タクシーをまずは利用してもらうこと、新しくできた丘の上結いスクエアの見学を理由に公民館で企画したが、地域の課題として捉えてもらうためにも、来年度以降は地域の自主的な動きに期待したい。				

山本公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
山本学講座	事業名	予算区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
		市・地	6	46	46	4,542	実施内容参照	杵原学校
学級・講座	<p>○概要 山本の住民に愛着のある杵原学校を会場に、地域の歴史や文化を学ぶ講座を開催する。 ○主催：杵原学校応援団主催（公民館共催） ○内容及び開催日 ①第49回 野鳥観察 ・講師：三尾利彦さん ・参加者：5名 ②第50回 ホタル観察会 ・講師：四方圭一郎さん（飯田美術博物館 学芸員） ・参加人数：41名</p> <p>実施内容</p> <p>一般を対象に、①地域の歴史や文化等の魅力再発見、②住民の地域に対する誇りや愛着心の引き出しを図る。</p>	継続	6	46	46	4,542	<p>【成果と課題】 地域の歴史や文化を知るための講座として、継続して関わっていききたい。主催の杵原学校応援団と連携し、内容の更なる充実を図りたい。</p> <p>評価</p>	<p>開催期日</p> <p>開催会場</p>
学級・講座	<p>ふるさとクッキング</p> <p>一般を対象に飯田下伊那に伝わる郷土料理教室を行うことで地域の先人の想いに触れ、愛着が持てるような講座として開催する。</p>	継続	1	4	4	4,542	<p>【成果と課題】 参加者からは、「おいしかった」「高野豆腐なのでヘルシー」といった声もあり、好評であった。一方、コロナ前から参加者数が減少傾向であるため、開催方法や対象者を検討する必要がある。</p> <p>【次年度の方向性と取組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 長年講師を務めて下さっている、食改の皆さんと意見交換をしながら、今後の進め方について検討していききたい。</p> <p>評価</p>	<p>開催期日</p> <p>開催会場</p>
学級・講座	<p>子ども寺子屋</p> <p>小学生を対象に、長期休暇に集団生活をすることで、自主性や協調性を養うことを目的に開催する。</p> <p>実施内容</p> <p>地区内有志（大人）、旭ヶ丘中学校生徒、女子短大生 など ①夏休み（中止） 7/25、7/26 ②冬休み 1/5 書初め、お正月遊び、ポッチャ大会 ③春休み 3/27</p>	継続	3	80	24	237	<p>【成果と課題】 令和3年度より実施。参加児童からは「静かに勉強ができた」といった感想が聞かれ、参加した児童や保護者からも好評であった。また、中学生スタッフの存在が非常に大きく、参加した子ども達から「中学生になったらボランティアで参加する」といった声も聞かれ、中学生の地域参加や、次世代育成にも繋がっていると感じる。小学生と大人だけでなく、中学生や短大生等の中間の世代が関わり、様々な世代が交流することで、お互いに良い刺激を受けていたと感している。</p> <p>【次年度の方向性と取組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 当日の企画など、学生スタッフに任せられる部分はまだまだありそうなので、今後意識していききたい。また、スタッフを中心にアイデアを出し合いながら、地域住民を講師として呼ぶなどし、より多くの方が関わるような事業にしていきたい。</p> <p>評価</p>	<p>開催期日</p> <p>開催会場</p>

山本公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	<p>シイタケ駒打ち体験</p> <p>実施内容 一般を対象に椎茸の駒打ちを通して、地域の自然に触れることで、環境について関心を持ってもらうことを図る。</p> <p>目的 【成果と課題】 参加者も多く好評であった。一方、当初「山本の里山を親しむ会」の皆さんに活動紹介をしても、参加者の意識変化を期待していたが、団体が活動縮小の傾向にあったため、活動紹介等はせず参加者の意識変化が生まれたとは言えない。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 今後、「山本の里山を親しむ会」の協力は難しく、事業の実施が困難なため、次年度は開催しない。</p>	新規	市・地	1	24	24	4,542	4月17日	山本公民館		
学級・講座	<p>親子deミニ門松作り</p> <p>実施内容 小学生を対象に、正月の伝統飾りを伝えるとともに、親子の交流の場とする。</p> <p>目的 【成果と課題】 家庭では出来ない本格的な門松ができ、参加者全員が喜んでいった。一方、低学年以下の子どもには難しかったようで、子どもを対象にするのは難しいと感じた。また、講師の方も同時に教えることは難しかったため、手順書を作成し、定員を減らすなどの対策が必要。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 子ども向けは難しいため、大人向けの事業として実施していきたい。</p>	継続	地区費	1	6	6	237	12月25日	杵原学校		
文化事業	<p>いいだ人形劇フェスタ2022山本地区公演</p> <p>実施内容 一般を対象に、①子どもの想像力や感受性を磨く、②大人が実行委員となつて支え手にまわり、観劇の環境づくりに携わることを図る。</p> <p>目的 【成果と課題】 フェスタは中止となってしまったが、その後、宅老所よつばで高齢者を対象に公演を行った。公演当日は、児童とよつば利用者との交流が生まれ、最後に山本小学校の校歌の大合唱が行われた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 人形劇フェスタという飯田市全体のお祭りを地域として盛り上げていくため、子どもたちの発表の場作りのためにも、来年度以降も継続して開催していきたい。また、フェスタ当日だけでなく子ども達の発表の機会の創出などにも取り組んでいきたい。</p>	継続	地区費	—	—	—	4,542	8月6日、8月7日(いずれも中止)	実施内容参照		

山本公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	山本地区文化祭	地区費	継続	1	500	500	4,542	3月5日	山本公民館
	<p>一般を対象に、①各種団体、サークル、個人の活動発表の場の提供、②発表者および観客との情報交流を図る。</p> <p>実施内容</p> <p>○主催：公民館文化部、各種芸能発表、展示、出店参加団体 ○協力：阿智高等学校5名、旭ヶ丘中学校生徒2名 ○概要： ・公民館の各部屋で文化サークル、地域団体等による作品、活動の展示 ・公民館講堂で文化サークル、小、中、高校生等による発表 ・公民館駐車場で出店や、消防署による消火体験等 【検討経過】 ①12/24正副部長会 ②2/3文化祭代表者兼文化部 ③2/27文化祭最終全体会 ④3/4前日準備</p>	<p>予算区分</p> <p>地区費</p>	継続	1	500	500	4,542	3月5日	山本公民館
文化事業	ウォーキングで山本地区を学ぼう！！	市・地	継続	1	22	22	4,542	6月12日	実施内容参照
	<p>一般を対象にウォーキングに地域の歴史や自然を学ぶといった要素を取り入れ、地域住民が地域資源の大切さに気付いてもらうことを図る。</p> <p>実施内容</p> <p>○コース：北平方面 ○講師：伊坪達郎さん(史跡ガイド)、平澤侑也さん(ウォーキング指導) ○共催：健康福祉部会 【検討経過】 ①4/14文化部、②6/5文化部(下見)</p>	<p>予算区分</p> <p>市・地</p>	継続	1	22	22	4,542	6月12日	実施内容参照
体育事業	山本地区市民大運動会	地区費	継続	—	—	—	4,542	10月23日(中止)	柞原広場
	<p>一般、分館を対象に、①地区全体から人が集まることによる一体感や活力の認識、②地区住民の体力増進と交流機会の提供を図る。</p> <p>実施内容</p> <p>○これまで経過 以前は、地域づくり委員会に動員をにかけていたが、山本地区づくり委員会の組織見直しに伴い、「地域全体で取り組む」という方針に見直され、「山本もつとモリアゲ隊」という有志のスタッフを募集することとした。 ○主催：公民館スポーツ部を中心にした実行委員会 ・内訳：スポーツ部18名、モリアゲ隊46名 ○種目：分館種目4種目、一般種目4種目 【検討経過】 ①7/13スポーツ部正副部長・スポーツ推進委員 打ち合わせ ②8/2スポーツ部・分館長主事合同会議 ③9/13スポーツ部正副部長・スポーツ推進委員 打ち合わせ ④9/27スポーツ部 ⑤10/5運動会係長会 ⑥10/18運動会全体会 ⑦10/20臨時スポーツ部・分館長主事会</p>	<p>予算区分</p> <p>地区費</p>	継続	—	—	—	4,542	10月23日(中止)	柞原広場

山本公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	事業区分	予算区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	体力促進会	市・地	継続	—	—	—	4,542	7月30日(中止)	杵原広場
	実施内容 一般を対象に健康で明るく元気に生きていくために体力測定の手法を知り、今後の生活の中で効果的に活用していくことを図る。	事業区分 市・地	継続	—	—	—	4,542	7月30日(中止)	杵原広場
体育事業	ポッチャ体験会	市・地	継続	1	40	40	4,542	6月26日	開催会場 杵原多目的ホール
	実施内容 一般を対象に、①ポッチャの普及、②地区住民の体力増進と交流機会の提供を図る。	事業区分 市・地	継続	1	40	40	4,542	6月26日	開催会場 杵原多目的ホール
体育事業	軽スポーツフェスティバル	市・地	継続	—	—	—	4,542	1月29日(中止)	開催会場 —
	実施内容 一般、分館を対象に、①軽スポーツの普及、②冬季における運動機会の提供を図る。	事業区分 市・地	継続	—	—	—	4,542	1月29日(中止)	開催会場 —
広報事業	広報やまもと 発行	地区費	継続	4	—	—	4,542	実施内容のとおり	開催会場 —
	実施内容 地域の方を対象に、情報を発信、地域の情報の共有を目指す	地区費	継続	4	—	—	4,542	実施内容のとおり	開催会場 —

【成果と課題】
例年、夏祭りの企画として開催していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため夏祭り中止に伴い、実施せず。
【次年度の方向性と取組み】
□拡充 □現状維持 □縮小
例年、本当に参加してほしい中高年層の参加が少なかったことが課題となっている。対象者や開催方法の検討が必要。

【成果と課題】
分館対抗軽スポーツ大会の代替事業として実施。コロナ禍でも開催できるよう、比較的開催しやすいオープン参加形式にしたところ、子どもを中心に大勢の方が参加してくれた。
【次年度の方向性と取組み】
□拡充 □現状維持 □縮小
今年度は代替事業として実施したため、次年度以降は、例年開催している分館対抗形式で開催する予定。子どもや高齢者が参加できる種目としてポッチャを取り入れていきたい。

【成果と課題】
例年、冬場の運動不足の解消や軽スポーツの普及のため開催していたが、感染拡大に伴い中止。
【次年度の方向性と取組み】
□拡充 □現状維持 □縮小
若年層から、体を動かさず競技も取り入れて欲しいとの要望もあるので、今後検討したい。

【成果と課題】
写真投稿コーナー等は、多くの応募があり好評である。カラーとなったことで、多くの方に見てもらえる機会が増え、広報部員のモチベーションにも繋がっている。
【次年度の方向性と取組み】
□拡充 □現状維持 □縮小
これからも地域の方に楽しんで頂ける広報づくりを目指して活動していきたい。企業紹介等も取り入れてはどうかとの提案もあるので、検討していきたい。

山本公民館の事業報告

No.9

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	<p>枡原こども教室(おやす作り)</p> <p>○概要 枡原学校応援団の枡原こども教室に協力し、子ども達に、おやす・しめ縄の作り方を教えた。女性部員は、食文化教室班の方と共にクリスマスパンケーキ作りを協力した。</p> <p>○内容 おやす作り、クリスマスパンケーキ作り</p> <p>実施内容</p> <p>小学生を対象に、正月の伝統行事を伝えるとともに、世代間交流の場とする。</p>	地区費	継続	1	26	26	237	12月17日	枡原学校
	<p>【成果と課題】 育成部主催の事業ではないが、地域の他団体との連携を図ること、子ども関わり様子をすることを目的に協力している。子ども達の様子や子どもを支援する地域の団体の活動を知る良い機会となっている。</p> <p>評価 【次年度の方向性と取組み】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 子ども達のことを考えていく上で、地域の団体との情報交換や連携は必要なので、協力という形で、今後も継続していきたい。</p>								
育成事業	<p>親子deチャレンジ!! お家でできる運動遊び</p> <p>○講師:松本短期大学准教授 白金 俊二 先生、学生スタッフ2名</p> <p>○内容:お家でできる運動遊び</p> <p>【検討経過】 ①6/8育成部、②7/11育成部、③12/9育成部、④1/23育成部</p> <p>実施内容</p> <p>保育園児～小学生を対象に、自宅(室内)でもできるような遊びを教えてもらい、運動の楽しさを親子で感じてもらう。運動不足解消(丈夫なカラダづくり)に繋げるとを目的に実施する。</p>	市・地	新規	1	20	20	4,542	2月26日	山本小学校体育館
	<p>【成果と課題】 当初、講義形式で開催を予定していたが、コロナの影響もあり、応募が少なかったことを受け、開催日を延期し、内容を体験形式に変更していただいた。当日は親子の笑顔が見られ、用意頂いたメニューも好評であった。親子の交流や運動する機会を広げるためのヒントを頂けた。</p> <p>評価 【次年度の方向性と取組み】 <input type="checkbox"/>拡充 <input type="checkbox"/>現状維持 <input checked="" type="checkbox"/>縮小 来年度は改選時期となるため、新年度の役員で事業を検討していくため同じ事業を実施するかどうかは未定。</p>								
企画事業	<p>武田信玄狼煙リレー</p> <p>○これまでの経過 以前は公民館企画委員会が実施主体となっていたが、事業の目的や企画委員会として行うことに疑問の声があり、令和3年度から公民館OBや地区内有志、中学生スポランティアによる実行委員体制を組んでいる。</p> <p>○主催:武田信玄狼煙リレー山本地区実行委員会</p> <p>○内容:「武田信玄狼煙リレー」に参加</p> <p>○関連イベント 射的、火起こし体験、ほうとう試食会</p> <p>実施内容</p> <p>一般を対象に、①城山 ほかに地域の歴史学習、 ②飯田下伊那の一体感 の引き出しを図る。</p>	市・地	継続	1	31	31	4,542	8月27日	城山公園
	<p>【成果と課題】 当日は、県外からの参加やツアーで見学に来た方もおり、実行委員のおもてなしを大変喜んでくれた。また、中学生スポランティアで参加してくれた生徒が、自主的に動く射的の的を製作し、当日、参加した子ども達からも好評であった。その後、慰労会にも参加し、地域の大人との交流が深まった。一方、仕事や家庭の事情などから実行委員としての参加が難しいという声もあり、実行委員の募集もあわせて行っていきたい。</p> <p>評価 【次年度の方向性と取組み】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 実行委員を募集しながら、世代を超えた様々な方が楽しめるイベントにしたい。</p>								

山本公民館の事業報告

No.10

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
企画事業	山本地区二十歳の集い	事業区分	継続	1	36	36	55	1月8日	山本公民館
	<p>新成人を対象に、 ①実行委員の活動を通 して地域に愛着と誇りを 持つことを図る</p>	他会計	継続	1	36	36	55	1月8日	山本公民館
その他	実施内容	<p>○実行委員：公民館調整会議委員11名、二十歳の成人8名 ○内容：写真撮影、式典、思い出のスライドショー上映、交流会 【検討経過】 ①9/15実行委員会、②10/9実行委員会、③10/25実行委員会（伊賀良地区 合同）、④11/6実行委員会、⑤11/19実行委員会、⑥12/2実行委員会（公民 館調整会議委員合同）、⑦12/18実行委員</p>							
	<p>目的 日頃公民館を利用する 団体が定期的に公民館 の清掃を行い、地域住 民のための公民館であ るとい意識を高める。</p>	事業区分	継続	4	116	116	116	4,542	実施内容参照
その他	実施内容	<p>○これまでの経過 平成30年度まで、地区の女団連の皆さんが中心となって指揮してくれてい たが、負担の声もあり、令和元年度より、公民館から利用団体へ清掃を依頼 する形式に変更。また、令和3年度からは、地区役員の負担軽減の観点か ら、地域づくり委員会の各部会への依頼も取りやめた。変更当初は、人数減 少に伴い、手の行き届かない箇所もあったが、事前の分担決めや時間配分 を事前に行ったことで、問題なく運用できている。 ○内容：公民館施設内の清掃 ○対象：公民館施設利用団体 ○開催日：①6/19、②8/21、③10/30、④2/5</p>							
	<p>目的 日頃公民館を利用する 団体が定期的に公民館 の清掃を行い、地域住 民のための公民館であ るとい意識を高める。</p>	事業区分	継続	4	116	116	116	4,542	実施内容参照
その他	実施内容	<p>○概要：山本小学校4～6年生を対象としたクラブ活動。 ○種類：囲碁将棋、クラブ、国際交流、書道、ニュースポーツ、竹細工、木工 教室、プログラミング、太鼓（公民館は国際交流を担当） ○講師：地域のボランティア方々 ○開催日及び内容：①5/13(中止) ②5/27(剪紙・翻訳アプリ) ③6/3(世界 地図すごろく・宿題) ④6/24(ハンブー、宿題発表、中国について) ⑤7/15 (フィリピン体験、まとめ)</p>							
	<p>目的 小学生を対象に異なる 文化の遊びや料理を体 験すること</p>	事業区分	継続	4	488	122	122	122	実施内容参照
その他	実施内容	<p>【成果と課題】 参加いただいたいる団体の皆さんも「自分達が利用する公民館だから自分達で掃 除しよう」という意識を持って取り組んでいただいている。また、昨年度から、旭ヶ 丘中学校ボランティアを募集しており、今年度は10名の参加があった。こうした ボランティアをきっかけに様々な地域活動に参画してくれた子どもも、地域活動の 入り口にもなっている。参加団体の方も中学生の姿を見て、前向きに取り組む姿 勢が見受けられ、相互に良い効果が出ている。 【次年度の方向性と取組み】 ○拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 公民館を大切に、愛着を持ってもらうために重要な取り組みであるため、今後も継 続していきたい。</p>							
	<p>目的 小学生を対象に異なる 文化の遊びや料理を体 験すること</p>	事業区分	継続	4	488	122	122	122	実施内容参照
その他	実施内容	<p>【成果と課題】 参加いただいたいる団体の皆さんも「自分達が利用する公民館だから自分達で掃 除しよう」という意識を持って取り組んでいただいている。また、昨年度から、旭ヶ 丘中学校ボランティアを募集しており、今年度は10名の参加があった。こうした ボランティアをきっかけに様々な地域活動に参画してくれた子どもも、地域活動の 入り口にもなっている。参加団体の方も中学生の姿を見て、前向きに取り組む姿 勢が見受けられ、相互に良い効果が出ている。 【次年度の方向性と取組み】 ○拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 公民館を大切に、愛着を持ってもらうために重要な取り組みであるため、今後も継 続していきたい。</p>							
	<p>目的 小学生を対象に異なる 文化の遊びや料理を体 験すること</p>	事業区分	継続	4	488	122	122	122	実施内容参照

伊賀良公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	男性の料理教室	市・地	継続	-	-	-	6,933	中止	-
	目的 成人男性を対象に、料理技術習得と食を見直すことを目指す	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</p> <p>【成果と課題】 今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 これまでの参加者からも開催の要望があるため、感染症対策をしっかりと行い調理実習の開催を検討していきたい。</p>							
学級・講座	書初め書道教室	市・地	新規	1	41	41	14,190	1月5日	伊賀良公民館
	目的 小中学生を対象に、書道の上達を図るとともに地域の伝統文化の継承の機会とする。	<p>新年の書初め教室を実施。講師による指導の下、それぞれ学校の課題に取り組んだ。</p> <p>講師：山下淳子 氏</p> <p>【成果と課題】 昨年度から会場のレイアウトを変更し、多くの子どもに参加していただくことができた。参加した小学生からは「自宅だと集中できないが、友達や先生がいたので集中することができた」との感想も聞かれ充実した時間になった。旭中の生徒もボランティアスタッフとして参加され、講師と一緒に小学生を指導していただいた。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 地域の子どもが集まり、学び合う場として今後も継続していく。書道の社教団体の方が様子を見に来てくれたので、そのような方たちとの関わりも模索していきたい。</p>							
文化事業	ふるさとゲームウォーキング～三日市場の巻～	市・地	継続	1	149	149	14,190	5月22日	伊賀良地区内
	目的 小学生親子や一般を対象に、地域の良さを歩きながら体験することで郷土を知る機会とし、地域をより好きになることを目指す	<p>担当分館：三日市場分館(会場は毎年変更)</p> <p>参加者でチームを作り、コースを歩きながらその地域に関わるクイズを解いてゴールを目指す。分館役員、文化部が中心となりコース作り、クイズ作り等を行った。コロナ対策を行いながら開催した。</p> <p>参加者には事業の感想、歩いてみて新たに発見したこと、地区への提案を書いてもらい、その中から「発見大賞」、「提案大賞」を選び表彰した。</p> <p>【成果と課題】 地域を知ることほもちろん、親子、友人での貴重な交流の機会となった。運営側にとってもあらためて自分たちが暮らす地域について学ぶ機会になっている。参加者からは、ずっと伊賀良に住んでいただけ、まだまだ知らないところがあったとの感想や地区を良くしていくための提案もいただいた。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 昔から伊賀良に住んでいる人も、新しく住み始めた人も、伊賀良地区を知る機会として、広く一般の人たちに参加いただけたような工夫をしていきたい。</p>							

伊賀良公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	人形劇フェスタ2022	市・地	継続	-	-	-	14,190	-	伊賀良公民館ほか
	<p>本館文化部、分館、保育園保護者会により実行委員会を組織し、企画した。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。</p> <p>①8月6日(土)10:00～ 北方会館 育良保育園保護者会、北方分館 劇団かかし座「分福茶釜」 中村会館 中村保育園保護者会、中村分館 シアター☆パベツテリア</p> <p>テーマ「トリップ人形劇場」グリム童話/かえるのおうじさま」</p> <p>③8月6日(土)10:00～ 殿岡保育園 上下殿岡分館 旭ヶ丘中学校人形劇部SUN☆SHINE「手なし娘」 人形劇団新天地「嶺捨山」</p> <p>④8月6日(土)13:00～ 伊賀良公民館 大瀬木分館 俳優館「おおきなかぶ」</p> <p>⑤8月7日(日)10:00～ 伊賀良小学校第1体育館 本館文化部 伊賀良小学校4年2組「尾科の文吾」 4組「文永寺物語」</p> <p>⑥8月7日(日)10:00～ 人形芝居ぶぶん「おタネばあさんの約束」 三日市場研修センター 三日市場分館 こどもマジック教室「マジック、南京玉すたれ」 人形劇団なみ「3びきのこぶた・ではない」</p>	市・地	継続	-	-	-	14,190	-	伊賀良公民館ほか
	<p>【成果と課題】 公演と併せて緑日のようなものを計画していた分館もあり、それぞれにフェスタを盛り上げたり、参加者が楽しめるような工夫が考えられていた。実行委員の中から、せっかくなので準備していたのに中止となってしまっただけ残念だったとの意見があった。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 新型コロナウイルス感染症の影響があり、企画、運営がスムーズにいかない部分があるが、次年度は地区公演が開催できるように地区実行委員会の準備を進めていく。また、フェスタだけでなく人形劇に触れる機会をつくっていくことも検討する。</p>	市・地	継続	-	-	-	14,190	-	伊賀良公民館ほか
文化事業	伊賀良地区文化祭	地区費	継続	1	500	500	14,190	11月13日	伊賀良公民館ほか
	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小し、展示作品の発表と人形劇公演のみの開催とした。人形劇公演は中止となった。いい人形劇フェスタの代替公演とした。</p> <p>日時 11月13日(日)9:00～15:00</p> <p>会場 展示 伊賀良公民館、伊賀良図書館 人形劇 伊賀良小第1体育館</p> <p>■人形劇公演 伊賀良小学校4年2組「尾科の文吾」 4組「文永寺物語」 旭ヶ丘中学校人形劇部SUN☆SHINE「手なし娘」 ※旭中はコロナの影響により参加辞退。</p> <p>■展示団体 佐竹蓮平・鈴木芙蓉を愛する会、伊賀良公民館(広報部、学級講座)、分館 作品展、ピエタ委員会、食生活改善推進協議会、フラワーサークル/パンダ ス、特定非営利活動法人おいなんよサテライト三日市場、おおせぎ別家、終 書道教室、伊賀良美術会、環境委員会、健康福祉委員会、いきいき教室、伊 賀良図書館</p>	地区費	継続	1	500	500	14,190	11月13日	伊賀良公民館ほか
	<p>地区住民を対象に、芸術文化に触れ、住民相互のコミュニケーションを図る機会として実施。</p>	地区費	継続	1	500	500	14,190	11月13日	伊賀良公民館ほか
	<p>【成果と課題】 今年度当初はコロナ前のような通常の文化祭(2日間、展示、発表、催し物)を計画していたがコロナの感染拡大により規模を縮小しての開催となった。発表団体にとってこれまでの文化活動の発表の機会となり、参加者にとっては地域の方が取り組まれている様々な文化作品に触れる機会となった。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 小規模ながら開催したことに喜んでいただいた一方で、通常の文化祭を望む声もあるので社会状況を考慮しながら企画内容を検討していく。</p>	地区費	継続	1	500	500	14,190	11月13日	伊賀良公民館ほか

伊賀良公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	夏季スポーツ交流会	継続	継続	1	123	123	14,190	6月26日	伊賀良小体育館
	目的 一般の方を対象に、スポーツを通じて親睦や交流を目指す	実施内容 誰でも気軽に楽しめるスポーツとして種目をポッチャとした。小学生以上、3人以上で1チームの分館対抗のリーグ戦とし24チームが参加した。感染症対策として、参加者全員に体調管理シートの提出と手袋、マスクを着用した。 ブロック優勝 Aリーグ：大瀬木A Bリーグ：下殿岡A Cリーグ：大瀬木B Dリーグ：大瀬木C Eリーグ：北方D Fリーグ：三日月市場C	評価 【成果と課題】 新型コロナウイルス感染症対策を講じ、規模を縮小しての開催となったが、住民同士の交流を楽しむことができた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 □縮小 昨年度に引き続きポッチャを行った。屋内スポーツで雨天中止の心配がないこと、準備の容易さ、誰でも気軽に楽しめる競技性であったことから、とても好評であった。地区内でも気楽に楽しめるスポーツとして浸透してきたことから次年度以降も継続していきたい。						
体育事業	伊賀良地区大運動会	継続	継続	-	-	-	14,190	10月16日 中止	伊賀良小グラウンド
	目的 地区全域を対象に、一堂に会する機会を設け、交流を目指す	実施内容 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 伊賀良地区住民が一堂に会する貴重な機会として開催している。例年、中学校と連携し、中学生が企画した種目を1つ作り、実施している。	評価 【成果と課題】 新型コロナウイルス感染症対策を考えながら、実施可否について検討した。種目の変更、開催時間の縮小など実施に向け様々な工夫を検討したが、運動会は大規模かつ接触の機会も多く、確実な感染症対策の困難さ、また、みんなが楽しく参加できる雰囲気にならないのではないかと意見から中止を決定した。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 □縮小 新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、実施できそうな企画、運営方法を検討していく。						
体育事業	冬季スポーツ交流会	継続	継続	-	-	-	14,190	2月5日 中止	伊賀良小体育館
	目的 一般を対象に、スポーツを通じて、健康増進・地域住民の交流を目指す	実施内容 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 種目：囲碁ボード	評価 【成果と課題】 幅広い住民が楽しみながら交流できる機会として計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 □縮小 新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、実施できそうな企画、運営方法を検討していく。						

伊賀良公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	地区費	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	広報いから 発行	継続	継続	地区費	6	-	-	-	14,190	通年	開催会場
	<p>年間6回発行 第91号から第96号までを発行。地域のお知らせ、事業の記録、地域の話題をお伝えしている。あなたにタッチ、けやきのめ、我が家のアイドルの連載記事を継続している。</p> <p>発行回数:6回(5月、7月、9月、11月、1月、3月)</p> <p>発行部数:4,300部</p> <p>地区外発送:20件</p>	実施内容	<p>【成果と課題】</p> <p>伊賀良地区の広報誌として、力を入れて発行している。まちづくり協議会各委員会から各1名広報部会に出席し、地区内のあらゆるニュースを拾い伝えたい。近年、事業の報告記事だけでなく、広報部員が積極的に取材し、記事にしている。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】</p> <p>□拡充 □現状維持 □縮小</p> <p>広報部員の創意工夫から多くの企画が生まれ、取材に向き執筆する活動が増えたことで、やりがいを感じられる活動になった。次年度も、広報部員の「こんな広報誌をつくりたい」という思いや地域の人の要望に添えられるような広報誌として企画、発行していきたい。</p>	評価							
広報事業	米寿記念写真撮影・贈呈	市・地	市・地	市・地	1	60	60	60	84	8月27日	伊賀良公民館
	<p>広報部：写真撮影、贈呈</p> <p>広報いからで掲載、文化祭に写真展示</p>	実施内容	<p>【成果と課題】</p> <p>毎年恒例の行事として、対象者およびそのご家族が楽しみにしている。撮影者が増え写真撮影に時間がかかるが、事前のスケジュール調整と広報部員が協力し合い効率よく行うことができた。今年度は、希望者に対して自宅への訪問による撮影も再開した。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】</p> <p>□拡充 □現状維持 □縮小</p> <p>例年は、撮影待ちの時間にお茶等を提供し、参加者同士の交流の機会としていたが、今年度は実施できなかった。広報部会の反省から、この事業は記念写真の撮影だけでなく、参加者同士の交流の機会も大切にしたという意見が多く出された。次年度、新型コロナウイルス感染症の状況をみながら運営方法を検討していく。</p>	評価							
育成事業	夏休み子ども寺子屋	市・地	市・地	市・地	1	-	-	-	813	8月1日～3日 中止	伊賀良公民館
	<p>伊賀良地区内の小学生を対象に、夏休み中の規則正しい生活の支援と居場所作りをし、地域の大人と子どもとの交流を通して顔の見える関係づくりを図る。</p>	実施内容	<p>夏休みの3日間の午前中、地区住民有志と公民館が中心となり、コロナ対策をしながら企画した。また旭中生徒19名がボランティアスタッフとして申込みいただいた。プログラムはみんなまで宿題をした後、体験活動を実施。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。</p> <p>申込児童38人、スタッフ34人(中学生19人)</p> <p>8月1日(月) ホバークラフトを作ろう 講師：三浦宏子さん(おもしろ科学工房)</p> <p>8月2日(火) 福祉体験 おじいさん、おばあさんの体の動きを体験しよう 講師：社会福祉協議会職員</p> <p>8月3日(水) 昆虫を楽しもう 講師：四方圭一郎さん(美博学芸員)</p>	評価	<p>【成果と課題】</p> <p>住民有志による企画運営とし、自分たちが地元の子どものまにまにできることほかに、という観点からプログラムを考えたいため、主体的に関わっていただくことができた。また、今回はじめて公民館活動にスタッフとして参加してくれた方、中学生ボランティアも申込みいただくことができた。今回は残念ながら中止となってしまったが、今後も小学生、中学生、地域の大人が集い、色んな世代の人が一緒に活動する機会を作っていく。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】</p> <p>□拡充 □現状維持 □縮小</p> <p>次年度も地区内の大人を中心に実行委員会を組織し、企画運営していく。中学生に加え、高校生ボランティアも募集していきたい。</p>						

伊賀良公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育 成 事 業	春休み子ども寺子屋	市・地	継続	1	36	36	813	3/22～24	伊賀良公民館
	伊賀良地区内の小学生を対象に、春休み中の規則正しい生活の支援と居場所作りをし、地域の大人と子どもとの交流を通して顔の見える関係づくりを図る。	実施内容	3月22日(水) けん玉を楽しむ 講師:米山伸也さん(けん玉チーム tsumagu) 3月23日(木) 福祉体験 おじいさん、おばあさんの体の動きを体験しよう 講師:社会福祉協議会職員 3月24日(金) みんなで歌おう 講師:若林美紀さん、小松由美子さん	【成果と課題】 住民有志による企画運営とし、自分たちが地元の子ども達にできることはなにか、という観点からプログラムを考えた。講師には地元で活動している方、社会福祉協議会の地域福祉コーディネーターに協力いただき企画実施した。新たなボランティアも加わり、小学生同士、大人と子ども、大人同士のつながりを作る機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 次年度も地区内の大人を中心に実行委員会を組織し、企画運営していく。中学生に加え、高校生ボランティアも募集していきたい。	評価				
そ の 他	伊賀良地区成人の集い	市・地	継続	1	45	45	195	5月4日	シルクプラザ
	新成人を対象に、地域が祝い、成人としての自覚をもってもらうことを目指す	実施内容	令和2年度の新成人を対象に開催した。成人代表、分館長、文化部、広報部で実行委員会を組織して企画。保護者や恩師への感謝のメッセージを募集し、式典の様子とともに広報いからに掲載した。 式典:来賓あいさつ、思い出のライドショー上映、地域からのお祝い(上岡獅子舞保存会の祝舞)、成人代表あいさつ、記念写真撮影、歓談の時間。	【成果と課題】 延期、中止となった。令和2年度成人式の代替事業として開催した。度重なる日程変更により参加者は少なくなりましたが、新成人実行委員が計画してきた内容を実施することができた。久しぶりに友人や恩師と再会する場となり、これまで関わってきた方へ感謝の気持ちを感じ、これからの人生について考えられる機会となった。	評価				
そ の 他	伊賀良地区二十歳の集い	市・地	継続	1	131	131	205	1月8日	シルクプラザ
	新成人を対象に、地域が祝い、成人としての自覚をもってもらうことを目指す	実施内容	新成人代表、分館長、文化部、広報部で実行委員会を組織して企画・運営。新成人より保護者や恩師への感謝のメッセージを募集し、後日広報いからに掲載した。 式典:来賓あいさつ、北方獅子舞保存会による祝舞、思い出のライドショー上映、成人代表あいさつ、記念写真撮影 新成人実行委員の活動:地域学習(佐倉様について)、思い出のスライドショー作成ほか	【成果と課題】 コロナにより内容に制限がありながらの活動だったが、実行委員にとってはやりきった達成感などで充実したものとなった。また、参加者にとっては、これまで育てていただいた方へ感謝の気持ちを感じ、これからの人生について考える節目の機会となった。地域にとっても地域でお祝いする二十歳の集いについてあらためて考えるきっかけになった。 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 次年度も社会状況を考慮しながら、参加者、保護者、地域にとってもより良い形の二十歳の集いについて実行委員会を検討していきたい。	評価				

伊賀良公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	学校開放運営委員会調整会議	0円	継続	8	500	-	14,190	実施内容参照	伊賀良公民館
その他	<p>利用団体を対象に、学校施設の有効活用を目指す</p> <p>【成果と課題】 限られた学校体育施設を多くの利用者が気持ちよく有効に利用できるように調整している。年々反省をもとに運営方法、調整資料が充実されてきている。調整会議の際の3カ月分の使用申請の負担軽減のために独自の様式を作成した。</p> <p>評価 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 次年度も、地区内の団体が譲り合い、気持ちよく利用できるようなルールの整備、調整を行っていききたい。状況に応じて運営委員会、調整会議の開催回数の検討もしていく。</p>								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	原田泰治さんのふるさと展～原田泰治さんを偲んで～	地区費	新規	1	2,000	-	14,190	6/12～18	伊賀良公民館
その他	<p>原田泰治氏を偲び、哀悼の意を表すとともに、作品を鑑賞することや、原田氏の人生を振り返ることを通して、住民が伊賀良の魅力を再発見する機会とする。</p> <p>【概要】 ・旭ヶ丘中学校区で実施。 ・学校を通じてボランティアの求人票を配布。 ・求人票を見た児童生徒が、自ら申し込み。 ・ボランティア実施後、スタンプラリー用紙に事業所が印を押す。 ・ボランティアを5回実施した児童生徒には、賞状を付与。 ○募集内容 【伊賀良公民館】 寺子屋、親子わくわく環境講座、書初め教室 【山本公民館】 公民館美化活動(利用団体の方との掃除)、寺子屋スタッフ、武田信玄狼煙リレー、文化祭 等</p> <p>【成果と課題】 一週間という短い期間であったが多岐の方に来場いただくことができた。作品を観ながら会話をされる人、静かに鑑賞される人、毎日展示会場にお越しいただき来場者に苦話をしてくれる原田氏の同級生、久しぶりに友人と再会する場となった人など、それぞれに思いを馳せながら過ごされていた。原田氏を偲びながら伊賀良の魅力を感ずるとともに、住民同士がつながる機会となった。</p> <p>評価 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/>拡充 <input type="checkbox"/>現状維持 <input checked="" type="checkbox"/>縮小 今後は、伊賀良を学ぼうの学級講座でも原田泰治氏を取り上げ学習する等、新たな展開も検討していきたい。</p>								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	旭ボランティアスタンプラリー	市・地	継続	12	18	48	559	通年	実施内容参照
合同事業	<p>中学1～3年生、小学6年生を対象に、公民館事業等へのボランティアを募集し、事業への参加や地域貢献を通じて自己有用感等の形成を図る。</p> <p>【概要】 ・旭ヶ丘中学校区で実施。 ・学校を通じてボランティアの求人票を配布。 ・求人票を見た児童生徒が、自ら申し込み。 ・ボランティア実施後、スタンプラリー用紙に事業所が印を押す。 ・ボランティアを5回実施した児童生徒には、賞状を付与。 ○募集内容 【伊賀良公民館】 寺子屋、親子わくわく環境講座、書初め教室 【山本公民館】 公民館美化活動(利用団体の方との掃除)、寺子屋スタッフ、武田信玄狼煙リレー、文化祭 等</p> <p>【成果と課題】 様々なボランティアの機会を設け、一覧表を配布しスタンプラリー形式にすることで、多くの児童生徒が参加してくれた。参加動機として、「進路選択の時期に、学校ではできない経験や誇れる経験をしたい」という声も聞かれ、子ども達の自己有用感などを育む場所として、地域は良い実践の場になると感じた。</p> <p>評価 【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 地域の方からも「若い子がスタッフとして関わってくれて嬉しい」「しつかり関わってくれて助かる」といった声が聞かれるなど好評なので、来年度以降も実施していきたい。また、山本地区のボランティアに伊賀良在住の中学生が多く参加してくれるなど、中学生にボランティア需要が高いことを感じた。他地区とも情報交換をしながら、こうした機会を全体的に広げていければ良いと感じた。</p>								

県公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	さくらんぼ学級(0歳児学級)	市・地	継続	6	288	48	168	下半期毎月1回実施	県公民館ほか
	就園前の子供とその親を対象に、子育てに関する知識の習得、親子の様々な体験、親子の交流の場とすること、子どもの健全な育成と地域のつながり作りを図る	<p>【成果と課題】 子どもの様子を通して主に親を対象に実施している。子育ての楽しいこと、うれし いことを親同士が共有し、心配なことや不安なこと、困っていることを気軽に相談で きる場となっている。また、相談できる関係性を築くことで、子育てを楽しみ、その 後の地域のつながり作りの貴重な機会となっている。</p> <p>評価</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 □縮小 引き続き保健師を中心に親子の様子を見つつ、相談できる関係性を築き、育児を 楽しめる環境整備を進めていく。</p>							
学級・講座	いちご学級・みかん学級・りんご学級(1歳児学級)	市・地	継続	33	2,079	63	226	各学級毎月1回実施	県公民館ほか
	就園前の子供とその親を対象に、子育てに関する知識の習得、親子の様々な体験、親子の交流の場とすること、子どもの健全な育成と地域のつながり作りを図る	<p>【成果と課題】 幼児にとつての体験の場、同年代の子との関わり方を学ぶ場であると同時に、親 同士の仲間づくり、悩み相談の場であることが、その後に向けた地域のつながり 作りの重要な機会となっている。食事や歯について学習する機会も設けると同時 に、日常ではなかなか体験できない、県体育館での活動や工作など、親が子ども の成長を確認できるような工夫した。親が心から健康であることが、子の成長過程に おいて大切であるため、母親の孤立や悩みを一人で抱えこむことを防ぐ、相談でき る場・発散できる場としていきたい。</p> <p>評価</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 □縮小 引き続き保健師を中心に親子の様子を見つつ、親子の仲間作りや、地域の育児 支援者、公民館との交流を通じ、地域で育児を楽しめる環境整備を進めていく。</p>							
学級・講座	たんぼ学級(2歳児学級)	市・地	継続	22	638	29	216	毎月1回実施	県公民館ほか
	就園前の子供とその親を対象に、季節の遊びや、地区内外へのお出かけな 対策のため、1組・2組に分け、実施可能な形で開催した。 たんぼ1組 第1回(5/17)▼第2回(6/7)▼第3回(7/12)▼第4回(8/23)▼第5回(9/2)▼ 第6回(10/4)▼第7回(11/8)▼第8回(12/23)▼第9回(1/24)▼第10回(2/21)▼ 第11回(3/14) たんぼ2組 第1回(5/24)▼第2回(6/21)▼第3回(7/12)▼第4回(8/23)▼第5回(9/7)▼ 第6回(10/7)▼第7回(11/22)▼第8回(12/23)▼第9回(1/24)▼第10回(2/21) ▼第11回(3/14)	<p>【成果と課題】 幼児にとつての体験の場、同年代の子との関わり方を学ぶ場であると同時に、親 同士の仲間づくり、悩み相談の場であることが、その後に向けた地域のつながり 作りの重要な機会となっている。日常ではなかなかできない下伊那農業高校や保 育園との交流は、コロナ禍で中止となってしまっただが、県体育館を使うなど、工夫し て親子の体験の時間をとった。親が心から健康であることが、子の成長過程に おいて大切であるため、母親の孤立や悩みを一人で抱えこむことを防ぐ、相談でき る場・発散できる場としていきたい。</p> <p>評価</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 □縮小 引き続き保健師を中心に親子の様子を見つつ、親子の仲間作りや、地域の育児 支援者、公民館との交流を通じ、地域で育児を楽しめる環境整備を進めていく。</p>							

県公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学区・講座	華甲大学(高齢者学級)	市・地	継続	9	655	107	13,097	実施内容参照	県文化センターホール
学級・講座	生涯学習の一環として、高齢者を対象にした学級として開催。テーマは「生涯青春・生涯学習」とし、高齢者の学びの場、生きがい作りの機会とする	市・地	継続	9	655	107	13,097	実施内容参照	県文化センターホール
学区・講座	華甲大学運営委員会と協議し、企画運営を行う。5月～1月第3金曜日の午後開催。体操、歌、健康講座、飯田下伊那の歴史・文化等多面的に学習する場として、県文化センターホールを会場として実施。対象が高齢者の為、実施に当たっては開催方法や内容を協議し、感染予防徹底に配慮した。 第1回 5/20 ※開講式を実施 (受講者数94名) 飯田お練りまつり～お練りはどうして始まった？～ 講師：櫻井 弘人さん 第2回 6/17 (受講者数100名) 見て・聞いて・楽しむ！ 箏とアンサンブル演奏 講師：文化箏 秋桜の会さん アンサンブルRaroさん 第3回 7/8 (受講者数80名) 「笑いヨガ」笑って笑って健康アップ 講師：松村接骨院 院長 松村秀樹さん 第4回 8/19 (受講者数46名) 飯田市の美術作家 講師：飯田市美術博物館 学芸員 横村洋介さん 第5回 9/16 (受講者数77) 朝日将軍 木曾義仲 講師：中島 正韶さん 第6回 10/21 (参加者数25名) 視察研修(木曾) 第7回 11/18 (受講者数73名) ずっと動ける体づくり 講師：菅沼医院 副院長 菅沼加奈子さん 第8回 12/16 (受講者数73名) 童謡・唱歌・懐メロ 講師：堯翁院 住職 寺澤 善周さん 第9回 1/20 (受講者数87名) からだイキイキ体操 講師：健康運動指導士 小林 新一さん	市・地	継続	2	180	90	90	6月20日、9月21日	県公民館
学区・講座	公民館役員を対象に、その時々の課題意識に応じた学習会を開催し、公民館活動の充実につなげる	市・地	継続	2	180	90	90	6月20日、9月21日	県公民館
学区・講座	公民館役員を対象に、その時々の課題意識に応じた学習会を開催し、公民館活動の充実につなげる	市・地	継続	2	180	90	90	6月20日、9月21日	県公民館

【成果と課題】
運営委員と協議しながら企画運営を行っている。対象が高齢者の為、実施に当たっては感染予防の徹底に配慮し、今年度も全ての回を文化センターホールで開催した。講演内容は健康、歴史、音楽、生きがいなど、多岐にわたり受講者からも好評であった。3年ぶりに研修視察も実施し、事前学習と合わせて充実した内容で実施できた。次年度も開催方法、内容を検討し、受講者にとって良い学びの場、生きがいの場になるよう、更なる充実を図りたい。

【次年度の方向性と取り組み】
□拡充 現状維持 □縮小
運営委員会での協議を充実させると共に、年配の方々の要求課題・必要課題を捉えることを重点的に行い、講座内容や華甲大学のあり方に反映させ、充実させていく。

評価

【成果と課題】
役員研修会ではコロナについて学び、昨年度から策定している「県公民館事業実施に伴う感染症対策チェックリスト」の改定を実施。研究会では「平和の種プロジェクト」についての勉強会を開催した。本館、分館問わず、環境への取り組みを意識して活動の組み立てを実施していきたい。

【次年度の方向性と取り組み】
□拡充 現状維持 □縮小
既存の公民館事業を踏まえながら、公民館として社会を見る機会、そこからの学習への展開を模索していく。

評価

鼎公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ふるさと再発見ワンデーマーチ 地域の歴史や文化について学びながら鼎地区を巡り、また家族で一日を楽しく歩き、地域の絆を健康づくり・家族の絆を深める機会とする	市・地	継続	1	-	-	13,097	5月3日(中止)	鼎地区内ほか
文化事業	実施内容 テーマは「家族で一日を楽しく歩くこと」・「地域の歴史や文化について学ぶ」・文化委員会が地域の現状や変化を話し合い、コースを決定。東鼎公民館～飯田市歴史研究所を巡るコース(約3.5km)を検討。 ※「鼎公民館事業実施に伴う感染対策チェックリスト」に基づき開催判断基準を設けた上で、基準日時点を感染警戒レベル5のため中止とした。 当日参加者に配布するピンバッジのデザインを募集し、ピンバッジ制作を実施。	市・地	継続	1	2,000	2,000	13,097	11月5日、11月6日	開催会場 鼎公民館
文化事業	実施内容 景観を写真におさめ、ふるさととの再発見と、地域への愛着を高める取り組み。審査員は、鼎在住の写真家などへ依頼。文化祭(11/5～11/6)期間中に展示するとともに表彰式を行った。	市・地	継続	1	2,000	2,000	13,097	11月5日、11月6日	開催会場 鼎公民館
文化事業	実施内容 地域の歴史や文化について学びながら鼎地区を巡り、また家族で一日を楽しく歩き、地域の絆を健康づくり・家族の絆を深める機会とする	市・地	継続	1	2,000	2,000	13,097	11月5日、11月6日	開催会場 鼎公民館
文化事業	実施内容 各団体の活動意欲を高めるとともに、鼎地区の文化活動の発展、文化への関心向上を図る	市・地	継続	1	2,000	2,000	13,097	11月5日、11月6日	開催会場 鼎公民館

【成果と課題】

感染症対策としてコースの短縮、3グループに分けて時間差でスタートするなど、工夫しながら開催を検討したが、中止となった。次年度は今回の計画をベースに、分館相互の関わりや、家族・地域の方とのふれあいの機会として開催予定。ピンバッジについては、文化祭での発表を見据え、制作時期の見直しを行う。

【次年度の方向性と取り組み】

□拡充 □現状維持 □縮小
開催方法を工夫しながら、従来の実施方法に近い形で開催したい。さらに翌年の開催に向け、文化委員会を中心に学習会やコース検討にも取り組んでいく。

【成果と課題】

数量的成果(項目名と数値)
応募点数24点(11人)
文化祭の開催に合わせ実施し多くの応募があった。作品の展示と表彰を実施した。出展者が固定化してきていることと、以前は子どももの応募も多数あったことから、表彰や発表方法の工夫だけではなく、この取り組み自体の意義や可能性、あり方を検討する時期に来ている。

【次年度の方向性と取り組み】

□拡充 □現状維持 □縮小
出展者からの要望である、入賞作品をより多くの人に見ていただけたような工夫をしていく。同時に、子どもの参加の模索や、技術の評価ではなく感性の評価ができるような方向性を検討したい。

【成果と課題】

「鼎公民館事業開催に伴う感染症対策チェックリスト」に基づき開催基準を策定し、開催した。昨年度に引き続き、感染症対策を講じ規模を縮小しての開催となったが、昨年に比べ参加団体も増え、開催時間も拡大した。2日間で延べ2,000人を超える来場者があり、各団体にとつての発表の場、地域住民がそれらの活動に触れる場を創出することができた。

【次年度の方向性と取り組み】

□拡充 □現状維持 □縮小
飲食を伴う催しや開催時間について検討しながら、多くの参加者・団体の活動発表の場としてより良い形で開催していきたい。

【検討経過】
第1回文化祭実行委員会 8月29日(月)
第2回文化祭実行委員会 10月18日(火)

県公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2022	市・地	継続	-	-	-	13,097	8月3日～8月7日	県公民館ほか
	人形劇フェスタを通じて文化の向上を図ると共に、地域づくりを行う。 ・県地区公演 7会場11劇団が公演を予定したが、感染警戒レベル5により全市で中止 ・地区内でのワッペン販売数75枚 ・県地区オリジナル企画(県プチ夏祭り) 8月3日(水)、8月4日(木) フェスタ中止に伴い中止								
文化事業	実施内容								
	【検討経過】 5/19 会場責任者会 6/13 文化委員会 6/28 県地区実行委員会 7/7 正副文化委員長打合せ 7/14 フェスタ企画調整会議 7/16 プレフェスタ(県会場)								
文化事業	目的								
	地域住民がフェスタを通じて文化の向上を図り、フェスタを通じた地域づくりを行う。								
文化事業	評価								
	【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 フェスタ地区公演だけでなく、より人形劇に関心を持ち、身近に感じられるようオリジナル企画も並行して実施していきたい。								
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ふるさと県コマージュナル	市・地	継続	1	2,000	2,000	13,097	11月5日、11月6日	県公民館
	ふるさと県コマージュナル制作委員会を立ち上げて制作。毎年テーマを決め、県各地区の人・自然・史跡等を映像にまとめ、県の良さ、豊かさを再発見・再確認し、地域への愛着を高める取り組み。 ①テーマ「県の法被」 文化祭で発表。各分館にDVDを配布するとともに、YouTubeにアップロードしている。 ②次年度に向けて取組み テーマ「県小学校のポブラ」 県地区のシンボルでもある県小学校のポブラが老朽化のため今年度伐採されることを受け、映像として記録し、次世代に想いをつなぐ。								
文化事業	実施内容								
	ふるさと県の自慢・自然・文化・歴史・伝統・生活・産業・人物等を地区(分館)単位で掘り起こし、県全体で1本のコマージュナルにまとめると地域の良いところを共有し地域づくりに役立てる								
文化事業	目的								
	【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 CMの意義や必要性、制作ペースについて、委員会内でもさまざまな意見がある。制作委員の負担等を踏まえ、充実した学習活動となるよう検討が必要。								
文化事業	評価								
	【成果と課題】 昨年度のコマージュナル制作からアイデアのヒントを得て、法被に着目した作品の制作につながった。制作にあたっては各分館の区誌等の郷土資料を参考に、各地区で積極的に素材集めを行ったほか、独自に撮影会を行うなど楽しみながら制作を実施することができた。一方で、テーマに関連した学習会が実施できなかつた。今後は学習会等を行いながら、制作活動を通じた学びの機会の充実を図ってきたい。								
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	県打ち水大作戦	市・地	継続	-	-	-	13,097	8/5～8/7	県公民館ほか
	いいだ人形劇フェスタの際に県地区全会場で「みる・えんじる・ささえる」全ての人が打ち水を実施し放射温度を測定する。開演前のアナウンスで結果を報告し環境意識の醸成を図る。 各地区公演会場(7会場)及び県地区オリジナル企画においても実施予定であったが、フェスタ中止に伴い全て中止となった。								
文化事業	実施内容								
	地域住民を対象に、環境意識の向上を図る								
文化事業	目的								
	【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 県地区に張り巡らされた井水と関連付け、環境問題に関心を持つきっかけとして継続していく。								

県公民館の事業報告

No.10

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
C S 協働事業	人権・平和学習「平和の種栽培事業」	地区費	継続	-	1,500	-	13,097	6月～11月	県公民館
	<p>人権・平和学習として、「平和の種」としてひまわりの種を賛同者へ配布し、ひまわりの開花後その種を提供してもらい、ひまわり油を精製して人権意識や平和意識の高揚を図る。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 プロジェクトは次年度以降も継続する見通しであり、地域としても連携して取り組みを実施していきたい。</p>	<p>活動趣旨に賛同する小学生児童とその家族及び地域住民を対象に、ひまわりの種を配布し、自宅でもひまわりを栽培してもらい、開花後種を提供してもらい、ひまわりの開花後その種を提供してもらい、ひまわり油を精製して人権意識や平和意識の高揚を図る。</p> <p>県地区住民や各種団体へ約9,000粒を配布。10月末時点で約60kgの種が集まっている。</p>	<p>【成果と課題】 平和の種プロジェクトと連携し、県地区内で多くのひまわりの種が栽培された。今年度の取り組みを通じ、前向きに取り組んでくれる住民の姿から、県地区のまとまりを感じることができた。</p>	<p>評価</p>					
C S 協働事業	県ナゾとき探偵団	市・地	新規	4	48	-	13,097	実施内容参照	県公民館ほか
	<p>県図書館と共催し、郷土資料を活用した中学生と地域の大人のふるさと学習を行い、調べ学習や地元への愛着を育む</p>	<p>郷土資料(町誌、区誌、石碑や文化財等をまとめたもの)を活用し、中学生と地域の大人が一緒に県史について調べ、学習する機会をつくる。中学生には本で調べる楽しさや地域を知る楽しさを知ってもらい、一般の方には中学生を支援しながら、改めて地域の歴史や史跡を見つめ直し価値を再発見する機会とする。</p> <p>中学生から調べてみたい県に関する「ナゾ」を募集し、併せて中学生と地域の大人からなる調査員を募集。6つのナゾが集まり、中学生団員4人、大人2人が参加した。7月～10月にかけて4回開催し、本による調査やフィールドワークを行いながら調査結果を模造紙にまとめ、11月の県地区文化祭で発表した。まとめた成果物は文化祭終了後、県図書館と中学校に展示した。12月には振り返りとまとめの会を開催した。</p> <p>▼中学校で事業紹介 6/22(水)▼結団式 7/10(日)▼第2回(文献調査) 9/11(日) 第3回(現地学習)10/2(日)▼まとめ 10/15(土) ▼文化祭で発表 11月5日(土)・6日(日) ▼活動振り返り 12月3日(土)地元企業の話や聞く学習会を実施。 【検討過程】</p>	<p>【成果と課題】 高校への進学で地元以外の地域へ出ていく前の中学生期に、自分たちが育った地域について知るきっかけ作りとして実施。中学生になると地域に出ていく機会が減少する傾向にあるが、中学生と地域の大人が関わりを持つ機会の創出につながった。</p>	<p>評価</p>					
C S 協働事業	県の子どもを語る会	地区費	継続	1	60	-	13,097	2月2日	県公民館
	<p>小中学校の先生方、保護者、地域の方々が集い、県の子どもの現状や、目指す子ども像を語り合うことで、三者の連携を深め、子どもの豊かな育ちにつなげる</p>	<p>学校運営協議会を中心に内容を検討し、企画・運営を行う。今年度は県小中学校の基本方針「ライジングプラン」について、地域に向けて知ってもらいながら目指す子ども像の共有と、県の子どもにもどう関わっていくかを考える機会とした。</p> <p>【検討経過】 12/19 小中教頭先生との打合せ</p>	<p>【成果と課題】 コミュニティスクールの現状や、小中学校や地域の中での子どもたちの育ちを知り、それぞれが感じていることを語り合う機会として3年ぶりに開催。小中学生による発表は行わず、学校の基本方針を知ること重点を置いて開催した。様々な立場の人が県の子どもの現状とこれからについて考える貴重な機会として、今後とも感染状況を踏まえながら計画・実施していきたい。</p>	<p>評価</p>					

上郷公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	農作業体験教室	地区費	継続	15	375	25	13,204	実施内容参照	下黒田北地区
	地区内の小学生を対象に、農作業を通じて食の大切さや安全性を学び、収穫の喜びを体験する場とする。	<p>【成果と課題】 親子6組15人の子どもに参加していただき、年間を通じて畑作業の大変さを感じながら自分で野菜を育てて食べる経験ができた。なかなか外出することもままならぬコロナ禍において、汗を流して農作業をする経験は貴重な時間になった。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 引き続き、農作業を通じて食の大切さや安全性を学び、収穫の喜びを体験する場となるよう継続していく。</p>							
学級・講座	子ども料理教室	市・地	継続	9	180	20	750	実施内容参照	上郷公民館
	地区内の小学生を対象に、料理という実体験を通じて、たくましい成長を促すとともに、家庭での親子のふれあいを推進する。	<p>【成果と課題】 料理に必要な基礎知識を身に着けるとともに、料理する楽しさ、食への興味を持ってもらうため開催した。昨年度に引き続き、各班高学年から低学年まで入るようにして4人ずつ5班に分かれて班ごと料理作りを行った。コロナ禍のため、作った料理は家へ持ち帰るという形を実施した。コロナ禍で定員が限られたため、申し込み人数によっては追加回を開催することに対応した。</p> <p>日時：5月28日、6月11日、6月18日、6月25日、7月9日、7月16日、7月23日、10月8日、10月15日（いずれも土曜日の午前中）</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 子どもたちが料理作りに興味を持ち、また異学年交流の機会として継続していく。</p>							
学級・講座	郷土料理教室	市・地	継続	1	38	38	750	1月22日(日)	上郷公民館
	親子を対象に、郷土料理を知り、作り、楽しむ体験を提供する。	<p>【成果と課題】 地域の子どもたちが郷土料理に触れ、伝統や作り方を学ぶ機会となった。地域の大人と子どもが交流する異世代交流の機会にもなっている。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 郷土料理づくりを通して異世代交流を促進し、自分たちの暮らす地域に目を向ける機会として引き続き実施していく。</p>							
学級・講座	地域を知る会	市・地	継続	2	50	25	13,204	実施内容参照	上郷公民館等
	住民が現地を歩きながら地域の歴史・文化・産業等を学ぶ機会を作ることで関心を高め、持続可能な地域づくりについて考える。	<p>【成果と課題】 今年度は地域外を目的地的にして、座光寺地区を舞台としたフィールドワークを行った。同じ飯田市でも違う地区の様子は参加者にとって新鮮であり、座光寺地区で活動する方々との交流も非常に好評だった。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 引き続き、上郷地区内外を深掘りして学べるよう企画していく。</p>							

上郷公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	ふるさと学習講座久遠の会	市・地	継続	3	90	30	13,204	実施内容参照	上郷公民館
	目的 地区住民、子どもを対象に、上郷の歴史、文化、自然を学ぶ。	市・地	継続	3	90	30	13,204	【成果と課題】 住民が地域の歴史・文化・産業等を学ぶ機会を作ることに関心を高め、持続可能な地域づくりについて考える。 ○第1回 5月12日(木)19:00～20:00 テーマ:上郷の蚕糸業の発展～繭と生糸に生きた人々の地域史～ 講師:飯田市歴史研究所 特任研究員 田中雅孝 先生 ○第2回 7月14日(木)19:00～20:00 テーマ:未(ひつじ)満水と伝承～土石流、夜泣き石、お練り祭り～ 講師:飯田美術博物館 青木 隆幸 先生 ○第3回 8月10日(木)19:00～20:00 テーマ:ムラ道が語る先人の足跡～「立坂・龍坂」道の移り変わり～ 講師:上郷史学会会長 中島 正韶 先生	上郷公民館
文化事業	上郷地区文化祭	市・地	継続	1	647	647	13,204	11月19日(土)～20日(日)	上郷公民館
	目的 地区内個人、グループを対象に、日頃の活動の成果を発表する場として、また住民が交流できる場として実施する。	市・地	継続	1	647	647	13,204	【成果と課題】 上郷公民館を利用する団体に広く参加を呼びかけ、コロナ禍にも関わらず多くの団体から参加いただいた。コロナ禍が続くように活動できない中、発表の機会を提供することができた。19日(土)の体験コーナーでは、日頃公民館を利用する団体がどんな活動をしているか体験できる機会とした。多くの子どもたちが参加いただき文化祭を盛り上げてくれた。開催直前の時期に小中学校でコロナが急拡大し、子どもの参加が少なかったが、住民同士が交流できる場につながった。 【次年度の方向性と取り組み】 ○拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 今年度の企画を踏まえ、来場しやすい参加しやすい文化祭を引き続き企画していく。	上郷公民館
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2022上郷地区公演	市・地	継続	-	-	-	13,204	8月4日(木)～7日(日)	上郷公民館ほか
	目的 一般を対象に、公演を盛り上げるとともに、企画を通じて、様々な立場の人々の交流を促進する。	市・地	継続	-	-	-	13,204	【成果と課題】 感染症対策だけでなく来場者に楽しんでもらえるような工夫が自主的に計画されている会場もあり、フェスタ開催に向けた機運の高まりが見られただけに痛恨の中止であった。 【次年度の方向性と取り組み】 ○拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 今年度の機運の高まりを取り戻し、会場数をコロナ前に戻しながらさらに主体的な各地区の運営に繋げられるよう支援していきたい。	上郷公民館ほか

上郷公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	スポーツ交流会	市・地	継続	3	127	-	13,204	開催内容参照	開催内容参照
	実施内容	<p>【春季スポーツ交流会】 日時：6月19日(日) 内容：囲碁ボール 参加者：24チーム97人</p> <p>【夏季スポーツ交流会(中止)】 日時：8月21日(日) 内容：ペタンク</p> <p>【冬季スポーツ交流会】 日時：12月4日(日) 内容：ポッチャ 参加者：9チーム30人</p>							
体育事業	第69回上郷地区大運動会	市・地	継続	1	600	600	13,204	10月23日(日)	高陵中学校校庭
	実施内容	<p>コロナ禍の中で3年ぶりの開催となった。 ・分館対抗種目及び団体種目は行わず、オープン参加種目7種目のみ実施 ・実行委員会の規模を精選し、各分館スポーツ部員を中心に分館役員にも多く運営に関わるよう工夫 ・コロナ対策の徹底(参加者把握のための受付設置、風食をはさまない半日開催、密にならないよう直線コースで運営、マスクを着用したまま参加できる種目の工夫)</p>							
広報事業	「広報かみさと」発刊事業	市・地	継続	36	264	11	13,204	通年	上郷公民館
	実施内容	<p>「今の上郷」の事業や住民の思い、風景写真などの記録、発信、地域の課題提起等を毎月発行し行う。また、まちづくり委員会発足時より、まちづくり委員会広報紙としての機能も併せ発刊している。</p> <p>内容：年刊発行回数12回 1回当たり発行部数4,600部 号数：181～192号(館報通算866号～877号) 紙面：B4タブロイド判 2面オールカラー(5月号のみ4面)</p>							
体育事業	目的	<p>地区住民を対象に、スポーツの機会を提供し、健康づくりと住民同士の交流を図る。</p>							
	評価	<p>【成果と課題】 昨年度に引き続き分館対抗に限らず、地区内に広く呼びかけかけチーム集めをした。分館単位ではないチームや分館からのチーム数も増え、分館対抗でない方が気軽に参加できるといった感想も聞かれた。子どもから高齢者まで様々な世代の方に参加いただき、交流の機会となった。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 今後も年代や性別関係なく参加しやすい競技を企画し、幅広く地域の皆さんが参加したいと思える交流会を検討していく。</p>							
体育事業	目的	<p>地区内住民を対象に、運動会を通じて交流を図り、上郷としての結束を高める。</p>							
	評価	<p>【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 今年度の開催経験を踏まえ、各分館の考え方や熱意を共有しながら今後も無理なく続けていける運動会の形を検討していく。来年度は分館対抗種目も加える予定。</p>							
広報事業	目的	<p>地区住民を対象に、地区行事等の記録、情報発信、課題提起、話題提供を行う。</p>							
	評価	<p>【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 来年度から部員の負担軽減のため、毎月3回開催していた会議を工夫して2回に削減する予定。引き続き毎月発行を活かしながら「上郷の今」を地域住民に届けられるような紙面を考え、発行する。</p>							

上郷公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	あいさつ運動	0円	継続	3	150	50	13,204	実施内容参照	地区内各所
	目的	<p>小中高校生を対象に、朝の通学時にあいさつを行う。地域の団体と協力して、見守りを行う。小学校の新学期の翌日と翌々日、各分館の青少年健全育成部員が中心となって実施した。帽子やタスキなどであいさつ運動の実施中であることをPRし、子どもとの顔見知りの関係を築くために育成部員の方が積極的にあいさつをした。</p> <p>第1回 4月7日(木)、8日(金) 第2回 8月26日(金)、29日(月) 第3回 1月10日(火)、11日(水) (いずれも朝7:15~7:45ころ) 場所: 上郷小学校前、廣源前横断歩道、信上郷支店前など</p>							
育成事業	工作教室	市・地	継続	1	100	100	750	7月10日(日)	高陵中学校校庭
	目的	<p>地域の子どもたち親子と育成部員と一緒にベトボトルロケットを工作して飛ばした。また、新たな取り組みとして「おもしろ科学工房」による火薬ロケット発射の実演も行った。</p> <p>地区内小学生を対象に親子でまた公民館役員と一緒に工作を行うことを通じて、異年齢の交流、工作について学ぶ機会とする。</p>							
育成事業	科学体験教室	市・地	新規	1	50	50	13,204	11月19日(土)	上郷公民館
	目的	<p>上郷文化祭の体験コーナーの一つとして、科学の不思議や力を体験する機会とした。</p> <p>内容: スライム作り、クリップモーターづくり、静電気体験、空気砲ほか</p> <p>地区内小学生を対象に公民館役員と一緒に科学体験を行うことを通じて、異年齢の交流、科学に対して興味を持つ機会とする。</p>							
育成事業	小学校音楽鑑賞教室	地区費	新規	1	130	130	130	6月6日(月)	上郷公民館
	目的	<p>平成31年の公民館建て替え時のピアノ選定に携わっていただいたプロピアニスト岩崎洵奈氏とのつながりを活かしたピアノ演奏会を開催した。今年度は上郷小学校6年生を招待し、地域の子どもたちが一流の音楽に触れる機会とした。</p> <p>希望者だけでなく上郷小学校5,6年生全員を対象として、一流の音楽に触れてもらう機会を提供する。</p>							

上郷公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	地域づくりフォーラム	市・地 継続	1	125	125	13,204	2月25日(土)	上郷公民館
その他	<p>上郷全体の課題は何か、それを上郷に暮らしている皆で考え、改善に向けて行動していくためのきっかけづくりの場として、上郷地区地域づくりフォーラムを毎年開催している。まちづくり委員会、小中PTA、等の地域団体の代表が実行委員会を組織し企画運営する。</p> <p>今回は「地域と学校をつなぐ！」をテーマに、子どもたちが社会とのつながりの中で学ぶことのできる「これからの人づくり・地域づくり」に重点を当て、地域全体で学びを展開していく「子どもも大人も学び合い育ち合う上郷地区」の構築を目指し、学校と地域の連携・協働のあり方についての課題や将来像について考える機会とした。</p> <p>第1部 劇団すまいる(上郷小4年2組)ステージ発表 第2部① 飯田OIDE長姫高等学校地域人教育成果発表 (動画視聴&高校生との意見交換) 第2部② 上郷地区小・中学校長と公民館長による座談と意見交換</p>	市・地 継続	1	60	60	145	8月13日(土)	上郷公民館
その他	<p>記念写真撮影、成人式典 開式の辞、主催者あいさつ、来賓祝辞、来賓紹介、恩師よりお祝いの言葉、新成人実行委員の活動紹介、新成人実行委員会(思い出のムービーの上映)、地域からお祝いの企画(地区内ドローン映像上映)、成人代表あいさつ、閉会の辞</p> <p>地域として新成人を祝福するとともに地域の一人ひとりの責任と理解を深める機会とする。</p>	市・地 継続	1	96	96	152	1月8日(日)	上郷公民館
その他	<p>記念写真撮影、成人式典 開式の辞、主催者あいさつ、来賓祝辞、来賓紹介、祝電披露、新成人実行委員の活動紹介、地域からのお祝いの企画(タエリテサブニュースによるステージ発表)、記念品贈呈、新成人代表あいさつ、閉会の辞、新成人実行委員の企画「二十歳の主張」</p> <p>地域として新成人を祝福するとともに地域の一人ひとりの責任と理解を深める機会とする。</p>	市・地 継続	1	96	96	152	1月8日(日)	上郷公民館

上郷公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	飯田OIDE長姫高校商業科「地域人教育」	地区費	新規	25	175	8	13,204	通年	上郷公民館
その他	<p>地域住民や高校生を対象に、地域について学び様々な人と交流することを通じて地域を知り愛着を持つことを目指す。</p> <p>○日程：5月～12月の毎週金曜日12:30～15:20</p> <p>○内容： 4～7月 フィールドワーク、上郷についての調査活動 8～9月 活動計画の立案 10月 活動の準備 11/6 野底山森林公園もみじまつりに参加 「クイズウォークラリー」「お絵かきコンテンツ」を実施 12～1月 活動のまとめ、振り返り 12/21 地域人教育成果発表会 2/25 上郷地区地域づくりフォーラムにて活動報告、成果発表</p>								
評価									
【成果と課題】									
今年度で2年目となる上郷地区での地域人教育の受け入れを行った。交流した地域住民は高校生が地域の事業に参加したり、自分達の活動に関心を持ってもらえることに感じ喜びが姿が多く見られた。高校生たちは活動を通して上郷の魅力を感									
じ、地域の若い世代の方が地域のことについてあまり知らない現状を課題として捉え、上郷のことを気軽に知れるようなイベントを企画、実施することができた。									
【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 □縮小 引き続き地域住民と高校生が交流し、学びあう活動としていきたい。									
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	高松の丘音楽会	市・地	継続	1	140	140	13,204	5月8日(日)	上郷公民館
その他	<p>平成27年「オーケストラと友に音楽祭コミュニティコンサート」の上郷地区での開催をきっかけに上郷独自の音楽祭として始まった事業であり、名古屋フィルハーモニー交響楽団よりプロの演奏者を招き演奏会を毎年行っている。第8回にあたる今年度は3年ぶりの開催となった。コロナ禍のため定員を通常の50%に制限し、案内を小・中・高校、音楽系社会教育関係団体に限定して開催した。</p>								
目的	青少年を対象に、一流の音楽に親しむ機会を提供するとともに、進路選択の視野を広げる。								
評価									
【成果と課題】									
地域の音楽系教団や子ども達が一流の音楽に親しむとともに、技を磨いて職									
としている人たちの姿を体感することで子ども達の進路選択の可能性を広げてほしいという願いを持ちながら実施することができた。									
【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 □縮小 今後は新たな実行委員の募集や学校・クラブの参加についても検討していく。									
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ふれあいさわやか音楽祭	地区費	継続	1	1	240	13,204	9月11日(日)	上郷公民館
その他	<p>【参加団体】 飯田女子高校3団体・・・合唱同好会、邦楽クラブ、ギター・マンドリンクラブ 飯田高校4団体・・・合唱班、弦楽班、邦楽班、吹奏楽班</p> <p>【コロナのため辞退・4団体】 上郷小学校オーロラバンド、上郷小学校合唱団、高陵中学校吹奏楽部、飯田女子高校吹奏楽クラブ</p>								
目的	地区内小、中、高校生を対象に、音楽系部活動の発表の機会を提供する。								
評価									
【成果と課題】									
コロナ禍で成果発表の機会がなかなか持てない中、近隣学校の音楽系クラブの									
成果発表や交流の場として開催することができた。発表団体からは開催していた									
だいてありがたいとの声を多くいただいた。									
【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 □縮小 引き続き音楽系部活動の交流・発表の機会として開催する。									
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	分館役員研修会	市・地	継続	1	50	50	100	6月22日(水)	上郷公民館
その他	<p>内容：施設管理における防火防災・防犯対策について 講師：飯田消防署予防係 青島 孝司さん 日頃、公民館(分館)を管理している分館役員が施設管理における防火防災対策、防犯対策について改めて学ぶ機会とした。また、消火器の使い方についてレクチャーをいただいた。</p>								
目的	分館役員を対象に、公民館活動に関わる研修を行う								
評価									
【成果と課題】									
日頃、公民館(分館)を管理している分館役員が施設管理における防火防災									
策、防犯対策について改めて学ぶ機会となった。									
【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 □縮小 知識の習得だけでなく、分館役員同士の交流の機会にもなるよう企画していきたい。									

上郷公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	上郷歩こう会	市・地	継続	10	270	30	13,204	5月15日(日)	地区内外各所
	目的 地区住民を対象に、ウオーキングを通じ、地域の自然や歴史、文化について学習を深めると同時に地区内の親睦を深める。	<p>5月15日(日)を統一実施日とし、分館事業として各分館が計画実施した。 内容:黒田大明神原日遺跡見学(上黒田)、野底山森林公園(下北)、麻績の里歴史散策(下南)、黒田神社等(下東)、リニア代替地散策(丹保)、座光寺運動公園マレットゴルフ(北条)、野底山森林公園マレットゴルフ(南条) など</p> <p>【成果と課題】 幅広い年代層の参加があり、親睦はもちろんのこと地域を改めて知る機会として、また子どもへ地域の歴史や文化を伝えていく機会として意義ある事業である。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 各分館のアイデアで行き先、ルート設定をしていただいている。各分館ごとの特徴ある取り組みとして情報共有を行いながら引き続き実施する。</p>							
その他	世代交流事業(正月飾りづくり講習会、囲碁ボール大会)	市・地	継続	15	745	50	13,204	実施内容参照	地区内各所
	目的 地区住民を対象に、多世代での親睦を深める。	<p>分館事業として全分館が計画実施した。 ○正月飾り講習会:12月11日(日) 下黒田北40人、下黒田東54人、丹保21人、北条90人 の4地区が実施 ○どんど焼き:1月8日(日) 10分館すべてで実施 ○囲碁ボール大会:2月26日(日) 飯沼南分館が実施</p> <p>【成果と課題】 コロナ禍の中でもほとんどの分館が工夫を凝らして実施することができた。飲食を伴わない形でも様々な世代が集まり、身近な分館という単位で交流する数少ない機会となった。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/>拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 <input type="checkbox"/>縮小 特に組合加入率が低い上郷地区において小学生世代の親子が参加し地域の方と交流できるこのような機会を今後も大切にしていきたい。</p>							

上村公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級(ひよこちゃん)	市・地	継続	5	3	3	5	実施内容のとおり	上村保育園ほか
	0～3歳児とその親を対象として、子育てに関する学び、体験を通じての親子のふれあい、こども同士との交流、親同士の情報交換による子育て不安の解消やコミュニケーション醸成などを目的に実施。	遠山2地区の保健師・保育士・公民館で連携して計画し、講座を実施。入園前の乳幼児は少ないが、未満児保育を利用している家庭もあるため、保護者の意見も取り入れつつ、保育園との連携をより深め、保育園児との交流等を積極的に取り入れる。(報償費30千円) 【日程と内容】※は南信濃と合同開催 5/10絵本に親しもう(コロナにより中止)、6/7ペン作り、9/13J・ミック、10/13人形劇、11/8わらべうた(コロナにより中止)、11/11焼き芋(コロナにより中止)、12/15クリスマスコンサート、1/25栄養士のお話(中止)、2/14絵本の世界	市・地	継続	0	0	-	-	-
学級・講座	子育てクラブ(チロル)	地区費	継続	0	0	-	-	-	上村公民館
	子育て世代の地区住民を対象に、子育てに対する不安解消、息抜き、の場、親と地域をつなぐ場づくりを図る。	保育園児や乳幼児の保護者を中心にした座談会を開催する。子育て世代の家庭が少なくなってきた中、保育園、保健師とも連携して、他の事業と並行した開催を基本とし、保護者にとってより身近で気軽に必要な情報を得られる場を目指し、移住者・移住希望者も含めた子育て世代同士の情報交換やコミュニケーション構築につなげる。	市・地	継続	2	11	3	368	実施内容のとおり
学級・講座	若い衆で地域を語らまいか！(まいか娘、青年会議)	市・地	継続	2	11	3	368	実施内容のとおり	上村公民館
	若者世代の地域住民を対象に、世代を越えた交流を通じ、この地区の独自性を見つめ直し、地元を誇りをもってもらう。	地域の若者達の関心をもちにきた情報交換から、課題意識を共有し、その課題解決に向けた取り組みを地域とつながりの中で進めていく。(報償費10千円) 【主な活動内容】 6/9年度初め会議、6/26東野公民館での文化講演、10/5しゃやくげ祭発表会に向けた会議、11/3東栄フェスティバルでのトークセッション、11/15横笛教室 ①、11/22横笛教室②12/8市公高高校生講座と霜月祭に関する発表、	市・地	継続	2	11	3	368	実施内容のとおり
学級・講座	0～3歳児とその親を対象として、子育てに関する学び、体験を通じての親子のふれあい、こども同士との交流、親同士の情報交換による子育て不安の解消やコミュニケーション醸成などを目的に実施。	遠山2地区の保健師・保育士・公民館で連携して計画し、講座を実施。入園前の乳幼児は少ないが、未満児保育を利用している家庭もあるため、保護者の意見も取り入れつつ、保育園との連携をより深め、保育園児との交流等を積極的に取り入れる。(報償費30千円) 【日程と内容】※は南信濃と合同開催 5/10絵本に親しもう(コロナにより中止)、6/7ペン作り、9/13J・ミック、10/13人形劇、11/8わらべうた(コロナにより中止)、11/11焼き芋(コロナにより中止)、12/15クリスマスコンサート、1/25栄養士のお話(中止)、2/14絵本の世界	市・地	継続	5	3	5	実施内容のとおり	上村保育園ほか
	0～3歳児とその親を対象として、子育てに関する学び、体験を通じての親子のふれあい、こども同士との交流、親同士の情報交換による子育て不安の解消やコミュニケーション醸成などを目的に実施。	遠山2地区の保健師・保育士・公民館で連携して計画し、講座を実施。入園前の乳幼児は少ないが、未満児保育を利用している家庭もあるため、保護者の意見も取り入れつつ、保育園との連携をより深め、保育園児との交流等を積極的に取り入れる。(報償費30千円) 【日程と内容】※は南信濃と合同開催 5/10絵本に親しもう(コロナにより中止)、6/7ペン作り、9/13J・ミック、10/13人形劇、11/8わらべうた(コロナにより中止)、11/11焼き芋(コロナにより中止)、12/15クリスマスコンサート、1/25栄養士のお話(中止)、2/14絵本の世界	市・地	継続	5	3	3	5	実施内容のとおり

上村公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	かみっこ図書分館事業	事業区分 地区費	3	60	22	368	実施内容のとおり	かみっこ図書分館
	図書分館と共催し、保育園児・小学生の親子を対象に、手芸や工作等を実施。 幅広い年代に参加してもらえ、本に親しみをもちてもらえるよう分館職員と内容を検討し実施した。 【主な活動内容】 6/11お楽しみ会①(読み聞かせと折り紙工作)を実施、10/15お楽しみ会②(読み聞かせと牛乳パックを使った工作)、3/25お楽しみ会③(読み聞かせとカードゲーム)	事業区分 継続	3	60	22	368	実施内容のとおり	かみっこ図書分館
学級・講座	子育て世代の親子を対象に、本の読み聞かせ、手芸や工作を通して、親子での学習と交流を深める機会とする。	事業区分 継続	3	60	22	368	実施内容のとおり	かみっこ図書分館
学級・講座	【成果と課題】 新型コロナウイルス感染症の拡大も危ぶまれる状況の中でも、楽しみながら事業を実施する方法を考えた。家族での参加から保護者同士の関わりも生まれた。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地域住民や子どもたちにとって身近な図書館として、分館スタッフを中心に地域の身近な人が講師となるような事業を企画していく。	事業区分 継続	3	60	22	368	実施内容のとおり	かみっこ図書分館
学級・講座	【評価】 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地域文化の霜月祭に関わる大人から祭りへの思いを聞き、学ぶことでより興味関心を高められる内容を検討していく。	事業区分 継続	3	60	22	368	実施内容のとおり	かみっこ図書分館
区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
区分	小学生霜月祭(横笛)教室	事業区分 市・地	3	31	11	14	11月15日、22日、12月3日	村小学校、中郷正八幡
学級・講座	霜月祭に対する関心を高め、実際に祭りの担い手として参加することによりふるさと意識の醸成を図る	事業区分 継続	3	31	11	14	11月15日、22日、12月3日	村小学校、中郷正八幡
学級・講座	【成果と課題】 平成21年度から取り組んでいる「小学生霜月祭横笛教室」を継続し、小中学生の霜月祭への関心を高め、参加促進を図れる機会として開催する。(報償費:10千円) 【主な活動内容】 11/15横笛教室①、11/22横笛教室②、12/3中郷正八幡宮の霜月祭(希望者のみ) 横笛教室の2回は上村小学校の音楽の授業とともに3～6年生を対象に実施した。	事業区分 継続	3	31	11	14	11月15日、22日、12月3日	村小学校、中郷正八幡
学級・講座	【評価】 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地域文化の霜月祭に関わる大人から祭りへの思いを聞き、学ぶことでより興味関心を高められる内容を検討していく。	事業区分 継続	3	31	11	14	11月15日、22日、12月3日	村小学校、中郷正八幡
区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
区分	世代間交流事業	事業区分 地区費	3	12	12	40	実施内容のとおり	上村保育園・小学校
学級・講座	高齢者クラブと連携し、おやすやしめ縄飾り作りなど、保育園児・小学生が地域の伝統文化を地域の方から直接教えてもらう体験をもとに、お互いが交流できる機会をつくる。 12/19 上村保育園おやす作り(小学校低学年合同) 1/10 上村小学校小正月飾り 1/13 上村小学校松送り・どんど焼き(保育園合同)	事業区分 継続	3	12	12	40	実施内容のとおり	上村保育園・小学校
学級・講座	【成果と課題】 高齢者クラブと連携し、おやすやしめ縄飾り作りなど、保育園児・小学生が地域の伝統文化を地域の方から直接教えてもらう体験をもとに、お互いが交流できる機会をつくる。 12/19 上村保育園おやす作り(小学校低学年合同) 1/10 上村小学校小正月飾り 1/13 上村小学校松送り・どんど焼き(保育園合同)	事業区分 継続	3	12	12	40	実施内容のとおり	上村保育園・小学校
学級・講座	【評価】 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 核家族家庭が多い状況から日頃話をする機会の少ない世代と交流することを通じて、地域での暮らしを考える機会を引き続き設ける。	事業区分 継続	3	12	12	40	実施内容のとおり	上村保育園・小学校
区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
区分	小学校PTA共催講演会	事業区分 市・地	1	55	55	368	9月22日	上村小学校
学級・講座	家庭と地域の方を対象として地域が一体になって子ども教育について考える機会とする。	事業区分 継続	1	55	55	368	9月22日	上村小学校
学級・講座	【成果と課題】 小学校PTAと連絡調整を図り、コミュニティースクール体制の充実にもむけて、関係者の意識向上と課題解決に向けた講座を展開する。(報償費20千円) 多様性に関する理解を深めるLGBTQの当事者である講師から、自身の経験も含めた講演内容とした。年齢に合わせた構成とすることで、幅広い世代の理解を深められる講演を小学校PTAと共に企画。 【講演内容】 内容:セクシャルマイノリティ(LGBTQ)について 講師:高橋 泰宏氏(当事者)	事業区分 継続	1	55	55	368	9月22日	上村小学校
学級・講座	【評価】 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地域ぐるみで子どもを育て育むという意識が醸成されるよう、小学校PTA等と共に講演会を企画していく。	事業区分 継続	1	55	55	368	9月22日	上村小学校

上村公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	地区文化祭(しゃくなげ祭)	市・地	継続	1	130	130	368	2月24日及び25日	上村小学校体育館
	<p>地区住民を対象に、身近な場所で芸術文化に親しむこと、また各活動の成果発表を通じた住民交流や新たな取組のきっかけとなることを目的として実施する。</p> <p>【日程と内容】 9/8第一回実行委員会、10/26第二回実行委員会、11/13開催日であったがコロナ感染拡大のため延期、12/21実行委員会③、2/24及び25日に開催</p>	地域と小学校・保育園が合同で実行委員会を組織して企画開催する。地域の方々が芸術文化へ関心を高める機会を図る。また、小学生・中学生との関わりを大切に、子供の頃から地域の中で芸術文化に触れて親しんでいくための機会として実施する。	【成果と課題】 大人の発表を入れることも重視して計画が出来た。コロナ禍により、一度は延期になったものの、中止ではなく開催方法を改めて検討することで、地域での文化活動の発表と他の住民の活動を知る機会を設けられた。また、次年度の小学校150周年に向けた人文字撮影企画や、文化祭後に遠山郷フォーラムを開催するなど、多くの人が参加できる機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☑現状維持 □縮小 企画段階から地域の文化活動や住民の活動を知りながら、充実した文化祭となるよう、実行委員会で組み立てていく。						
体育事業	マレットゴルフ大会	地区費	継続	1	23	23	368	9月11日	中山スカイパークマレットゴルフ場
	<p>地区住民を対象に、親しみのあるスポーツによる健康増進と、参加者同士の交流と親睦を図る</p> <p>【詳細な日程】 8/2 分館長・企画委員会を行い、今年度は分館共催で実施することを決定。 9/1 企画委員会正副委員長臨時会議を行い、感染状況を見て開催判断 9/11中山スカイパークマレットゴルフ場にて開催。のべ23名の参加あり。</p>	地元のマレットゴルフ場(中山スカイパークマレットゴルフ場)を使い、地区住民同士が親睦を深められるような仕組みを考えて実施する。	【成果と課題】 幅広い世代から参加者が集まり、コロナ禍で外での運動の機会が減っている中、会話を楽しみながら交流を行った。よりゲーム性を高めるための工夫を委員ととも協議していく。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☑現状維持 □縮小						
体育事業	地区運動会(かみむら大運動会)	市・地	継続	4	200	200	368	10月9日	上村小学校グラウンド
	<p>地区住民を対象に、住民が運動会を通じて住民相互の交流と親睦、健康増進を図る</p>	平成15年度から小学校運動会と合同になり、平成21年度からは保育園・運動会も合同となった。3者合同でプログラムを検討し、保育園・学校・地域で連携して開催する。 【詳細な日程】 7/13 三者合同会議①(小学校、保育園、地域の3者で方針の確認)、8/2 三者合同会議②(コロナ対策等について確認)、9/21企画委員会(プログラム、役員分担の確認)、9/26各種団体打合せ(プログラムの決定)、10/8前日準備、10/9運動会当日	【成果と課題】 コロナ禍の状況を受けて、半日開催形式でこの2年は実施をしてきた。運動会をより楽しみたいと1日開催で分館対抗戦を求めるとともに上がっている。充実した内容にするため実施方法は要検討。 【次年度の方向性と取り組み】 ☑拡充 □現状維持 □縮小						
体育事業	公民館卓球大会・第29回小学生卓球大会	市・地	継続	1	35	35	368	2月18日	上村小学校体育館
	<p>小学生と地区住民を対象に、地域に根ざしたスポーツ活動(卓球)の普及と住民交流を図る</p>	上村卓球クラブの後援、上村小学校、遠山中学校卓球部の協力を得て、小学生と一般の部で行う。南信濃地区にも声を掛け、参加者の増加と両地区の交流を図る。 ■ジュニアカップ争奪戦(小学生全学年によるリーグ&トーナメント) ■一般の部(男性・女性シングルス・ダブルス交流戦) 【詳細な日程】 12/7事前打合せ、2/18開催	【成果と課題】 小学生の参加率は例年並みであったが、南信濃地区からの参加者もあり、両地区の交流の機会となった。 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 ☑現状維持 □縮小 歴史と実績がある上村の卓球文化が今後も継続していけるように支援していく必要がある。また、上村・南信濃の交流の機会としても充実させていく。						

上村公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	春季スポーツ大会(スポーツ交流会)	市・地	継続	1	25	25	368	3月5日	上村小学校体育館
	<p>多くの人が親しめるニュースポーツとして囲碁ボール大会の実施に併せ、健康福祉委員会と連携して健康講座を企画。皆で楽しみながら健康づくりの意識を高め合える機会をつくる。</p> <p>■囲碁ボール大会6チーム25名参加 ■健康講座テーマ:姿勢を良くする体操 講師:健康運動士 平澤先生 ※講師の都合により健康講座は中止</p>	市・地	継続	1	25	25	368	3月5日	上村小学校体育館
広報事業	館報「かみむら」発行	地区費	継続	年4回	-	-	368	6月30日、10月31日、1月31日、3月31日	上村公民館
	<p>地区住民を対象に、地域の情報発信、将来への記録等を目的に発行</p>	地区費	継続	年4回	-	-	368	6月30日、10月31日、1月31日、3月31日	上村公民館
合同事業	遠山郷フォーラム	市・地	継続	1	125	-	1,570	2月25日	上村小学校体育館
	<p>上村・南信濃地区住民及び学校・保育園関係者を対象に、両地区の様々な取り組みをお互いに知り合い、繋がりがりや連携の必要性を考慮する機会をつくる</p>	市・地	継続	1	125	-	1,570	2月25日	上村小学校体育館

上村公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	夏・春休み子ども見守り事業	他会計	14	359	35	79	実施内容のとおり	南信濃学習交流センターほか
	実施内容	<p>7/27～8/23日までの15日間、上村公民館と共催で、長期休暇を利用し、地域資源を活用した体験型学習を展開。また、長期休暇中の受け皿を地域住民とともに作る意識醸成を行う。保護者・地域ボランティア及び学校が連携し地域ぐるみで子どもを育む実践活動として行う。※コロナ感染拡大にともない8/10までの10日間開催。</p> <p>【成果と課題】 当事業が子どもたちに根付き始めており、中学生が運営補助、グループリーダーとして参加してくれるようになってきている。様々な魅力がある地域での活動の中で、そうした中学生の姿は小学生にとっても活動を主体的にする要因の1つにもなっている。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 地域住民が講師や運営スタッフとして参加する輪が広がりにつあるため、そうした広がりから運営面も考えながら、事業を組み立てる。</p>						
その他	KGC自然塾キャンプ	市・地	1	60	60	60	9月24日	開催会場
	実施内容	<p>3者で実行委員会を組織し、上村小学校の児童が地域住民から地域資源を学ぶ自然体験キャンプを組み立て、保護者、学校、地域の三者が協力して子供の育ちに参画し、子供たち主体的な学びを支える意識づくりをする。遠山3校のエネコススクール登録をきっかけに3者がさらに学校の魅力を意識・共有できる機会とする。</p> <p>【実施内容】 当初7月に実施計画をしたものの、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、9月に延期し宿泊なしの日程に計画を変更した。延期になったことで、PTAと地域が準備等で関わる時間が増え結果には密度の濃い事業となった。自然体験の講師では地元講師による話を受け、遠山郷エコ・ジオパークをフィールドにしたものとなった。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 保護者、学校、地域の三者で子どもたちの育ちについて考えながら、上村の美しく豊かな自然と、地域の一人に触れられる内容のキャンプを実施していく。</p>						
その他	自然環境学習会	市・地	1	6	6	368	4月12日	開催会場 上村地区内お茶畑
	実施内容	<p>遠山郷いぜんとあそぼうプロジェクトどんぐり隊と共催で、地域の特産品であるお茶の栽培について学習会を実施。お茶の栽培は地域の自然環境や気候に合ったものであるが、地域ではお茶の栽培が少なくなりつつあり、手入れのされていない畑もある。お茶の栽培学習に興味関心のある地域の若者を対象に、長野県の農地整備課職員を講師に、「一切り更新」を中心に、お茶畑に出て学習会を実施した。</p> <p>【成果と課題】 地域特産のお茶を学びたいという若者たちの思いが高まっている。栽培を通じて自然環境等の興味関心にもつなげていく必要がある。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 引き続き参加した住民の活動を支援しつつ、継続した学びを行う。</p>						

南信濃公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	地域の明日を考える学習	市・地	継続	1	15	-	1,202	10月30日	静岡県浜松市天竜区
	地区住民対象に、現在の地域の状況をみつめながら、これからの地域を考える機会をつくる	<p>これからの遠山郷の地域づくりや振興策を考える学習を進め、地域全体で取り組む方向性や住民一人ひとりの役割を確認する機会。</p> <p>過去の館報を活用しながら地域の偉人に学ぶ機会の創出。</p> <p>特殊要因30千円計上中。報償費20千円(50千円×4名)</p> <p>遠山常民大学(社会教育関係団体)と共催し、フィールドスタディを開催。</p> <p>静岡県浜松市天竜区水窪町の高根城跡、西浦観音堂、足神神社などを訪ねる視察研修を実施。</p>							
学級・講座	未就園児とその親を対象に、子どもの成長発達の確認、子育てに関する知識の習得、親同士の仲間作り、子どもの社会性の育成を図る	市・地	継続	12	4	2	1	実施内容参照	和田保育園ほか
	遠山2地区の保健師・保育士・公民館で計画し、年間を通して講座を実施。事業企画にあたっては親の意見も取り入れながら、主体的な活動となるようにしていく。対象者が保育園への未就園児保育を利用しているため、保育園と連携を図る。 <p>(報償費30千円、消耗品費千円)</p> <p>①5/17はじめてまして！みんなまで遊ぼう②6/1さつまいも植え(和田小合同)③6/7泥んこ遊びをしよう④7/5リトミック・上村及び南信濃合同⑤7/15和田保育園夏祭り⑥8/6人形劇フェスタに参加しよう(中止)⑦8/9水遊び⑧リトミックで体を動かして遊ぼう⑨10/13人形劇公演「人形劇団むすび座」・上村及び南信濃合同⑩さつまいも掘り(和田小合同事業)⑪わらべ歌遊び・親子で触れ合おう(中止)⑫11/10焼き芋大会⑬12/16クリスマスお楽しみ会&リトミック・上村及び南信濃合同⑭1/17絵本読み聞かせ(中止)⑮3/7パン作り・閉講式</p>								
学級・講座	女性学級	市・地	継続	1	29	29	18歳以上女性	実施内容の通り	開催会場 南信濃学習交流センター
	地域の女性を対象に、地域の課題に目を向け、学習・交流の機会の提供を図る。	<p>女性(18歳以上)を対象に学習と交流の機会を図る。</p> <p>①茶話会【中止】</p> <p>②12月25日フラワーアレンジメント講座 講師:ラブリ 伊藤篤さん(報償費10千円)</p> <p>お正月の花飾りわたり流しにアレンジする生け花講座。参加者同士の交流により、日常生活の様子を会話したり、お互いの近況を語り合う場。</p>							

南信濃公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	図書分館との合同事業	市・地	継続	28	392	-	1,202	実施内容の通り	南信濃学習交流センター
	<p>①本を読む機会をつくり、より親しみをもってもらうために、スタンブラリーを実施する。②親子読書講座を開催し、読み聞かせを通じて家庭内における親子の時間をつくる。③興味を持ちそうな本を掲示して興味関心を持ってもらい、本を身近に感じてもらう。</p> <p>お楽しみ会講師報酬費10千円(5千円×2回)、消耗品30千円</p> <p>○7/9楽しみ会</p> <p>①やまざと親子留学家庭のバウアーさんによる英語の紙芝居②荅アートづくり</p> <p>○夏休み期間中に園児と児童対象に読書スタンブラリー実施。</p> <p>・10冊読破した子どもに賞状や好きな本をプレゼントした。(和田保育園4名、和田小学校5名)</p> <p>※10冊読破のなかに1回は保護者による読み聞かせ回を入れて家族の時間づくりとして組み入れた。</p> <p>○10/26ハロウィン和田保育園訪問読み聞かせ</p> <p>○12/7 クリスマス会</p> <p>サンタクロース役高校生</p> <p>○隔週火曜日9時～10時まで和田小学校図書館勤務(読み聞かせと本の貸出業務)</p> <p>○月1回出張貸出(高齢者アパート、デイサービス及び作業所)</p>						<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書スタンブラリーは昨年度に引き続き、親子に好評で本に親しむ機会を創出できた。 ・地域の実態を捉え、留学家庭との交流や高校生の参画による地域参加を意図的に働きかけ、楽しさを創発することができた。 <p>【次年度の方向性と取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> □拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 □縮小 たくさんの本に出会い、心を豊かにする機会や親子読書事業の取り組みを強化し、希薄化している親子の時間を創り上げていく。 		
	<p>目的</p> <p>小学生を対象に、自然・歴史・文化など地域に溢れる資源を学ぶことで、地元に着目して人づくりを図る</p>								
学級・講座	書き初めの宿題をやる会	市・地	継続	1	19	-	52	12月28日	南信濃学習交流センター
	<p>目的</p> <p>小学生及び中学生を対象に、習字を通して基礎習得や集中力を養い、学習する意欲向上を図る。</p>						<p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育関係団体で関わりのある先生を講師に招き、指導を依頼した。昨年度参加者の集中力が向上している。など、子どもの育ちに評価いただいた。 ・昨年お呼びできなかった静慈彰先生を招き、書の楽しさを学ぶことができた。 <p>【次年度の方向性と取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> □拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 □縮小 字と向き合うということは己と向き合うことでもある。自己研鑽できる場として継続したい。 		
	<p>目的</p> <p>南信濃の子どもたちにつけて欲しい力として、「粘り強く、やり抜く力」というキーワードが挙げられたことから、子どもたちに習字のコツを掴むことや、集中力及びやり抜く力を育む機会として実施した。</p> <p>講師①可児祐加先生 講師②静慈彰先生(高野山真言宗大僧都 南福寺住職、かつ書家として活動。)</p>								

南信濃公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	わら細工講習会	市費	継続	1	34	40	40	40	12月2日	和和小学校
	地域住民を対象に、地域に根付く伝統文化の探求学習による郷土敬愛を図る。	和和小学校5年生が総合学習で行う「米づくり」の成果発表の場と、収穫後の実際のわらを使う。地元住民が講師となっておやつづくりを実施し、正月飾りの風習の継承事業とする。 子どもだけでなく、先生も一緒に学ぶ機会である。 講師：西森皇謙さん、遠山昌宏さん	継続	1	34	40	40	40	12月2日	和和小学校
文化事業	ふるさとコンサートin遠山郷	地区費	継続	1	49	-	1,202	1,202	7月16日	南信濃公民館
	地区住民を対象に、プロの音楽を楽しむ機会とする。子どもたちに優れた音楽に親しんでもらう。	企画を通じ普段聞くことのできないプロの演奏会を開催。プロの演奏家がトリオFlorescerとして、名曲を披露。遠山中学校吹奏楽部がオーブニング演奏。終了後には生徒に対してクリニックを実施。	継続	1	49	-	1,202	1,202	7月16日	南信濃公民館
文化事業	天体観測会	市・地	継続	1	18	-	1,202	1,202	12月6日	南信濃B&G海洋センター
	住民を対象に天体観測を通して環境問題への意識と自然保護活動について学ぶ	南信濃B&G海洋センター敷地内にある天体望遠鏡を有効活用し、ここに暮らす住民の皆さんが、自然豊かな遠山郷を具体的に体感する事業として、天体又は星空観察会を企画する。 また、天体や星空の学習を深めることと天体望遠鏡の利活用を推進することで、ふと見上げる夜空がより、心の癒しや豊かさにつながる事業とする。 講師：飯田市美術館学芸係 川手 俊美 氏	継続	1	18	-	1,202	1,202	12月6日	南信濃B&G海洋センター

南信濃公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	南信濃みんなにっこり大運動会	地区費	新規	7	500	-	1,202	実施内容の通り	南信濃B&G海洋センター他
体育事業	<p>和田小学校児童数減少に伴い、単独開催の運営が困難なことから地区市民運動会と合同開催。</p> <p>名称は和田小学校6年生を中心に児童たちで考案した。</p> <p>令和2年から準備会を立ち上げ、学校、保護者、そして公民館が連携して開催に至った。</p> <p>【準備会】</p> <p>①4/11②5/9③7/11④9/2⑤11/14(振返り会)</p> <p>【運動会】</p> <p>①10/8(前日準備)②10/9(当日)</p>								
	目的	<p>地域住民を対象に、健康増進・コミュニケーション機会の提供を図る。</p> <p>【成果と課題】</p> <p>長きにわたって準備を整え、無事に開催できた事実により喜びを分かち合うことができた。</p> <p>児童の生き生きとした姿、地域住民に先生方の顔が見える機会、中学生や高校生がボランティアスタッフとして活躍する姿、孫を懸命に応援する姿等々、名称の通りみんなにっこりであった。</p> <p>初の開催並びにコロナ禍で3年ぶりの運動会であったため、入念な準備をしたつもりでも不備は多々あったが、委員さん同士助け合いながらやり遂げた。</p> <p>【次年度の方向性と取り組み】</p> <p>□拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 □縮小</p> <p>振り返りで整理した申送り事項を年度初めに確認し、今年度の基盤を十分に活かす。</p>							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	館報やまなみ発行	地区費	継続	5	30	6	1,202	実施内容参照	南信濃学習交流センターほか
広報事業	<p>年間4回発行、地域のお知らせ、事業の記録、地域の話題をお伝えする。</p> <p>第201号6月30日発行 遠山郷助っ人名鑑 ※上村公民館広報委員会合同発行</p> <p>第202号11月17日発行、号外(運動会特別号)12月1日、第203号2月16日発行、第204号3月16日発行予定</p> <p>シリーズ:「匠人シリーズ」「特集記事」「みなみしなのこのもたち」「タイムカプセル」～30年後の君へ～」「館報編集委員が見た“まち自慢”」「4コマ マナミ戦隊トオヤマジャー」「てんぐのくしやみ」</p>								
	目的	<p>地域の方を対象に、情報発信、地域の情報共有を図り、地域課題提起などを通じて当事者意識を持ち、考え、行動できる人づくりを図る。</p> <p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区史上初、地区と小学校の合同運動会が開催され、記録と共に記憶に残る特集号の作成ができた。 ・1面の匠人は人にフォーカスをあて、取材しており、委員さんにとっても学びの場となっている。 ・年度初号の上村公民館合同発行による遠山郷助っ人名鑑は住民からも喜ばれている。 <p>【次年度の方向性と取り組み】</p> <p>□拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 □縮小</p> <p>住民の皆さんが読みたいと期待する館報づくりを継続して取り組む。</p>							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ウエルカムティーパープロジェクト	市・地	継続	10	150	-	1,202	実施内容参照	地区内ほか
CS協働事業	<p>昔から学校で取り組んできた「遠山銘茶」わだつ子茶」の収穫・製品化を3者が協働して実施する。併せて、学校運営協議会を軸に、他団体と協力しながら実践を通じた和田小学校及び地域の魅力発信を行い、子どもたちの郷土愛を醸成するとともに、地域の魅力化につなげる。</p> <p>5/9,7/11,10/13,12/23,2/28 和田小学校学校運営協議会</p> <p>4/17松島茶畑撤去作業</p> <p>5/22お茶摘み</p> <p>9/24お茶販売(品川学園交流)</p> <p>11/20お茶販売(和田宿秋の街道縁日)</p> <p>10/23お茶販売(天竜峡マルシェ)</p>								
	目的	<p>学校・家庭・地域が協働して特色ある教育活動を推進し、児童がふるさと「和田・飯田」の良さを実感して、郷土を愛する心を育み、地域づくりを担う人材育成を図る。</p> <p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童数減少に伴い、児童たち自らが「友達が増えるように和田小の魅力発信したい。」、「遠山のお茶をたくさんの人に知ってもらいたい。」と、和田小学校さらには南信濃の魅力発信する子どもたちの想い(熱量)はお茶販売やメディア取材の応対などの数々の現場からうかがい知ることができた。 ・活動領域が地区内はじめ、都心にも広がりが活動できたことで大きな喜びと達成感を味わうことができた。 <p>【次年度の方向性と取り組み】</p> <p>□拡充 <input checked="" type="checkbox"/>現状維持 □縮小</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元青年に茶畑管理を委託し、必要数の確保に取り組んでいるが、過度な負担にならないよう、PTAとの連携について検討していく。 							

南信濃公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	第25回南信濃芸術祭	事業区分	継続	1	-	-	1,202	実施内容の通り	南信濃公民館
	【廃止】 作品展示にとどまらず、芸能発表やものづくり講座といった動きのあるものを取り入れるなど、若者参画の機会をつくりながら実施する。 【代替新規事業】 特別展示ブース設置 ①遠山ふじ糸伝承の会 11/17～28 ②市川草典さん油彩 4/1～10予定	地区費	継続	1	-	-	1,202	実施内容の通り	南信濃公民館
その他	目的 地域住民を対象に、芸術の振興と交流拡大の機会の提供を図る。	地区費	継続	1	-	-	1,202	実施内容の通り	南信濃公民館
	【成果と課題】 ・郷土を代表する画家の故北島新平氏や面打ち師の故村松康夫氏等が中心となって、地域の芸術文化を振興し盛り上げていこうとの想いの中で立ち上げられ実行委員会形式で開催し、毎回多くの作品を展示・発表する貴重な機会となっていました。 しかしながら、地元の芸術を愛する皆さんや手芸等の趣味の皆さんの高齢化とともに、これを引き継いでいく次の世代の担い手が育成できなかつたことなど、芸術祭の本来の目的に向けた今後の開催が困難であると判断した。(実行委員会判断)	地区費	継続	1	-	-	1,202	実施内容の通り	南信濃公民館
その他	目的 地域住民を対象に、自然保護に対する意識の向上とその環境保全学習で共生の意義を学ぶ。	地区費	継続	1	-	-	1,202	実施内容の通り	南信濃公民館
合同事業	遠山郷フォーラム	市・地	継続	1	125	-	1,570	2月25日	上村小学校体育館
合同事業	人口減少が顕著な中、住み続けられる地域づくりを進めていくうえで、地域を支える人材育成が重要となっており、地域に愛着を持った地域の担い手を育成していくために、遠山郷内外とのつながり等、様々なつながりから遠山郷が一丸となり、さらに推進力をもつて動き出せる機会としてフォーラムを開催する。協力：立教大学ESD研究所 第1部 遠山郷二園三校ブランドゼインの紹介 ・遠山三校絆プロジェクトの活動報告 ・ご来賓(立教大学ESD研究所)よりご助言、ご提言 第2部 社会教育と地域活動グループの実践発表 ・「歴史を学び今を生きる～大人の学舎～」 遠山常民大学(南信濃) ・「伝統文化の継承～次世代へつなぐ響～」 上村青年会議(上村) 第3部 未来の学校のあり方(地域をつなぐ学校の存在) ・飯田市教育長より講演	市・地	継続	1	125	-	1,570	2月25日	上村小学校体育館
合同事業	目的 上村・南信濃地区住民及び学校・保育園関係者を対象に、両地区の様々な取り組みをお互いに知り合い、繋がりがりや連携の必要性を考慮する機会をつくる	市・地	継続	1	125	-	1,570	2月25日	上村小学校体育館
合同事業	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 引き続き、芸術を愛する皆さんの作品や工芸品の発表の機会を支援し提供することを目的として、特設ブースを設置し要望に応える。	市・地	継続	1	125	-	1,570	2月25日	上村小学校体育館
合同事業	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 両地区のまちづくり及び公民館共催事業と位置付けているが、行政主導は否めないところである。住民参画の元、遠山3校並びにPTAと連携した事業展開を図る。	市・地	継続	1	125	-	1,570	2月25日	上村小学校体育館
合同事業	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 親子留学家庭の参加があり、はじめての方もこれまで参加した方も、改めてブッポウソウのいろはを学習した。他の珍しい鳥も生息していることから、自然や景観の保護に対する意識をもつことができた。講師が代表を務める会の会員数増加につなげる機会になった。	市・地	継続	2	38	-	1,202	実施内容の通り	地区内
合同事業	【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 陸の豊かさを守るうえで、大切な保護活動として継続していく。	市・地	継続	2	38	-	1,202	実施内容の通り	地区内

南信濃公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	夏・春休み子ども見守り事業	自磨の時間	地会計	14	359	35	79	実施内容のとおり	南信濃学習交流センターほか
	目的	7/27～8/23日までの15日間、上村公民館と共催で、長期休暇を利用し、地域資源を活用した体験型学習を展開。また、長期休暇中の受け皿を地域住民とともに作る意識醸成を行う。保護者・地域ボランティア及び学校が連携し地域ぐるみで子どもを育む実践活動として行う。※コロナ感染拡大にともない8/10までの10日間開催。 【成果と課題】 当事業が子どもたちに根付き始めており、中学生が運営補助、グループリーダーとして参加してくれるようになってきている。様々な魅力がある地域での活動の中で、そうした中学生の姿は小学生にとっても活動を主体的にする要因の1つにもなっている。	継続	14	359	35	79	実施内容のとおり	南信濃学習交流センターほか
合同事業	実施内容	7/27～8/23日までの15日間、上村公民館と共催で、長期休暇を利用し、地域資源を活用した体験型学習を展開。また、長期休暇中の受け皿を地域住民とともに作る意識醸成を行う。保護者・地域ボランティア及び学校が連携し地域ぐるみで子どもを育む実践活動として行う。※コロナ感染拡大にともない8/10までの10日間開催。 【成果と課題】 当事業が子どもたちに根付き始めており、中学生が運営補助、グループリーダーとして参加してくれるようになってきている。様々な魅力がある地域での活動の中で、そうした中学生の姿は小学生にとっても活動を主体的にする要因の1つにもなっている。	継続	14	359	35	79	実施内容のとおり	南信濃学習交流センターほか
	目的	見守り・生徒を対象に、自然・歴史・文化・人などの地域に溢れる資源を活用した学びにより、地元に着目して愛着が持てる人づくりを図る。	継続	14	359	35	79	実施内容のとおり	南信濃学習交流センターほか
合同事業	遠山地区二十歳の集い	事業区分	市・地	4	84	-	14	実施内容の通り	南信濃地域交流センター他
	目的	統合遠山中学校区となり、南信濃公民館合同開催。新成人の興味関心から地域学習のテーマを決定して、取り組む。新成人、文化委員会、企画委員会で実行委員会を組織して、企画・運営を行う。 【主な活動内容】 9/17成人式実行委員会①(オンライン会議)、11/26地域学習(オンライン)、12/28実行委員会②及び記念品づくり、1/8式典当日	継続	4	84	-	14	実施内容の通り	南信濃地域交流センター他
合同事業	目的	新成人を対象に、地域が新成人を祝福し、新成人が家族・地域への感謝を表す場、改めて地域とのつながりを感じるきっかけとする。	継続	4	84	-	14	実施内容の通り	南信濃地域交流センター他
	目的	新成人を対象に、地域が新成人を祝福し、新成人が家族・地域への感謝を表す場、改めて地域とのつながりを感じるきっかけとする。	継続	4	84	-	14	実施内容の通り	南信濃地域交流センター他
合同事業	リラックスヨガ講座2022	事業区分	地区費	10	96	-	1,202	実施内容の通り	南信濃学習交流センター他
	目的	健康福祉部会と共催。ヨガを通じて健康づくり、仲間づくりが目的である。 講師：中村陽子先生 消耗品20千円 ①5.14②6.25③7.24(中止)④8.31⑤9.10⑥10.19⑦11.17⑧12.19⑨1/19⑩2/16⑪3/2	継続	10	96	-	1,202	実施内容の通り	南信濃学習交流センター他
合同事業	目的	地域住民を対象に、健康増進・コミュニケーション機会の提供を図る。	継続	10	96	-	1,202	実施内容の通り	南信濃学習交流センター他
	目的	地域住民を対象に、健康増進・コミュニケーション機会の提供を図る。	継続	10	96	-	1,202	実施内容の通り	南信濃学習交流センター他

Aブロック公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	旧市5地区野球大会	事業区分 地区費	1	104	104	8チーム	5月8日(日)	県民押洞グランド
ブ ロ ッ ク 事 業	旧市5地区の住民を対 象に野球を通じての交 流を目指す。 実施内容 旧市5地区の住民で結成されたチームによる対抗戦。橋北、橋南、丸山から1チーム、羽場から2チーム、東野から3チームの合計8チームが参加。事前に代表者会を行い、開催要項の見直しやルールの確認を行った。 期日:5月8日(日) 会場:県営押洞グランド 結果:1位:橋北、2位:丸山、3位:羽団扇	継続						
区 分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	Aブロック広報・館報研修会	他会計	1	28	28	16,274	11月17日(木)	飯田市公民館
ブ ロ ッ ク 事 業	旧市5地区の公民館報・まちづくり会報作成委員を対象に作成技術向上と交流を目指す。 実施内容 毎年1回研修を開催している。今年度はコロナ禍であっても毎月発行されている龍江地区の新聞部の方をお呼びして、コロナ禍での発行についての悩みや、その解決方法、工夫について考える機会とした。また、丘の上5地区の広報・館報を持ち寄り、見所や自慢を紹介し合う時間を設けた。 話題提供:龍江新聞部 部長 塩澤成人さん	継続						
区 分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	Aブロックシニア・レディースソフトボール大会	地区費	2	120	60	4チーム	5月22日(春季)、11月3日(秋季)	押洞運動場、東中校庭
ブ ロ ッ ク 事 業	旧市5地区の市民(高齢者と女性)を対象にソフトボールを通じての交流を目指す。 実施内容 旧市5地区にある60歳以上ソフトボールチームによる対抗戦。女性の参加も可としている。丸山はチームが解散したため、4チームでの試合を実施した。 【実施概要】 ・春季大会 当番:橋北 期日:5月22日 場所:押洞グラウンド 結果:1位:東野、2位:橋南 ・秋季大会 当番:橋南 期日:11月3日 場所:飯田東中学校校庭 結果:1位:東野、2位:羽場	継続						
区 分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	丘の上スポーツ大会(ポッチャ交流会)	他会計	1	65	65	16,274	3月5日(日)	丸山小学校体育館
ブ ロ ッ ク 事 業	旧市5地区の住民を対 象に、ニュースポーツの 普及のための講習と交 流を目指す。 実施内容 5地区体育部長、スポーツ推進委員、主事が中心となって企画・運営。今年度も飯田市スポーツ推進委員として普及に取り組みポッチャを、Aブロックでも普及させようとして実施した。 参加チーム:20チーム(各地区より4チーム) 【検討経過】 9/15体育部長・スポ推・主事打合せ	継続						

Aブロック公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	第25回Aブロック芸能祭	地区費 継続	1	300	16,005	16団体	6月12日	飯田市公民館
	目的 旧市5地区で活躍する団体を対象に芸能発表および交流の場となることを目指す。							
	実施内容 2年に1回の開催。第24回(2年前)がコロナにより昨年度に延期。昨年度もコロナにより中止となっているため、4年ぶりの開催となった。例年、吾妻町の飯田市公民館で行っていたが、移転に伴って、ムトスプラザを会場として実施した。 参加団体:16							
ブロック事業								
	評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 昭和53年の第1回芸能祭より使用し続けていた飯田市公民館のホールと比較して、小さな会場であったが、その分観客と発表者との距離が近く、観客の反応を間近に感じることができた。運営については、初めての場所ということもあって、手際が難しいこともあったが、5館が協力し合いながら実施できた。							
区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	Aブロック女性バレーボール大会	他会計 継続	-	-	-	60	6月(中止)、10月(中止)	丸山小学校体育館
	目的 旧市5地区公民館に所属するバレーボールチームを対象にバレーボールを通じての交流を目指す。							
	実施内容 各館所属のバレーボール団体のリーグ戦による交流試合。例年、春季大会(6月)と秋季大会(10月)を開催していたが、今年度は中止となった。 【検討経過】 各地区で聞き取り調査を実施							
ブロック事業								
	評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 聞き取り調査を行うことで各地区のバレー団体の実状をまとめることができた。バレー団体の交流の場、試合をすることで刺激になり、練習の活気につながるとしてきたが、大会の在り方・継続するかを検討する必要がある。							
区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	丘の上中学生講座(丘ゼミ)	地区費 継続	2	15	10	422	1月6日、3月27日	羽場公民館
	目的 飯田東中・西中生徒を対象に、地域の中で自らが主体となる活動を計画・実行する中で、自主性や地域への愛着、協調性を育む。							
	実施内容 今年度も西中生のみの参加であったが、中学生が主体的に活動し、交流を深めることができた。 【第1回】 日にち:1月6日(金) 参加者:8名(西中生のみ) 会場:羽場公民館、元山白山神社 内容:カレー作り、ゲーム大会、肝試し 【第2回】 日にち:3月27日(月) 参加者:7名(西中生のみ) 会場:羽場公民館 内容:洋菓子づくり 講師:武田萌来さん(パティシエ)							
ブロック事業								
	評価 【次年度の方向性と取り組み】 □拡充 □現状維持 □縮小 最初から東西合同ではなく、東中生だけで企画・実施する経験を重ね、前向きな気持ちにさせるなど、東中生の参加のハードルを下げる工夫をしていきたい。最終的には東中生と西中生が地域の大人と一緒に企画を考えて実施するような講座							

Bブロック公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
Bブロックスポーツ交流会			地区費	継続	1	45	45	102	11月27日	鼎小学校体育館
目的	5地区のスポーツ推進委員、体育部長が中心となり企画運営した。 種目：ポッチャ 参加チーム数：上郷2、鼎3、座光寺1、山本1、伊賀良2									
実施内容	公民館体育部、スポーツ推進委員を対象に ニュースポーツの普及、浸透、他地区との交流を目指す									
評価	【成果と課題】 飯田市スポーツ推進委員会が重点的に取り組んでいるポッチャを各地区に広め るきっかけとす。他地区のルールや運営について学び、5地区の体育部の皆さんが 交流することにより、他地区の様子や状況を学ぶ機会となった。ポッチャ交流会の当日 は普段運営にまわることの多い体育部、スポ推の皆さんがスポーツを楽しむ、交 流する機会となった。また、交流会開催に向けた打合せでは、各地区の体育事業 の実施状況や地区の雰囲気、悩み事について意見交換することができ、貴重な時 間となった。		【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 次年度も継続の要望もあから5地区で連携し、検討していきたい。							

Cブロック公民館の事業報告

区分	事業名		予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
Cブロック情報交換会			地区費	継続	1	51	51	176	7月2日	上村地区内
目的	Cブロック公民館委員(文化・体育・広報・育成等)を対象に、委員同士の研 修・研鑽、他地区の事業や取り組み(手法)を知るとともに、各館の新たな事 業の展開など、更なる自主的な活動への発展を図ることを目的とした情報交 換会を、当番地区の持ち回りで開催。 【主事会】4/12.5/11 【館長主事会】5/11 ○全体会 「下栗遊歩道・ビューポイントの経緯」 下栗里の会 野牧 武 氏 ○分科会 ①文化・育成 木沢地区の地域づくりの実践に学ぶ ②体育 ニュースポーツ体験「ポッチャ」 ③広報 地区内広報に関する情報交換会		【成果と課題】 ・全体会では、ビューポイントの経緯を説明後に散策。地域の方の努力により整 備、環境が保たれた散策路を、下栗案内人のガイドを交えて歩いた。分科会 では研修・情報交換として担当地区委員がテーマを設定し、企画運営を主体的に 実施。全体会、分科会をとおし地区を超えた交流・情報交換も行ったと参加者から 振り返りがあった。							
実施内容	ブロック内の公民館委 員を対象に、委員同士の 研修・研鑽・情報交換 を目的に開催する。		【次年度の方向性と取り組み】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 ・情報交換会後の懇親会はコロナのため実施を見送ったが、来年度以降も引き続 き情報交換会として、分科会を設け担当地区委員が企画運営を主体的に行えるよ う内容を検討しながら実施していきたい。							

Dブロック公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
ブロック事業	Dブロック広報事業情報交換会	0円	継続	1	9	9	10	8月31日(水)	龍江公民館
	目的	<p>5地区公民館の広報部長(委員長)及び新聞部長が、自分たち作成した館報、新聞の紹介や魅力を伝えながら、魅力ある紙面づくりや今の悩み等について情報交換を行った。</p> <p>《内容詳細》</p> <p>①自館の館報新聞のおすすめポイント、魅力</p> <p>②情報交換(悩みごと、紙面作成上の工夫、他の地区に聞いてみたいことなど)</p>							
ブロック事業	Dブロック小学生交流	地区費	継続	-	-	-	200	8月11日(中止)	神之峰城址ほか
	目的	<p>Dブロック館長・主事が主催し、地区住民の方に協力いただきながら8月11日に上久堅の神之峰城址で実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。</p> <p>《実施内容》</p> <p>宝探しをしよう！、すいか割りをしよう！、大ジャポン玉を飛ばそう！</p> <p>《検討経過》</p> <p>6/14 Dブロック主事会</p> <p>6/30 Dブロック館長・主事合同会議</p> <p>7/5 Dブロック主事会</p> <p>7/28 主事事前打ち合わせ・現地地下見</p>							
ブロック事業	Dブロックバドミントン大会	地区費	継続	1	50	50	8,611	10月2日(日)	竜峡中学校体育館
	目的	<p>上久堅、千代、龍江、川路、三穂のバドミントンクラブが参加し交流戦を実施した。</p> <p>【順位】 優勝:川路 準優勝:上久堅 3位:龍江 4位:千代 5位:三穂</p> <p>※チーム代表者などで、試合方法の検討や大会要項の検討を行い、参加者による自主的な大会運営ができています。</p>							
ブロック事業	Dブロック交流スポーツ大会	地区費	継続	1	33	33	8,611	2月26日(日)	龍江小学校体育館
	目的	<p>種目をポッチャ、インドアモルック、インドアクックとし、交流大会であることに主眼を置き開催した。</p> <p>共催:飯田スポーツ推進委員協議会</p> <p>種目:ポッチャ、インドアモルック、インドアクック</p>							

飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
昭和 22以前				21.7公民館設置次官通牒 憲法・教育基本法・自治法
23	飯田市公民館設置 (館長は市長兼務)	講演会等さかん ナトコ巡回映画 青年補習学校(7)	生活合理化展共催	教育委員会法
24	社会教育法公布		スクエアダンス普及	
25			青年演劇 コンクール(郡公)	図書館法 文化財保護法
26				博物館法(学芸員設置) 下伊那公民館主事会発足
27	市営球場建設			下伊那公運協脱会
28		青年学級(8) 天龍峡夏期大学	館建設基金 バレエ公演	青年学級振興法施行
29	中央公民館落成	婦人学級始まる		
30		婦人文集活動興る		
31	地区公民館8館並立 (専任主事8人) 公民館条例制定			第1回町村合併1市7ヶ村 市図書館条例制定 市連合青年団結成 地方教育行政の組織及び運 営に関する法律制定
32	市公民館処務規則			市図書館分館規則
33		通信教育学級開設		体育施設条例
34	告示「公民館の設置運営 に関する基準」 社会教育法一部改正	ラジオ婦人学級 開設		
35	市民プール落成	政治学習興る		
36	公民館9館並立となる (社教主事1人公民館 主事9人) 使用料条例			4月川路村編入合併 6月梅雨前線集中豪雨災害 過疎地域の人口流出目立つ スポーツ振興法 テレビ普及
37			第1回公民館大会	農村部人口流出続く
38	松尾公民館使用料条例 社教主事設置1	商業青年学級開設 国庫補助事業で家庭教育学 級始まる	第2回公民館大会	地域開発の声おこる 文部省：進展する社会と公民館
39	地区公民館12館並立 地区公民館使用規則	青年学級(6)	県公民館大会飯田開催 (市公大会合流)	上久堅、千代、龍江の3ヶ 村、市に合併
40		青年学級(11) 母親文庫(14グループ)	歩こう会始まる	下伊那テーゼ「公民館主事の 性格と役割」発表
41			母親バレエボールさかん	文化財保護条例制定 市、地財法準用
42	下久堅虎岩分館設置	松尾学童クラブ開設		全公連「公民館のあるべき 姿・今日的指標」発表
43	旧市、5地区館設置で 16館並立となる (公民館主事14人)	青年学級減少(5)	成人式8月実施 早起き野球、体操祭さ かん	体育指導委員設置規則
44			青年文化祭(市連青)	
45		文部省囑託で婦人学級		旧小笠原書院条例制定
46	公民館主事に社教主事 を補職 1人 青年学級規則 松尾水城分館設置		文部省委囑事業[公民 館運営基準研究]始まる 地区市民運動会さかん	社会教育審議会答申「急激な 社会構造の変化に対処する社 会教育のあり方について」

飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
47	県民運動広場管理 社会教育指導員設置 松尾明分館設置	青年セミナー開設	公民館芸能祭始まる	飯田文化会館開所
48	飯田市公民館運営基準 研究報告書作成（4つ の運営原則を打ち出 す）	高齢者教室開設(2) 市民セミナー開始 主事会報創刊10月	県民体育飯伊大会	
49	山本公民館建設 松尾新井分館設置	市民セミナー全地区で実施 竜丘でモデル婦人学級	地区文化祭さかん	社会体育係長設置 社会教育課に青少年係設置 少年補導センター設置 考古資料館開所
50	市公民館改築工事始まる 竜丘公民館建設	龍江でモデル婦人学級 高齢者教室(6)	青年スポーツ祭始まる 母親バレーボール大 会、社会教育課から公 民館へ	市財政悪化 夜間照明施設9ヶ所 学校夜間無人化 公民館支所宿直廃止 スポーツ主事設置 社会教育課に国体準備事務 局設置
51	飯田市公民館竣工 竜丘公民館竣工 公民館が社会教育機関 として独立（副館長制 となり、市公に管理 係、指導係を設置）	松尾でモデルセミナー 座光寺でモデル婦人学級 母と子の公民館活動はじま る（旧市5館）	趣味の教室さかん 市公民館開館記念行事 として郷土日本画家遺 作展及び遺作集刊行 OB野球大会	学校施設開放始まる
52	下久堅公民館竣工	セミナー学習活発となり、 各地で地域課題への取組み が広がる。 市民大学講座、乳幼児学級 始まる。	優良公民館として文部 大臣表彰受賞	市民憲章制定 第3次全国総合開発計画策 定
53	旧市ではじめての単 独館羽場公民館竣工	健康学習広がる 運営委員会方式の学級運営	県公民館大会が飯田市 で開催	やまびこ国体 市制40周年 第2次基本構想・基本計画 策定 教育委員会に教育次長を設 置
54	丸山公民館竣工 千代公民館竣工	地区公民館でも地域に根ざ した大学講座開設の動き	人形劇カーニバル始ま る	地方の時代、文化の時代 ビデオ機器が普及 社会教育委員設置 社会教育功労者表彰規定設 置 飯伊がモデル定住圏に指定 される 中教審「地域社会と文化に ついて」答申
55	上久堅公民館竣工	セミナー学習が発展し、地 域計画づくりの動きも表わ れる	健康学習がブームに	
56	川路公民館竣工	福祉テーマの学習活動が始 まる	高齢者の文集づくりさ かん	中教審答申「生涯教育につ いて」 新飯田市立図書館竣工
57	龍江公民館竣工	天竜峡夏期大学30周年 成人男性を対象とした学習 も ビデオ利用の放送利用学習		
58	三穂公民館竣工	少年対象の学習始まる		国土庁定住構想推進調査 「地域文化の振興に関する調 査」が行なわれる
59	東野公民館竣工	「ふるさと再発見」をテーマ にいくつかのプロジェクト 事業を実施	人形劇グループの育成 飯田線教室 風越百景児童絵画展	鼎町と合併 風越山麓研修センター開所 飯田市が非核平和都市宣言

飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
60	橋北、橋南公民館独立 市公主事配置 座光寺公民館竣工 公民館予算2億に	明日の親の学級をはじめ、 各地で家庭教育学級さかん 市民大学講座「伊那谷の自然と文化シリーズ」始まる 天文教室各地で実施	カーニバル事務局が公民館に 綱引き大会広がる	学校開放夜間照明有料化
61		親子対象の学習活動さかん 平和を考える婦人の集い開催 ハレー彗星観測会	放送利用中南地区研修会開催 ビデオ機器が充実 市民ギャラリー設置 郷土日本画家遺作展	
62	伊賀良公民館竣工 社会教育主事7人	主婦の再就職準備 セミナー、高校生講座始まる	松下財団の視聴覚教育研究事業 世界フェス事務局設置	第4次全国総合開発計画策定 第3次基本構想、基本計画策定 体育課設置 美術博物館建設始まる 人形劇場建設始まる
63		家庭教育地域交流事業を受けて全地区で家庭教育に取り組む 情報活用能力育成講座	世界フェス開催 主事全員がフェス事務局を兼務 フェス終了後カーニバル事務局が文化会館へ移行	人形劇場竣工 文化会館竣工 生涯学習モデル市町村の指定を受け「生涯学習のまちづくり推進本部」設置
平成元	松尾公民館竣工	魅力ある地域づくりのためのプロジェクト事業始まる(むこう3ヶ年)	郷土日本画家6人遺作展 成人式1月開催に変更	飯田市美術博物館が開館
2			地域文化フォーラム企画課から事務局移管 人形劇サークル創設 育成事業 飯田市公民館大会学習交流都市構想の発表集会を兼ねて開催	生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律制定
3		マップづくりさかん	県主事総会飯田市で開催	婦人行動計画策定作業始まる
4	公民館使用料金改定	平和学習事業費が予算化され、平和学習の内容強化が図られる 主事会に事業別プロジェクト体制	県公民館大会、飯田市で開催	新市立病院竣工 信州飯田女性プラン策定 生涯学習審議会答申「今後の社会の動向に対応した生涯学習の振興方策について」
5	新山本公民館竣工	補助事業で「青年塾」「男女共同参画塾」実施	成人式を青年塾の活動発表の場に模様替え 飯田市公民館活動史刊行 体制研究委員会で分館活動の研究	上郷町と合併 飯伊地域が地方拠点都市に指定される 浜松とのりんご交流始まる 女性室設置
6		主事会プロジェクト 「人形劇カーニバル」 「青年塾」 「地域課題発見」 「学習グループネットワーク」 で研究と実践が行なわれる	「はたち」のイメージソングづくり、成人式で発表	21飯田まちづくり会議、基本構想のたたき台がつけられる シャルルヴィルメジュール市などへ主事2人視察研修参加 生涯学習審議会答申「地域における生涯学習機会の充実について」

飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
7		主事会プロジェクト 「人形劇カーニバル」「青年塾」 「地域課題発見」「市民ネットワーク」「分館補助金制度」「委員報酬」「市民参加とワークショップ」 「公民館建設」で実践と研究が行なわれる	戦後50年で、平和を祈念した一連の行事「満州移民の集い」「平和フォーラム」などを開催 青年塾韓国扶余へ	基本構想、基本計画策定 全庁業務革新(キックオフ)に基づき、機構改革論議に阪神大震災、主事からもボランティアに参加
8		主事会プロジェクト「条件整備」が加わる 人事課と共催し、地域活動家の話を聞く研修会実施(月1度ペース)	青年塾のテーマを国際交流とし、マレーシアに訪問。 異文化セミナー開講 郷土日本画家遺作展開催、遺作集発行	機構改革により生涯学習課市公に配置 基本計画スタート 女性室独立配置 起業家支援セミナー実施
9		主事会プロジェクト 「人形劇カーニバル」「青年塾」「市民ネットワーク」「条件整備」に加え「中心市街地活性化」が行われる。 「情報研究」が始まる	異文化セミナー「わいわいサロン」開設 狭間壮「心のうたコンサート」(公民館発足50年記念) 青年塾マレーシア、三遠南信、飯田(りんご)の交流を体験	公民館制度発足50周年 多くの公民館で50周年記念事業やその準備が始まる 東大教育学部ゼミが飯田市の教育文化活動を調査
10		主事会プロジェクト 「人形劇カーニバル」「青年塾」「市民ネットワーク」「条件整備」「情報研究」で研究と実践が行われる	青年塾マレーシア、アウトドア体験(上久堅、大平)、こだわり体験(上久堅風土舎、下久堅大原さわやか三穂生活改善グループ、浜松はたちの講座)	分館事業補助金を全分館に交付 人形劇カーニバルが20回で終了し「新たな人形劇の祭典」としてスタート
11		主事会プロジェクト「人形劇フェスタ」「青年塾」「市民ネットワーク」「条件整備」「情報研究」	新たな人形劇の祭典「いいだ人形劇フェスタ」が盛大に開催。地区企画公演という新たな試みも	旧市公民館へiMAC配置 インターネットを活用した情報交換開始
12	社会教育法改正(公運審が任意設置制になるも飯田市は継続設置)	主事会プロジェクト 「人形劇フェスタ」「青年塾」「市民ネットワーク」「地域課題」「情報研究」	学社連携・融合の推進が課題	国のIT政策 全国的に荒れた成人式が話題に
13	新竜丘公民館竣工	主事会プロジェクト 「人形劇フェスタ」「青年塾」「情報ネットワーク」「地域課題」	成人式地域開催	各公民館でIT講習会開催 社会教育法の一部改正
14		主事会プロジェクト 「人形劇フェスタ」「情報研究」「市民ネットワーク」「条件整備」「自然環境学習」「青年塾OB」 体制研究委員会で「分館事業補助金」「運営審議会のあり方」について見直し検討はじまる	第40回記念飯田市民館大会開催 天竜峡夏期大学講座開講50周年	完全学校週5日制スタート。 飯田市民館HPがリニューアルされ、(財)高度映像情報センターの公共HP運動でgoodsiteに選ばれる
15	公民館の設置及び運営に関する基準改正 勤労青少年ホーム公民館の組織内へ	主事会プロジェクト 「分館活動」「自治研究」「条件整備」「情報研究」 研究プロジェクト 「地域自治組織研究」	人形劇フェスタ5周年 今田人形発祥300周年	1市3村による任意合併協議会設立。併せて「地域自治組織」導入に伴う研究が行われる 飯田市歴史研究所開設 飯田市文化芸術振興基本方針策定準備会スタート

飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
16	公民館条例改正 (運審任期2年, 使用料 改定) -4月施行- 公民館主事の支所職員 兼務 -4月発令-	主事会プロジェクト 共通テーマ:「住民自治を 前提としたこれからの公民 館活動」 館長会 「飯田市公民館の基本原則 と今後の方向」についてま とめ教育委員会へ提出	県公民館大会、下伊那 (阿智村)で開催。飯 田市も実行委員会へ参 画。 各地区で地域づく フォーラム等開催し、 自立への動き始まる	10/28牧野光朗市長就任。文 化経済自立都市を目指す 1市2村(上・南信濃村)に よる法定合併協議会設立、併 せて「地域自治組織」導入に 伴う研究が庁内プロジェクトで 進められる わがまちの“憲法”を考え る市民会議が発足
17	上村・南信濃合併に伴 い、20地区公民館、106 分館体制に 体制研究委員会を中心 に、地域自治組織発足 に向けて集中的に検討 し、新たな公民館ビ ジョンを方向付けする	主事会プロジェクト 「人形劇」 「社会教育ネットワーク」 「次世代支援」 「情報研究」	県公民館運営協議会主 催公民館ステップアップ研修 会を飯田市で開催	10/1上村、南信濃村と合併 地育力向上連携システム整 備事業PJ発足 「公民館は、地育力向上の 主要な拠点として、まちづく り委員会の中で他の委員会の 活動と積極的に連携して活動 していく。」とする市の基本 方針が出る
18	地域自治組織の発足に 向けて、飯田市公民館 条例を一部改正(地区 公民館の運営審議会を 廃止するとともに、同 施行規則の一部を改正 し、専門委員会の名 称、委員の人数、役 職、任期などは公民館 長が定め、専門委員は 公民館長の委嘱に)	主事会プロジェクト 「人形劇」 「総合教育支援」 「青年活動」 「情報研究」「食育」 館長会 定例館長会において、年間 を通して、各地区の地域自 治組織の検討状況や事例の 研修、市長を始め関係機関 との意見交換の場を設けた	「飯田の子どもを考え る市民のつどい」を、 市民の皆さんや専門知 識のある方々による実 行委員会を組織して開 催	「地育力向上連携システム 推進計画」を飯田市教育委員 会が策定 教育基本法の改正
19	地域自治組織発足によ り、公民館がまちづく り委員会の公民館専門 委員会として位置づけ られる(飯田市教育委 員会の社会教育機関と しての位置づけも継 続)	主事会プロジェクト 「人形劇」 「家庭教育」 「これからの公民館を考え る」「地域活性化」	原田泰治と子どものふ れあい絵画教室in飯 田、第5回郷土日本画 家遺作展を開催、遺作集 を発行	地域自治区、地域協議会、 まちづくり委員会からなる新 しい地域自治組織が発足
20	社会教育法の改正	主事会プロジェクト 「人形劇」 「家庭教育」 「公民館の旨味」	人形劇のまち30周年記 念の世界人形劇フェス ティバル、最後のア フィニス夏の音楽祭を 開催	
21		主事会プロジェクト 「人形劇」 「社会教育関係団体」 「公民館の役割」	アフィニス夏の音楽祭 に代わり、新たに 「オーケストラと友に 音楽祭」が開催する。	飯田市教育振興基本計画が スタート

飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
22		主事会プロジェクト 「人形劇」 「PLSD」 「公民館の役割」 東京大学との共同学習 東京大学大学院牧野研究室と「これからの地域づくりのあり方と公民館の役割」に関する共同学習を実施する。また、各公民館の役員を対象に公民館の役割や主事に関する意識調査を実施	県公民館運営協議会主催「長野県公民館館報関係者研修会」が飯田市で開催	館長会及び主事会での検証、東京大学との共同学習などを踏まえ、「持続可能な地域づくりに向けた公民館の役割」についてまとめる 第1次飯田市教育振興基本計画がスタート
23		主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域資源活用」 「多様な主体との連携」 東京大学との共同学習 東京大学大学院牧野研究室と「飯田市の公民館分館の役割と位置付け」に関する共同学習を実施する。川路、龍江、鼎、上郷、橋南地区の分館や団体の活動状況を調査	完全復元伊能図全国巡回フロア展in南信州 飯田を、第25回の節目を迎える「飯田やまびこマーチ」に併せた記念行事として開催	
24	地方分権一括法の施行により、公民館運営審議会の委員の任命委嘱基準を公民館条例に規定した。	主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域人教育」 「青年活動」 東京大学との共同学習 分館活動のさらなる掘り下げのための調査と、昨年の調査でまとめられた報告書をもとに報告会(分館役員研修会)を実施		公民館貸館マニュアル改訂 日本公民館学会飯田集会開催 未来を拓く自治と協働のまちづくりを目指す飯田研究会開催
25		主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域人教育」 「地域と学校を結ぶ」 東京大学との共同学習 東野、千代の2地区において住民アンケートを実施	小中連携・一貫教育が全中学校区で始まる アジア人形劇フェスティバル開催 第51回飯田市公民館大会記録的豪雪により中止	文部科学省「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」が始まる フィリピンレガスピプロジェクト始まる(3年間)
26	新千代公民館竣工 新下久堅公民館竣工 丸山公民館耐震化工事竣工 上久堅公民館耐震化工事竣工	主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域人教育」 「環境」 東京大学との共同学習 東野、千代の2地区において実施した住民アンケート結果報告会を実施	小中連携・一貫教育2年目	文部科学省「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」2年目の受託 解体新書塾～公民館・地域自治のあり様を見なおす自治体間共同研究～飯田研究会開催

飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
27	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正（教育委員会制度の改革）	主事会プロジェクト 「人形劇」 「新成人」 「役割研究」 「地域×高校生共育」 館長会研修テーマ 「これからの公民館・社会教育と館長の役割」大人の学びと子どもの育ちをつなげる	県公民館運営協議会主催「長野県公民館主事会研修・総会」を飯田市で開催 戦後70年記念事業として市公及び各地区で展開	下伊那テーゼ50周年記念フォーラムを阿智村で開催 解体新書塾～公民館・地域自治のあり様を見なおす自治体間共同研究～飯田研究会を飯田市公民館大会に合わせて開催
28	新上村公民館竣工	主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域×高校生共育」 「高齢者」 館長会研修テーマ 「これからの公民館・社会教育と館長の役割」大人の学びと子どもの育ちをつなげる	第64回長野県公民館大会（飯田・下伊那）を飯田市で開催 市内全小中学校に学校運営協議会が設置され「飯田コミュニティスクール」となる	解体新書塾～公民館・地域自治のあり様を見なおす自治体間共同研究～飯田研究会を飯田市公民館大会に合わせて開催
29	社会教育法改正（地域学校協働活動の推進を位置づけ）	主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域×高校生共育」 「井戸端から地域課題を考える」 館長会研修テーマ 「これからの公民館・社会教育と館長の役割」大人の学びと子どもの育ちをつなげる	地域学校協働活動の充実にに向けた取組が本格的にはじまる	市制施行80周年記念事業が開催される 「飯田未来デザイン2028」がスタート 「第2次飯田市教育振興基本計画」がスタート 「文部科学省の組織再編案に関する請願書」を文部大臣と文科省に提出
30	新上郷公民館竣工	主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域×高校生共育」 「井戸端から地域課題を考える」 館長会研修テーマ 「これからの公民館・社会教育と館長の役割」大人の学びと子どもの育ちをつなげる	いいだ人形劇フェスタ20周年（カーニバルから通算40周年） 世界人形劇フェスティバル開催	民法の一部改正 2020. 4. 1より成人年齢が18歳となる AVIAMA総会が飯田市で開催される
令和元		主事会プロジェクト 「人形劇」 「高校生×探究学習」 「青年層」 館長会研修テーマ 「これからの公民館・社会教育と館長の役割」大人の学びと子どもの育ちをつなげる		新元号「令和」となる
2		主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域×高校生共育」 「次世代育成」 館長会研修テーマ 「これからの公民館・社会教育と館長の役割」大人の学びと子どもの育ちをつなげる	コロナ禍により、中止又は延期した事業が多い。飯田市成人式も史上初の延期となった。一方、これまでの活動を見直し、新たな活動への展開も見られた。	第8回全国公民館報コンクール特別賞受賞：伊賀良公民館、南信濃公民館 長野県公民館アワード受賞：飯田市公民館（多文化共生事業）
3		主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域×高校生共育」 「次世代育成」 館長会研修テーマ 「これからの公民館・社会教育と館長の役割」大人の学びと子どもの育ちをつなげる	コロナの影響により延期していた令和2年度飯田市成人式が中止となった。	長野県公民館アワード受賞：南信濃公民館

飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
4	新橋南公民館竣工 新飯田市公民館竣工	館長会研修テーマ 「コロナ禍におけるこれからの公民館・社会教育と館長の役割」大人の学びと子どもの育ちをつなげる ～学校との協働の取組を通して～ 主事会プロジェクト 「人形劇」 「次世代育成」 「ふくし」	成年年齢引き下げに伴い「飯田市成人式」から「飯田市二十歳の集い」に名称変更して開催 3年ぶり開催となった飯田市公民館大会は第60回目を迎えた 天竜峡夏期大学講座開講70周年	民法の成年年齢18歳が令和4年4月1日より施行される

飯田市公民館大会の経過

No.	年度	月日	会場	テーマ	講師
1	37年	11月13日	飯田市公民館	公民館と学習活動	立正大学 藤田秀雄
	主な内容： 公民館活動の充実のために地域の人たちの知恵を結集しよう。				
2	38年	12月1日	飯田市役所	暮らしにくさをどうきりぬけるか	生活科学調査会 田辺信一
	主な内容： 学習の相談相手になれる公民館にしよう。				
3	39年	8月7～8日	飯田東中学校	山と農村の問題	前都立大教授 戒能通孝
	主な内容： この年は飯田で開催の第13回長野県公民館大会に集中。				
4	40年	11月28日	飯田市役所	アジア情勢と日本	信大助教授 山岡利七
	主な内容： 生活に役立つ学習活動に答える公民館にしよう。				
5	41	12月11日	飯田市役所	公民館の現状と問題点	県社教主事 桜井彦郎
	主な内容： 地域課題の増加、活動の反省公民館の姿勢の確認のための事例交換。				
6	42	12月10日	市役所勤福センター	地域の変貌と公民館	信大助教授 玉井袈裟男
	主な内容： 生活課題の学習、施設の確保、市民の自主学習のために公民館の機能を活性化しよう。				
7	43	12月8日	市役所勤福センター	地域の文化活動	農文協 山田民雄
	主な内容： 前年と同じ				
8	44	12月14日	市役所勤福センター	地域開発と私たちの生活	農文協 浪江虎
	主な内容： 前年と同じ				
9	45	12月6日	市役所勤福センター	地域開発と私たちの生活	農協短大教授 美土路達雄
	主な内容： 学習活動、社会教育行政の確立、環境の浄化。				
10	46	12月5日	市役所勤福センター	社会教育行政と公民館活動	飯田女子短大 高坂詢
	主な内容： 前年と同じ				
11	47	12月3日	文化会館	これからの公民館活動	国立市公民館長 徳永功
	主な内容： 学習活動、社会教育行政の確立、環境の浄化、施設の充実公民館3階建論。				
12	48	12月2日	市役所勤福センター	学習文化活動をどう発展させるか	名大教授 小川利夫
	主な内容： 社会教育機関としての公民館職制の改善(体制の問題点)施設の充実。				
13	49	12月8日	市役所勤福センター	これからの公民館活動	信大助教授 玉井袈裟男
	主な内容： 社会教育機関としての公民館の体制の確立、地域と生活課題に根ざす学習活動の定着。				
14	50	12月7日	市役所勤福センター	公民館のあり方を考える	市議会代表 市老連代表 市連婦代表 市連青代表
	主な内容： 社会教育機関としての公民館の体制の確立。				
15	51	12月12日	飯田市公民館	公民館の歴史30年を反省する社会教育機関としての充実を図る	中大助教授 島田修一
	主な内容： 主体者である住民と、援助者である教育機関(公民館)の関わりあい。教育機関としての行財政充実。				
16	52	7月24日	飯田市公民館	住民要望と公民館の役割	名大教授 小川利夫
	主な内容： 公民館活動の見直し。住民の求める社会教育活動と公民館の関わり。				
17	53	12月10日	飯田市公民館	なし	なし
	主な内容： 教育機関として充実させていくためのリーダー養成県公民館大会が開催されたため半日で修了。				
18	54	7月29日	飯田市公民館	まちづくりと公民館	名大教授 室井力
	主な内容： 基本構想に基づく基本計画をどう進めていくか。住民参加の意義。				

飯田市公民館大会の経過

No.	年度	月日	会場	テーマ	講師
18	55	7月27日	飯田市公民館	民衆と学問	明治大学教授 後藤総一郎
	主な内容: 地域づくりをする上での公民館の独自性。地方の時代、文化の時代といわれる中での公民館活動のあり方。				
19	56	7月26日	飯田市公民館	海外援助について考える ～ネパールで伝染病と闘った 20年の体験から～	神戸大医学部国際協力センター 専任教授 岩村昇
	主な内容: 地域課題を解決していくためには諸団体バラバラでは解決できない。その連携の可能性についてと、行政の役割。				
20	57	7月25日	飯田市公民館	公民館発足当初の理念と これからの公民館のあり方	元文部省社会教育局長 寺中作雄
	主な内容: 前年と同じ				
21	58	7月24日	飯田市公民館	伊那谷の民俗芸能	東京国立文化財研究所芸能部長 三隅治雄
	主な内容: 芸能文化の歴史的意義と伝承の重要性。地域づくりとしての芸能。				
22	59	7月29日	飯田市公民館	教育・文化の側面から地域の活性化を図る公共施設の専門化類似化に公民館が教育機関としてどう対処していくか	静岡県掛川市長 榛村純一
	主な内容: ニューメディア(理念)の地域づくり人づくり。				
23	60	7月7日	飯田市公民館	教育活動の実践方策の研究討議 個性 的で魅力ある地域づくりのために	立教大学教授 室俊司
	主な内容: 夜明け前の暮らしの文化。文化創造の学習の広場。地域の文化と自治体社会教育。				
24	61	9月7日	飯田市公民館	地域課題、生活課題を解決するために、自治能力の向上と共同体づくりに努める。私にとっての公民館	立命館大教授 木津川計
	主な内容: 「地域を耕す、心を耕す」日本人ふるさと意識の再構築魅力ある地域とは。都市にとっての文化と人間にとっての文化。生きる喜びを何に求めるか。				
25	62	3月6日	飯田市公民館	「私にとっての公民館」「地域にとっての公民館」とは何か地方からの国際化を考える	国際化シンポジウム 五十嵐富英 竹田扇之助 本間俊太郎 横田盛廣 松澤太郎
	主な内容: 行政の主催する、地域づくりを考える集いを併催し、ムトス飯田賞の表彰も行う「私にとって」「地域にとって」の公民館について、公民館委員、分館役員、講座受講生、地域代表、ムトス受賞者などの立場から実践発表を行う。				
26	63	3月5日	飯田市公民館	魅力ある地域づくりを考える家庭教育地域交流事業の実践発表	地域文化とまちづくり 国土庁地方振興局地方都市整備課長 一杉 喜朗
	主な内容: 地域づくりを考える集いを併催し、ムトス表彰も行う「魅力ある地域づくり」にむけて公民館は何ができるか、分科会別に研究。別に家庭教育学級などの参加者の分科会も設営する。				
27	平成元	3月4日	飯田市公民館	魅力ある地域づくりのためのプロジェクト事業について自然と人間を結ぶ	農工商が結びつく町調査報告 農文協 清水悟
	主な内容: 公民館のプロジェクト事業としてはじめた魅力ある地域づくりのためのプロジェクト事業の発表。農文協の「農工商が結びつく町」を題材に分科会。助言者に調査に入った農文協職員を迎える。				
28	2	2月24日	飯田市公民館	学習交流の活性化と 人づくり、まちづくり	講師 シンポジスト: 玉井袈裟男、井上講四、 今牧英世、奥村頼人 司会:長谷部三弘
	主な内容: 地域づくりを考える集いを併催し、ムトス表彰も行う学習交流都市構想の発表集会として位置付け、構想についてのシンポジウムと先進事例の発表会、地域の特色ある活動の展示発表を行う。				
29	3	3月1日	鼎公民館	生涯学習時代の公民館活動	愛知大学教授 小川利夫
	主な内容: 地域づくりを考える集いを併催し、ムトス表彰も行う公民館委員、学級講座参加者グループ活動など公民館との関わり別の分科会を設ける。				

飯田市公民館大会の経過

No.	年度	月日	会場	テーマ	講師
30	4	3月7日	鼎公民館	足元から今日的課題を考える	元松川町社教主事 松下 拓
	主な内容： これからの公民館活動が、時代に即した活動になるために「環境」「国際化」「男女共生」「高齢化」「子ども」の5つの今日的課題をテーマとした分科会を設ける。				
31	5	2月27日	飯田市公民館	21世紀を豊かなものに	動物写真家 宮崎学
	主な内容： 公民館活動が常に時代の流れを見据えたものとなるよう「高齢化」「国際化」「環境」の3つの今日的課題をテーマとした分科会を設ける。公民館活動の刊行を記念して公民館の歩みをスライド化して発表する。				
32	6	2月26日	飯田市公民館	21世紀を豊かなものに	元日本モンキーセンター所長 河合雅雄
	主な内容： 今日的な課題を学習する場と位置付けて3年目。分科会は地域での実践活動の紹介を中心に構成した「子育て」「国際化」「環境」の3つで構成した。				
33	7	2月25日	飯田市公民館	21世紀を豊かなものに	地域計画プランナー 佐野章二
	主な内容： 今日的な課題を学習する場と位置付けて4年目。分科会は「自然環境と人間」「知縁でつくる豊かな地域」という今日的課題の分科会を今井信五(しろま自然の会)岡田芳子(高山 PANTS)座光寺良子(和楽)を講師に行なったほか「委員会活動」「分館活動」の実践に基づく分科会に竜丘、下久堅鼎、上郷から事例を発表した。				
34	8	2月23日	飯田市公民館	21世紀を豊かなものに	写真家 ジョニー・ハイマス
	主な内容： 置付けて5年目。分科会は「地域に生きるということ」「違いを楽しみ、地域を拓くというテーマで地域での私たちに大切なのは何か開かれた地域のあり方は、について考え、また「分館活動」「委員会活動」の実践に基づく分科会に竜丘、東野、下久堅山本から事例を発表した。				
35	9	2月22日	飯田市公民館	21世紀を豊かなものに	お茶の水女子大学教授 藤原 正彦
	主な内容： 昨年までの実績を尊重しながらも新しい視点で実施した。交流会を1部、2部として、活動の実践発表を行った。1部では、鼎名古熊演芸クラブ2部では、「食」に関する活動を取上げ、市公の「わいわいサロン」、伊賀良公民館の「食塾」、丸山公民館の「食のふれ あい工房」の発表。地区公民館報の掲示と感想の集約。				
36	10	2月21日	飯田市公民館	21世紀を豊かなものに	登山家 田部井 淳子
	主な内容： 公民館活動の実践交流と地域課題についての学習、研究の場として位置付け。活動の実践発表は、千代不動太鼓。分科会は、市民に運営を任せ「新たな人形劇の祭典への地域の関わり方を考える」「歩くからはじまる地域づくり」「異文化交流、外国人から見た飯田市」「冬の街なか 自然体験」「ネットワークゆい いどばた会議」「暗くを共に歩む分館活動」の6つ。				
37	11	2月20日	飯田市公民館	21世紀を豊かなものに	哲学者 内山 節
	主な内容： 2000年という節目を迎え、地道な地域における活動、取り組みを通して、来るべく21世紀の地域活動、公民館活動の方向性を探る。分科会「地域住民による企画・運営から学ぶ公民館」「人形劇の能性を求めて」「学社融合連携」「五感を使って異文化交流」「風土に根ざした文化活動」				
38	12	2月28日	飯田市公民館	21世紀にどう入っていくか	国立民族学博物館教授 端 信行
	主な内容： 新世紀第1回の公民館大会としてこれからの公民館の在り方を研究 実践する場と開催。分科会「ウォーキング事業を通じた和の広がり」「地域の子も達を考える」「多文化共生を考える」「地域に在る文化の魅力語り合う」「エコマネーって何？」				
39	13	2月17日	飯田市公民館	明日への展望 ～地域づくりの拠点公民館～	北海道大学教育学部 鈴木敏正、姉崎洋一 宮崎隆志
	主な内容： 社会教育学会のメンバーによる地域社会教育実践研究会の先生の飯田調査報告を兼ねたシンポジウムなど。分科会「これからの公民館を考える」「地区運動会を通して地域を考える」「分館活動のあり方を考える」「読者が創る情報誌・ネットワークゆいを考える」「子どもを健やかに」「地域における多文化共生の道」				

飯田市公民館大会の経過

No.	年度	月日	会場	テーマ及び講師
40	14	2月16日	飯田市公民館	テーマ:「公民館活動と地域づくり」 講師:NPO法人自然環境アカデミー理事 伊東 静一 貝塚子育てネットワーク 梅原 直子 舞鶴市まちづくり新聞編集長 新治 徹 元松本市なんなん広場館長 手塚 英男
				主な内容:「飯田市公民館の歩み」を映像で振り返る。地域づくり実践者を招いた実践発表、地元の実践者による事例発表を通して、地域づくりに果たす公民館活動の姿を探る。分科会「環境と共生した豊かな地域づくりを考える」「子育てと地域ネットワーク」「広報活動と地域づくりを考える」「魅力ある分館活動をすすめる秘訣を考える」
41	15	2月15日	飯田市公民館	テーマ 今、心を結ぶふるさとづくりを 講師 全体会講師なし
				主な内容: これまでの公民館活動を振り返り、原点に立ち返って地域の未来やこれからの公民館活動を考える機会とする。全体会の記念講演は行わず、分科会のみとした。分科会「文化・体育事業を通して、これからの公民館活動を考える」「公民館報研修会」「住民自治を育てる公民館」「地域の自治活動と公民館」「足元を見つめ、地域の財産を知る」「里山の活用から地域ぐるみの環境学習へ」「子どもが伸びる地域の力」「ゲームや交流体験を通して異なる文化に生きる人たちとの共生について考える」
42	16	2月20日	飯田市公民館	テーマ:「新しい公民館の創造」 講師:市長講演 牧野 光朗 「地育力の向上と公民館」 基調講演:東京大学大学院教育学研究科教授 佐藤 一子 「これからの公民館の果た役割」
				主な内容: 地域自治組織と公民館との関係が問われている状況をふまえてこれからの時代に対応した新しい公民館のあり方を議論する大会とした。市長講演、基調講演からつながる分科会を構成。分科会「住民自治力を培う公民館」「これからの子育て」「安全安心のまちづくり」「これからの文化事業を考える」「公民館報の意義と役割」「地域スポーツと公民館」
43	17	2月19日	飯田市公民館	テーマ:「新たな公民館ビジョンの構築に向けて」 講師:和歌山大学生涯学習教育研究センター助教授 堀内秀雄 「地域自治組織とこれからの公民館の役割」
				主な内容: 地域自治組織の導入等を控え時代の変化に対応した「新たな公民館ビジョン」づくりを進めており、これからの新たな役割を共に考える機会として実施。高坂詢氏をコーディネーターに迎え、新井優氏、増田綾子氏、柳澤竜太郎氏、山田安世氏によるパネルディスカッションを実施。
44	18	2月25日	飯田市公民館	テーマ:「新しい地域づくりの時代に向けて」 ～地域自治組織における公民館活動～ 講師:東京学芸大学名誉教授・日本公民館学会前会長 小林文人 「新しい自治の時代に」ー公民館創造の原点から学ぶものー
				主な内容: 地域自治組織のスタートに伴い、新しい自治の時代に公民館は何ができるのか、考えあう機会として、全体会を始め、基調提案、基調講演、各地区での実践を発表する分科会を開催した。分科会「考えよう地域の子育て」「多文化共生と公民館」「地域の芸術文化活動を考える」「地域に活かす郷土学習」「魅力あるスポーツ事業と健康づくりのこれから」「身近な取り組みから、みんなで考える環境」「館報から始まる情報発信」
45	19	2月24日	飯田市公民館	テーマ:「地域から求められる公民館活動のあり方」 ーまちづくり委員会における公民館の主体性と連携の立場からー コーディネーター:長谷部三弘(ひさかた風土舎代表)、 パネリスト:小市昭夫(信濃毎日新聞社編集局報道部次長) 下平隆司(前竜丘自治協議会長) 菅沼輝美(橋南地区主任児童委員)
				主な内容: 1年間の活動の成果を確認し、課題を明確にすることにより、今後、より地域の中で役立つ公民館として、公民館が担うべき役割や方向性を明確にすることを目的としてパネルディスカッション及び分科会を実施した。分科会は、「子どもは地域で育てよう」「公民館報と地域広報の役割」「学社連携の取り組みについて」「自然・歴史・文化などの地域資源をどのように活用するか」「地域における分館活動の位置づけと実践」「高齢者の知恵や経験を地域に活かすー仲間づくりから始まる地域貢献とそれを支える公民館のあり方ー」の6分科会を開催。
46	20	2月22日	飯田市公民館	テーマ:「地域から求められる公民館活動」 講師:基調講演「これからの公民館のあるべき姿」 飯田女子短期大学講師・元松川町社会教育主事 松下 拓 ※基調講演は、従来公民館が果たしてきた役割や大切にしてきた理念を再確認することにより、今後の公民館活動のあり方を考える礎とした。
				主な内容: 今後、公民館が担うべき役割や方向性を明確にすることを目的として基調講演及び分科会を実施した。分科会においては、実践事例をとりあげ、これからの公民館活動に活かしていけるように活発な意見交換を行った。分科会は「地域コミュニティを見直してみよう」「公民館報・広報等による情報の発信と共有」「地域と子どもがどう関わるか」「地域資源を地域づくりにどう活かすか」「住民にとって最も身近な分館や地区単位の活動をどう推進するか」の5分科会を開催。

飯田市公民館大会の経過

No.	年度	月日	会場	テーマ及び講師
52	26	2月17日	飯田市公民館 りんご庁舎(分科会)	テーマ:「持続可能な地域をめざし、これからの公民館と地域づくりを考える」 基調講演 『「地元学」による持続可能な地域づくり ～ないものねだりからあるもの探しへ～』 講師: 吉本哲郎氏(地元学ネットワーク主宰)
				主な内容: 飯田市の公民館の1年間の活動成果を確認するとともに、公民館を取り巻く課題を整理しこれからの公民館のあり方を考える機会として開催。リニア中央新幹線ルート・駅位置決定や三遠南信自動車道全線開通に向け地域が大きく変貌しようとするなか、持続可能な地域を確立する上で公民館が果たす役割や、これからの地域づくりに重要となる視点を共有した。基調講演は地元学を提唱した吉本哲郎氏を招聘し、分科会は「“人”が支える地域づくり」「次世代につながる地域文化」「子どもを育む地域の力」「環境を学び、守り、生かす」「明日の地域に若者の視点を!」「ムトス飯田30周年記念パネルディスカッション」の6つのテーマで開催した。
53	27	2月21日	飯田市公民館	テーマ:「持続可能な地域をめざし、これからの公民館と地域づくりを考える」 基調講演 『「地域みがき」のすすめ ～これからの地域づくりを考える～』 講師: 小田切徳美氏(明治大学農学部 教授)
				主な内容: 1年間の活動の成果を確認し、公民館を取り巻く課題の整理とこれからの公民館のあり方を考える機会として開催。今年度は、リニア中央新幹線・三遠南信自動車道の全線開通を見据えた地域の将来像を考える上で、持続可能な地域をめざすために公民館が果たす役割やこれからの地域づくりに重要となる視点を共有した。分科会は、「若いみなさん! 私たちと一緒にやろうよ!」「想いをつなぐ地域文化」「支え合う、心豊かな暮らしのススメ」「誰もがお互いを大切にし合う地域に!」「身近な自然に目を向けよう」「ムトスの心で地域に活動の輪を広げよう!」の6テーマで開催した。
54	28	2月19日	飯田市公民館	テーマ:「持続可能な地域をめざし、これからの公民館と地域づくりを考える」 基調講演 『地元を創り直す ～田園回帰の時代～』 講師: 藤山浩氏(島根県中山間地域研究センター研究統括監)
				主な内容: 1年間の活動の成果を確認し、自分たちの暮らしや生き方を見つめる機会として、また現代社会を取り巻く課題の整理とこれからの公民館のあり方を考える機会として開催。今年度は、人口減少、リニア時代を迎え、大きな社会変貌が予想される中においても、心豊かな暮らしを実現できる持続可能な地域をめざすために、今公民館が果たす役割やこれからの地域づくりに重要となる視点を共有した。分科会は、「未来へのバトンパス」「育もう! いきいきとした子ども」「次世代に想いをつなぐ地域文化」「高齢期を支え合いと生きがいを持って」「私と地域にとっての公民館」「ムトスの心で地域に活動の輪を広げよう!」の6テーマで開催した。
55	29	2月18日	飯田市公民館	テーマ:「地域づくりを担う人づくりの拠点としての公民館活動のあり方を考える」 ～人形劇による地域づくりと人づくり～ 全体会 内容・講師 実践発表 三穂伊豆木人形クラブ 実践報告 長谷部三弘氏(元飯田市公民館副館長) 渡邊義昭氏(上郷公民館館長) 基調講演 佐藤一子氏(東京大学名誉教授)
				主な内容: 来年度人形劇カーニバルから通算40周年の節目を迎えるにあたり、飯田市の公民館のしくみと私たちの主体的な活動が支えてきた人形劇によるまちづくりについて、地域づくり・人づくりの視点から振り返り、これまでの成果とこれからの可能性について考えるとともに、そのことを通して心豊かな暮らしの実現をめざした地域づくりに重要となる視点を共有した。分科会は、「もっと楽しもう人形劇フェスタ」「地域の子供達について語ろう」「ふるさと学習」「公民館を見つめ直す」「地域課題に迫る館報・広報」「ムトスの心で地域に活動の輪を広げよう!」の6テーマで開催した。
56	30	2月17日	飯田市公民館	テーマ:「“関わり つながり 学び合う” 心豊かな暮らし・地域をめざして」 ～これからの社会に求められる公民館とは～ 基調講演 『“関わり つながり 学び合う” 心豊かな暮らし・地域をめざして ～地域づくりというけれど～』 講師: 白戸洋氏(松本大学総合経営学部 観光ホスピタリティ学科教授)
				主な内容: 1年間の活動の成果を確認するとともに、私たちのくらしや生き方を見つめ直し、互いの考えを深め合う場として、また地域を取り巻く課題を共有し、公民館が担う役割や今後の活動の方向性について考える機会として開催。今年度は、この地域においてより良い暮らしや豊かな人生を実現するために求められるものは何かを考え、地域での日々の活動を改めて捉え直すための視点を共有した。分科会は、「人形劇フェスタの可能性」「成人式のあり方について考えてみよう」「スポーツが地域にもたらす力」「あなたにとって分館とは。」「いってみよう・やってみよう そこからつながる」「ムトスの心で地域に活動の輪を広げよう!」の6テーマで開催した。

飯田市公民館大会の経過

No.	年度	月日	会場	テーマ及び講師
57	令和元	2月16日	飯田市公民館	<p>テーマ：「”関わり つながり 学びあう”心豊かな暮らし・地域をめざして」 ～今、改めて自治を考える～</p> <p>基調講演 「地域の未来を担う人づくり ～子どもと大人の学びを考える～」 講師：岩本悠氏(地域・教育魅力化プラットフォーム 共同代表)</p>
	<p>主な内容：令和の幕開けとなる本大会では、大きく変貌しようとしている当地域において、私たちがより良い暮らしや豊かな人生を実現し未来を切り拓くための学びについて考えるとともに、この地域が大事にしてきた自治の精神について、今一度考え合うことを目的とした。基調講演では、高校と地域をつなぎ、互いの学び合いから次世代を担う人材を育む島根県の取り組みから、地域の子どもに関わる大人の姿勢について考えた。分科会は、「子どもに関わる私たちについて語ろう」「高校生や若者に対して、私たち大人はどうありたいか」「あなたにとっての人形劇フェスタって何ですか?」「思いやりにあふれた社会を目指して」「地域住民が楽しく集う公民館(分館)活動」「ムトスの心で、地域に活動の輪を広げよう!」の6テーマで開催した。</p>			
58	新型コロナウイルスの影響により中止			<p>テーマ：「公民館の今とこれからのを考える」 ～コロナ禍の経験から見えてきた「つながり」について語り合おう</p> <p>基調講演 「未来に託せる地域を目指す公民館」 講師：石井山竜平氏(東北大学大学院教育学研究科)</p>
	2	2月21日	飯田市公民館 鼎公民館 上郷公民館 飯田市役所	
<p>主な内容：新型コロナウイルス感染症の発生により、「集い」や「学び合い」の機会が制限され、公民館がこれまで培ってきた「住民自治」意識の希薄化が懸念される状況が続いている。公民館活動による「つながり」が地域づくりや人材育成にどのような効果や影響を与えていたのか、各公民館が悩みながら取り組んだ今年1年の活動や課題を基に、ウィズコロナ・アフターコロナ時代の公民館活動をどのように考え繋げていくのかを考え合う機会として計画した。分科会は、「文化」「体育」「広報」「育成」「分館」の5つをテーマに、コロナ禍における専門委員会や分館の活動を考える機会として計画した。</p>				
59	新型コロナウイルスの影響により中止			<p>テーマ：「公民館の今とこれからのを考える」 ～コロナ禍の経験から活動を振り返り、公民館の役割を考えよう</p> <p>基調講演 「未来に託せる地域を目指す公民館」 講師：石井山竜平氏(東北大学大学院教育学研究科)</p>
	3	2月20日	飯田市公民館 鼎公民館 上郷公民館	
<p>主な内容：新型コロナウイルス感染症の発生により、公民館をはじめとする各種の活動が十分に行えない状況にあり、様々な社会活動や、活動を通じた地域コミュニティの維持が懸念される。一方で、いまだ続くコロナ禍の中に、「集い」や「学び」、「楽しみ」、「つながり」を求める機運が高まってきている。地域への帰属意識の低下や人間関係の希薄化などの課題とコロナ禍が相まった時代に、地域に何が求められ、そのために公民館に何ができるのかを考える機会として計画した。分科会は、「文化」「体育」「広報」「育成」「分館」の5つをテーマに、コロナ禍における専門委員会や分館の活動を考える機会として計画した。</p>				
60	4	2月19日	飯田文化会館 飯田市公民館	<p>テーマ：「今こそみんなで考えよう」 ～愉しく生きがいを感じる地域をめざして～</p> <p>基調講演 「公民館で地域がよみがえる 地域づくりと公民館」 講師：白戸 洋氏 (学校法人 松商学園松本大学 総合経営学部観光ホスピタリティ学科 教授)</p>
	<p>主な内容：公民館をはじめとする各種の活動が十分に行えない状況にあり、様々な社会活動や、活動を通じた地域コミュニティの維持が懸念されます。その一方で、いまだ続くコロナ禍の中に、「集い」や「学び」、「楽しみ」、「つながり」を求める機運が高まってきています。公民館は地域づくりの拠点であり、一人ひとりの幸せや豊かな地域をつくりだすために“みんな”で考えることを大切にしてきました。社会情勢が多様化する時代だからこそ、日頃の地域での活動を通じて人と人がつながりあうことの重要性をあらためて認識し、これからの地域のあり方、地域における生き方について、今一度みんなで考えあう機会として計画した。分科会は、「子ども」「次世代育成」「地域文化」「共生社会」「私たちにとっての公民館」「ムトス学習交流会」の6つのテーマで開催した。</p>			

令和4年度 飯田市公民館活動記録

発行 令和5年3月31日

編集 飯田市公民館

〒395-0086 飯田市東和町2丁目35番地

丘の上結いスクエア2階

☎ 22-1132 FAX 22-1022

E-mail: iccc01@city.iida.nagano.jp